SHARP

取扱説明書

液晶カラーテレビ

形 名

エル ディー　エス ピー
LD-37SP1

AQUOS

はじめに

設置

アンテナや電源の接続

操作の前に

受信設定

放送を視聴する

電子番組表（EPG）の使いかた

デジタル放送の予約と録画

録画や再生などの機器の接続

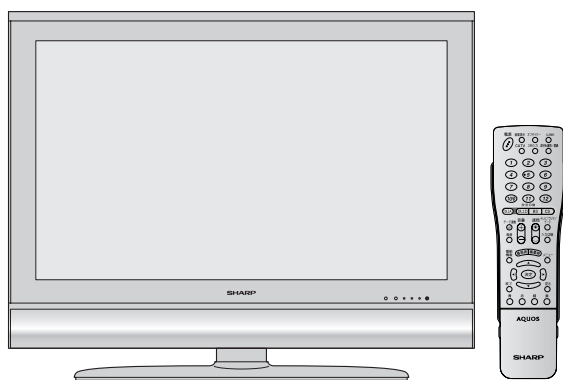
画面や映像・音声の調整

便利な機能
2画面・静止画・お好み登録・省エネ

デジタル放送を快適に見るための設定

情報ページ
困ったとき・知りたいこと

Quick Start Guide

このマークは、放送信号に含まれるGCR信号を利用して、ゴーストを軽減する機能を内蔵した機器であることを示すものです。

お買いあげいただき、まことにありがとうございました。

この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

- ご使用前に「安全上のご注意」（14ページ）を必ずお読みください。
- この取扱説明書は、保証書とともにいつでも見ることができるところに必ず保存してください。
- 製造番号は品質管理上重要なものですから、商品本体に表示されている製造番号と、保証書に記載されている製造番号とが一致しているか、お確かめください。

もくじ

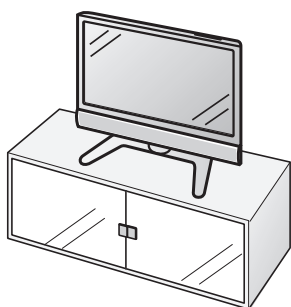
準備しよう

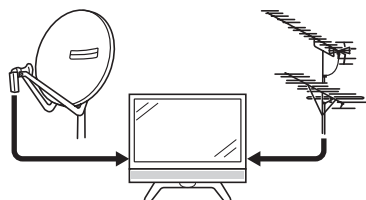
付属品を本機に取り付けて接続し、放送が受信できるまでの手順 ❶ ～ ⓫ を本文の説明に沿ってお進みください。

ページ

はじめに

❶ 付属品 12
この取扱説明書の見かた 13
安全上のご注意 14
警告 14
注意 16
使用上のご注意 19
守っていただきたいこと 19
蛍光管について 21
各部のなまえ<本体> 22
各部のなまえ<リモコン> 24
❷ 乾電池の入れかた 25
本機の特長 26

設置

設置のしかた 28
設置のながれ 28
設置について 28
❸ 端子カバーの外しかた 28
スタンドの外しかた 29
壁掛け設置のしかた 29
転倒防止について 30
壁や柱に固定する 30
テレビ台に固定する 30

アンテナや電源の接続

❹ VHF/UHFアンテナをつなぐ 32
❹ BS・110度CSデジタル共用アンテナをつなぐ 34
❺ 電源コードをつなぐ 35
ケーブル処理のしかた 35
❻ 電源を入れる 36

操作の前に

地上デジタル放送について 38
地上デジタル放送の特長 38

BSデジタル放送について 40
BSデジタル放送の特長 40
BSデジタル放送のチャンネル番号表 41
BSデジタル放送の有料放送を視聴するための手続き.41

110度CSデジタル放送について 42
110度CSデジタル放送の専用サービス 42
110度CSデジタル放送を視聴するための手続き 43
お買い上げ後、はじめてCSチャンネルを選局するときは....43

メニューについて..44
メニューの基本操作 44
メニュー画面の見かた 44
メニュー画面と設定画面の基本操作 45
メニュー項目の一覧 46
メニューなどの表示言語を選ぶ 48
Switching the Display Language to English 48

受信設定

設定をする前に...50
放送の種類と必要な設定について 50
メニュー画面の操作について 50
操作のながれ 50

❼ 地上アナログ放送のチャンネルを設定する....51
地上アナログー自動（自動設定） 52
地上アナログー追加（追加設定） 52
地上アナログー地域番号（地域番号設定） 52
地域番号早見表 54
地域番号一覧表 56
個別設定 60
受信チャンネル 60
チャンネル表示 60
受信微調整 60
スキップ 60

デジタル放送の設定について 62
設定のながれ 62

❽ B-CASカードについて 63
B-CASカードおよびコピー制御信号についてのお知らせ.........63
B-CASカードを入れる 64

❾ 地域設定をする...65
地域と郵便番号を設定する 65
地域選択 65
郵便番号設定 66

ページ

受信設定
（つづき）

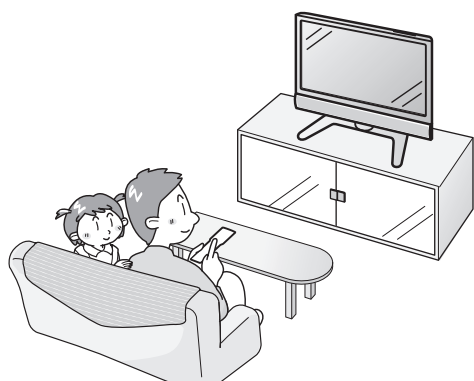
❿ **地上デジタル放送のチャンネルを設定する....67**
地上デジタル放送のチャンネル設定について.............. 67
自動登録.. 68
追加登録.. 68
個別設定.. 70
登録先の数字ボタンを変更する................................ 70
枝番を変更する.. 70
視聴しないチャンネルをスキップする..................... 70

⓫ **デジタル放送を視聴するための設定をする....72**
アンテナ設定.. 72
電話回線に接続する.. 74
電話回線の設定.. 76
電話会社設定.. 78

システム動作テストを行う..........................79

**BS・110度CSデジタル放送の
チャンネルスキップ設定..........................80**

使ってみよう

放送を
視聴する

番組を選ぶ...82
番組の選択手順と操作のしかた.................................. 82
その他の選局方法.. 83

ゴーストを軽減する（GR機能）....................84

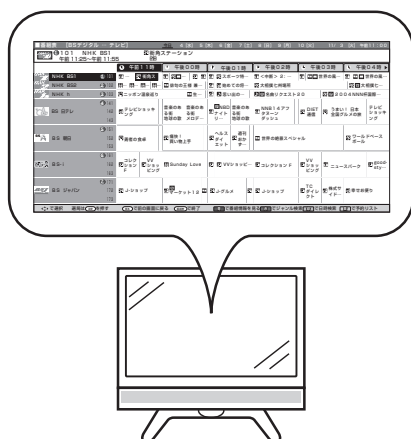
デジタル放送の登録チャンネルを確認する........86
工場出荷時に設定されているデジタルチャンネル一覧........ 87

**デジタル放送のお好みのチャンネルを
登録する...88**

複数の映像や音声を切り換える....................89
複数の映像を楽しむ.. 89
複数の音声を楽しむ.. 89

視聴中の番組の情報を見る..........................90

**テレビ放送に連動した
データ放送を視聴する..............................90**

電子番組表（EPG）の使いかた

電子番組表（EPG）について 92

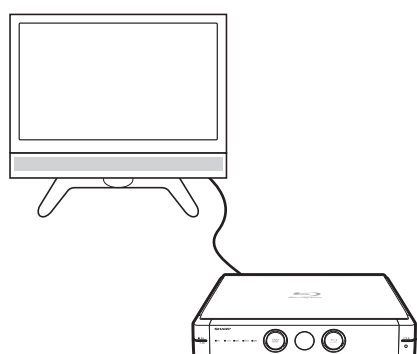
電子番組表（EPG）を利用するための設定を行う 94

番組表取得設定（地上デジタル放送）............................ 94
表示範囲設定 94
ジャンルアイコン設定... 94

電子番組表（EPG）で番組を探す...................95

見たい番組を探す.. 95
日時を指定して番組を探す 96
分類（ジャンル）で番組を探す 97

電子番組表（EPG）で番組の内容を確認する..............................98

デジタル放送の予約と録画

デジタル放送の予約のながれ 100

デジタル放送の予約の種類と手順............102

予約の種類について.. 102
予約操作を始めよう.. 102
「視聴予約」を選んだ場合.. 103
「録画予約」を選んだ場合.. 103

録画予約する 104

ビデオ連動予約するとき 104
ビデオ連動録画の詳細設定 105
i.LINK予約するとき.. 106
i.LINK予約の詳細設定.. 107

詳細設定時のメッセージについて............108

デジタル放送を録画しながらデジタル放送の裏番組を見る.................109

予約の確認・取り消し・変更をする............110

予約を確認したいとき.. 110
予約を取り消したいとき 111
予約を変更したいとき.. 111

予約動作や出力信号について 112

電源待機状態からの予約動作について...................... 112
録画出力／モニター出力から出力される信号について..... 112

ページ

録画や再生などの機器の接続

他の機器の接続について 114

接続できる機器 114

本機の接続端子と接続の目やす 115

ビデオやDVDを見る 116

ビデオ機器の接続のしかた 116

ビデオ機器の再生映像を見る 117

DVDプレーヤーなどの接続のしかた 118

高精細映像を楽しむ 119

HDMI対応機器の映像を見る 120

HDMI端子付き機器の接続のしかた 120

HDMI対応機器を接続しないとき(入力スキップ設定) .. 120

HDMI対応機器の映像を見る 121

DVI対応機器の映像を見る 122

DVI対応機器の接続のしかた 122

DVI対応機器の映像を見る 123

DVI対応機器を接続しないとき(入力スキップ設定) .. 123

ビデオカメラの映像を ビデオデッキで録画する 124

接続について 124

録画の操作について 125

デジタル放送の番組を ビデオデッキで録画する 126

接続について 126

録画の操作について 127

デジタル放送の番組をビデオコントローラーで予約録画する(ビデオ連動録画) 128

接続について 128

ビデオコントローラーを使うための設定をする 129

他の機器を使って録画するための設定 132

入力4端子を録画用または入力用に設定する 132

デジタル固定の設定 133

入力選択の設定 134

外部機器のなまえを表示させる 135

録画や再生などの機器の接続（つづき）

i.LINK機器を使う.......................................136

i.LINK（アイリンク）について 136
i.LINK接続のしかた.. 136
i.LINK機器を操作するための準備について 137
i.LINK設定について.. 138
i.LINK機器の選択と解除について............................... 139
i.LINK機器の操作のしかた 140

D-VHSビデオで録画・再生する................141

デジタル放送を録画する.. 141
録画した番組を再生する.. 141

ハイビジョンビデオカメラで撮影・再生する...142

ハイビジョンビデオカメラの映像・音声をAQUOSで楽しむ.. 142
再生する.. 143
撮影する.. 143

AV-HDDやBlu-ray Discレコーダーで録画・再生する 144

デジタル放送を録画する.. 144
録画した番組を再生する.. 145
録画した番組の消去・保護について............................ 146

音響機器をつないで音声を楽しむ............148

アナログ音声の音響機器を接続する........................... 148
デジタル音声（光）の音響機器を接続する 148
　デジタル音声出力（光）端子の設定について.......... 149

PC（パソコン）の画面を表示する 150

接続について 150
PC入力対応表 151
入力解像度の選択について 151
PC入力の画面サイズの種類と切換えについて 152
自動同期調整で最適な画面にする............................... 153
手動で最適な画面に調整する 154
省エネ機能を設定する.. 155

PC（パソコン）で本機を制御する 156

PC（パソコン）による本機の制御について................. 156
　接続のしかた... 156
　通信仕様... 156
　通信手順... 156
　RS-232Cコマンド一覧 157
　通信内容... 158

ページ

画面や映像・音声の調整

画面サイズを設定する前に 160
画面サイズについて.. 160
画面サイズを設定する.................................161
画面サイズを手動で設定する（テレビ／ビデオ入力時）..... 161
自動的に最適な画面サイズに設定する
（オートワイド機能）.. 162
映像判別.. 163
S2対応 163
D端子識別 163
HDMI識別 163
画面の位置を調整する................................164
画面位置の調整のしかた... 164
映像の向きを変える（映像反転）................................. 164
お好みの映像・音声で楽しむ 165
記憶されたお好みの映像・音声設定を選ぶ
（AVポジション）.. 165
手動で映像を調整する.. 166
映像調整の項目... 166
音声だけを楽しむ（映像オフ）..................................... 168
映像をすっきりさせる（3次元ノイズリダクション）. 168
ちらつきを低減する（モスキートノイズリダクション） 168
動きの速い映像を見やすくする（QS駆動）................. 168
お好みの音声に調整する（音声調整）........................... 169
音声調整の基本操作 169
音声調整の項目... 169
二重音声放送やステレオ放送を楽しむ........................ 170
二重音声放送の音声切換... 170
ステレオ放送の音声切換... 170

便利な機能

（2画面･静止画･お好み登録･
クイック起動･省エネ）

2画面で見る 172
操作画面のチャンネルや入力を切り換えるには.. 173
操作画面を切り換えるには.................................. 173
1画面に戻すには.. 173
画面を静止させてメモをとる................................ 173
1画面に戻すには.. 173

お好みのチャンネルを登録する................ 174
お好み選局／登録画面に
チャンネルを登録する（お好み登録）..................... 174
お好み登録したチャンネルを確認する....................... 175
お好み登録を変更する 175
お好み選局／登録画面から
チャンネルを選局する（お好み選局）..................... 175

クイック起動機能を設定する 175

省エネ機能を使う....................................... 176
指定した時間後に電源を切る（オフタイマー）...... 176
オフタイマーの残り時間を見るには 176
放送終了後に電源を切る（無信号オフ） 176
操作しない状態のときに電源を切る（無操作オフ）....... 176

ページ

デジタル放送を快適に見るための設定

画面サイズや画面表示の設定 178

画面サイズ設定 178
録画画面サイズ設定.. 178
モニター出力表示設定.. 178
字幕を表示させるための設定 179
番組名を表示させるための設定 179

安心して使うための設定............................ 180

暗証番号設定 180
視聴年齢制限設定.. 180
PPV設定... 180
有料の番組の購入を制限する................................ 180
有料の番組の購入金額を制限する 180

お知らせを見る... 182

双方向通信を利用する................................ 183

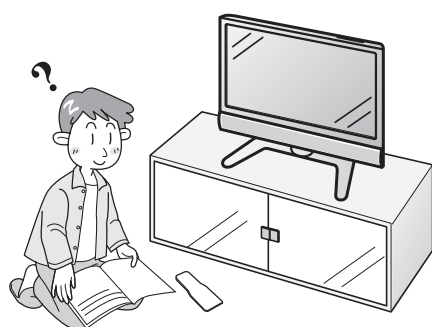
接続の種類を選ぶ(優先利用回線設定)...................... 183
双方向サービスの利用を制限する 183
プロバイダ設定 183

双方向通信を快適に楽しむ(LAN接続).... 184

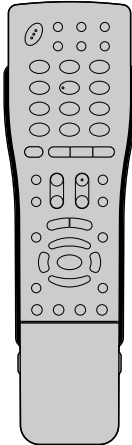
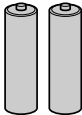
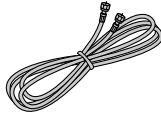
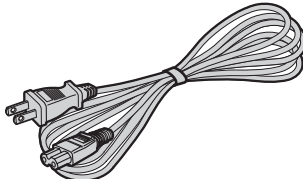
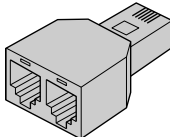
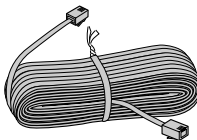
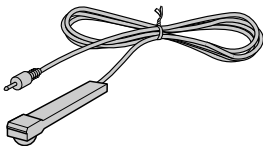
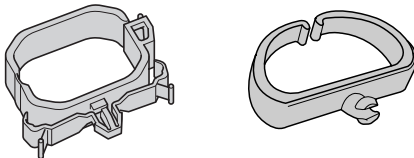
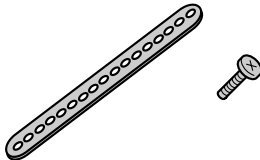
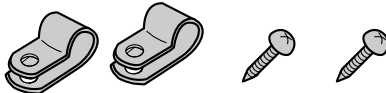
LAN設定 185
LAN設定の内容を変更・消去する.............................. 185

文字を入力する(ソフトウェアキーボード)..... 186

ソフトウェアキーボード(文字入力画面)の使いかた 186
文字を入力する 187
入力文字の種類 188

情報ページ
（困ったとき・知りたいこと）

故障かな？と思ったら 190
デジタル放送の注意文など 193
リセットボタンについて 195
テレビリセットボタン 195
デジタルリセットボタン 195
ダウンロードを行う 196
本機を譲渡・廃棄するときは 197
個人情報の初期化について 197
メニュー項目一覧 198
保証とアフターサービス 201
お客様ご相談窓口のご案内 202
おもな仕様 203
寸法図 204
別売品について 205
用語の解説 206
索引 208

Quick Start Guide

Part Names - Main Unit 210
Part Names - Remote Control Unit 212
Basic operation for channel selection 213
Inserting batteries in the remote control 214
Basic Operations 215
Turning the power on 215
Power on/off, channel selection, volume control 216
On-screen displays, CATV, input selection, etc. 217
Switching the Display Language to English 218
Enjoying Digital Broadcasts 219
Selecting a digital program 219
Factory preset digital channels 220
Various services of digital broadcasting 221

本機で使用している特許など 222

● 本機を廃棄または譲渡する場合には、個人情報の消去（初期化）をお願いします。（**197**ページ）
※ 本取扱説明書に掲載している画面表示は説明用のものであり、実際の表示とは多少異なります。

❶ 付属品

付属品をご確認ください

ご注意 B-CASカードは開封すると、添付されている契約約款に同意したとみなされます。開封前に必ず契約約款をよくお読みください。

● 安全と性能維持のため、同梱のケーブルを必ずご使用ください。

この取扱説明書の見かた

おしらせ 本取扱説明書では、各種機能の操作説明を、おもにリモコンを使った場合の記述にしています。（本体の操作ボタンを使う場合の説明は、「本体天面の○○ボタンを押す」などの表現にしてあります。）

録画予約する

ビデオ連動予約するとき

■ ビデオ連動予約とは、付属のビデオコントローラーを使い、予約時間に合わせてビデオデッキの録画を開始・終了させ、予約したデジタル放送の番組を録画する方法です。

おしらせ
・ビデオ連動予約を初めて行う場合は、あらかじめ、ビデオデッキ・ビデオコントローラーの接続（128ページ）、およびビデオ連動録画設定（129ページ）を済ませておいてください。

1 103ページ「「録画予約」を選んだ場合」の手順3で、◀で「ビデオ連動予約」を選び、決定を押す

・ビデオ連動録画設定が済んでいるときは、手順2の画面になります。
・ビデオ連動録画設定が済んでいないときは、つぎの画面が表示されます。

・「設定する」を選んで決定ボタンを押すと、ビデオ連動録画設定画面になります。設定を行ってください。（129ページ参照）

2 ◀▶で予約の種類を選び、決定を押す

「予約する」………… 無料放送や契約している有料放送が予約できます。
「詳細を設定する」… 映像・音声の詳細の予約設定ができます。視聴制限や購入金額制限の設定によって視聴や購入が制限されている番組の場合は暗証番号入力画面が表示されます。
→105ページへ

おしらせ
・デジタル放送をビデオデッキで録画する場合……録画することをおすすめします。
・ビデオ連動録画する場合は、入力4端子設定を「録画出力」に設定してください（132ページ参照）。
・ラジオ放送をMDで録音するときは、デジタル放送音声出力（光）端子の設定を「PCM」にしてください。（149ページ）
・あなたが録画（録音）したものは、個人として楽しむなどのほかは著作権法上、権利者に無断で使用できません。

104

- 機能の概要説明などです。
- 番号順に操作してください。
- テレビ画面に現れる表示です。※
- 操作の結果や補足的な説明です。
- 選択・入力する項目や欄です。
- 操作ボタンです。左のイラストのボタンに対応しています。
- 操作するときに使うリモコンのボタンです。
- 下の「本書で使われているマークについて」をご覧ください。

※ 本書に掲載している画面表示やイラストは、説明のためのものであり、実際とは多少異なります。

本書で使われているマークについて

正しくお使いいただくためのご注意です。

もう少し詳しい説明や、機能の制限事項です。

知っていると便利な情報です。

こんなときは ▶▶▶

お手入れをするときは
 19ページ

故障かな？と思ったら
 190ページ

分からない用語があるときは
 206ページ

安全上のご注意

ご使用前に「**安全上のご注意**」を必ず読み、正しく安全にご使用ください。

この取扱説明書および商品には、安全にお使いいただくためにいろいろな表示をしています。その表示を無視して誤った取り扱いをすることによって生じる内容を、つぎのように区分しています。
内容をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

 警告 人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。

 注意 人がけがをしたり財産に損害を受けるおそれがある内容を示しています。

図記号の意味
（図記号の一例です）

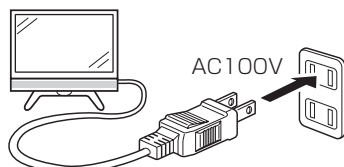
 記号は、気をつける必要があることを表しています。

 記号は、してはいけないことを表しています。

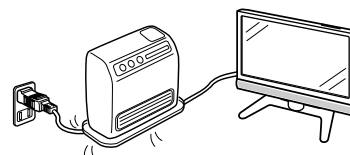
 記号は、しなければならないことを表しています。

警告

交流100ボルト以外の電圧で使用しない

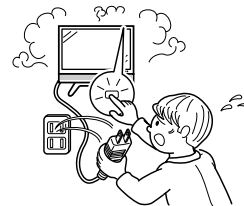
100ボルト
以外禁止

火災・感電の原因となります。

電源コードに重いものを載せたり、本機の下敷きにしたりしない

禁止

火災・感電の原因となります。

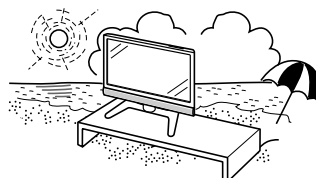
落としたり、キャビネットを破損したときは、本機の電源を切り、電源プラグを抜く

そのまま使用すると火災・感電の原因となります。販売店にご連絡ください。

煙やにおい、音などの異常が発生したら、本機の電源を切り、電源プラグを抜く

電源プラグ
を抜く

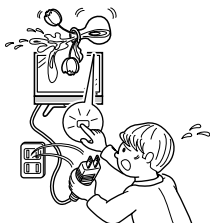
異常状態のまま使用すると火災・感電の原因となります。修理を販売店に依頼してください。お客様自身による修理は絶対におやめください。

テレビに水が入るような使いかたをしたり、ぬらしたりしない

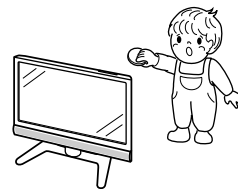
水ぬれ禁止

火災・感電の原因となります。雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。

⚠ 警告

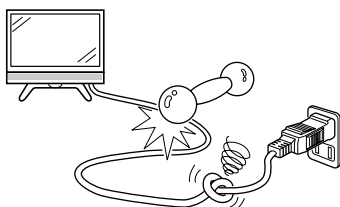
内部に水や異物が入ったときは、本機の電源を切り、電源プラグを抜く

電源プラグを抜く

そのまま使用すると火災・感電の原因となります。販売店にご連絡ください。

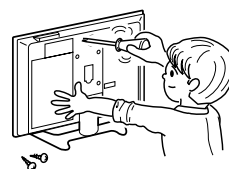
異物を入れない

禁止

通風孔（裏ぶたのすき間）などからものを入れると、火災・感電の原因となります。特にお子様にはご注意ください。

電源コードを傷つけたり、加工したり、ねじったり、引っ張ったり、無理に曲げたり、加熱したりしない

禁止

電源コードが傷んだら（芯線の露出、断線）交換をご依頼ください。そのまま使用すると、コードが破損して、火災・感電の原因となります。

本機の裏ぶたを外したり、改造したりしない

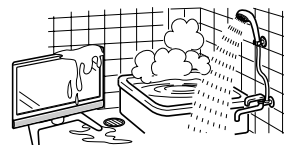
分解禁止

内部には電圧の高い部分があるため、さわると感電の原因となります。内部の点検、修理は販売店にご依頼ください。

本機の上に花びん等、水の入った容器を置かない

水ぬれ禁止

水がこぼれるなどして中に入ると、火災・感電の原因となります。

風呂やシャワー室では使用しない

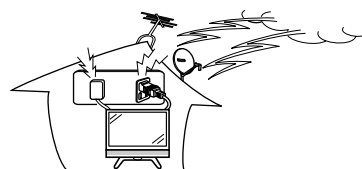
風呂、シャワー室での使用禁止

火災・感電の原因となります。

不安定な場所に置かない

禁止

落ちたり倒れたりして、けがの原因となります。

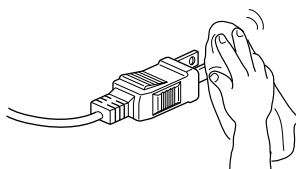
雷が鳴り出したら、アンテナ線やプラグに触れない

接触禁止

感電の原因となります。

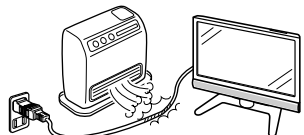
電源プラグの刃や刃の付近に、ホコリや金属物が付着しているときは、プラグを抜いて乾いた布で取り除く

ほこりを取る

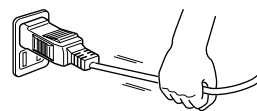
そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

次ページへつづく

⚠ 注意

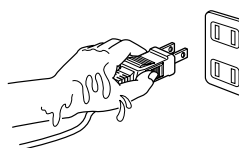
電源コードを熱器具に近づけない

禁止

電源コードの被覆が溶けて火災・感電の原因となることがあります。

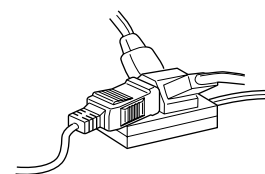
電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない

禁止

電源コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

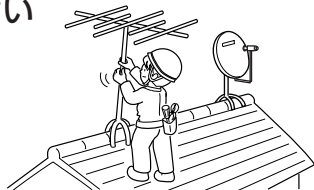
ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

ぬれ手禁止

感電の原因となることがあります。

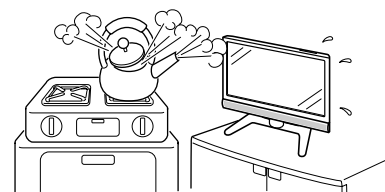
タコ足配線をしない

禁止

火災・感電の原因となることがあります。

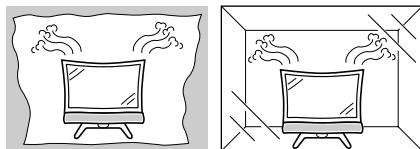
アンテナ工事は、技術経験が必要ですので販売店にご相談ください

離して配置

- 送配電線の近くに設置してしまうと、アンテナが倒れた際に感電の原因となることがあります。
- BS・110度CSデジタル放送受信アンテナは強風の影響を受けやすいので堅固に取り付けてください。

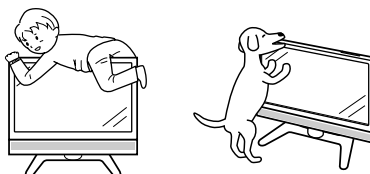
湿気やほこりの多いところ、油煙や湯気が当たるところに置かない

禁止

調理器具や加湿器などのそばに置くと、火災・感電の原因となることがあります。

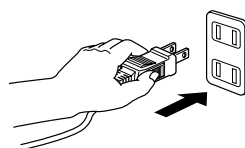
風通しの悪いところに入れない・密閉した箱に入れない・じゅうたんや布団の上に置かない・布などをかけない

禁止

通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

重いものを置いたり、上に乗ったりしない

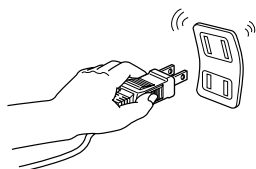
禁止

倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。特にお子様やペットにはご注意ください。

電源プラグは確実に差し込む

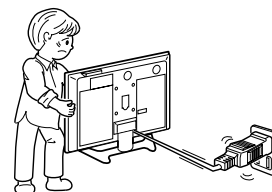
確実に差し込む

電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全ですと発熱したり、ホコリが付着して火災・感電の原因となることがあります。また、電源プラグの刃に触れると感電することがあります。

⚠ 注意

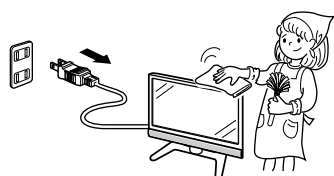
電源プラグはゆるみのあるコンセントに接続しない

禁止

発熱して火災の原因となることがあります。販売店や電気工事店に交換の依頼をしてください。

移動させるときは、接続されている線などをすべて外す

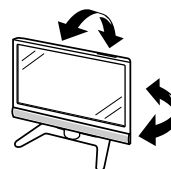
接続線をはずす

接続線を外さないで移動させると、電源コードが傷つき火災・感電の原因となることがあります。

お手入れのときや長期間使用しないときは、電源プラグを抜く

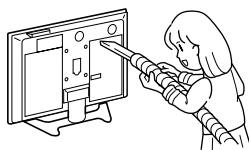
電源プラグを抜く

感電や火災の原因となることがあります。

スタンドの角度を調整するときは注意する

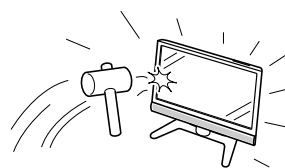
手を挟まれないよう注意

指のケガに注意

手や指がはさまれてけがの原因となることがあります。また無理に傾けると転倒して落下やけがの原因となることがあります。

通風孔に付着したホコリやゴミをこまめに取り除く
内部の掃除は販売店に依頼する

注意

内部や通風孔にホコリをためたまま使用すると、火災や故障の原因となることがあります。内部の掃除費用については、販売店にご相談ください。

液晶画面に衝撃を与えない
（物を当てたり、先の尖ったもので突いたりしない）

禁止

液晶画面のパネルが割れることがあります。

ご注意 お客さままたは第三者がこの製品の使用誤り、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については、法令上賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

次ページへつづく

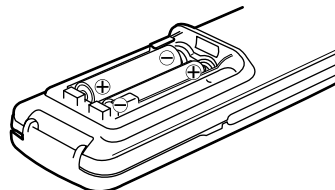
電池についての安全上のご注意

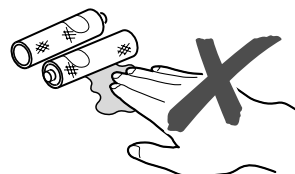
液もれ・破裂・発熱による大けがや失明を避けるため、下記の注意事項を必ずお守りください。

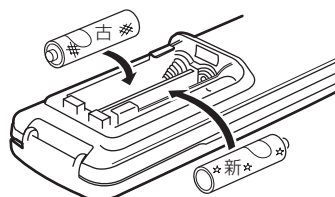
⚠ 注意

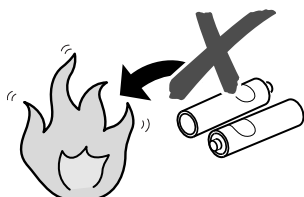
電池は幼児の手の届く所に置かない

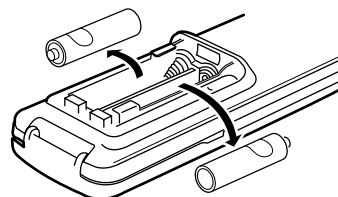
電池は飲み込むと、窒息の原因となったり、胃などに止まったりして大変危険です。飲み込んだおそれがあるときは、ただちに医師と相談してください。

電池はプラス⊕とマイナス⊖の向きに注意し、機器の表示どおり正しく入れる

間違えると電池の破裂・液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

電池の液がもれたときは素手でさわらない

- 電池の液が目に入ったときは、失明のおそれがありますので、こすらずにすぐにきれいな水で洗ったあと、ただちに医師の治療を受けてください。
- 皮膚や衣類に付着した場合は皮膚に傷害を起こすおそれがありますので、すぐにきれいな水で洗い流してください。皮膚の炎症など傷害の症状があるときは、医師に相談してください。

指定以外の電池を使わない。新しい電池と古い電池または種類の違う電池を混ぜて使わない

電池の破裂・液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

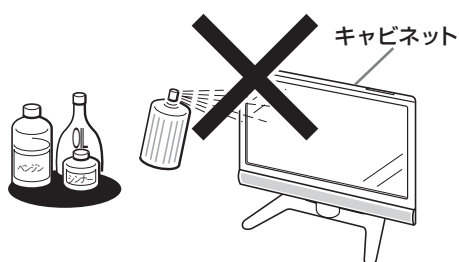
電池は火や水の中に投入したり、加熱・分解・改造・ショートしない。乾電池は充電しない

電池の破裂・液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

電池を使い切ったときや、長時間使わないときは、電池を取り出す

電池を入れたままにしておくと、過放電により液がもれ、故障・火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

使用上のご注意

守っていただきたいこと

キャビネットのお手入れのしかた

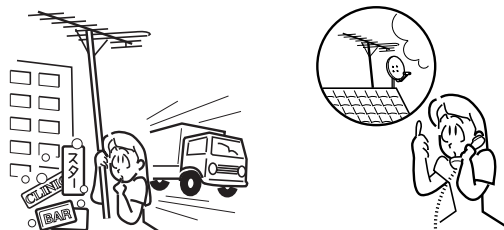
- キャビネットにはプラスチックが多く使われています。ベンジン、シンナーなどで拭いたりしますと変質したり、塗料がはげることがありますので避けてください。
- 殺虫剤など、揮発性のものをかけないでください。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしないでください。プラスチックの中に含まれる可塑剤の作用により変質したり、塗料がはげるなどの原因となります。

- 汚れはネルなど柔らかい布で軽く拭きとってください。
- 汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤にひたした布をよく絞って拭きとり、乾いた布で仕上げてください。

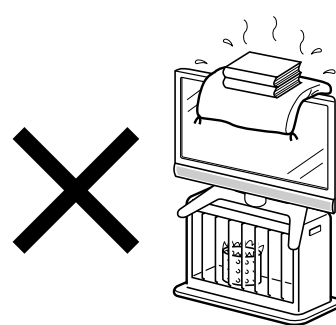
液晶ディスプレイパネルのお手入れのしかた

- お手入れの際は、必ず本体天面の電源(押・入-切)スイッチを「切」にし、コンセントから電源プラグを抜いてから行ってください。
- 本機のディスプレイパネルの表面は、柔らかい布(綿、ネル等)で軽く乾拭きしてください。硬い布で拭いたり、強くこすったりすると、パネルの表面に傷がつきますのでご注意ください。
- 汚れがひどい場合は、柔らかい布を軽く水で湿らせて、そっと拭いてください。(強くこすったりすると、ディスプレイパネルの表面に傷が付いたりしますので、ご注意ください。)
- ディスプレイパネルの表面にホコリがついた場合は、市販の除塵用ブラシ(静電気除去ブラシ)をお使いください。
- ディスプレイパネルの保護のため、ホコリのついた布や洗剤、化学雑巾などを使わないでください。パネルの表面がはく離することがあります。

AQUOS
クリーニングクロス
推奨品
CA300WH1※
CA300WH2※

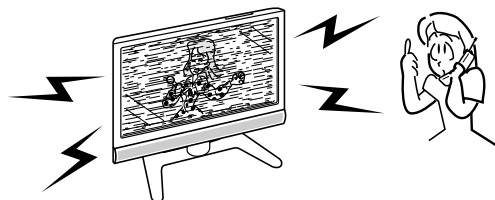
アンテナについて

- 妨害電波の影響を避けるため、交通のひんぱんな自動車道路や電車の架線、送配電線、ネオンサインなどから離れた場所に立ててください。
  万一アンテナが倒れた場合の感電事故などを防ぐためにも有効です。
- アンテナ線を不必要に長くしたり、束ねたりしないでください。映像が不安定になる原因となりますのでご注意ください。BS・110度CSデジタル放送用のアンテナ線には、必ず専用のケーブルを使用してください。(**34**ページ参照)
- アンテナは風雨にさらされるため、定期的に点検、交換することを心がけてください。美しい映像でご覧になれます。特にばい煙の多いところや潮風にさらされるところでは、アンテナが傷みやすくなります。映りが悪くなったときは、販売店にご相談ください。

設置について

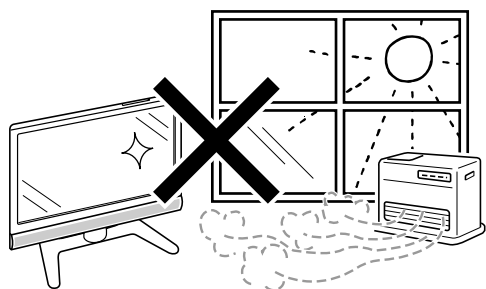
- 発熱する機器の上には本機を置かないでください。
- 本機の上には物を置かないでください。

電磁波妨害に注意してください

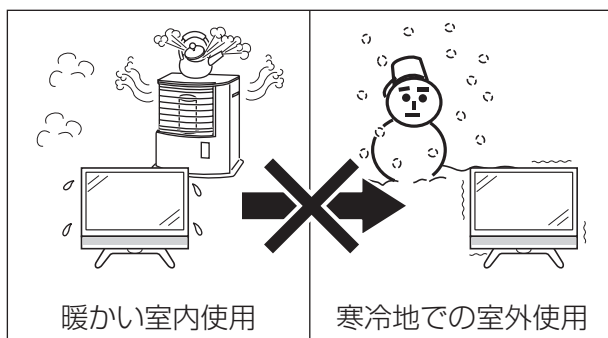
- 本機の近くで携帯電話などの電子機器を使うと、電磁波妨害などにより機器相互間での干渉が起こり、映像が乱れたり雑音が発生したりすることがあります。

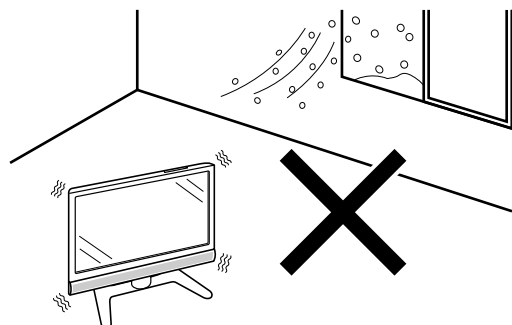
※販売店またはシャープホームページ内のSharp Life Plaza(ネット販売)でお求めください。

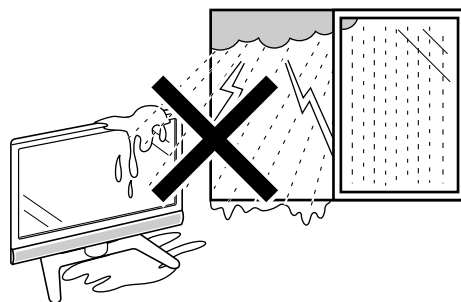
次ページへつづく

守っていただきたいこと

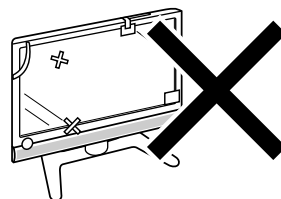
直射日光・熱気は避けてください

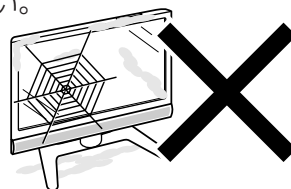
- 窓を閉めきった自動車の中など異常に温度が高くなる場所に放置すると、キャビネットが変形したり、故障の原因となることがあります。
- 直射日光が当たる場所や熱器具の近くに置かないでください。キャビネットや部品に悪い影響を与えますのでご注意ください。

急激な温度差がある部屋(場所)でのご使用は避けてください

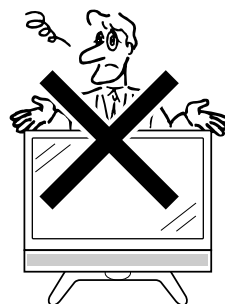
- 急激な温度差がある部屋(場所)でのご使用は、画面の表示品位が低下する場合があります。

低温になる部屋(場所)でのご使用の場合

- ご使用になる部屋(場所)の温度が低い場合は、画像が尾を引いて見えたり、少し遅れたように見えることがありますが、故障ではありません。常温に戻れば回復します。
- 低温になる場所には放置しないでください。キャビネットの変形や液晶画面の故障の原因となります。(使用温度:0℃～40℃)

雨天・降雪中でのご使用の場合

- 雨天・降雪中でのご使用の場合は、本機をぬらさないようにご注意ください。

ステッカーやテープなどを貼らないでください

- キャビネットの変色や傷の原因となることがあります。

長期間ご使用にならないとき

- 長期間使用しないと機能に支障をきたす場合がありますので、ときどき電源を入れて作動させてください。

国外では使用できません

- この製品が使用できるのは日本国内だけです。外国では放送方式、電源電圧が異なりますので使用できません。
  This product is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.

守っていただきたいこと

B-CASカードは必要なときだけ抜き差しする

- 必要以外に抜き差しすると故障の原因となることがあります。
- B-CASカードの中にはICチップが内蔵されています。折り曲げたり、大きな衝撃を加えたり、端子部に触れたりしないようご注意ください。
- 本機に差し込むときは「逆差し込み」や「裏差し込み」にならないよう、右上図の通りに挿入してください。

結露（つゆつき）について

- 本機を寒い場所から急に暖かい場所に持ち込んだときや、冬の朝など暖房を入れたばかりの部屋などで、本機の表面や内部に結露が起こることがあります。結露が起きたときは、結露がなくなるまで電源を入れずにお待ちください。そのままご使用になると故障の原因となります。

使用が制限されている場所

- 航空機の中など使用が制限または禁止されている場所で使用しないでください。事故の原因となるおそれがあります。

取扱い上のご注意

- 液晶画面を強く押したり、ボールペンのような先の尖ったもので押さないでください。また、落としたり強い衝撃を与えないようにしてください。特に液晶画面のパネルが割れることがあります。
- 振動の激しいところや不安定なところに置かないでください。また、絶対に落としたりしないでください。故障の原因となります。

使用環境について

- 本機を冷え切った状態のまま室内に持ち運んだり、急に室温を上げたりすると、動作部に露が生じ（結露）、本機の性能を十分に発揮できなくなるばかりでなく、故障の原因となることがあります。このような場合は、よく乾燥するまで放置するか、徐々に室温を上げてからご使用ください。

注意

- 周囲温度は0～40℃の範囲内でご使用ください。正しい使用温度を守らないと、故障の原因となります。

注意

- 長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

電源プラグを抜く

■静止画を長時間表示しないでください。残像の原因となることがあります。

蛍光管について

■本機に使用している蛍光管には、寿命があります。

- 画面が暗くなったり、チラついたり、点灯しないときは、新しい専用蛍光管ユニットに取り替えてください。
  寿命の目安…約60,000時間（室温25℃で、明るさを「標準」に設定して連続使用した場合、明るさが半減する時期の目安）
- 詳しくは、販売店またはシャープお客様ご相談窓口にお問い合わせください。

■ご使用初期において、蛍光管の特性上、画面にチラツキが出ることがあります。
この場合、本体天面の電源（押・入-切）スイッチをいったん「切」にし、再度電源を入れなおして動作を確認してください。

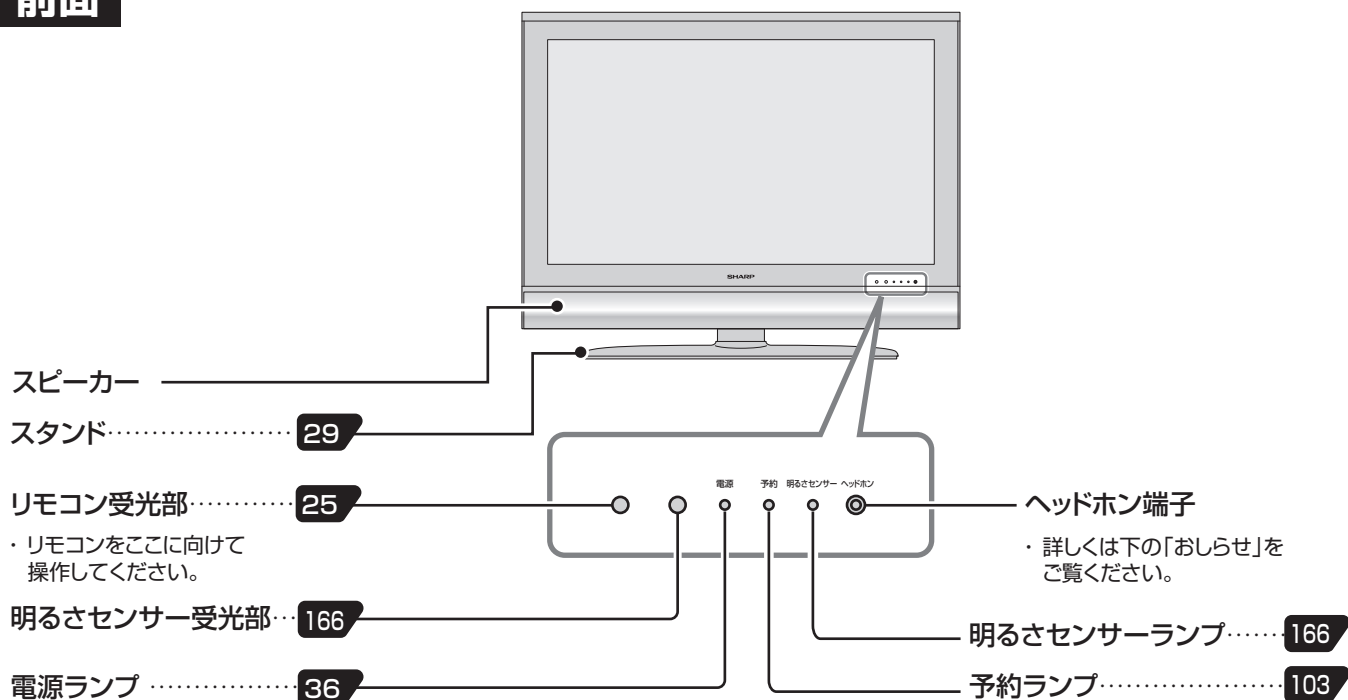
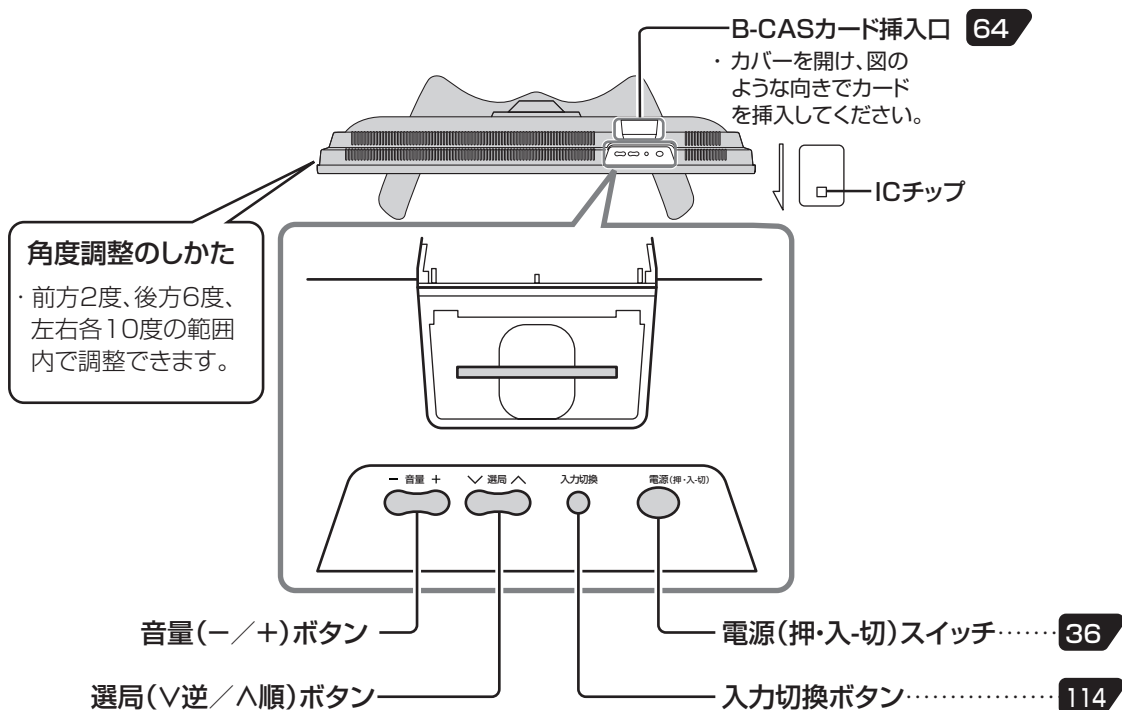
各部のなまえ〈本体〉

 の中の数字は、説明や操作方法を掲載しているおもなページです。

前面

天面

ヘッドホン端子について

おしらせ

- ステレオミニプラグ(φ3.5mm)の付いたヘッドホンをご用意ください。
- ヘッドホンを使わないときは、必ず、ヘッドホン端子からプラグを抜いてください。
- ヘッドホン接続時は、スピーカーから音声が出ません。
- ヘッドホンを接続して音声を聴いているときは、音声調整(**169**ページ)の設定はできません。
- 入力ごとに別々の音量に設定できます。

ヘッドホン接続時の音量表示

30

背面

※端子カバーの外しかたについては、**28**ページ「**端子カバーの外しかた**」をご覧ください。

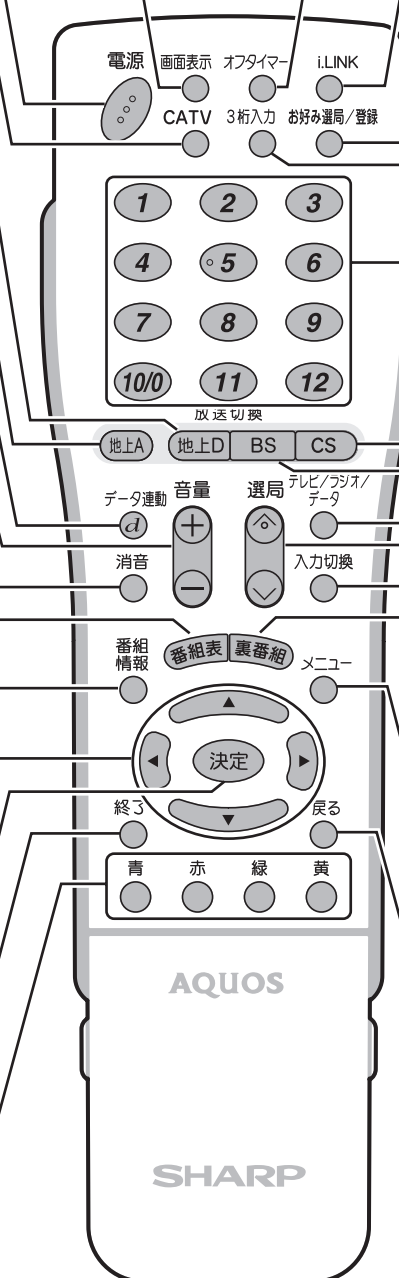
デジタルリセットボタン… 195
テレビリセットボタン…… 195
工場調整用端子カバー
コントロール（RS-232C）端子 …………… 156
i.LINK（TS）端子… 136
ビデオコントロール端子… 128
LAN端子（10BASE-T/100BASE-TX）* ………… 184
デジタル音声出力（光）端子 …………… 148
入力6（音声入力）………… 122・150
＊ LAN端子（10BASE-T/100BASE-TX）…デジタル放送の双方向通信用端子（LAN：ローカルエリアネットワークの略称です。）
電話線をつなぐ
電話回線端子………………… 74
入力6（DVI-I）…………… 122・150
入力5（HDMI）…… 120
高画質対応のDVDプレーヤーなどをつなぐ
電源コードを接続する
電源コード接続部（AC入力100V）… 35
入力1・2………… 114
録画出力／モニター出力／入力4 ………………… 132
録画用機器をつなぐ（入力4）
▼端子カバーを外したところ

ハイビジョン画質で録画したいとき

- 録画出力／モニター出力の映像は標準画質です。ハイビジョン画質をそのまま録画したいときは、i.LINK端子にD-VHSビデオデッキ、AV-HDDレコーダー、Blu-ray Discレコーダーのいずれかを接続します。

地上アナログアンテナ（U / V）をつなぐ
アンテナ入力（VHF・UHF）端子 33
アンテナ出力（VHF・UHF）端子 33
アンテナ入力（地上デジタル）端子…… 33
地上デジタルアンテナをつなぐ
アンテナ入力（BS・110度CS）端子… 34
BSアンテナをつなぐ
入力3 116・124 ビデオカメラなどをつなぐ

各部のなまえ〈リモコン〉

フタを閉じたところ
画面表示 39
画面表示(チャンネルサインなど)を入／切します。
電源 36
電源を入／切(電源待機)します。
CATV 83
CATV放送を選局するときチャンネル番号を入力して使います。
地上D 放送切換 68・82
地上デジタル放送の画面に切り換えます。
地上A 放送切換 52・82
地上アナログ放送の画面に切り換えます。
データ連動(d) 90
デジタル放送のテレビ番組に連動したデータ放送を呼び出します。
音量(+／−)
音量を調整します。
消音
音を一時的に消します。
※ 消音となってから30分経過すると自動的に音量0になります。この状態から音声を聞くには、音量+ボタンで音量を調整してください。
番組表 82・92
デジタル放送の電子番組表(EPG)の表示を入／切します。
番組情報 90
視聴中のデジタル番組の詳細な情報を表示します。
カーソル(上・下・左・右) 44
メニューや項目を選びます。
決定 44
カーソルで選んだメニュー項目や設定内容を決定します。
終了 44
静止画面、電子番組表やメニュー操作などを終了します。
おしらせ メニューや電子番組表の操作が途中で分からなくなったときなどに使うと便利です。
カラーボタン(青・赤・緑・黄) 90・92・186
デジタル放送の電子番組表(EPG)やデータ番組の操作に使います。
オフタイマー 176
電源を指定時間後に切ります。
i.LINK 140
i.LINK操作パネルを表示します。
お好み選局／登録 83・174
お好み登録したチャンネルの選局と登録されているチャンネルの確認／登録画面の表示を入／切します。
3桁入力 83
3桁チャンネル番号を入力してデジタル放送を選局するときに使います。
チャンネル 82
●各ネットワーク(地上A・地上D・BS・CS)のメディア(テレビ／ラジオ／データ)ごとのチャンネル選局をします。
●各種設定の数字入力にも使用します。
CS 放送切換 82
110度CSデジタル放送の画面に切り換えます。
BS 放送切換 82
BSデジタル放送の画面に切り換えます。
テレビ／ラジオ／データ 82
メディア(放送の種類)を切り換えます。
選局(∧順／∨逆) 82
視聴している放送チャンネルを順／逆で選局します。
※工場出荷時の状態では、CATVチャンネルはスキップ設定されています。
入力切換 114・135
入力を切り換えます。
押すたびに入力が切り換わります。
(入力1〜4は、端子にケーブルが接続されているときに選べます。)
裏番組 98
デジタル放送の裏番組表の表示を入／切します。
メニュー 44
メニュー画面の表示を入／切します。
戻る 44
1つ前の画面に戻ります。
操作を誤ったときや、やりなおしたいときは、決定ボタンを押さず、戻るボタンを押します。
電源
画面表示
オフタイマー
i.LINK
CATV
3桁入力
お好み選局/登録
1
2
3
4
5
6
7
8
9
10/0
11
12
放送切換
地上A
地上D
BS
CS
データ連動
音量
選局
テレビ/ラジオ/データ
消音
入力切換
番組情報
番組表
裏番組
メニュー
決定
終了
戻る
青
赤
緑
黄
AQUOS
SHARP

デジタル登録 …… 86
チャンネルボタンに登録されているデジタルチャンネルの確認／登録画面を表示します。

静止 …… 173
視聴中の番組を静止画で表示します。

画面サイズ …… 152・161
お好みの画面サイズを選びます。

映像切換 …… 89
デジタル放送の複数の映像を切り換えます。

2画面 …… 172
2画面表示を入／切します。

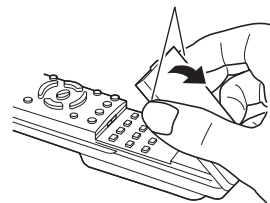
操作切換 …… 173
2画面表示のとき、操作できる画面を切り換えます。

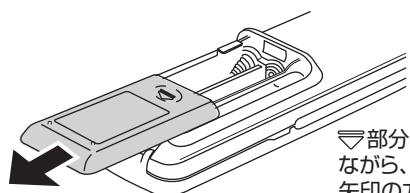
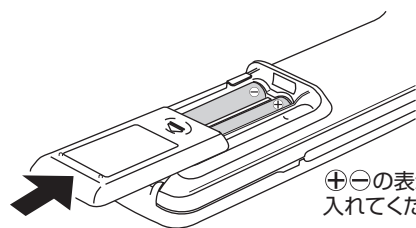
GR …… 84
GR(ゴースト軽減)機能を入／切します。

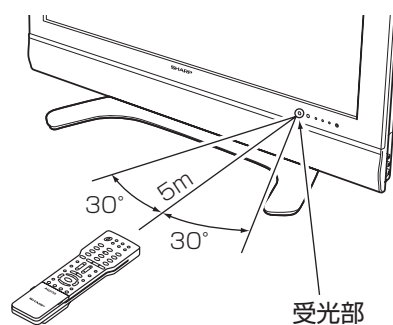
AVポジション …… 165
お好みのAVポジションを選びます。

字幕 …… 179
デジタル放送の字幕表示を入／切します。

音声切換 …… 89・170
複数の音声を切り換えます。

フタの開けかた
両側の突起部を持ち、引き上げます。

❷乾電池の入れかた

1 カバーを開ける

2 付属の単4形乾電池を入れ、カバーを元どおりに閉める

リモコンで操作できる範囲

リモコンは、画面右下の受光部に向けて操作してください。操作できる範囲は受光部から約5m、上下左右に約30度以内です。

リモコンで動作しにくいとき

- リモコンとディスプレイの受光部との間に障害物があると、操作できないことがあります。
- 乾電池が消耗した場合は、操作できる距離が徐々に短くなりますので、早めに新しい乾電池に交換してください。
- 蛍光灯などが近くにある場合には、動作しにくいことがあります。

リモコン使用上のご注意

- リモコン送信機には衝撃を与えないでください。また、水に濡らしたり湿度の高いところに置いたりしないでください。
- リモコン受光部に直接日光や強い照明が当たっているとリモコンが動作しにくくなります。
  照明の向きを変えるなどしてみてください。

本機の特長

- 37型大画面液晶パネルでデジタルハイビジョンをリアルに再現
- 青・緑・赤の波長に「深紅」を加え、ピュアな赤を忠実に再現する「4波長バックライト」を新開発
- 高開口率スピーカーシステム搭載による音抜けの良いクリアなサウンド
- 低消費電力・長寿命設計、ノンハロゲン材の採用など環境面に配慮した設計

動きの速いシーンも見やすく、くっきり

クイックシュート駆動機能

詳しくは ☞ **168**ページ

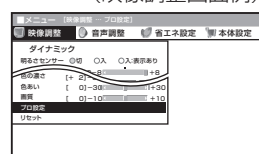
お好みの映像レベルが選べるAVポジション

AVポジション
ダイナミック
標準
映画
ゲーム
PC
AVメモリー
ダイナミック(固定)

詳しくは ☞ **165**ページ

プロ設定できめ細かな映像調整

映像調整…**166**ページ
音声調整…**169**ページ

(映像調整画面例)

プロ設定

- お好みの色合いに調整したり、より奥ゆき感を出したり、コントラストを調整したりすることができます。(ハイビジョン放送に対しては設定が制限されます。)

詳しくは ☞ **167**ページ

電力資源を有効に使う省エネ機能

- 明るさセンサー
- 映像オフ
- 無信号オフ
- 無操作オフ

詳しくは ☞ **166・168・176**ページ

デジタルダブルチューナー搭載

- デジタル放送を視聴しながら、デジタル放送の裏番組を録画することができます。

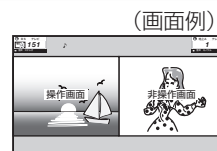
迫力と臨場感あふれるサウンドを再現

サラウンド

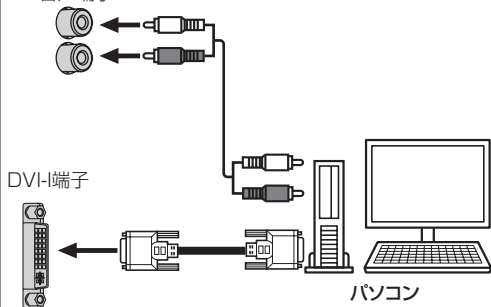
詳しくは ☞ **169**ページ

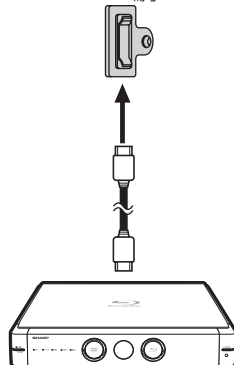
2画面機能

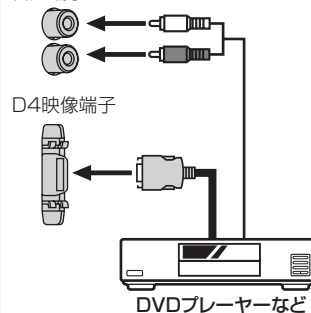
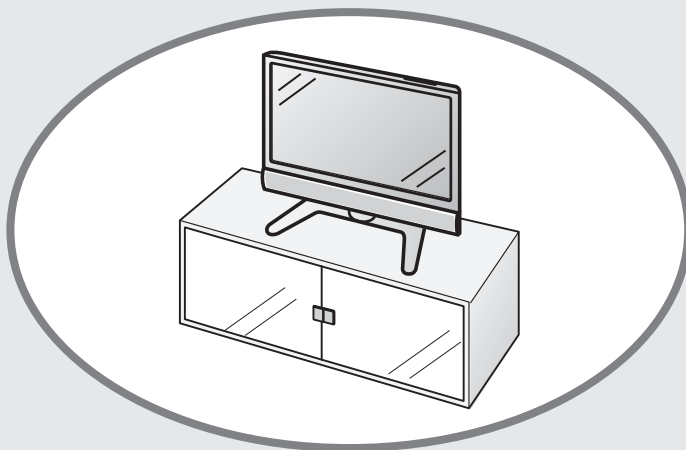
- 左右の画面で別々の番組が見られます。

(画面例)

詳しくは ☞ **172**ページ

DVI-I端子装備

- お手持ちのパソコンなどをつないで、デジタル写真などをテレビ画面で見ることができます。
詳しくは ☞ **122・150**ページ

HDMI端子装備

- 映像と音声信号を1つの端子で接続することができます。
詳しくは ☞ **120**ページ

ハイビジョン映像の入力に対応したD4映像端子装備

- 背面にD4映像端子を装備。DVDプレーヤーなどを接続し、美しい高精細映像が楽しめます。
詳しくは ☞ **118**ページ

設置

ページ

設置のしかた 28
設置のながれ 28
設置について 28
端子カバーの外しかた 28
スタンドの外しかた 29
壁掛け設置のしかた 29
転倒防止について 30
壁や柱に固定する 30
テレビ台に固定する 30

設置のしかた

末永くお使いいただくため、安全で、安定した環境に設置していただきますようお願いします。

設置のながれ

1.端子カバーを外す(下記❸)

↓

2.必要な接続をする(**32**〜**35**ページ)

↓

3.端子カバーを取り付ける

↓

4.設置する → **壁に掛けてお使いになる場合は**
スタンドを外し、壁掛け金具を使って設置してください。
(**29**ページ)

↓

5.転倒防止策を行う(**30**ページ)

設置について

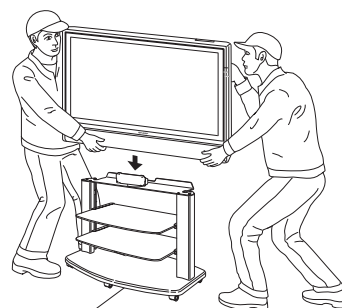
■ 傾斜のない、平らな場所に設置してください。
すべりやすい面、カーペットなどのやわらかい面、不安定な場所には設置しないでください。

■ 極端に温度が高い場所や温度が低い場所には、設置しないでください。(使用温度0℃〜40℃)

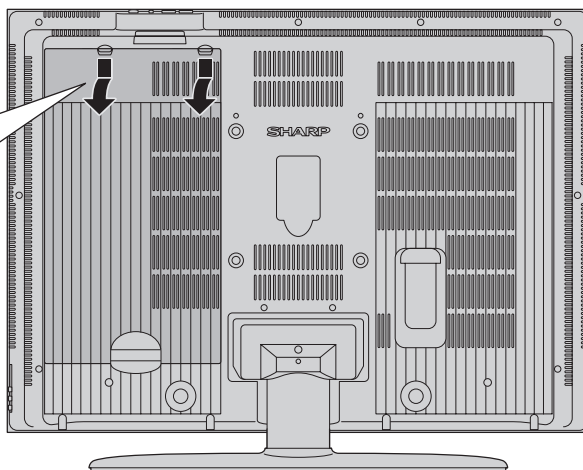
■ 別売の壁掛け金具(AN-37AG2)やフロアーラック(AN-45FR1)に取り付けてご使用になれます。

ご注意

- 台などに設置する場合は、本機の重量に耐え得る堅固なもので、十分な幅と奥行きのある、転倒しにくいものを使用してください。
- キャスター付きのテレビ台をご使用の場合、移動するとき以外は必ずキャスター用受皿を使用してください。

フロアーラックに設置する場合
(詳しくはフロアーラックの取扱説明書をご覧ください。)

❸ 端子カバーの外しかた

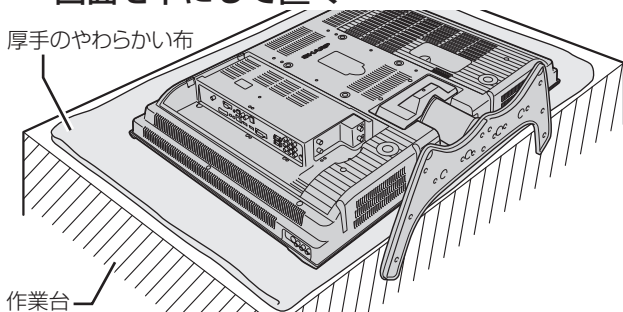
▼本体背面

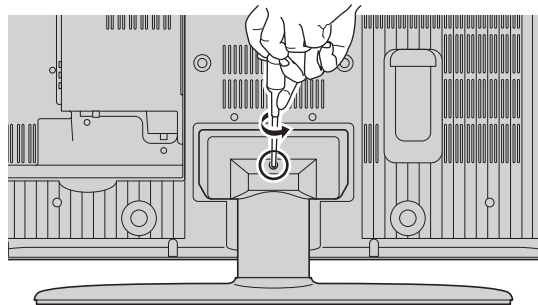
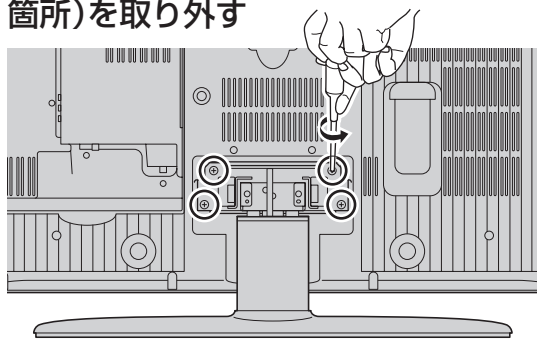
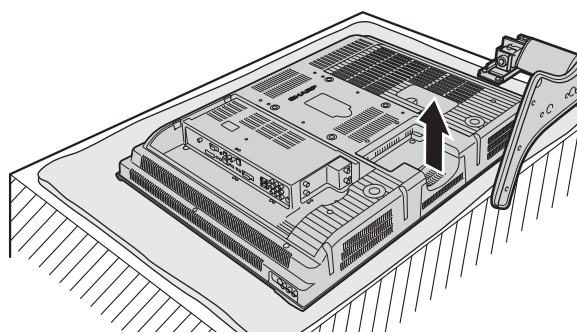
フックを下方に押しながら端子カバーを外します。

■ 別売の壁掛け金具（AN-37AG2）で壁掛け設置する場合などは、付属のスタンドを外して使用します。

スタンドの外しかた

作業を始める前に

- 端子カバーを外してください。（**28**ページ参照）
- 接続されているケーブル類をすべて取り外してください。
- 必ず2人以上で作業を行ってください。
- 外したスタンドは本機以外に使用しないでください。
- 外したネジは、再度スタンドを取り付ける場合に必要です。スタンドと共に保管してください。

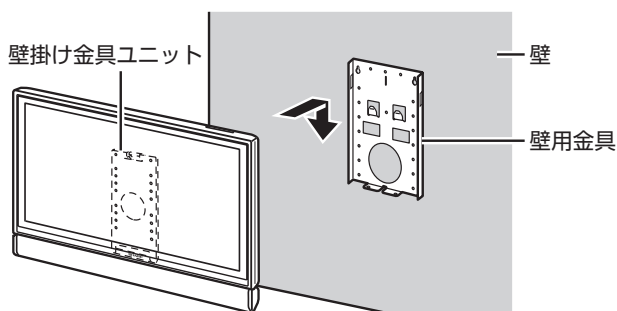
1 テーブルなどの台を用意し、毛布など厚手の柔らかい布を敷き、その上に本体を画面を下にして置く

2 スタンドのカバーのネジ（1箇所）を取り外す

- ⊕（プラス）ドライバーを使います。

3 スタンドカバーを取り外したあと、スタンドのジョイントアングル部のネジ（4箇所）を取り外す

4 スタンドを下に引いてから、上に持ち上げて取り外す

壁掛け設置のしかた

■ 本機を別売の壁掛け金具（AN-37AG2）を使って壁掛け設置して使用することができます。

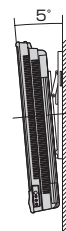
■ 取付け方法など詳しくは、別売品に付属の取扱説明書をご覧ください。

- 液晶カラーテレビの設置には、特別な技術が必要ですので、必ず専門の取付け工事業者にご依頼ください。お客さまご自身による工事は一切行わないでください。
  取付け不備、取扱い不備による事故、損傷については、当社は責任を負いません。

〈壁掛け金具（AN-37AG2）〉
（詳しくは壁掛け金具の取扱説明書をご覧ください。）

※ 本機に取り付ける金具について：
金具の刻印「I」の位置を本機背面下側の取付け穴に合わせてください。
取付けビスは、必ず壁掛け金具（AN-37AG2）に同梱のテレビ取付用ビスⓑ（M6、長さ12mm）をご使用ください。

壁掛け金具を取り付ける場合の寸法は、**204**ページをご覧ください。

取付け時の角度について

- 壁に掛けて使う場合の取付け角度は、5度までです。それ以上は傾けないでください。
- 取付け角度調整をするときは、本体をゆっくりと傾けてください。

転倒防止について

⚠注意 不意の地震のときや衝撃などで、テレビが倒れてけがをするおそれがあります。安心してご使用いただくために、転倒防止策の実施をお願いします。

壁や柱に固定する

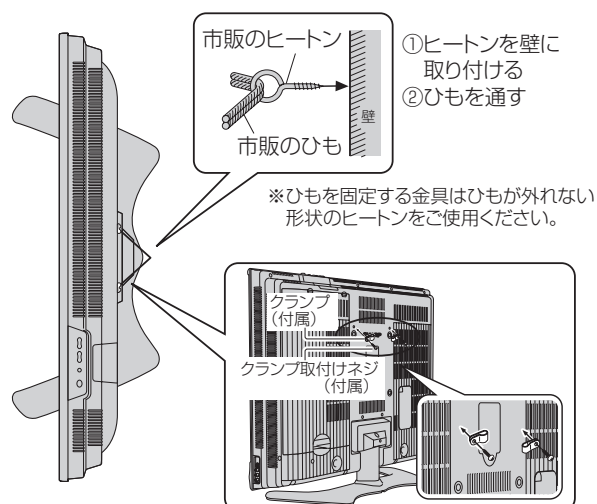
1 付属の転倒防止用のクランプ(2個)を、付属のクランプ取付けネジで取り付けます。

2 市販の丈夫なひもと金具(ヒートン)を使い、壁または柱に固定します。

付属の転倒防止用部品

クランプ×2

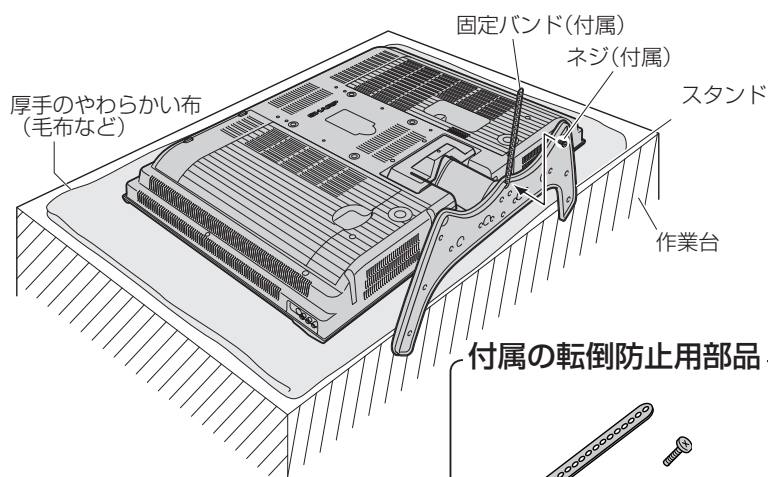
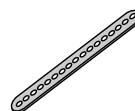
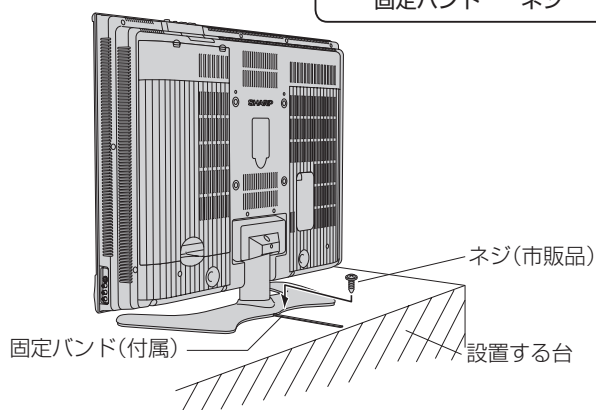
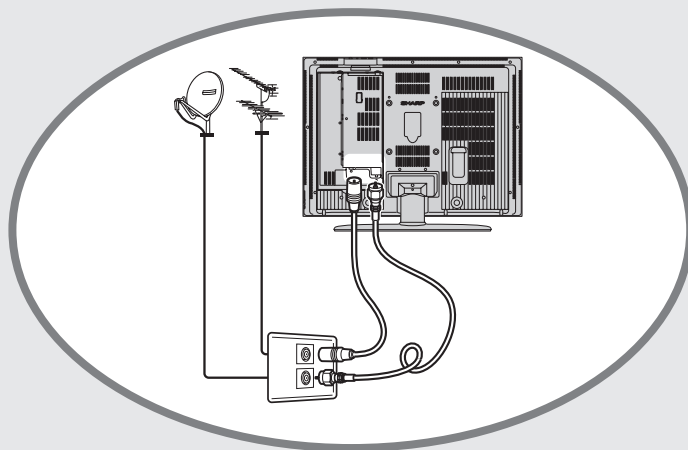
クランプ取付けネジ×2

上から見た図

テレビ台に固定する

1 作業をする平らな台の上に厚手の柔らかい布などを敷き、その上に本機を、画面を下にしたうつ伏せの状態で置きます。

2 スタンド底面に、付属の転倒防止用の固定バンドを、付属のネジで取り付けます。

3 本機を起こし、設置する台などの上に位置決めします。

4 市販のネジを使い、固定バンドの穴に上からネジを取り付けて固定します。
※市販のネジは、確実に固定できる形状のものを使用してください。

- 本機はかなりの重量がありますので、台に設置するときは、この重さに耐える堅固なもので、かつ十分な幅と奥行のある、転倒しない台を使用してください。
- 必ず2人以上で作業を行ってください。

アンテナや電源の接続

ページ

VHF/UHFアンテナをつなぐ........................32

BS･110度CSデジタル共用
アンテナをつなぐ......................................34

電源コードをつなぐ......................................35

ケーブル処理のしかた...................................35

電源を入れる 36

❹ VHF/UHFアンテナをつなぐ

■ 付属のVHF／UHF用アンテナケーブル·長（差し込みタイプの方）、市販のアンテナ整合器などを、部屋のアンテナ端子の種類や使用するアンテナ線に応じて接続し、本体背面端子部のアンテナ入力（VHF·UHF）端子に接続してください。（下図A参照）

■ 付属のアンテナケーブル·短で、本体背面端子部のアンテナ出力（VHF·UHF）端子とアンテナ入力（地上デジタル）端子を接続します。（下図B参照）

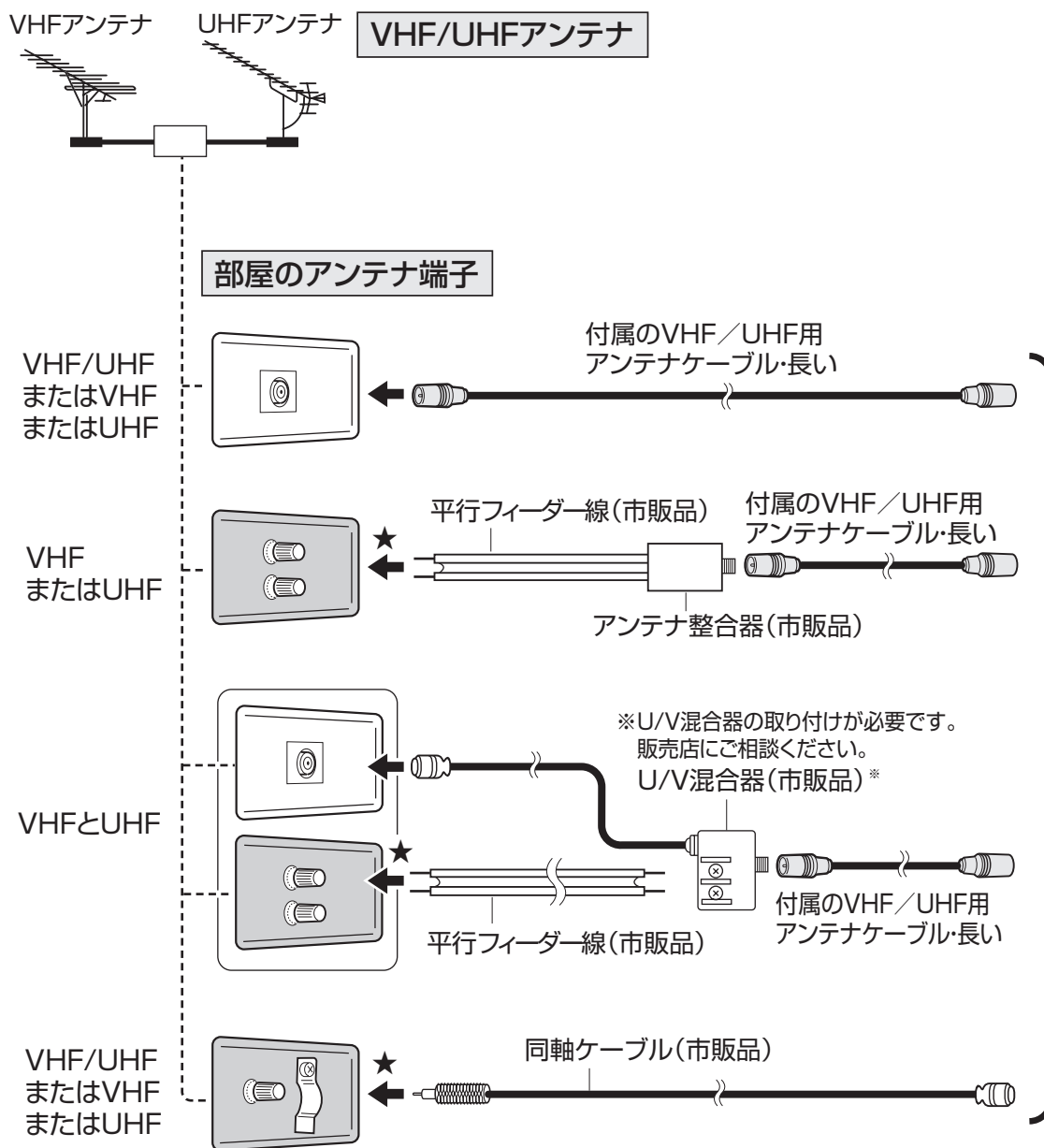
VHFアンテナ　UHFアンテナ　**VHF/UHFアンテナ**

部屋のアンテナ端子

VHF/UHF またはVHF またはUHF　付属のVHF／UHF用アンテナケーブル·長い

VHF またはUHF　★　平行フィーダー線（市販品）　付属のVHF／UHF用アンテナケーブル·長い　アンテナ整合器（市販品）

VHFとUHF　★　※U/V混合器の取り付けが必要です。販売店にご相談ください。　U/V混合器（市販品）※　平行フィーダー線（市販品）　付属のVHF／UHF用アンテナケーブル·長い

VHF/UHF またはVHF またはUHF　★　同軸ケーブル（市販品）

★のタイプの端子をご使用の場合、画面にノイズが出るときがあります。

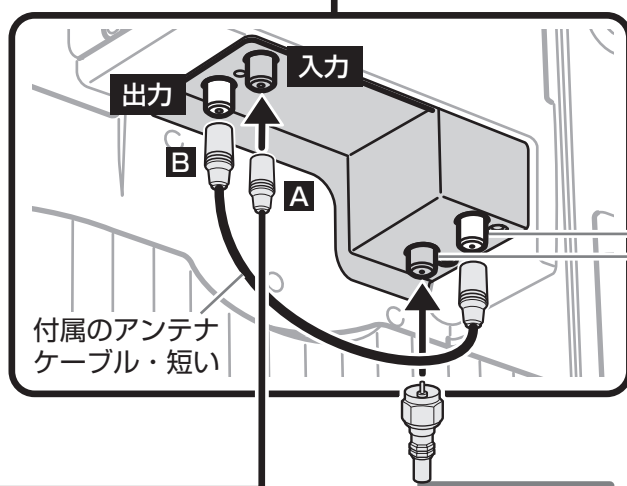
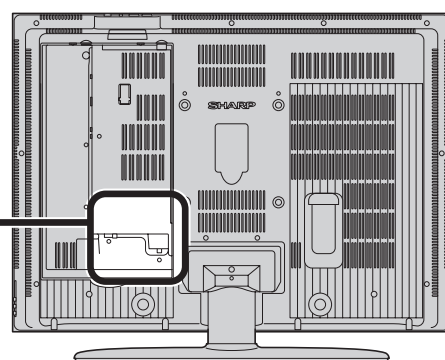
- VHF／UHFの屋内アンテナ端子が分かれている場合など、混合器の取付けが必要なときは、お買い上げの販売店にご相談ください。
- **アンテナ入力（VHF·UHF）端子への接続には、付属のアンテナケーブル·長のうち、先端プラグが差し込みタイプの方（形状：　　）をお使いください。**
- 本機の電源を「切」にすると、アンテナ出力（VHF·UHF）端子から信号は出力されません。
※アンテナ出力（VHF·UHF）端子にビデオデッキなどの他機器を接続しないでください。

地上デジタル放送を受信する場合は

■ UHF対応のアンテナを使用します。VHFアンテナでは受信できません。
現在お使いのアンテナがUHF対応であれば、そのままご使用になれます。（※一部取り替えや調整が必要な場合もあります。また、地域によってはブースターの追加などが必要になることがあります。）

▼ 本体背面

アンテナ入力／出力（VHF･UHF）端子

入力
出力
B
A

付属のアンテナケーブル・短い

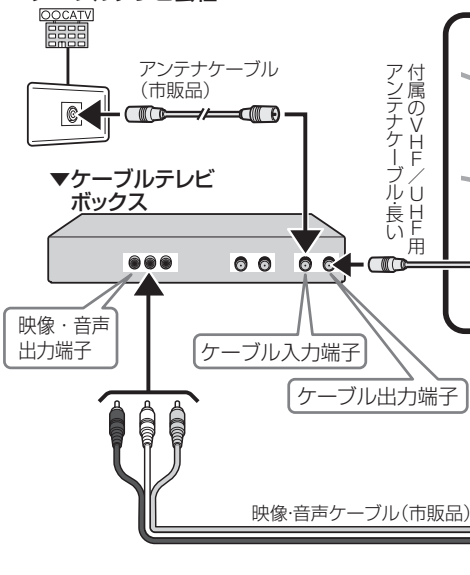
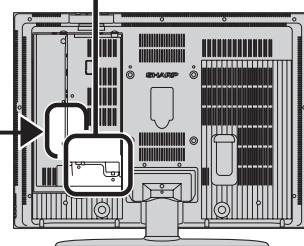
地上デジタル放送は、アンテナケーブルを壁のアンテナ端子から直接アンテナ入力（地上デジタル）端子につないでもご覧いただけます。

アンテナ入力（地上デジタル）端子
アンテナ入力（BS･110度CS）端子

BS･110度CSデジタル放送を見る場合に接続します。

※BS･110度CS端子に、アンテナ出力端子を接続しないでください。

地上デジタル放送をCATVパススルー*で受信する場合

■ VHF／UHFアンテナと同じ接続をします。CATVによる地上デジタル放送の視聴方法については、お客さまが契約されているケーブル会社にお問い合わせください。（＊CATVパススルー…**69**ページをご覧ください。）

❹ BS・110度CSデジタル共用アンテナをつなぐ

■ BS・110度CSデジタル放送受信用のアンテナおよびアンテナ線は、専用のものをご使用ください。

アンテナ……市販のBS・110度CS共用アンテナをご使用ください。(共用アンテナでない従来のBSアナログ放送用アンテナでは、110度CSデジタル放送は受信できません。また、BSデジタル放送も場合によっては映らないことがあります。)

アンテナ線……110度CS帯域(2150MHz)まで対応しているもの(例. S-5C-FB)をご使用ください。

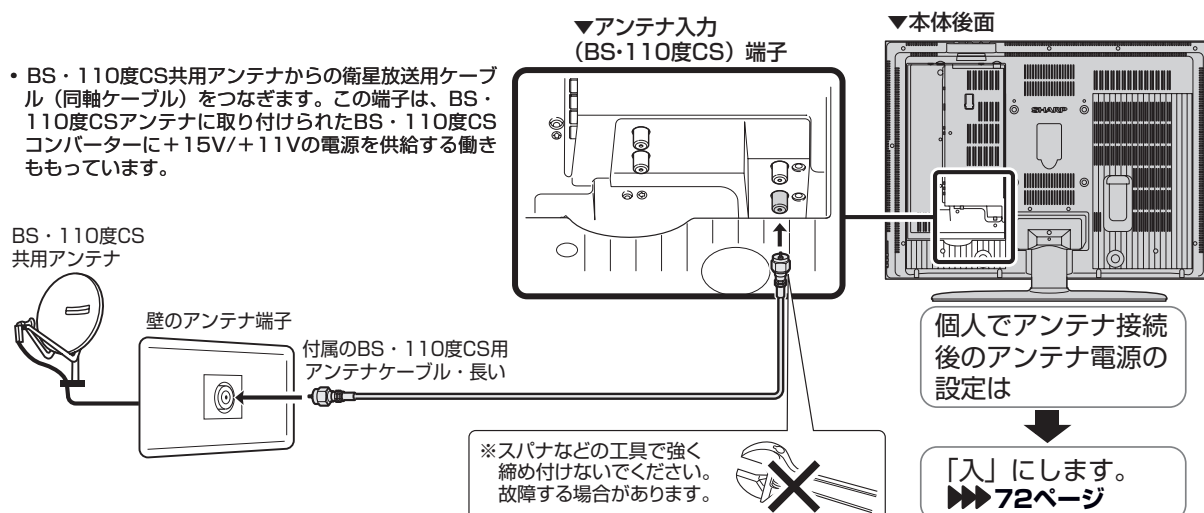
ブースターや分配器をご使用の場合…110度CS帯域(2150MHz)まで対応しているものをお使いください。

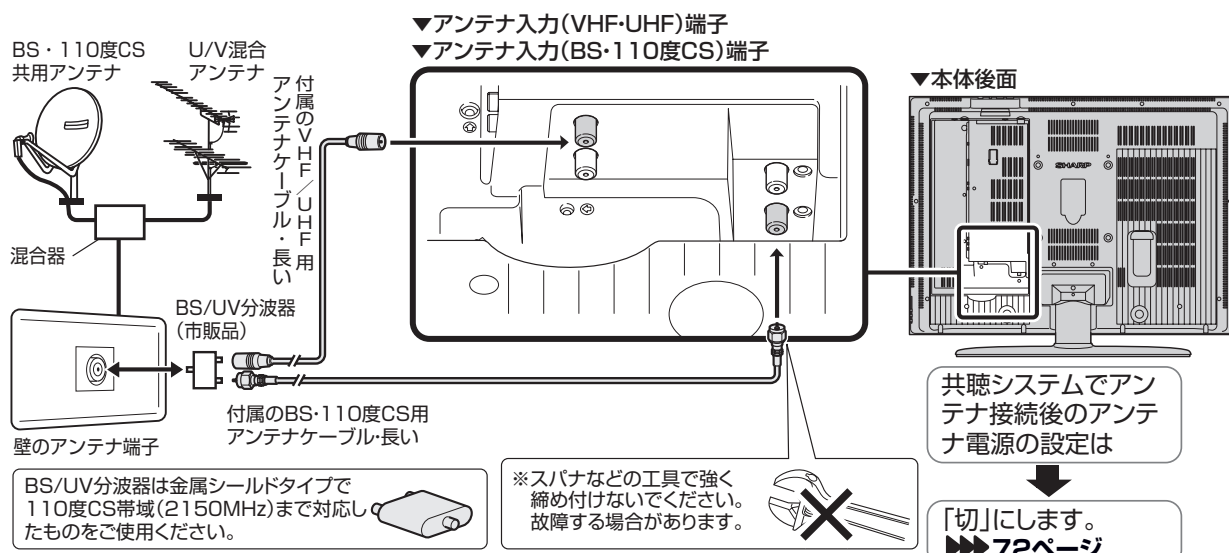
詳しくは、お買い上げの販売店にご相談ください。

■ BS・110度CS共用アンテナの取付けについては、アンテナに付属の取扱説明書をご覧ください。

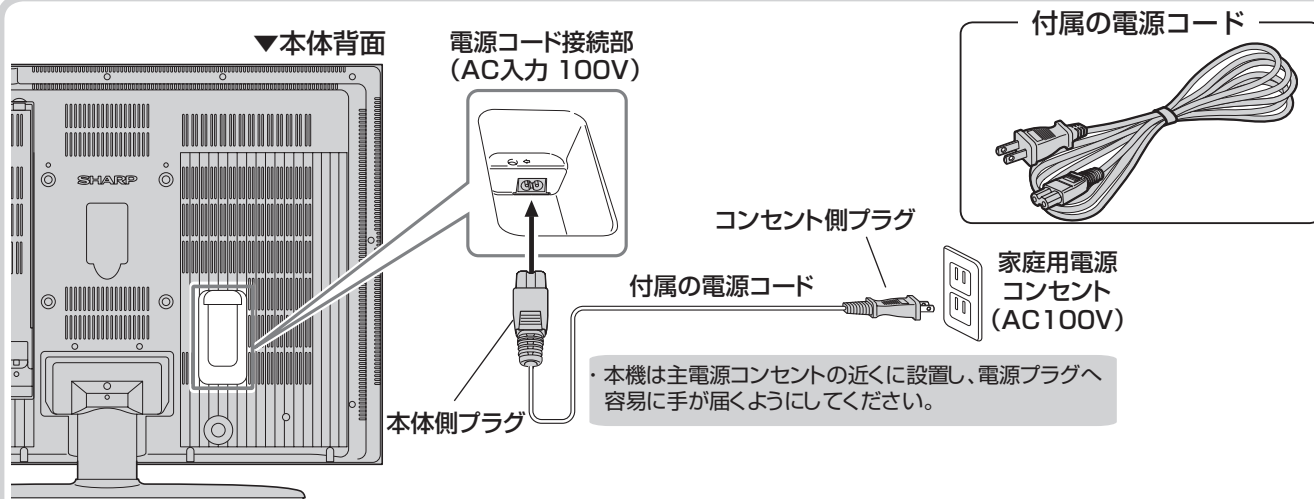
- アンテナ入力(BS・110度CS)端子にアンテナ線を接続するときは、必ずアンテナ電源の設定を「切」にしておいてください。(**72**ページ参照) ※工場出荷時、アンテナ電源の設定は「切」になっています。
- **アンテナ入力(BS・110度CS)端子への接続には、付属のアンテナケーブル・長のうち、先端に六角形の金属プラグ(先端金属ネジ止めタイプ)が付いているもの(形状:)をお使いください。**

BS・110度CS共用アンテナを単独で接続するとき

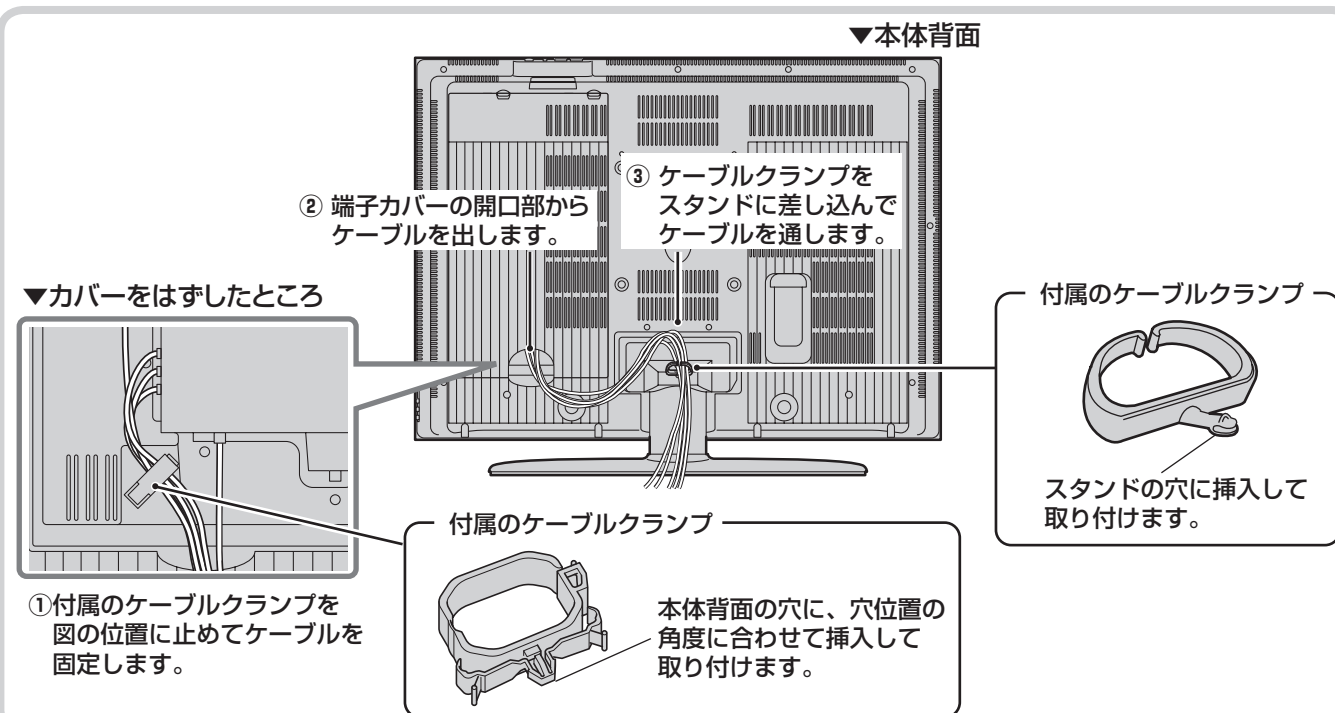
付属のBS・110度CS用アンテナケーブル・長を本体背面端子部のアンテナ入力(BS・110度CS)端子と壁のアンテナ端子に接続します。

マンションなど、共聴システムで接続するとき(BS・110度CSとVHF/UHFが混合されているとき)

BS/UV分波器(市販品)を使用して接続します。

❺ 電源コードをつなぐ

ご注意 接続が終わるまでは、電源スイッチを「入」にしないでください。

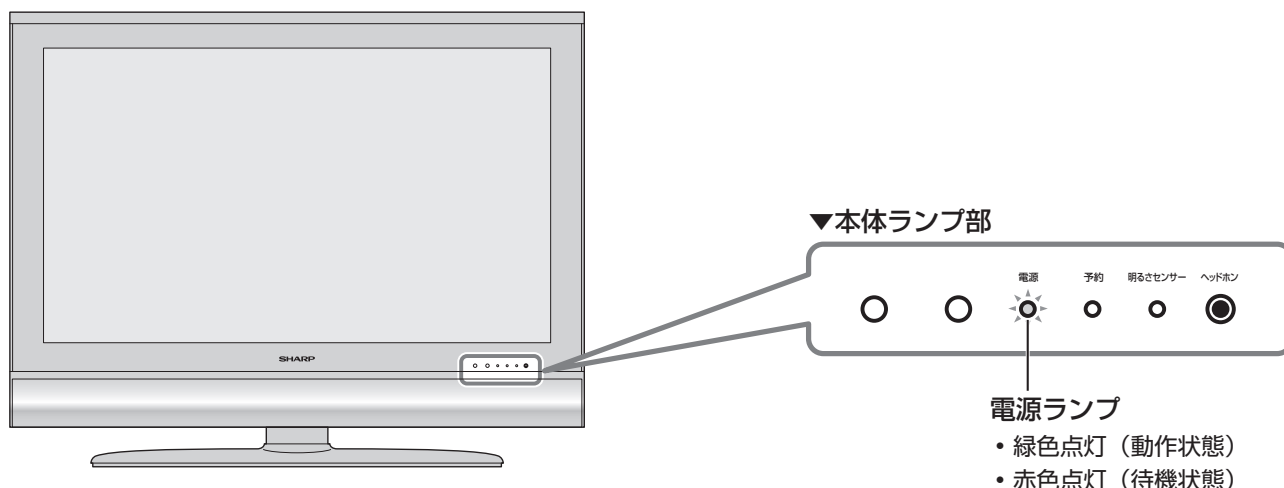
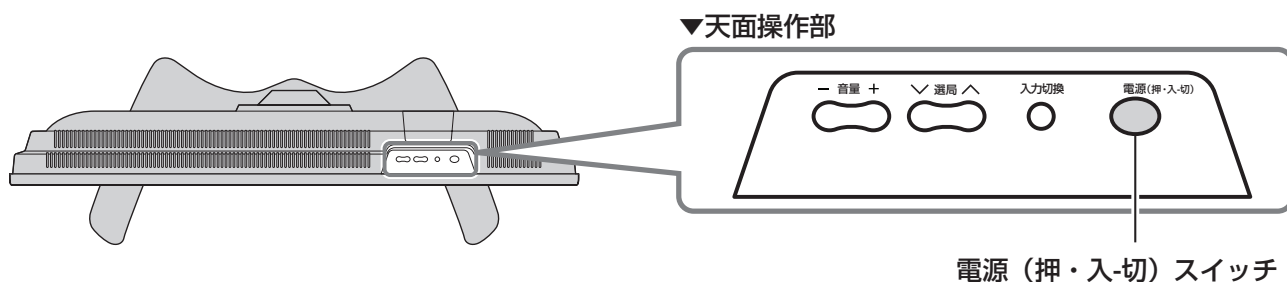
■ 付属の電源コードの本体側プラグを、本体背面右側の「AC入力 100V」端子に接続し、コンセント側プラグをご家庭のコンセントに接続します。

ご注意
- 電源コードのプラグは抜けないように、確実に接続してください。
- 電源プラグは、コンセントに差し込んだ直後に抜かないでください。まれに、初期設定の状態に戻り、「番組予約」や「PPV番組の購入履歴」などが消去されます。このような場合、必要に応じて再度、設定を行ってください。（「PPV番組の購入履歴」など、再設定できないものもあります。）
- 使用中にいきなり電源プラグを抜いたり、電源をしゃ断したりしないでください。内蔵メモリーに格納されたデータがこわれることがあります。

ケーブル処理のしかた

■ 本体背面の端子部につないだケーブル類は、下図のように、付属のケーブルクランプを使って配線すると、すっきりまとめることができます。

❻ 電源を入れる

■ 各種ケーブルの接続が済んだら、本機の電源を入れます。

1 本体、天面操作部の電源（押・入-切）スイッチを押し、電源を「入」にする

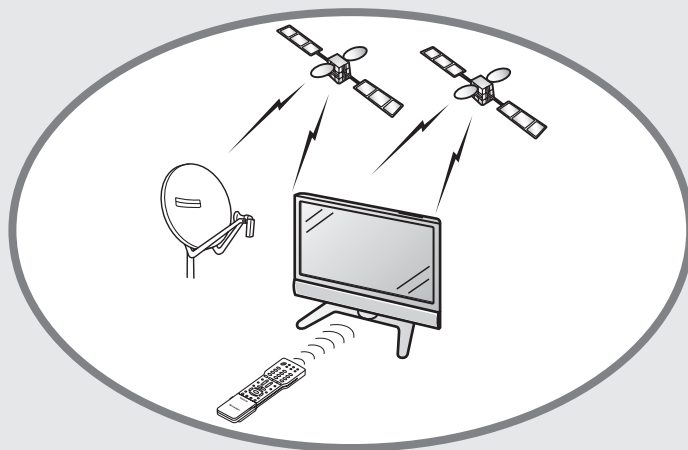
• 電源ランプが緑色に点灯します。（動作状態）

2 電源スイッチを「入」にした後は、リモコンの電源ボタンで電源を入／切することができます

• 電源「切」の状態（待機状態）のとき、電源ランプは赤色に点灯します。

クイック起動機能について

• リモコンで電源を「入」にしたとき、起動時間を短縮してすぐに操作できる状態にする機能です。（この機能を使用すると通常より消費電力がアップしますので、あらかじめ同意の上でこの機能をご使用ください。）設定の方法は**175**ページをご覧ください。

• 本機は電源待機状態のときでも、デジタル放送局と通信を行います。
• 本機の電源を「切」にしても、電源が切れるまでにしばらく時間がかかることがあります。（本機内部の情報をメモリーに記憶するための時間です。）

操作の前に

ページ

地上デジタル放送について 38

地上デジタル放送の特長 38

BSデジタル放送について 40

BSデジタル放送の特長 40

BSデジタル放送のチャンネル番号表 41

BSデジタル放送の有料放送を視聴するための手続き . 41

110度CSデジタル放送について 42

110度CSデジタル放送の専用サービス 42

110度CSデジタル放送を視聴するための手続き 43

お買い上げ後、はじめてCSチャンネルを選局するときは ... 43

メニューについて...44

メニューの基本操作 44

メニュー画面の見かた 44

メニュー画面と設定画面の基本操作 45

メニュー項目の一覧 46

メニューなどの表示言語を選ぶ 48

Switching the Display Language to English 48

地上デジタル放送について

■ 地上デジタル放送は、従来の地上アナログ放送に代わる、デジタル方式の新しい放送です。
■ 高品質な映像と音声、テレビ番組に連動したデータ放送など、いままでの地上アナログ放送にはなかった新しい放送サービスです。

アンテナについて

・地上デジタル放送の受信には、UHF対応のアンテナを使用します。現在お使いのアンテナがUHF対応であれば、そのままご使用になれます。(※一部取り替えや調整が必要な場合もあります。)
VHFアンテナでは受信できません。ご使用のアンテナがVHFアンテナのみの場合は、UHFアンテナの追加が必要になります。
(ご注意:アンテナ工事は、技術と経験が必要ですので、販売店にご相談ください。)

地上デジタル放送の特長

高品質映像

画像の劣化が少なく、ゴーストなどの影響を受けにくいため、高品質な映像が見られます。また、デジタルハイビジョン放送の高精細な映像も視聴できるようになります。
画面サイズは、従来の4:3から16:9が標準となり、これは画面を見る視界の最適な比率といわれています。大画面で高品質な映像をお楽しみいただけます。

ハイビジョン放送

HDTV(High-Definition Television)とも呼ばれる、高品位テレビのことです。走査線は現行の放送(通常のテレビ放送)の525本に対し、2倍以上の1125本になっています。これにより、大画面で臨場感あふれる、鮮明な映像をお楽しみいただけます。(本機など、専用デジタル放送対応の受信機で視聴した場合です。)

データ放送

通常のテレビ番組に加えて、地上デジタル放送では連動データ放送が行われています。
画面上でお住まいの地域の天気予報やニュース、生活情報などをいつでもアクセスして見ることができたり、視聴中の番組に関連した情報を同時に表示したりすることができ、スポーツ中継などで応用されています。

双方向サービス

双方向通信を利用したテレビ上でのショッピング、視聴者が参加できるクイズ番組なども放送されています。
・双方向通信を利用するためには、本機に電話回線を接続して(**74**ページ)、電話回線の設定をしてください。(**76**〜**78**ページ)
また、インターネットサービスプロバイダ(ISP)との契約および設定が必要な場合もあります。(**183**〜**185**ページ) (※双方向通信には電話料金がかかります。[例] クイズ番組に参加して、答えを送信するときなど。)

多様な放送

地上デジタル放送では、ハイビジョン映像の代わりに標準画質の映像を複数送ることができ、同時に複数の番組を放送する放送局もあります。
これまでの地上アナログ放送にはなかったアイデア豊かな、多様な放送が予定されています。1チャンネルの放送帯域でさまざまな放送の組み合わせが可能となります。

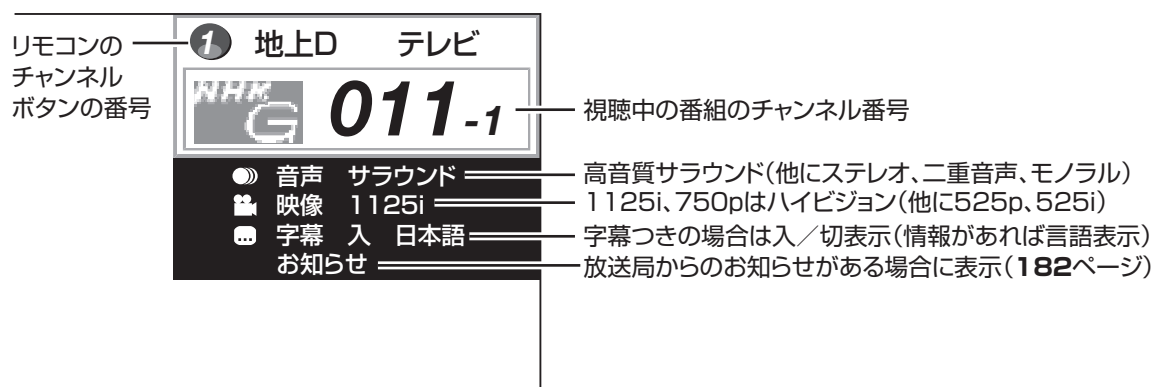
アナログ放送からデジタル放送への移行について

- 地上デジタル放送は、関東、中京、近畿の三大広域圏の一部で2003年12月から開始され、2006年末までに全国で放送が開始される予定です。受信可能エリアは、順次拡大される予定です。地上アナログ放送は2011年7月に、BSアナログ放送は2011年までに終了することが、国の方針として決定されています。

地上デジタル放送のCATV放送対応について

- 本機で受信できるケーブルテレビ(CATV)の方式は「パススルー方式」(UHF帯、ミッドバンド[MID]帯、スーパーハイバンド[SHB]帯、VHF帯)です。※トランスモジュレーション方式には対応していません。

チャンネルサインについて

- 放送を視聴中にリモコンの 画面表示 を押すと、画面にチャンネルサインが表示されます。視聴中の番組の情報を確認できます。

- ARIB放送規格の変更により、メニュー等の仕様が変わる場合があります。

- データ放送(BSデジタル／110度CSデジタル／地上デジタル)の双方向サービスなどで本機に記憶されたお客様の登録情報やポイント情報などの一部、またはすべての情報が変化·消失した場合の損害や不利益について、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

地上デジタル放送は、映像・音声をデジタル化して送信します。放送のデジタル化により、BS デジタル放送と同様なハイビジョン放送が多くなり、高画質映像でご覧いただけます。

BSデジタル放送について

BSデジタル放送の特長

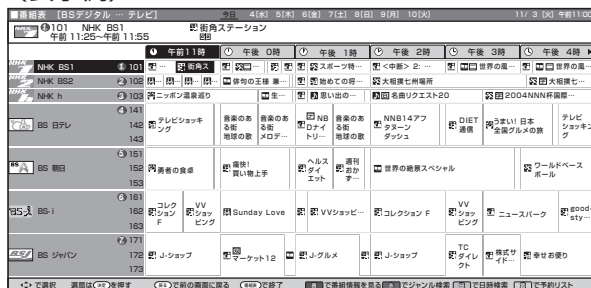
■ 情報を圧縮して多くのデータを送ることができるため、限られた電波の範囲でつぎのようなたくさんの放送やサービスが提供されます。

3つの放送

テレビ放送

従来のアナログBS･CS放送に比べ、より高画質で多チャンネルの放送を楽しむことができます。BSデジタル放送ではデジタルハイビジョン放送が7チャンネルあります。（2005年12月現在）

データ放送

静止画像や文字によって必要な情報をいつでも取り出せる新しい放送です。テレビ放送等と連動したデータ放送と、独立したデータ放送の2種類のデータ放送があります。

ラジオ放送

CD並みの高音質の音楽を含むラジオ放送です。

電子番組表（EPG）

デジタル放送では、送られてくるデータの中に番組の情報が含まれています。その番組情報をもとにテレビ画面に番組表を表示したものが電子番組表（EPG）です。
この電子番組表を使って、番組を探したり、番組の内容を確認したり、番組を予約したりすることができます。

（表示例）

臨時編成サービス

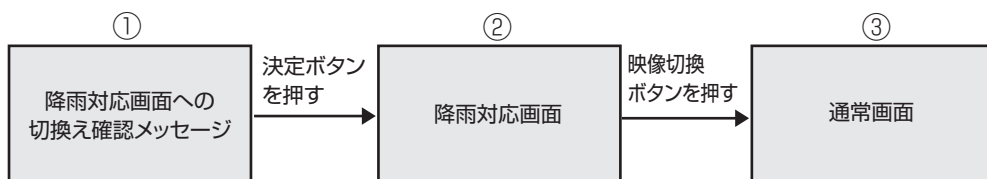
野球中継などが延長になった場合、野球中継は継続しながら、別のチャンネルで予定の番組を放送する場合があります。このようなサービスを「臨時編成サービス」といいます。

マルチビューサービス

1つの番組の中で、カメラアングルを変えて3つの場面に分けて放送されるサービスなどを「マルチビューサービス」といいます。
例えば、野球中継で、レフト側観客席から見た映像、ライト側観客席から見た映像、バックネット裏から見た映像の3つの映像が1つのチャンネルで放送されるといった場合です。

BSデジタル放送の降雨対応放送について

BSデジタル放送衛星から送られてくる電波が、激しい降雨によって弱められ、放送を受信できなくなることがあります。これに対応するため、送るデータを少なくすることで映像･音声の内容を途切れなく提供するサービスが「降雨対応放送」です。

- 受信状態が悪くなったときに、降雨対応の番組が放送されている場合、その旨を画面に表示してお知らせします。（下図①）
- リモコンの決定ボタンを押すと、降雨対応の画面に切り換わりますので、途切れることなく番組を視聴できます。（下図②）
- 通常画面に戻すには、リモコンフタ内の映像切換ボタンを押してください。（下図③）

- 臨時編成サービス、マルチビューサービス、降雨対応放送は、放送局側でサービスを行っているときのみ視聴可能です。

BSデジタル放送には無料放送と有料放送(WOWOW、スターチャンネル)があります。有料放送を視聴したいときは、必ず視聴手続きをしてください。未契約の場合は、視聴および録画はできません。

BSデジタル放送のチャンネル番号表

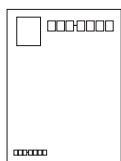
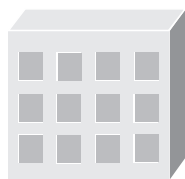
	放送事業者	チャンネル番号		
		テレビ放送	ラジオ放送	独立データ放送
統合(テレビ/ラジオ/データ)	NHK BS1	101	なし	700～709
	NHK BS2	102		
	NHK ハイビジョン	103 (臨時編成サービス時:104、105)※		
	BS日テレ	140～143、145～149 (臨時編成サービス時:144)※	なし	740～749
	BS朝日	150～157 (臨時編成サービス時:158、159)※	なし	750～759
	BS-i	160～168 (臨時編成サービス時:169)※	なし	760～769
	BSジャパン	170～179 (臨時編成サービス時:未定)※	なし	770～779
	BSフジ	180～187 (臨時編成サービス時:188、189)※	なし	780～789
	WOWOW	191、192、193 (臨時編成サービス時:198、199)※	なし	790～799
	スターチャンネル	200～209	なし	800～809
ラジオ/データ	WINJ	なし	330～339	630～639
データのみ	ウェザーニュース	なし	なし	910
	デジキャス	なし	なし	933
	日本ビーエス放送	なし	なし	999

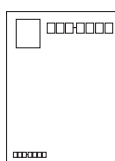
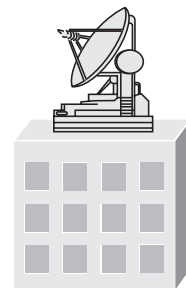
※臨時編成サービス:**40**ページをご覧ください。

(2006年3月現在)

BSデジタル放送の有料放送を視聴するための手続き

■ BSデジタル放送の有料放送(WOWOW、スターチャンネル)を視聴するには、つぎの2つの手続きが必要です。未契約では番組の視聴や録画ができません。

① **(株)ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズにB-CASカードの登録をする**
((株)ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズを略して(株)B-CASと呼びます。)
B-CASカードの台紙の一部が登録用はがきになっています。必要事項をご記入の上、投函してください。
詳しくは、(株)ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ カスタマーセンターにお問い合わせください。

(株) B-CASへのはがき

**(株) B-CAS
(B-CASカードの管理会社)**

② **視聴したい放送局に申し込む**
お客さまが視聴したい番組を放送している放送局の契約申込書に必要事項をご記入のうえ、投函してください。
詳しくは、それぞれの有料放送を行う放送局のカスタマーセンターにお問い合わせください。

有料放送を行う
放送局へのはがき

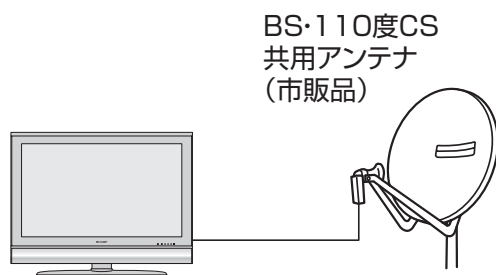
**有料放送を行う放送局
(WOWOWなど)**

• 本機は、契約データの受信のために、電源「入」以外のときでも一時的に動作することがあります。(この場合、画像が表示されたり音声が出たりはしません。)

110度CSデジタル放送について

■ 110度CSデジタル放送は、従来のCS放送とは別の、BSデジタル放送と同じ東経110度の軌道上にある通信衛星（CS）を利用した新しいデジタル放送です。
■ 110度CSデジタル放送は有料です。視聴するためには、各プラットフォーム（スカパー！110、WOWOWデジタルプラス）※との個別受信契約が必要となります。（一部、無料の放送もあります。）
※ 各プラットフォームの社名は、変更される場合があります。

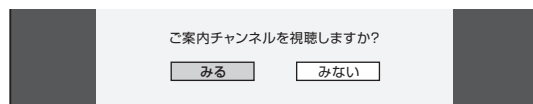
アンテナについて

・ 110度CSデジタル放送を受信するには、BS･110度CSデジタル放送共用のアンテナ（市販品）が必要です。**従来のCSアンテナやBSアナログ用アンテナでは受信できません。また、ブースターや分配器等をご使用になっている場合は、110度CS帯域（2150MHz）まで対応した機器に交換する必要があります。**

110度CSデジタル放送の専用サービス

110度CSデジタル放送では、つぎのような専用サービスがあります。

■ ご案内チャンネルの表示

お客さまが、未契約の有料放送事業者の放送番組を選局したとき、「視聴するには契約登録が必要」である旨の案内表示に加え、代替番組の視聴案内が表示されます。

（画面例）

■ ブックマーク

コンテンツ画面にブックマークアイコン※が表示されているときは、その情報（ブックマーク記録コンテンツ）を登録しておき、後でブックマークを一覧表示･選択して、関連チャンネルを呼び出したりすることができます。
※「ブックマーク」とは、しおりのことです。画面によっては、特定のページを表示するためのアイコン（絵文字）が表示されます。それが「ブックマークアイコン」です。

■ ボード（掲示板）

プラットフォーム（スカパー！110、WOWOWデジタルプラス）単位で、いろいろなサービス情報の案内がボード（掲示板）に表示されます。メニューの「お知らせ」からボード画面を呼び出し、サービス情報を見ることができます。
詳しくは**182**ページをご覧ください。

（画面例）

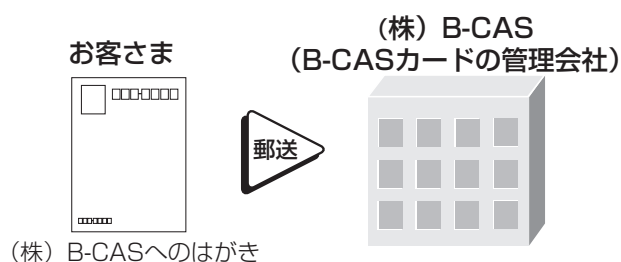
110度CSデジタル放送を視聴するための手続き

■ 110度CSデジタル放送を視聴するには、つぎの2つの手続きが必要です。

① **(株)ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズにB-CASカードの登録をする**

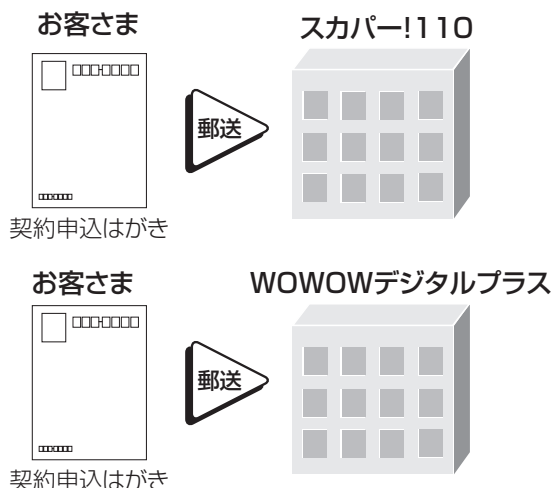
((株)ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズを略して(株)B-CASと呼びます。)

B-CASカードの台紙の一部が登録用はがきになっています。必要事項をご記入の上、投函してください。

詳しくは、(株)ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ カスタマーセンターにお問い合わせください。

② **視聴したいプラットフォーム(運営会社)に申し込む**

110度CSデジタル放送は有料放送です(一部、無料放送もあります)。視聴するためには、各プラットフォーム(スカパー！110、WOWOWデジタルプラス)※と個別に契約することが必要です。

契約したいプラットフォームの契約申込書に必要事項をご記入のうえ、投函してください。

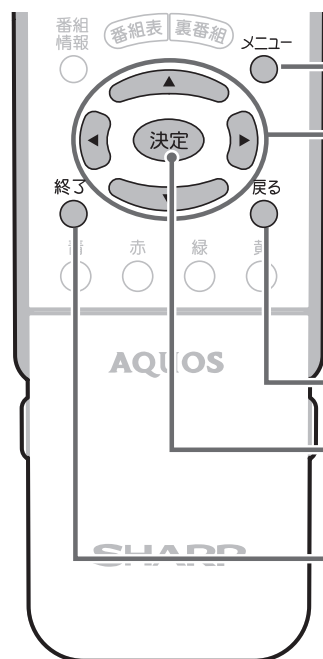
詳しくは、スカパー！110、WOWOWデジタルプラスのカスタマーセンターにお問い合わせください。

※ 各プラットフォームの社名は変更される場合があります。

お買い上げ後、はじめてCSチャンネルを選局するときは

- CSネットワーク情報を取得するため、次の手順で操作してください。
  1. 放送切換ボタンの CS を押します。そのままで5秒程お待ちください。
  2. リモコンのチャンネルボタン 1 を押します。そのままで5秒程お待ちください。
  3. 番組表 を押して、選局したい放送局のチャンネル番号が表示されることを確認します。
  4. 選局したい放送局のチャンネル番号が表示されない場合は、チャンネルボタン 1 または 2 を押し、目的のチャンネル番号が表示されるまで、再度5秒程度お待ちください。

メニューについて

■ テレビ画面にメニューを表示させて、リモコン操作で映像や音声などの調整や各種機能の設定ができます。ここではメニューの基本的な使いかたについて説明します。詳しくは、それぞれのページをご覧ください。（**46・47**ページ参照）

メニューの基本操作

メニュー操作に使うリモコンボタン

メニューボタン
・メニュー画面の表示を入／切します。

カーソルボタン（上・下・左・右）
・上下左右方向にカーソルを移動し、項目を選択します。
・左右カーソルボタンで、項目の調整を行います。

▶ を押すと、数値が増えます。

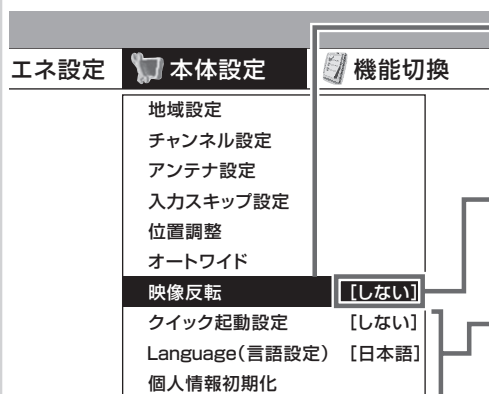
◀ を押すと、数値が減ります。

戻るボタン
・1つ前の画面に戻ります。

決定ボタン
・先に進みます。
・選んでいる項目を確定します。

終了ボタン
・メニューの操作が分からなくなったときなど、操作をいったん終了したいときに使うと便利です。
・メニュー表示を終了するとき、メニューボタンと同じように使えます。

メニュー画面の見かた

▼メニュー画面表示例（部分）

オレンジ色で表示されているところ
• いま選ばれている項目です。
• 決定ボタンを押すと、選ばれている項目の設定画面になります。

カッコ付きの表示
• 現在の設定内容です。

白い文字で表示されている項目
• 選択可能な項目です。

メニュー画面の表示時間について
• メニュー画面を表示、設定中に約1分間何も操作をしないと、メニュー画面が解除され通常画面に戻ります。

メニュー言語の切換えについて
• メニューを英語で表示することもできます。日本語／英語の切換えの操作方法については、**48**ページをご覧ください。
• See page **48** if you wish to display menu screens in English.

• 条件によりメニュー項目に⃠マークがつき、灰色で表示される場合がありますが、その項目は選択することができません。
• 本書に掲載している画面表示のイラストは説明用のものであり、一部拡大や省略をしていますので、実際の画面表示とは多少異なります。
• メニュー画面の表示内容は変更される場合があります。

メニュー画面と設定画面の基本操作

[例]「無信号オフ」の設定

1 メニューを押し、メニュー画面を表示する

①

メニュー画面からメニュー項目を選ぶ

②

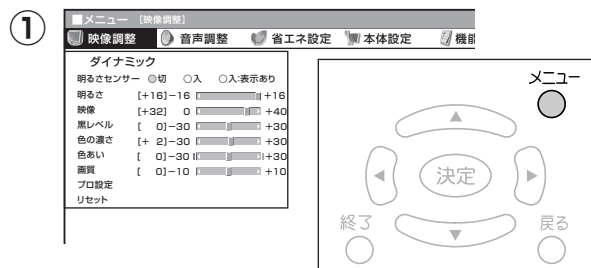
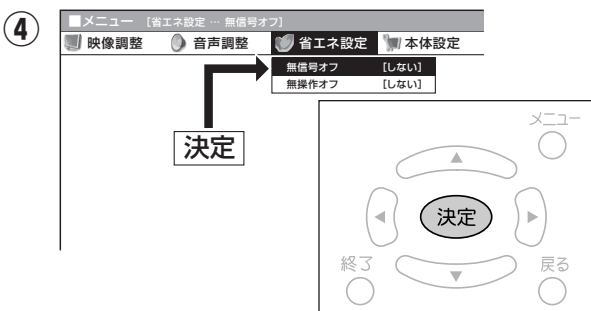
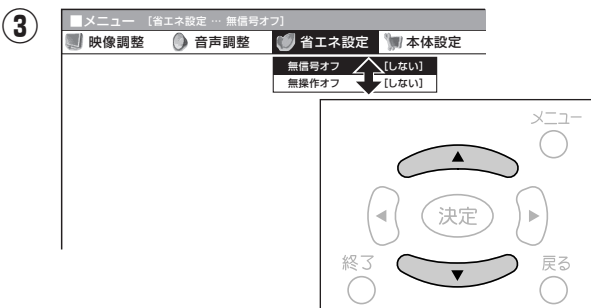
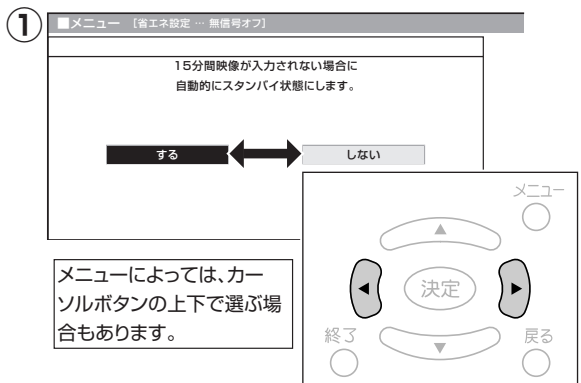
③

④

2 設定画面で設定する

①

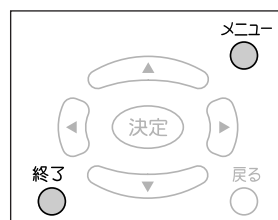
メニューによっては、カーソルボタンの上下で選ぶ場合もあります。

②

- 設定の操作中に、1つ前の画面に戻りたいときは、戻るを押します。

3 メニューまたは終了を押し、通常画面に戻す

操作の前に

メニューについて

次ページへつづく

メニューについて（つづき）

メニュー項目の一覧（入力5または入力6選択時は、メニュー項目が多少異なります。→200ページ）

■メニュー

映像調整　音声調整　省エネ設定　本体設定

映像調整

ダイナミック

明るさセンサー	●切	●入	●入:表示あり
明るさ	[+16]−16		+16
映像	[+32]　0		+40
黒レベル	[　0]−30		+30
色の濃さ	[+　2]−30		+30
色あい	[　0]−30		+30
画質	[　0]−10		+10
プロ設定			
リセット			

音声調整

ダイナミック

高音	[+10]−15		+15
低音	[　0]−15		+15
バランス	[中央]　左		右
サラウンド			[切]
リセット			

省エネ設定

無信号オフ	[しない]
無操作オフ	[しない]

本体設定

地域設定	
チャンネル設定	
アンテナ設定	
入力スキップ設定	
入力表示選択	[入力1]
位置調整	
オートワイド	
映像反転	[しない]
クイック起動設定	[しない]
Language（言語設定）	[日本語]
個人情報初期化	

映像調整※1

映像をお好みの状態に調整する項目です。

明るさセンサー／明るさ／映像／黒レベル／色の濃さ／色あい／画質 …………166·167ページ

プロ設定 ……………………166ページ

- カラーマネージメント−色相
- カラーマネージメント−彩度
- カラーマネージメント−明度
- 色温度
- アンベールコントロール
- アクティブコントラスト
- I／P設定
- フィルムモード
- 3次元設定
- モノクロ
- 明るさセンサー設定

音声調整※1

音声をお好みの音質に調整する項目です。

高音／低音／バランス …………… 169ページ

サラウンド ………… 169ページ

省エネ設定

電力資源を有効に使用するための省エネ機能を設定する項目です。

無信号オフ ………… 176ページ

無操作オフ ………… 176ページ

本体設定

使用環境に合わせた設置調整に関する機能の項目です。

地域設定※2 ………… 65ページ

チャンネル設定※2 ……………… 60·68ページ

アンテナ設定※2 …… 72ページ

入力スキップ設定 ………… 120·123ページ

入力表示選択※3 …… 135ページ

位置調整 …………… 164ページ

オートワイド………… 162ページ

映像反転 …………… 164ページ

クイック起動設定… 175ページ

Language（言語設定） …………………… 48ページ

個人情報初期化 … 197ページ

※1 AVポジションごとに設定できます。また、AVポジションごとに工場出荷時の設定が異なります。
※2 テレビ視聴時のみ表示されます。
※3 入力1〜6選択時のみ表示され、それぞれで設定できます。
現在選択されている入力により、表示項目が異なります。

- 条件によりメニュー項目に⃠マークがつき、灰色で表示される場合がありますが、その項目は選択することができません。

本機の豊富な機能をメニュー画面で操作・設定できます。
必要に応じて操作・設定してください。

 機能切換　　デジタル設定　　 お知らせ

機能切換
- 映像オフ
- 3次元ノイズリダクション　[しない]
- モスキートノイズリダクション　[しない]
- 入力選択　[自動]
- HDMI動作切換
- 入力4端子設定　[録画出力]
- QS駆動　[する]
- デジタル固定　[しない]
- 字幕表示設定　[しない]
- 番組名表示設定　[しない]

デジタル設定
- 映像設定
- デジタル音声設定　[PCM]
- ダウンロード設定　[する]
- 番組表設定
- 通信設定
- ビデオ連動録画設定
- i.LINK設定
- 暗証番号設定
- 視聴年齢制限設定
- PPV設定
- 双方向サービス設定
- システム動作テスト

お知らせ
- 受信メッセージ一覧
- ボード
- 受信機レポート
- B-CASカード番号表示
- PPV購入履歴

機能切換

本機のいろいろな機能の設定項目です。

映像オフ …………… **168**ページ
3次元ノイズリダクション※4 …………………… **168**ページ
モスキートノイズリダクション※4 …………………… **168**ページ
入力選択※5 ………… **134**ページ
HDMI動作切換※6 …………………… **123**ページ
入力4端子設定…… **132**ページ
QS駆動 …………… **168**ページ
デジタル固定※2 ‥ **133**ページ
字幕表示設定※2 ‥ **179**ページ
番組名表示設定※2 ……………………**179**ページ

デジタル設定

デジタル放送を視聴するための設定項目です。

映像設定※2 ………… **178**ページ
デジタル音声設定※2 …………………… **149**ページ
ダウンロード設定※2 …………………… **196**ページ
番組表設定※2 ……… **94**ページ
通信設定※2 ….**76〜78**・**183**・**185**ページ
ビデオ連動録画設定※2 …………………… **129**ページ
i.LINK設定 ………**137**ページ
暗証番号設定※2 ‥ **180**ページ
視聴年齢制限設定※2 …………………… **180**ページ
PPV設定※2 ……… **180**ページ
双方向サービス設定※2 …………………… **183**ページ
システム動作テスト※2 ……………………… **79**ページ

お知らせ

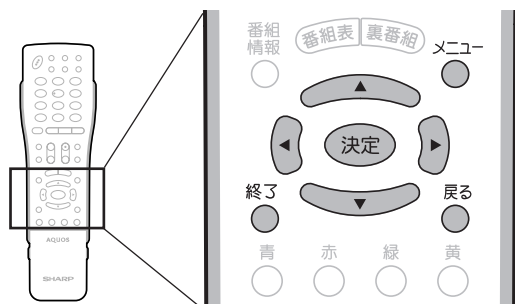
本機が受信したメッセージなどを確認するための項目です。

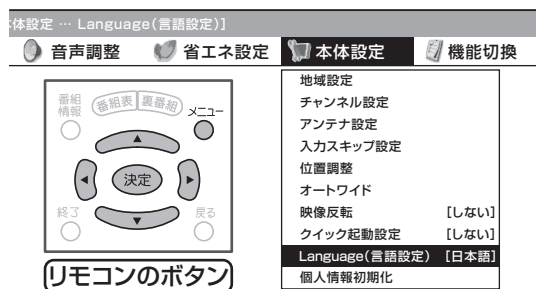
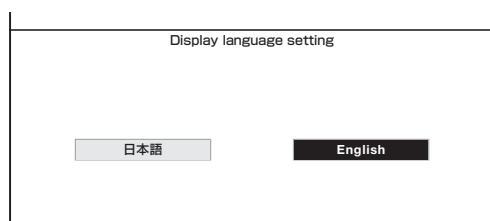
受信メッセージ一覧 …………………… **182**ページ
ボード ……………… **182**ページ
受信機レポート … **182**ページ
B-CASカード番号表示 …………………… **182**ページ
PPV購入履歴 ……**182**ページ

※4 各入力系統で設定できます。
※5 入力1〜4 ,6選択時のみ表示され、それぞれで設定できます。
※6 入力5（HDMI）選択時のみ表示されます。
• 条件によりメニュー項目に⃠マークがつき、灰色で表示される場合がありますが、その項目は選択することができません。

メニューについて(つづき)

メニューなどの表示言語を選ぶ

■ メニューなどの画面表示を日本語にするか英語にするか選ぶことができます。

[例] 表示言語を英語にする

1 **メニュー画面から「本体設定」ー「Language(言語設定)」を選び、決定を押す**

2 **◀▶で「English」を選び、決定を押す**

• 画面表示が英語になります。

操作終了する場合は

メニューまたは終了を押し、通常画面に戻す

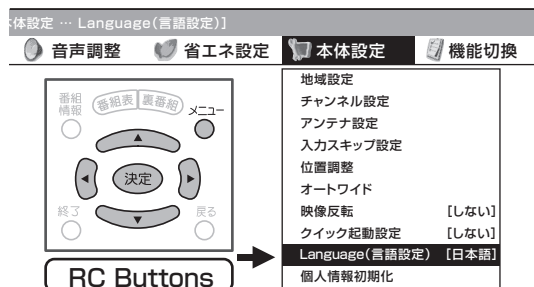
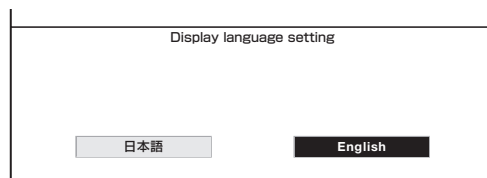
• 1つ前に戻る場合は戻るを押してください。

Switching the Display Language to English

■ Using the menu screen, you can switch the on-screen display language to English.

1 ① **Press メニュー (menu) to display the menu screen.**

② **Press ◀ or ▶ to select “本体設定”(Setup).**

2 **Press ▲ or ▼ to select “Language (言語設定)”, then press 決定 (enter).**

3 **Press ◀ or ▶ to select “English”, then press 決定 (enter).**

• The menu screen is now displayed in English.

4 **Press メニュー (menu) or 終了 (finish) to return to normal screen.**

受信設定

ページ

設定をする前に..50

放送の種類と必要な設定について 50

メニュー画面の操作について... 50

操作のながれ.. 50

地上アナログ放送のチャンネルを設定する.. 51

地上アナログ−自動（自動設定）...................................... 52

地上アナログ−追加（追加設定）...................................... 52

地上アナログ−地域番号（地域番号設定）....................... 52

地域番号早見表 54

地域番号一覧表 56

個別設定.. 60

受信チャンネル.. 60
チャンネル表示.. 60
受信微調整.. 60
スキップ 60

デジタル放送の設定について 62

設定のながれ.. 62

B-CASカードについて 63

B-CASカードおよびコピー制御信号についてのお知らせ............ 63

B-CASカードを入れる 64

ページ

地域設定をする..65

地域と郵便番号を設定する... 65

地域選択 65

郵便番号設定.. 66

地上デジタル放送のチャンネルを設定する.. 67

地上デジタル放送のチャンネル設定について 67

自動登録.. 68

追加登録.. 68

個別設定.. 70

登録先の数字ボタンを変更する.............................. 70
枝番を変更する.. 70
視聴しないチャンネルをスキップする 70

デジタル放送を視聴するための設定をする.. 72

アンテナ設定.. 72

電話回線に接続する 74

電話回線の設定 76

電話会社設定.. 78

システム動作テストを行う 79

**BS・110度CSデジタル放送の
チャンネルスキップ設定.........................80**

設定をする前に

放送の種類と必要な設定について

地上アナログ放送が見たい	51〜61ページ
地上デジタル放送が見たい	63〜71ページ
BS・110度CSデジタル放送が見たい	63・64・72・73ページ
デジタル放送の有料番組や双方向通信を楽しみたい	74〜78・183〜185ページ

メニュー画面の操作について

■ 設定は、おもにメニュー画面を操作しながら行います。
メニュー画面はリモコンで操作します。

操作のながれ

① メニュー を押してメニュー画面を表示します。

② ▲ ▼ ◀ ▶ で項目や値を選びます。

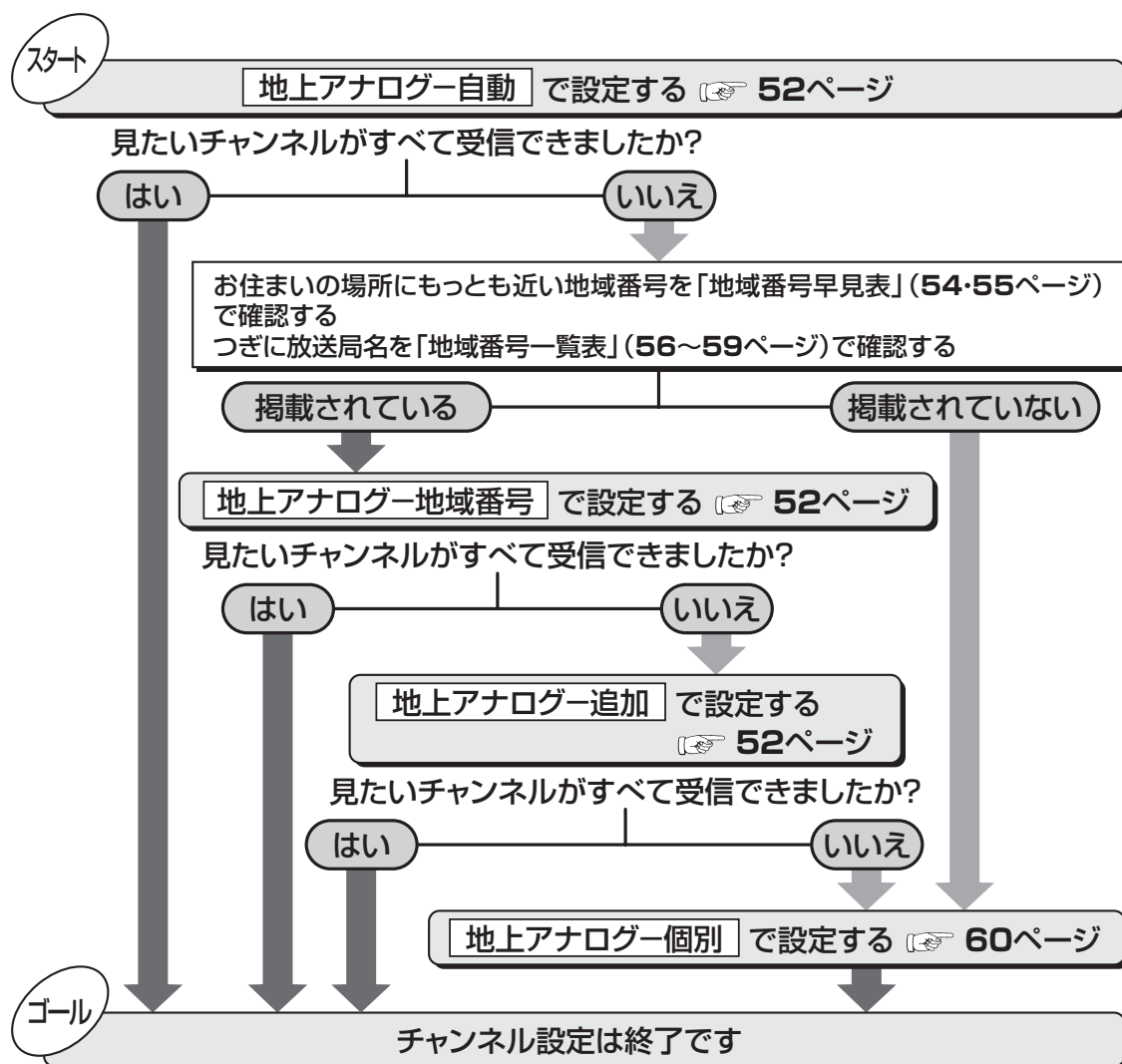
③ 決定 で決定します。

④ メニュー または 終了 でメニュー画面を消します。

メニュー画面の操作について、詳しくは**44〜48**ページをご覧ください。

❼ 地上アナログ放送のチャンネルを設定する

■ **地上アナログ放送**（従来のVHF/UHF放送）の受信チャンネル設定です。
（工場出荷時は、VHF1〜12チャンネルが設定されています。）

■ **「自動」「追加」「地域番号」「個別」**の4つの設定方法があります。（下記参照）

メニュー項目	内　容
地上アナログー自動 ☞ **52**ページ	ご使用になる場所の、現在の電波状態で受信できるVHFとUHFの放送チャンネルを自動的にキャッチし、記憶させる方法です。初めてチャンネル設定するときや、一度登録したチャンネルを消して新たに設定しなおすときは「自動」で行います。
地上アナログー追加 ☞ **52**ページ	地域番号設定などで登録したチャンネルを消さずに、空きチャンネルに追加登録できるチャンネルを自動設定する方法です。
地上アナログー地域番号 ☞ **52**ページ	ご使用になる場所にもっとも近い都市（受信している電波を送信している都市）を**54**〜**59**ページの地域番号早見表･地域番号一覧表から選び「地域番号」を入力する方法です。 • その地域ごとに、あらかじめ見られる放送局の受信チャンネルを定めた設定方法です。 • 地域番号一覧表（**56**〜**59**ページ）には放送局名を掲載しています。 • 地域番号による設定は、お住まいの都市の中でも地域によって受信チャンネルが異なり、設定しても受信できない場合があります。このときは、追加設定もしくは個別設定をしてください。
地上アナログー個別 ☞ **60**ページ	地域番号一覧表に当てはまらない地域や、チャンネル設定後ほかのチャンネルを追加したり削除するとき、チャンネルを1局ずつ設定する方法です。

地上アナログ放送のチャンネルを設定する(つづき)

共通操作

1 **地上Aを押し、地上アナログ放送を選ぶ**

2 **メニュー画面から「本体設定」—「チャンネル設定」を選び、決定を押す**

- 地域番号一覧表(**56**～**59**ページ)に掲載されている都市の近郊にお住まいの場合、掲載されているチャンネルと放送局名が、現在受信しているチャンネルと一致している場合は、その都市の地域番号で設定してください。
- 地域番号による設定は、お住まいの都市の中でも地域によって受信チャンネルが異なり、設定しても受信できない場合があります。このときは、個別設定(**60**ページ)をしてください。
- 地域番号を設定したときに、地域番号一覧表(**56**～**59**ページ)に放送局名が記載されていないチャンネルは、自動的にチャンネルスキップされます。(地域番号「000」は除く)

メニュー画面について

- メニュー画面は表示後、何も操作しないと約1分後に自動的に消えます。表示されている間につぎの操作を行ってください。

- 地域番号設定をした後、「地上アナログ—追加」を実行すると、受信できる放送局が増える場合があります。(UHF放送が受信できる地域など)

メニュー項目

地上アナログ—自動(自動設定)

■ 使用する地域の、現在の電波状態で受信できるVHFとUHFの放送電波(チャンネル)を自動的にキャッチして、記憶させることができます。
初めてチャンネル設定するときに選びます。

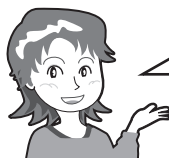
■ 記憶できるチャンネルは、最大12局です。記憶された局の1～12チャンネルは、リモコンのチャンネルボタン(1～12)で選局できます。

- **2回目以降に自動設定したときは、現在登録されているチャンネルを消して新たに登録しなおします。**

地上アナログ—追加(追加設定)

■ 現在登録されているチャンネルを消さずに残したまま、空きチャンネルに追加登録できる放送局がないか探します。地域番号設定の後で空きチャンネルに追加登録したいときなどは、追加設定で行います。

地上アナログ—地域番号(地域番号設定)

■ 「地域番号早見表」(**54**･**55**ページ)、「地域番号一覧表」(**56**～**59**ページ)で都市名･放送局名･受信チャンネルを確認したうえで、お住まいの地域にもっとも近い都市名の地域番号を入力してください。
[例] 東京都八王子市にお住まいの場合
(地域番号「104」を設定する)

初めて受信設定するときや、あらたに登録しなおすときは自動設定します。

3 ▲ ▼で「地上アナログ」を選び、決定を押す

4 ▲ ▼で設定したいメニュー項目を選び、決定を押す

5 ◀ ▶で「する」を選び、決定を押す

（「地上アナログー自動」を選んだ場合）

設定画面

6

- 自動チャンネル設定が始まり、画面左上に「サーチ中」が表示されます。

（自動設定の画面例）

サーチ中: 11

1	2	3
1		3
4	5	6
4	5	6
7	8	9

- 見つかった放送チャンネルが表示されていきます。

（追加設定の画面例）

サーチ中: 11

1	2	3	1	2	3
1		3		16	
4	5	6	4	5	6
4	5	6			
7	8	9	7	8	9
	8		17		33

- 見つかった放送チャンネルが右側に表示されていきます。

- 放送チャンネルが1つも見つからなかった場合は、サーチ開始前に設定されていたチャンネルが表示されます。
- サーチが終わると「登録しました」と表示され、しばらくすると手順**2**の状態に戻ります。これで、探し出されたチャンネルが記憶されました。

※ この間に電源を切らないでください。

操作終了する場合は

メニュー または 終了 を押し、通常画面に戻す

- 1つ前に戻る場合は 戻る を押してください。

6 **数字ボタン（1〜10/0）で、地域番号「104」を入力する**

- 左右カーソルボタンでも入力できます。

7 **「開始」で決定を押す**

- チャンネル設定が始まり、リモコン番号1〜12に受信チャンネルが設定されます。

- チャンネル設定が終わると「登録しました」と表示され、しばらくすると手順**2**の状態に戻ります。これで、探し出されたチャンネルが記憶されました。

※この間に電源を切らないでください。

操作終了する場合は

メニュー または 終了 を押し、通常画面に戻す

- 1つ前に戻る場合は 戻る を押してください。

地上アナログ放送のチャンネルを設定する（つづき）

地域番号早見表

五十音	都市名	地域番号
あ	会津若松市	021
	青森市	010
	明石市	063
	昭島市	030
	秋田市	015
	阿久根市	095
	上尾市	027
	朝霞市	027
	旭川市	002
	足利市	027
	厚木市	033
	網走市	001
	我孫子市	029
	尼崎市	061
	安城市	054
い	飯田市	045
	池田市	061
	生駒市	061
	石巻市	014
	和泉市	061
	伊勢崎市	025
	伊丹市	061
	市川市	029
	一宮市	054
	市原市	029
	茨木市	061
	今治市	081
	入間市	027
	いわき市	020
	岩国市	077
う	宇治市	060
	宇都宮市	101
	宇部市	076
	浦安市	029
え	海老名市	033
	江別市	001
お	青梅市	030
	大分市	091
	大垣市	047
	大阪市	061
	大館市	016
	大津市	058
	大牟田市	086
	岡崎市	054
	岡山市	070
	沖縄市	096
	小樽市	007
	小田原市	035
	帯広市	005
	小山市	027
か	各務原市	106
	加古川市	063
	鹿児島市	094
	橿原市	065
	柏市	029
	春日井市	054
	春日部市	027
	門真市	061
	金沢市	041
	鎌倉市	033
	刈谷市	054
か	川口市	027
	川越市	027
	川崎市	033
	河内長野市	061
	川西市	064
き	木更津市	029
	岸和田市	061
	北九州市	084
	北見市	009
	岐阜市	047
	京都市1	060
	京都市2	098
	桐生市	102
く	釧路市	004
	熊谷市	103
	熊本市	090
	倉敷市	070
	久留米市	085
	呉市	073
こ	高知市	082
	甲府市	043
	神戸市	061
	郡山市	019
	小金井市	030
	越谷市	027
	小平市	030
	小牧市	054
	小松市	041
さ	さいたま市	027
	堺市	061
	佐賀市	087
	酒田市	018
	相模原市	033
	佐倉市	029
	佐世保市	089
	札幌市	001
	座間市	033
	狭山市	027
し	静岡市	049
	下関市	075
	周南市	074
	上越市	038
す	吹田市	061
	鈴鹿市	057
せ	瀬戸市	054
	仙台市	013
そ	草加市	027
た	大東市	061
	高岡市	040
	高崎市	025
	高槻市	061
	高松市	078
	宝塚市	061
	立川市	030
	多摩市	105
ち	茅ケ崎市	034
	千葉市	029
	調布市	030
つ	津市	057
	つくば市	029
	土浦市	029

五十音	都市名	地域番号
つ	鶴岡市	018
と	東京23区	030
	徳島市	097
	所沢市	027
	鳥取市	067
	苫小牧市	006
	富山市	039
	豊川市	055
	豊田市	056
	豊中市	061
	豊橋市	055
	富田林市	061
な	長岡市	037
	長崎市	088
	長野市	044
	流山市	029
	名古屋市	054
	那覇市	096
	奈良市	065
	習志野市	029
に	新潟市	037
	新座市	027
	新居浜市	080
	西宮市	061
ぬ	沼津市	052
ね	寝屋川市	061
の	野田市	029
	延岡市	093
は	函館市	003
	秦野市	036
	八王子市	104
	八戸市	011
	羽曳野市	061
	浜田市	069
	浜松市	050
	半田市	054
ひ	東大阪市	061
	東久留米市	030
	東村山市	030
	彦根市	059
	日立市	023
	ひたちなか市	022
	日野市	030
	姫路市	062
	枚方市	061
	平塚市	034

五十音	都市名	地域番号
ひ	弘前市	010
	広島市	071
ふ	福井市	042
	福岡市	083
	福島市	019
	福山市	072
	藤枝市	053
	藤沢市	033
	富士市	051
	富士宮市	051
	府中市(東京)	030
	船橋市	029
へ	別府市	091
ほ	防府市	074
ま	前橋市	025
	町田市	033
	松江市	068
	松阪市	057
	松戸市	029
	松原市	061
	松本市	046
	松山市	079
み	三郷市	027
	三島市	052
	三鷹市	030
	水戸市	022
	都城市	092
	宮崎市	092
む	武蔵野市	030
	室蘭市	008
も	盛岡市	012
	守口市	061
や	矢板市	100
	焼津市	049
	八尾市	061
	八千代市	029
	八代市	090
	山形市	017
	山口市	074
	大和市	033
よ	横須賀市	033
	横浜市	033
	四日市市	057
	米子市	068
わ	和歌山市1	107
	和歌山市2	099

- 工場出荷時は、地域番号「000」に設定されています。
- 地域番号を設定したときに、地域番号一覧表(**56**〜**59**ページ)に放送局名が記載されていないチャンネルは、自動的にチャンネルスキップされます。(地域番号「000」は除く)
- 地域番号による設定は、お住まいの都市の中でも地域によって受信チャンネルが異なり、設定しても受信できない場合があります。このときは、追加設定(**52**ページ)もしくは個別設定(**60**ページ)をしてください。

地上アナログ放送のチャンネルを設定する（つづき）

地域番号一覧表

	リモコン番号		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
都道府県	都市名	地域番号	受信チャンネル / 放送局名											
工場出荷時設定		000	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
北海道	札幌	001	1	2	3	17	5	6	27	8	35	10	11	12
			北海道放送		NHK総合	テレビ北海道	札幌テレビ		北海道文化放送		北海道テレビ			NHK教育
	旭川	002	1	2	33	37	39	6	7	8	9	10	11	12
				NHK教育	テレビ北海道	北海道文化放送	北海道テレビ		札幌テレビ		NHK総合		北海道放送	
	函館	003	21	27	35	4	5	6	7	8	9	10	11	12
			テレビ北海道	北海道文化放送	北海道テレビ	NHK総合		北海道放送				NHK教育		札幌テレビ
	釧路	004	1	2	39	41	5	6	7	8	9	10	11	12
				NHK教育	北海道テレビ	北海道文化放送			札幌テレビ		NHK総合		北海道放送	
	帯広	005	32	2	34	4	5	6	7	8	9	10	11	12
			北海道文化放送		北海道テレビ	NHK総合		北海道放送				札幌テレビ		NHK教育
	苫小牧	006	47	49	51	53	55	57	61	8	9	10	11	12
			テレビ北海道	NHK教育	NHK総合	北海道文化放送	北海道放送	札幌テレビ	北海道テレビ					
	小樽	007	24	2	26	4	5	6	7	8	9	10	11	12
			テレビ北海道	NHK教育	北海道文化放送	北海道テレビ			札幌テレビ		北海道放送		NHK総合	
	室蘭	008	1	2	29	37	39	6	7	8	9	10	11	12
				NHK教育	テレビ北海道	北海道文化放送	北海道テレビ		札幌テレビ		NHK総合		北海道放送	
	北見	009	1	2	3	4	59	61	7	8	9	10	53	12
				NHK教育			北海道文化放送	北海道テレビ	札幌テレビ		NHK総合		北海道放送	
青森	青森	010	1	2	3	4	5	6	38	8	34	10	11	12
			青森放送テレビ		NHK総合		NHK教育		青森テレビ		青森朝日放送			
	八戸	011	1	2	33	4	31	6	7	8	9	10	11	12
					青森テレビ		青森朝日放送		NHK教育		NHK総合		青森放送テレビ	
岩手	盛岡	012	1	2	3	4	5	6	7	8	31	35	11	33
						NHK総合		IBCテレビ		NHK教育	岩手朝日テレビ	テレビ岩手		めんこいテレビ
宮城	仙台	013	1	2	3	4	5	6	32	8	34	10	11	12
			東北放送		NHK総合		NHK教育		東日本放送		宮城テレビ			仙台放送
	石巻	014	59	2	51	4	49	6	61	8	55	10	11	57
			東北放送		NHK総合		NHK教育		東日本放送		宮城テレビ			仙台放送
秋田	秋田	015	1	2	3	4	5	6	7	8	9	31	11	37
				NHK教育							NHK総合	秋田朝日放送	秋田放送テレビ	秋田テレビ
	大館	016	1	2	3	4	5	6	7	8	9	59	11	57
				(NHK教育)		(NHK総合)		(秋田放送テレビ)		NHK教育	NHK総合	秋田朝日放送	秋田放送テレビ	秋田テレビ
山形	山形	017	1	2	3	4	5	36	30	8	9	10	11	38
						NHK教育		テレビユー山形	さくらんぼテレビ	NHK総合		山形放送		山形テレビ
	鶴岡	018	1	2	3	4	5	6	7	39	9	22	11	24
			山形放送		NHK総合			NHK教育		山形テレビ		テレビユー山形		さくらんぼテレビ
福島	福島	019	1	2	31	4	33	6	35	8	9	10	11	12
				NHK教育	テレビユー福島		福島中央テレビ		福島放送		NHK総合		福島テレビ	
	いわき	020	1	62	3	4	5	58	7	8	9	10	11	60
				テレビユー福島		NHK総合		福島中央テレビ		福島テレビ		NHK教育		福島放送
	会津若松	021	1	2	3	4	5	6	7	47	9	37	11	41
			NHK総合		NHK教育			福島テレビ		テレビユー福島		福島中央テレビ		福島放送
茨城	水戸	022	44	2	46	42	5	40	7	38	9	36	11	32
			NHK総合		NHK教育	日本テレビ		TBSテレビ		フジテレビ		テレビ朝日		テレビ東京
	日立	023	52	2	50	54	5	56	7	58	9	60	11	62
			NHK総合		NHK教育	日本テレビ		TBSテレビ		フジテレビ		テレビ朝日		テレビ東京
栃木	矢板	100	40	2	30	36	33	42	7	45	9	59	11	61
			NHK総合		NHK教育	日本テレビ	とちぎテレビ	TBSテレビ		フジテレビ		テレビ朝日		テレビ東京
	宇都宮	101	51	2	49	53	5	55	7	57	31	41	11	44
			NHK総合		NHK教育	日本テレビ		TBSテレビ		フジテレビ	とちぎテレビ	テレビ朝日		テレビ東京
群馬	前橋	025	52	2	50	54	40	56	7	58	9	60	48	62
			NHK総合		NHK教育	日本テレビ	放送大学	TBSテレビ		フジテレビ		テレビ朝日	群馬テレビ	テレビ東京
	桐生	102	51	2	57	53	40	55	7	35	9	59	41	61
			NHK総合		NHK教育	日本テレビ	放送大学	TBSテレビ		フジテレビ		テレビ朝日	群馬テレビ	テレビ東京
埼玉	さいたま	027	1	2	3	4	16	6	7	8	38	10	11	12
			NHK総合		NHK教育	日本テレビ	放送大学	TBSテレビ		フジテレビ	テレビ埼玉	テレビ朝日		テレビ東京
	熊谷	103	51	2	35	53	5	55	16	57	30	59	11	61
			NHK総合		NHK教育	日本テレビ		TBSテレビ	放送大学	フジテレビ	テレビ埼玉	テレビ朝日		テレビ東京

都道府県	都市名	地域番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
		リモコン番号	受信チャンネル 放送局名											
千葉	千葉	029	1 NHK総合	2	3 NHK教育	4 日本テレビ	16 放送大学	6 TBSテレビ	7	8 フジテレビ	42 テレビ神奈川	10 テレビ朝日	46 千葉テレビ	12 テレビ東京
東京	23区	030	1 NHK総合	2	3 NHK教育	4 日本テレビ	14 東京メトロポリタン	6 TBSテレビ	38 テレビ埼玉	8 フジテレビ	42 テレビ神奈川	10 テレビ朝日	46 千葉テレビ	12 テレビ東京
	八王子	104	33 NHK総合	2	29 NHK教育	35 日本テレビ	40 東京メトロポリタン	37 TBSテレビ	7	31 フジテレビ	9	45 テレビ朝日	11	62 テレビ東京
	多摩	105	49 NHK総合	2	47 NHK教育	51 日本テレビ	61 東京メトロポリタン	53 TBSテレビ	7	55 フジテレビ	9	57 テレビ朝日	11	59 テレビ東京
神奈川	横浜	033	1 NHK総合	2	3 NHK教育	4 日本テレビ	16 放送大学	6 TBSテレビ	7	8 フジテレビ	42 テレビ神奈川	10 テレビ朝日	11	12 テレビ東京
	茅ヶ崎	034	33 NHK総合	2	29 NHK教育	35 日本テレビ	5	37 TBSテレビ	7	39 フジテレビ	31 テレビ神奈川	41 テレビ朝日	11	43 テレビ東京
	小田原	035	52 NHK総合	2	50 NHK教育	54 日本テレビ	5	56 TBSテレビ	7	58 フジテレビ	46 テレビ神奈川	60 テレビ朝日	11	62 テレビ東京
	秦野	036	47 NHK総合	2	49 NHK教育	51 日本テレビ	5	53 TBSテレビ	7	55 フジテレビ	61 テレビ神奈川	57 テレビ朝日	11	59 テレビ東京
新潟	新潟	037	21 新潟テレビ21	2	29 テレビ新潟	4	5 新潟放送	6	7	8 NHK総合	9	35 新潟総合テレビ	11	12 NHK教育
	上越	038	1 NHK教育	2	3 NHK総合	4	5	37 新潟テレビ21	7	27 テレビ新潟	9	10 新潟放送	11	33 新潟総合テレビ
富山	富山	039	1 北日本テレビ	2	3 NHK総合	4	5	6	7	8	9	10 NHK教育	32 チューリップ	34 富山テレビ
	高岡	040	50 北日本テレビ	2	48 NHK総合	4	5	6	7	8	9	46 NHK教育	42 チューリップ	44 富山テレビ
石川	金沢	041	1	2	3	4 NHK総合	5	6 MROテレビ	25 北陸朝日放送	8 NHK教育	9	33 テレビ金沢	11	37 石川テレビ
福井	福井	042	39 福井テレビ	2	3 NHK教育	4	5	6 MROテレビ	7	8	9 NHK総合	10	11 FBCテレビ	12
山梨	甲府	043	1 NHK総合	2	3 NHK教育	4	5 山梨放送	6	37 テレビ山梨	8	9	10	11	12
長野	長野	044	1	44 NHK総合	50 長野朝日放送	4	40 テレビ信州	6	42 長野放送	8	46 NHK教育	10	48 信越放送	12
	飯田	045	44 長野朝日放送	2	3 NHK教育	4 NHK総合	5	6 信越放送	7	42 テレビ信州	9	40 長野放送	11	12
	松本	046	1	44 NHK総合	50 長野朝日放送	4	48 テレビ信州	6	42 長野放送	8	46 NHK教育	10	40 信越放送	12
岐阜	岐阜	047	1 東海テレビ	2	3 NHK総合	4	5 CBCテレビ	6	35 中京テレビ	8	9 NHK教育	10	11 メ〜テレ	37 岐阜放送
	各務原	106	1 東海テレビ	2	3 NHK総合	4	5 CBCテレビ	6	35 中京テレビ	8	9 NHK教育	10	11 メ〜テレ	41 岐阜放送
静岡	静岡	049	1	2 NHK教育	31 静岡第一テレビ	4	33 静岡朝日テレビ	6	35 テレビ静岡	8	9 NHK総合	10	11 静岡放送	12
	浜松	050	1	30 静岡第一テレビ	3	4 NHK総合	5	6 静岡放送	7	8 NHK教育	9	28 静岡朝日テレビ	11	34 テレビ静岡
	富士	051	1	54 NHK教育	27 静岡第一テレビ	4	29 静岡朝日テレビ	6	39 テレビ静岡	8	52 NHK総合	10	41 静岡放送	12
	沼津	052	1	51 NHK教育	61 静岡第一テレビ	4	57 静岡朝日テレビ	6	59 テレビ静岡	8	53 NHK総合	10	55 静岡放送	12
	藤枝	053	1	44 NHK教育	24 静岡第一テレビ	4	26 静岡朝日テレビ	6	38 テレビ静岡	8	42 NHK総合	10	40 静岡放送	12
愛知	名古屋	054	1 東海テレビ	2	3 NHK総合	4	5 CBCテレビ	6	35 中京テレビ	8	9 NHK教育	10	11 メ〜テレ	25 テレビ愛知
	豊橋	055	56 東海テレビ	2	54 NHK総合	4	62 CBCテレビ	6	58 中京テレビ	8	50 NHK教育	10	60 メ〜テレ	52 テレビ愛知
	豊田	056	57 東海テレビ	2	53 NHK総合	4	55 CBCテレビ	6	59 中京テレビ	8	51 NHK教育	10	61 メ〜テレ	49 テレビ愛知
三重	津	057	1 東海テレビ	2	3 NHK総合	4	5 CBCテレビ	6	35 中京テレビ	8	9 NHK教育	33 三重テレビ	11 メ〜テレ	25 テレビ愛知
滋賀	大津	058	1	28 NHK総合	3	36 毎日テレビ	5	38 ABCテレビ	7	40 関西テレビ	9	42 読売テレビ	30 びわ湖放送	46 NHK教育
	彦根	059	1	52 NHK総合	3	54 毎日テレビ	56 びわ湖放送	58 ABCテレビ	7	60 関西テレビ	9	62 読売テレビ	11	50 NHK教育

次ページへつづく

地上アナログ放送のチャンネルを設定する（つづき）

地域番号一覧表（つづき）

上段：受信チャンネル　下段：放送局名

都道府県	都市名	地域番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
京都	京都1	060	1	2 NHK総合	36 サンテレビ	4 毎日テレビ	19 テレビ大阪	6 ABCテレビ	34 京都テレビ	8 関西テレビ	26 奈良テレビ	10 読売テレビ	11	12 NHK教育
	京都2	098	32 NHK京都	2 NHK総合	34 京都テレビ	4 毎日テレビ	21 テレビ大阪	6 ABCテレビ	7	8 関西テレビ	9	10 読売テレビ	11	12 NHK教育
大阪	大阪	061	1	2 NHK総合	36 サンテレビ	4 毎日テレビ	19 テレビ大阪	6 ABCテレビ	34 京都テレビ	8 関西テレビ	9	10 読売テレビ	30 テレビ和歌山	12 NHK教育
兵庫	神戸	061	1	2 NHK総合	36 サンテレビ	4 毎日テレビ	19 テレビ大阪	6 ABCテレビ	34 京都テレビ	8 関西テレビ	9	10 読売テレビ	30 テレビ和歌山	12 NHK教育
	姫路	062	1	50 NHK総合	56 サンテレビ	54 毎日テレビ	5	58 ABCテレビ	7	60 関西テレビ	9	62 読売テレビ	11	52 NHK教育
	明石	063	1	51 NHK総合	55 サンテレビ	53 毎日テレビ	19 テレビ大阪	57 ABCテレビ	7	59 関西テレビ	9	61 読売テレビ	30 テレビ和歌山	49 NHK教育
	川西	064	1	29 NHK総合	33 サンテレビ	35 毎日テレビ	5	37 ABCテレビ	7	39 関西テレビ	9	41 読売テレビ	11	31 NHK教育
奈良	奈良	065	1	2 NHK総合	36 サンテレビ	4 毎日テレビ	19 テレビ大阪	6 ABCテレビ	62 奈良テレビ	8 関西テレビ	55 （奈良テレビ）	10 読売テレビ	11	12 NHK教育
和歌山	和歌山1	107	1	32 NHK総合	3	42 毎日テレビ	5	44 ABCテレビ	7	46 関西テレビ	9	48 読売テレビ	30 テレビ和歌山	25 NHK教育
	和歌山2	099	1	50 NHK総合	3	54 毎日テレビ	5	58 ABCテレビ	7	60 関西テレビ	9	62 読売テレビ	56 テレビ和歌山	52 NHK教育
鳥取	鳥取	067	1 日本海テレビ	2	3 NHK総合	4 NHK教育	5	6	7	24 山陰中央テレビ	9	22 BSSテレビ	11	12
島根	松江	068	30 日本海テレビ	2	34 山陰中央テレビ	4	5	6 NHK総合	7	8	9	10 BSSテレビ	11	12 NHK教育
	浜田	069	1	2 NHK総合	54 日本海テレビ	4	5 BSSテレビ	6	7	58 山陰中央テレビ	9 NHK教育	10	11	12
岡山	岡山	070	23 テレビせとうち	2	3 NHK教育	4	5 NHK総合	25 瀬戸内海テレビ	35 OHKテレビ	8	9 西日本放送	10	11 山陽放送	12
広島	広島	071	31 テレビ新広島	2	3 NHK総合	4 RCCテレビ	5	6	7 NHK教育	8	9	35 広島ホームテレビ	11	12 広島テレビ
	福山	072	1 NHK総合	2	24 広島ホームテレビ	4	26 テレビ新広島	6	7 NHK教育	8	9	10 RCCテレビ	11	12 広島テレビ
	呉	073	1 NHK教育	2	24 広島ホームテレビ	4	5 広島テレビ	6	26 テレビ新広島	8	9 RCCテレビ	10	11 NHK総合	12
山口	山口	074	1 NHK教育	2	3	4	52 山口朝日放送	6	38 テレビ山口	8	9 NHK総合	10	11 山口放送	12
	下関	075	41 NHK教育	2 九州朝日放送	23 TVQ九州放送	4 山口放送	21 山口朝日放送	6 (NHK総合)	33 テレビ山口	8 RKB毎日放送	39 NHK総合	10 テレビ西日本	35 福岡放送	12 (NHK教育)
	宇部	076	14 NHK教育	2 九州朝日放送	3	4	31 山口朝日放送	6 (NHK総合)	20 テレビ山口	8 RKB毎日放送	16 NHK総合	10 テレビ西日本	18 山口放送	12
	岩国	077	1 NHK教育	2	3	4 RCCテレビ	22 テレビ山口	6	28 山口朝日放送	8	9 NHK総合	10 南海テレビ	11 山口放送	12 広島テレビ
徳島	徳島	097	1 四国テレビ	2	3 NHK総合	4 毎日テレビ	5	6 ABCテレビ	7	8 関西テレビ	9	10 読売テレビ	11	12 NHK教育
香川	高松	078	33 瀬戸内海テレビ	2	39 NHK教育	4	37 NHK総合	6	31 OHKテレビ	8	41 西日本放送	10	29 山陽放送	19 テレビせとうち
愛媛	松山	079	1	2 NHK教育	3	29 あいテレビ	25 愛媛朝日テレビ	6 NHK総合	7	37 テレビ愛媛	9	10 南海テレビ	11	35 広島ホームテレビ
	新居浜	080	1	2 NHK総合	3	4 NHK教育	14 愛媛朝日テレビ	6 南海テレビ	7	36 テレビ愛媛	9	10	27 あいテレビ	12
	今治	081	1	30 NHK教育	3	27 あいテレビ	14 愛媛朝日テレビ	32 NHK総合	7	36 テレビ愛媛	9	34 南海テレビ	11	38 広島ホームテレビ
高知	高知	082	1	2	3	4 NHK総合	5	6 NHK教育	7	8 高知放送	9	38 テレビ高知	11	40 高知さんさんテレビ

	リモコン番号		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
都道府県	都市名	地域番号	受信チャンネル 放送局名											
福岡	福岡	083	1 九州朝日放送	2	3 NHK総合	4 RKB毎日放送	5	6 NHK教育	7	8	9 テレビ西日本		19 TVQ九州放送	37 福岡放送
	北九州	084	1	2 九州朝日放送	23 TVQ九州放送	35 福岡放送	5	6 NHK総合	7	8 RKB毎日放送	9	10 テレビ西日本	11	12 NHK教育
	久留米	085	57 九州朝日放送	2	46 NHK総合	48 RKB毎日放送	5	54 NHK教育	7	8	60 テレビ西日本	10	14 TVQ九州放送	52 福岡放送
	大牟田	086	58 九州朝日放送	19 TVQ九州放送	53 NHK総合	61 RKB毎日放送	5	50 NHK教育	7	8	55 テレビ西日本	10	43 福岡放送	12
佐賀	佐賀	087	19 TVQ九州放送	36 サガテレビ	40 NHK教育	38 NHK総合	48 RKB毎日放送	52 福岡放送	57 九州朝日放送	60 テレビ西日本	9 (NHK総合)	10	11 熊本放送	12
長崎	長崎	088	1 NHK教育	2	3 NHK総合	4	5 長崎放送	6	37 テレビ長崎	8	27 長崎文化放送	10	25 長崎国際テレビ	12
	佐世保	089	1	2 NHK教育	3	17 長崎国際テレビ	5	31 長崎文化放送	7	8 NHK総合	9	10 長崎放送	11	35 テレビ長崎
熊本	熊本	090	1	2 NHK教育	16 熊本朝日放送	4	22 熊本県民テレビ	6	34 テレビ熊本	8	9 NHK総合	10	11 熊本放送	12
大分	大分	091	1 (NHK教育)	2	3 NHK総合	34 あいテレビ	5 大分テレビ	6 (NHK総合)	36 テレビ大分	32 テレビ愛媛	24 大分朝日放送	10 南海テレビ	11	12 NHK教育
宮崎	宮崎	092	1	2	3	4	5	35 テレビ宮崎	7	8 NHK総合	9	10 宮崎放送	11	12 NHK教育
	延岡	093	1	2 NHK教育	3	4 NHK総合	5	6 宮崎放送	7	39 テレビ宮崎	9	10	11	12
鹿児島	鹿児島	094	1 南日本放送	2	3 NHK総合	4	5 NHK教育	6	32 鹿児島放送	8	38 鹿児島テレビ	10	30 鹿児島読売テレビ	12
	阿久根	095	1	30 鹿児島読売テレビ	3	23 鹿児島放送	5	35 鹿児島テレビ	7	8 NHK総合	9	10 南日本放送	11	12 NHK教育
沖縄	那覇	096	1	2 NHK総合	3	4	5	6	7	8 沖縄テレビ	28 琉球朝日放送	10 琉球放送テレビ	11	12 NHK教育

- 地域番号別に設定されたリモコン番号と受信チャンネル・放送局名は、当社の調査によるものです。（2005年12月現在）

その他の地域番号　（*印のチャンネルはスキップされません。）

リモコン番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
地域番号	受信チャンネル											
024	*29	2	*27	*25	5	*23	7	*21	*31	*19	11	*17
026	*43	2	*45	*39	*40	*37	7	*35	9	*33	*41	*31
028	*33	2	*35	*25	5	*23	*16	*21	*28	*19	11	*17
031	*51	2	*49	*53	*47	*55	7	*57	9	*59	11	*61
032	*30	2	*32	*26	*28	*24	7	*22	9	*20	11	*18
048	*1	2	*3	4	*5	6	*35	8	*9	10	*11	*28
066	1	*32	3	*42	5	*44	7	*46	9	*48	*30	*26

地上アナログ放送のチャンネルを設定する（つづき）

個別設定

■ 地域番号一覧表に当てはまらない地域や、地域番号によるチャンネル設定後に他の放送チャンネルを追加したいときは、1局ずつチャンネルを設定してください。（受信できる放送局を自動で探し追加登録する場合は、追加設定（**52** ページ）をお試しください。）

■ ふだん使用されている受信エリアで、新聞の番組表などにチャンネルの順番を合わせておくと便利です。

共通操作

1 **地上Aを押して地上アナログ放送を選ぶ**

2 **メニュー画面から「本体設定」－「チャンネル設定」を選び、** **を押す**

メニュー項目

受信チャンネル

・放送局からの電波を受信するために合わせるチャンネルです。

［例］ 地上アナログ放送受信時にチャンネルボタン5（リモコン番号「5」）を押すとUHF放送「42」チャンネルが選局できるように設定する

6 **5を押して、▲ ▼で「受信チャンネル」を選ぶ**

■メニュー ［本体設定 … チャンネル設定 … 地上アナログ-個別］
リモコン番号 5
受信チャンネル 5
チャンネル表示 5
受信微調整 0 −64 +63

チャンネル表示

・テレビ画面に表示されるチャンネル（番号）のことです。ご使用の地域で使われている、使い慣れたチャンネル表示に変えることができます。

［例］ 地上アナログ放送受信時にチャンネルボタン6を押したときのチャンネル表示「6」を「48」に変える

6 **6を押して、▲ ▼で「チャンネル表示」を選ぶ**

受信微調整

・ご使用になる地域によっては、調整を少しずらしたほうが見やすくなる場合があります。そのようなときに調整します。

［例］ チャンネルボタン6の地上アナログ放送の受信状態を微調整する

6 **6を押して、▲ ▼で「受信微調整」を選ぶ**

スキップ

・あらかじめチャンネルスキップを設定しておくと、選局（∧順／∨逆）ボタンで選局するときに、空きチャンネル（放送のないチャンネル）や受信状態の悪いチャンネルを飛び越して（スキップして）選局することができます。

［例］ チャンネルボタン11の地上アナログ放送をスキップ設定する

6 **11を押して、▲ ▼で「スキップ」を選ぶ**

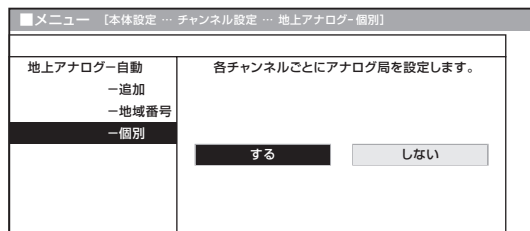
■メニュー ［本体設定 … チャンネル設定 … 地上アナログ-個別］
リモコン番号 11
受信チャンネル 11
チャンネル表示 11
受信微調整 0 −64 +63
GR設定 ◎入 ○切
GR速度 ◎標準 ○速い
スキップ ●する ●しない

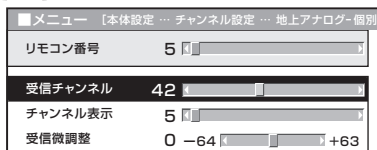
CATV（ケーブルテレビ）放送について

- CATVの受信は、サービスの行われている地域のみ可能です。
- CATVを受信するときは、使用する機器ごとにCATV会社との受信契約が必要です。さらに、スクランブルのかかった有料放送の視聴・録画にはホームターミナル（アダプター）が必要になります。詳しくはCATV会社にご相談ください。
- CATVチャンネルを選局（∧順／∨逆）ボタンで選局できるようにするには、個別設定のチャンネルスキップを「しない」にしてください。
- 本機のCATVチャンネルは、C13～C63チャンネルの範囲で選局できます。（選局のしかたは**83**ページ）
- 「受信チャンネル」の手順**7**で右カーソルボタンまたは左カーソルボタンを押し続けると、放送を探して受信します。

3 ▲ ▼ で「地上アナログ」を選び、決定 を押す

4 ▲ ▼ で「地上アナログー個別」を選び、決定 を押す

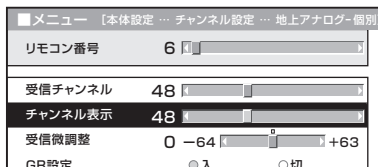
5 ◀ ▶ で「する」を選び、決定 を押す

設定画面

7 ◀ ▶ で「42」を選ぶ

- これでチャンネルボタン 5 に42チャンネルが設定されました。

操作終了する場合は

メニュー または 終了 を押し、通常画面に戻す

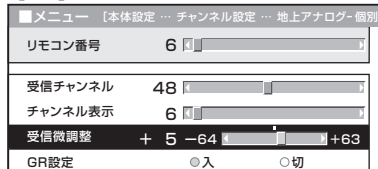
- 1つ前に戻る場合は 戻る を押してください。

7 ◀ ▶ で、表示したいチャンネル番号「48」を選ぶ

- これで、チャンネルボタン「6」を選局すると、チャンネルサイン（画面表示）に「48」と表示されます。

操作終了する場合は

メニュー または 終了 を押し、通常画面に戻す

- 1つ前に戻る場合は 戻る を押してください。

7 ◀ ▶ で、見やすい映像に調整する

- 背景となっている受信中の映像がもっともよく見える位置に調整してください。
- −64～0～＋63の範囲で調整できます。
- 操作終了する場合は メニュー または 終了 を押してください。

7 ◀ ▶ で「する」を選ぶ

- チャンネルスキップを解除するときは、「しない」を選びます。
- これで、選局（∧順／∨逆）ボタンで選局操作を行ったとき、11チャンネルをスキップします。

- CATVチャンネル（C13～C63）は、工場出荷時にスキップ「する」の状態になっています。選局ボタンで選局できるようにするには、手順**6**の画面で、上下カーソルボタンで「リモコン番号」を選び、左右カーソルボタンでスキップを解除したいCATVチャンネルを選んでおきます。それから左記の操作を行い、スキップ「しない」を選びます。
- 操作終了する場合は メニュー または 終了 を押してください。

デジタル放送の設定について

設定のながれ

1.B-CASカードを入れる(64ページ)

・デジタル放送を視聴するときには、B-CASカードを必ず挿入してください。

↓

2.地域設定をする(65ページ)

・地上デジタル放送の受信に必要な設定です。

3.地上デジタル放送のチャンネルを設定する(67ページ)

4.アンテナ設定をする(72ページ)

・BS･110度CSデジタル共用アンテナを初めて設置したときや、
引っ越しなどでデジタル放送用アンテナを移動したときに必要な設定です。

5.電話回線の接続と設定(74ページ)

・デジタル放送の双方向番組に参加したい場合や有料放送を受信したい場合に
必要な接続･設定です。

6.システム動作テストをする(79ページ)

・B-CASカードが正しく挿入されているか、電話回線が正しく接続されているか
をテストできます。

7.BS･110度CSデジタル放送のチャンネルスキップ設定(80ページ)

・BSデジタル放送と110度CSデジタル放送で、視聴しないチャンネルを
スキップするように設定できます。

❽ B-CASカードについて

■ 地上デジタル放送、BSデジタル放送、110度CSデジタル放送では、B-CAS（ビーキャス）カードを利用した限定受信システム（＝CAS）を採用しています。
付属のB-CASカード番号登録用はがきを送り、B-CASカードの番号を登録することで受信者登録が行われます。
■ B-CASカードは、必ず登録してください。（登録は無料です。）
■ スカパー！110、WOWOWデジタルプラス、WOWOW、スターチャンネルなどの有料サービスを受けるには、各プラットフォームや放送局との個別受信契約が必要となります。

付属のB-CASカード

B-CASカードおよびコピー制御信号についてのお知らせ

デジタル放送を視聴するときには、B-CASカードを必ず挿入してください。

● 2004年4月から、コピー制御のために、B-CASカードの機能を利用しています。
● B-CASカードを挿入しないと、すべてのデジタルテレビ放送が映りません。
● B-CASカードを挿入していただくことで、番組をお楽しみいただけます。

デジタル放送のほとんどの番組には「1回だけ録画可能」のコピー制御信号が加えられています。

● この信号とともにデジタル録画された番組は、他のデジタル録画機器へのダビングができません。

コピー制御お問合せセンター
電話：0570-000-288（午前10時～午後8時）（2005年12月現在）

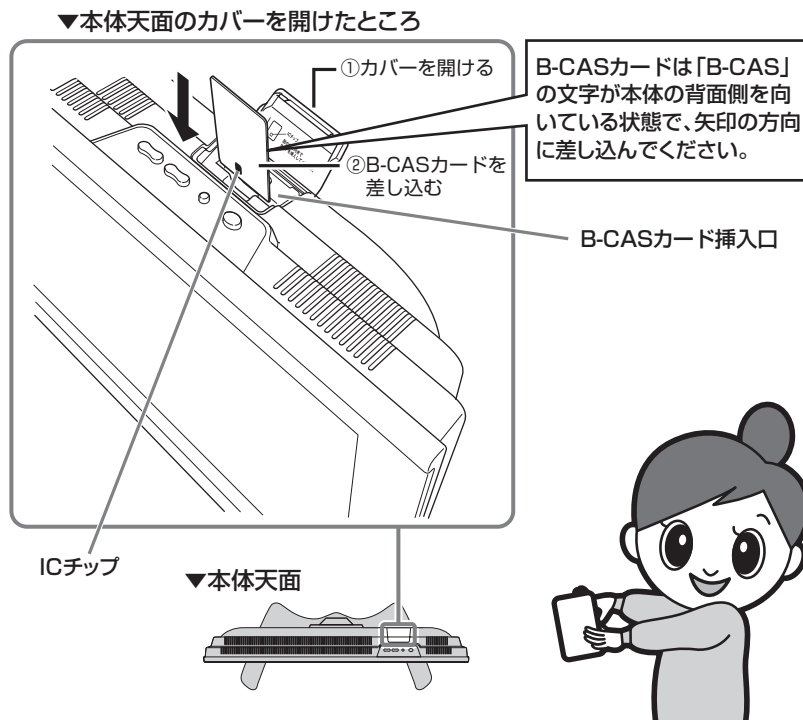
B-CASカードについて（つづき）

B-CASカードを入れる

・ デジタル放送を視聴する場合は、必ずB-CASカードを挿入してください。

B-CASカードの入れかた

リモコンでいったん電源を「切」にして、以下の手順で挿入します。

① 本体天面のカバーを開ける。
② B-CASカードを矢印の方向に差し込む。（奥まで確実に挿入してください。）
③ カバーを閉め、再度、リモコンで電源を入れる。
④ メニュー画面から「お知らせ」－「B-CASカード番号表示」を選び、決定を押す。
⑤ 「実行」で決定を押す。
⑥ カード番号が正しく表示されることを確認し、「戻る」で決定を押す。

B-CASカードについて

・ B-CASカードには視聴情報などが記憶されますので、本機に入れたままご使用ください。
・ B-CASカードは大切に保管してください。仮に他人があなたのB-CASカードを使用して有料番組を視聴した場合でも、視聴料はあなたの口座に請求されます。
・ 破損等によりB-CASカードの再発行を依頼される場合は費用が必要となります。（2004年12月現在）
詳しくは、（株）ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ カスタマーセンターまでご連絡ください。
（カスタマーセンターの連絡先は、B-CASカードに記載されています。）

取扱い上のご注意

・ B-CASカードを折り曲げたり、変形させたり、傷をつけたりしないでください。
・ B-CASカードの上に重いものを置いたり、踏みつけたりしないでください。
・ B-CASカードの金属部（集積回路）には手を触れないでください。
・ B-CASカードを分解、加工しないでください。
・ B-CASカードは上記の手順どおり、本機のB-CASカード挿入口に正しく差し込んでください。
・ B-CASカード挿入口には、本機に付属しているB-CASカード以外のものを挿入しないでください。
・ 本機をご使用中は、B-CASカードを抜き差ししないでください。視聴できなくなる場合があります。万一、B-CASカードを抜く必要がある場合は、本機の電源を一度切り、本機を電源コンセントに接続しない状態で、ゆっくりと抜いてください。
・ B-CASカードにはIC（集積回路）が組み込まれているため、画面にB-CASカードに関するメッセージが表示されたとき以外は、抜き差ししないでください。

❾ 地域設定をする

地域と郵便番号を設定する

■ 地上デジタル放送チャンネルを受信するために、地域設定をお住まいの地域に設定します。
チャンネル設定の前に、必ず地域設定をしてください。（工場出荷時は関東の東京に設定されています。）

■ デジタル放送の緊急ニュースなどの文字スーパーやデータ放送は、地域によって放送される内容が異なることがあります。お客さまがお住まいの地域に向けた情報を受信するために、必ず地域設定を行ってください。

メニュー画面について

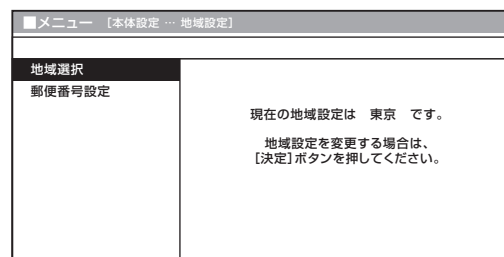
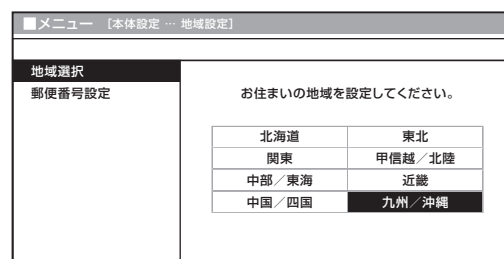
• メニュー画面は表示後、何も操作しないと約1分後に自動的に消えます。表示されている間につぎの操作を行ってください。

地域選択

B-CASカードは正しい向きに挿入してありますか。正しい向きに入っていないとデジタル放送が受信できません。（63・64ページ）

1 ① メニュー を押し、メニュー画面を表示する
② ◀▶ で「本体設定」を選ぶ
③ ▲▼ で「地域設定」を選び、決定 を押す

• 地域設定画面が表示されます。

2 ▲▼ で「地域選択」を選び、決定 を押す

3 お住まいの地域を ▲▼◀▶ で選び、決定 を押す

次ページへつづく

地域設定をする(つづき)

4 **お住まいの都道府県を ▲ ▼ ◀ ▶ で選び、決定 を押す**

関東・中部／東海・近畿の一部の都府県を選択した場合は、手順4の後につぎの画面が表示されます。

5 **◀ ▶ で「する」または「しない」を選び、決定 を押す**

- 通常は「する」を選んでください。「しない」は他県の電波しか受信できないなど特別な受信環境の場合に選びます。

郵便番号設定

1 **① メニュー を押し、メニュー画面を表示する**

② ◀ ▶ で「本体設定」を選ぶ

③ ▲ ▼ で「地域設定」を選び、決定 を押す

- 地域設定画面が表示されます。

2 **▲ ▼ で「郵便番号設定」を選び、決定 を押す**

3 **数字ボタン(1～10/0)で郵便番号を入力し、決定 を押す**

- 入力した番号を修正するときは、修正したい欄を左右カーソルボタンで選び、数字ボタンで入力しなおします。

操作終了する場合は

メニュー または 終了 を押し、通常画面に戻す

- 1つ前に戻る場合は 戻る を押してください。

⑩ 地上デジタル放送のチャンネルを設定する

地上デジタル放送のチャンネル設定について

■ 地上デジタル放送を視聴するためのチャンネル設定です。お住まいの地域で地上デジタル放送が開始されてから行ってください。

■ **チャンネル設定をする前に、必ず地域設定（65ページ）をお住まいの地域に設定しておいてください。**（工場出荷時は、東京都心で放送が受信できるように設定されています。）

メニュー項目	内　容
地上デジタル－自動 ☞ **68**ページ	• お住まいの地域で受信可能な地上デジタル放送のチャンネルを自動登録するときに選びます。 • 最初のチャンネル設定は、必ず「自動」で行ってください。また、引っ越しなどでお住まいの地域が変わった場合も再度、自動登録をしてください。
地上デジタル－追加 ☞ **68**ページ	• 設定後、新しく開始された放送チャンネルを追加登録するときに選びます。 • すでに登録されているチャンネルはそのまま残ります。
地上デジタル－個別 ☞ **70**ページ	• 登録した放送チャンネルをリスト表示して、確認することができます。 • 登録したチャンネルの、番号重複時の変更や選局（∧順／∨逆）ボタンでのチャンネルスキップを設定することができます。

地上デジタル放送の受信チャンネル番号・枝番について

• 地上デジタル放送では、チャンネルボタン（1～12）のチャンネル番号のほかに、3桁のチャンネル番号が付けられています。1つの放送局が複数の番組を同時に放送する場合には、3桁のチャンネル番号で区別することになります。
• 3桁のチャンネル番号は、放送地域内（都府県、北海道は7地域）ではそれぞれ別番号になっています。したがって、通常は3桁で放送番組を特定できます。ただし、お住まいの地域により、隣接する他地域の放送も受信できることがあります。この場合は、3桁チャンネル番号が重複するケースがあります。このケースでは、さらにもう1桁（これを「枝番」といいます）を入力して選局することになります。

地上デジタル放送のCATV放送対応について

• 本機で受信できるケーブルテレビ（CATV）の方式は、「パススルー方式」※（UHF帯、ミッドバンド［MID］帯、スーパーハイバンド［SHB］帯、VHF帯）です。

※CATVパススルー方式とは： CATV配信局が地上デジタル放送を、内容はそのままでCATV網に流す放送方式です。
この方式では、地上デジタル放送が本来使っているUHF帯のチャンネルとは異なる他のチャンネルに周波数を変換して再送信することがあります。
本機で受信できるのは、UHF帯、ミッドバンド（MID）帯、スーパーハイバンド（SHB）帯、およびVHF帯です。
※トランスモジュレーション方式には対応していません。

地上デジタル放送のチャンネルを設定する(つづき)

共通操作

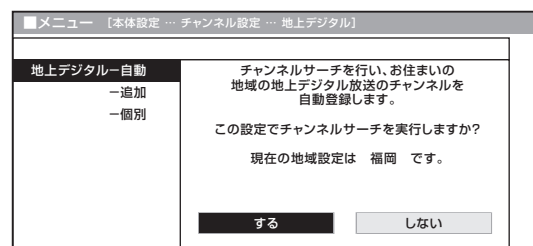
1 ① 地上Dを押し、地上デジタル放送を選ぶ
② メニューを押し、メニュー画面を表示する

メニュー項目

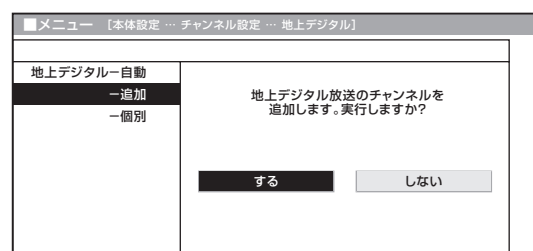
自動登録

■ 初めて受信チャンネルを登録するときや、引っ越しなどでお住まいの地域が変わった場合は「自動登録」を行います。

■ **チャンネル設定の前に、必ず地域設定(65ページ)をしてください。**(工場出荷時は関東の東京に設定されています。)

4 ① ▲▼で「地上デジタルー自動」を選び、決定を押す
② ◀▶で「する」を選び、決定を押す

追加登録

■ 自動登録で設定後、新しく開始された放送チャンネルを追加するときに行います。

4 ① ▲▼で「地上デジタルー追加」を選び、決定を押す
② ◀▶で「する」を選び、決定を押す

B-CASカードは正しい向きに挿入してありますか。正しい向きに入っていないとデジタル放送が受信できません。(**63・64**ページ)

2 ① ◀▶で「本体設定」を選ぶ

②

▲▼で「チャンネル設定」を選び、決定を押す

3

▲▼で「地上デジタル」を選び、決定を押す

設定画面

5 **◀▶でサーチ範囲を選び、決定を押す**

「UHF」…通常はこちらを選びます。

「全チャンネル」… CATVパススルー※の場合に選びます。

※CATVパススルーとは

- CATV配信局が地上デジタル放送を、内容はそのままでCATV網に流す放送方式です。この方式では、地上デジタル放送が本来使っているUHF帯のチャンネルとは異なる他チャンネルに周波数を変換して再送信することがあります。本機で受信できるのは、UHF帯、ミッドバンド(MID)帯、スーパーハイバンド(SHB)帯、およびVHF帯です。

6

- 自動登録が開始し、確認中の画面が表示されます。

- 自動登録が終了すると、登録終了の画面が表示されます。

7 **「終了」で決定を押す**

5 **◀▶でサーチ範囲を選び、決定を押す**

「UHF」…通常はこちらを選びます。

「全チャンネル」… CATVパススルー※の場合に選びます。

6

- 追加登録が開始され、確認中の画面が表示されます。

- 追加登録が終了すると、追加終了の画面が表示されます。

7 **「終了」で決定を押す**

地上デジタル放送のチャンネルを設定する（つづき）

個別設定

■ 登録した地上デジタル放送のチャンネルは、つぎの3つの設定内容を変更することができます。

「数字ボタン」.......... 登録先のリモコン数字ボタンを変更します。
「枝番」...................... チャンネル番号の4桁め（枝番）を変更します。
「スキップ」.............. 選局（∧順／∨逆）ボタンでの選局時に、スキップするかしないかを設定します。

共通操作

1
① 地上D を押し、地上デジタル放送を選ぶ
② メニュー画面から「本体設定」－「チャンネル設定」を選び、決定を押す

メニュー項目	

登録先の数字ボタンを変更する

• 登録した放送チャンネルの、登録先リモコン数字ボタンを他の数字ボタンに変更することができます。

• 手順5の後、入力した数字が他チャンネルの数字ボタンと重複している場合は、「数字ボタンが重複しています。置き換えますか?」の確認画面が表示されます。画面またはリモコンの戻るボタンを押してから、置き換える数字を入力して決定ボタンを押してください。

4
① ▲ ▼ で、変更したい放送チャンネルを選び、決定を押す
② ◀ ▶ で「数字ボタン」を選び、決定を押す

地上デジタル－自動	放送局	3桁	スキップ
－追加	テレビ ① ●●●●●	051	
－個別	テレビ ② ●●●●●	061	
	テレビ ③ ●●●●●	121	
	テレビ ④ ●●●●●	041	
	テレビ ⑤ ●●●●●	021	

変更する項目を選択してください。

数字ボタン　スキップ　戻る

• 数字ボタン入力欄が表示されます。

枝番を変更する

• 受信された放送局の中で、3桁チャンネル番号が重複している場合は、4桁め（枝番）を変更して区別することができます。

• 手順5の後、入力した枝番の数字が他チャンネルの枝番と重複している場合は、「枝番が重複しています。置き換えますか?」の確認画面が表示されます。戻るボタンを押してから、置き換える枝番の数字を入力して決定ボタンを押してください。

4
① ▲ ▼ で、変更したい放送チャンネルを選び、決定を押す
② で「枝番」を選び、決定を押す

地上デジタル－自動	放送局	3桁	スキップ
－追加	テレビ ① ●●●●●	051-1	
－個別	テレビ ② ●●●●●	051-1	
	テレビ ③ ●●●●●	121	
	テレビ ④ ●●●●●	041	
	テレビ ⑤ ●●●●●	021	

変更する項目を選択してください。

数字ボタン　枝番　スキップ　戻る

視聴しないチャンネルをスキップする

• 選局ボタン（∧順／∨逆）でチャンネル選局をしたときに、視聴しない放送チャンネルなどを飛ばして選局するよう、設定することができます。

4
 ▲ ▼ で、スキップ設定したい放送チャンネルを選び、決定を押す

地上デジタル－自動	放送局	3桁	スキップ
－追加	テレビ ① ●●●●●	051	
－個別	テレビ ② ●●●●●	061	
	テレビ ③ ●●●●●	121	
	テレビ ④ ●●●●●	041	

- 手順**4**、**5**、**6**のそれぞれの画面で「戻る」を選んで、決定ボタンを押すと1つ前の画面に戻ります。

2 ▲▼で「地上デジタル」を選び、決定を押す

3 ▲▼で「地上デジタルー個別」を選び、決定を押す

■メニュー ［本体設定 … チャンネル設定 … 地上デジタル］

地上デジタルー自動	放送局	3桁	スキップ
ー追加	テレビ 1 ●●●●●	051	
ー個別	テレビ 2 ●●●●●	061	
	テレビ 3 ●●●●●	121	
	テレビ 4 ●●●●●	041	
	テレビ 5 ●●●●●	021	

設定画面

5 変更する数字ボタンの番号を、チャンネルボタン（1～12）で入力し、決定を押す

［例］6に変更する場合、6を押す

地上デジタルー自動	放送局	3桁	スキップ
ー追加	テレビ 1 ●●●●●	051	
ー個別	テレビ 2 ●●●●●	061	
	テレビ 3 ●●●●●	121	
	テレビ 4 ●●●●●	041	
	テレビ 5 ●●●●●	021	

変更する数字ボタンを入力して決定を押してください。
数字ボタン 6　戻る

6 ◀▶で「確認」を選び、決定を押す

地上デジタルー自動	放送局	3桁	スキップ
ー追加	テレビ 1 ●●●●●	051	
ー個別	テレビ 2 ●●●●●	061	
	テレビ 3 ●●●●●	121	
	テレビ 4 ●●●●●	041	
	テレビ 5 ●●●●●	021	

数字ボタンを変更します。
数字ボタン 6　確認　戻る

- 放送チャンネルリストの表示が変更されます。
- 終了する場合はメニューまたは終了を押します。

5 変更する枝番の数字を、数字ボタン（1～9）で入力し、決定を押す

［例］枝番を2に設定する場合、2を押す

地上デジタルー自動	放送局	3桁	スキップ
ー追加	テレビ 1 ●●●●●	051-1	
ー個別	テレビ 2 ●●●●●	051-1	
	テレビ 3 ●●●●●	121	
	テレビ 4 ●●●●●	041	
	テレビ 5 ●●●●●	021	

変更する枝番の数字を入力して決定を押してください。
数字ボタン 2　戻る

6 ◀▶で「確認」を選び、決定を押す

- チャンネルの枝番が変更されます。
- 終了する場合はメニューまたは終了を押します。

5 ◀▶で「スキップ」を選び、決定を押す

- スキップ選択画面が表示されます。

6 ◀▶で「する」を選び、決定を押す

- スキップをしないときは、左右カーソルボタンで「しない」を選び、決定ボタンを押します。

- 放送チャンネルリストのスキップ欄に「する」が表示されます。
- 終了する場合はメニューまたは終了を押します。

⑪ デジタル放送を視聴するための設定をする

アンテナ設定

■ BS･110度CS共用アンテナをはじめて設置したときや引っ越しなどでデジタル放送用のアンテナを移動したときなどは、アンテナ設定が必要となります。その場合、アンテナ設定画面を見ながら設定を行うことができます。

メニュー画面について

- メニュー画面は表示後、何も操作しないと約1分後に自動的に消えます。表示されている間につぎの操作を行ってください。
- アンテナ設定画面は無操作のまま1分間経過しても消えません。消すときは、メニューまたは終了ボタンを押してください。

アンテナ設定画面を表示する

［例］ BSデジタル放送のアンテナ設定をする

1 BSを押し、BSデジタル放送を選ぶ

- 画面に「放送が受信できません」と表示されても、設定を行うことができます。

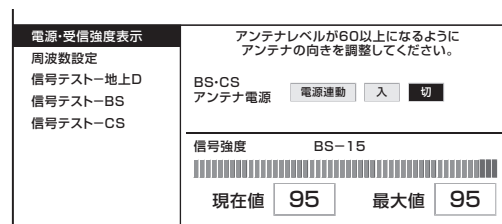
2 メニュー画面から「本体設定」ー「アンテナ設定」を選び、決定を押す

- アンテナ設定画面が表示されます。

アンテナに電源を供給する

地上デジタル放送にはアンテナ電源入／切の設定はありません。

3 ① 「電源･受信強度表示」で決定を押す

② ◀▶で「電源連動」「入」「切」のいずれかを選ぶ

「電源連動」‥ 本機の電源入･切に連動してアンテナに電源を供給します。

「入」 ‥‥‥‥ 個人でアンテナを設置･接続している場合

「切」 ‥‥‥‥ 電源を供給しないときの設定（共聴アンテナに接続している場合など）（工場出荷時の設定）

次ページへつづく

受信強度を確認・調整する

4 （アンテナの調整が済んでいる場合は、この手順は必要ありません。）

アンテナレベルが最大になるようにアンテナの向きを調整する

- アンテナレベル（信号強度）が60以上になるように、アンテナの向きを調整してください。

電源・受信強度表示
周波数設定
信号テストー地上D
信号テストーBS
信号テストーCS

アンテナレベルが60以上になるように
アンテナの向きを調整してください。

BS・CS
アンテナ電源　電源連動　入　切

信号強度　BSー15
現在値 95　最大値 95

5 **決定を押す**

- 共聴アンテナなどに接続したときの設定を誤って「入」にして、「アンテナ線がショートしています。」などのおしらせが表示されたときは、設定を「切」に変更してください。

信号テスト

6 **▲▼で「信号テストーBS」を選び、決定を押す**

電源・受信強度表示
周波数設定
信号テストー地上D
信号テストーBS
信号テストーCS

BS衛星信号テスト

BSー1	BSー3	BSー5
BSー7	BSー9	BSー11
BSー13	BSー15	終了

信号強度　BSー15
現在値 95　最大値 95

- 受信強度表示はアンテナの角度の最適値を確認するためのものです。表示される数値などは、具体的な信号強度などを示すものではありません。
(表示される数値は、受信C/Nの換算値です。)

7 **「BSー1」～「BSー15」のうち、確認したい項目を▲▼◀▶で選び、決定を押す**

- 現在、信号が送られているのは「BS-1」「BS-3」「BS-13」「BS-15」です。(2004年12月現在)

- アンテナレベル（信号強度）が60以上あることを確認してください。

8 **▲▼◀▶で「終了」を選び、決定を押す**

操作終了する場合は

メニュー または 終了 を押し、通常画面に戻す

- 1つ前に戻る場合は 戻る を押してください。

■地上デジタル放送・110度CSデジタル放送の信号テスト

手順6で「信号テストー地上D」または「信号テストーCS」を選び、決定ボタンを押します。あとは同じ要領で行ってください。

■周波数設定

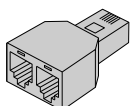
新しい衛星が追加されたり、現在の衛星が故障したりした場合など、新しい周波数を入力することで、受信に必要な情報を取得できます。
通常は、設定する必要はありません。

デジタル放送を視聴するための設定をする（つづき）

■本機は、デジタル放送の双方向番組への参加や有料放送の受信情報の管理のために、放送局との通信を、電話回線を使って行います。
双方向番組に参加する場合や有料放送を受信する場合は、電話回線に接続してください。（一部の双方向番組はLAN接続でも利用できます。）

電話回線に接続する

付属の電話線とモジュラー分配器

電話線

モジュラー分配器

1 **本機と電話機の電源を切る**

2 **電話機の接続線（モジュラー線）を電話線コンセントから外す**

3 **付属のモジュラー分配器を電話線コンセントに差し込む**

4 **電話機の接続線（モジュラー線）をモジュラー分配器の一方に差し込む**

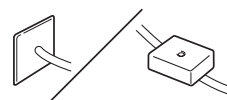
5 **付属の電話線でモジュラー分配器のもう一方と本機背面の電話回線端子を接続する**

接続上のご注意

- 電話線のプラグは奥まで完全に差し込んでください。
- 接続をするときは、本機や接続する機器の保護のため、電源を切ってください。
- 電話線のプラグを抜くときは、コードを引っ張らずにプラグを持って抜いてください。

つぎの電話回線では注意が必要です。

■電話回線がモジュラージャックでない場合の接続

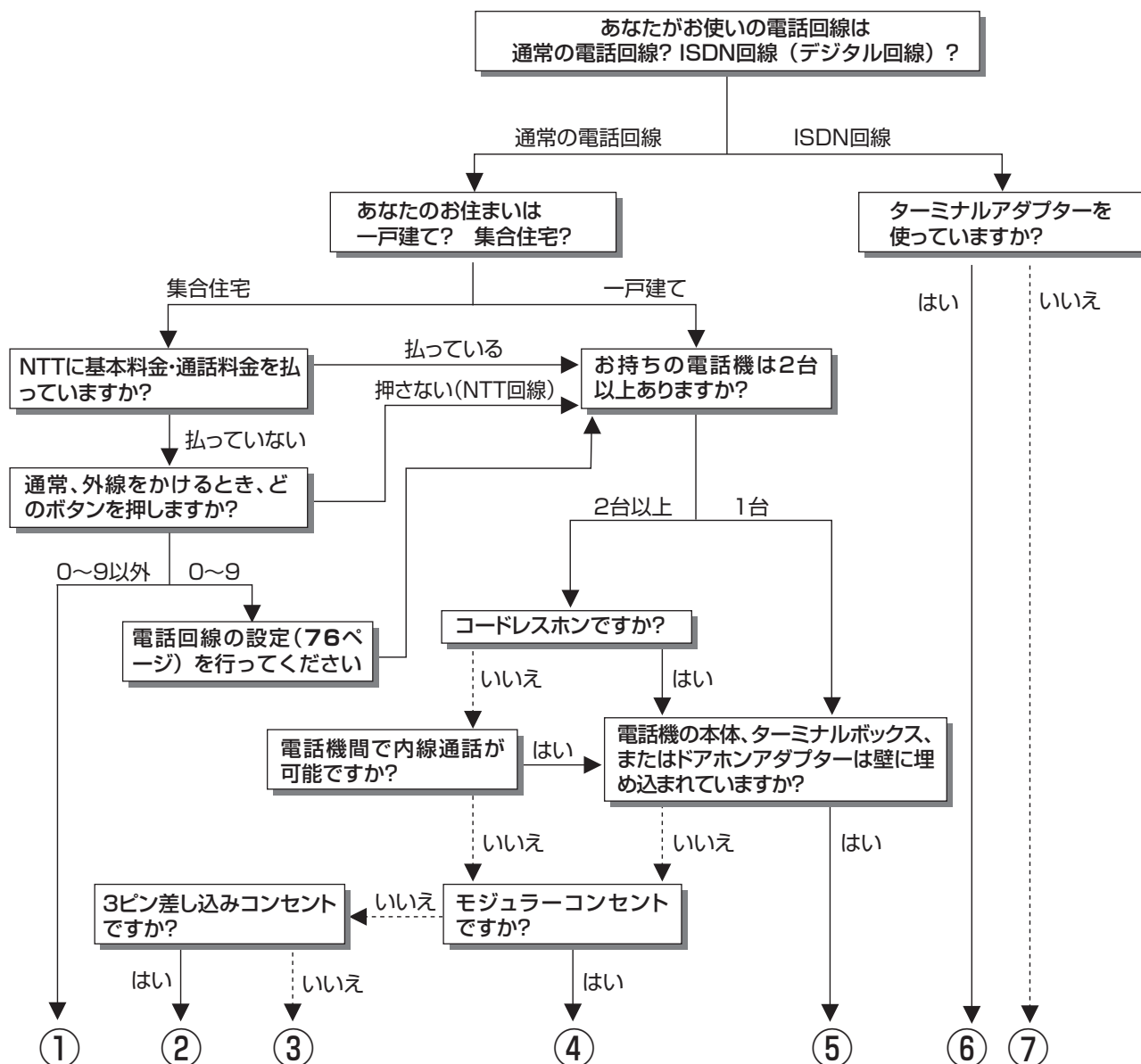
- **3ピンプラグの場合**
  市販の3ピンプラグからモジュラージャックへの変換アダプターをお求めください。
- **直結配線方式の場合**
  簡単な工事が必要です。詳細はお近くのNTT営業窓口、もしくは116（局番なし）にお問い合わせください。

■ **構内電話（ビジネスホン／ホームテレホン）では**
そのままでご利用になれないこともあります。その場合は単独の回線でのご利用をおすすめします。
詳細は電話設置会社にご相談ください。

■**キャッチホンでは**
通信の途中でキャッチホンが入ると通信が切断されます。これを防ぐため、キャッチホンⅡへのご加入をおすすめします。
詳細はお近くのNTT営業窓口、もしくは116（局番なし）にお問い合わせください。

■ **本機が電話回線を使って通信している間は、電話機を使用しないでください。**
通信中に電話をかけると、通信が切断されることがあります。通信中はデータ通信音（ピーヒョロヒョロ....）が聞こえます。その間は電話をしないでください。

■ **直接デジタル回線に接続することはできません。**
会社やホテルなどでご使用になる場合は、電話回線が一般回線（アナログ）であることをご確認のうえご利用ください。ISDNなどのデジタル回線に接続する場合は、ターミナルアダプター（TA）等の端末器を介して接続してください。

- 本機が放送局と通信しているとき、接続している電話機やファクシミリが鳴る場合がありますが異常ではありません。
- IP電話などの電話回線では、ご加入の通信会社によっては、デジタル放送の双方向サービスが受けられない場合があります。詳しくは、ご加入の通信会社へご確認ください。

下のチャートで電話回線の状態を確認した後、接続してください。
また、詳細はNTTへお問い合わせください。

① マンション交換機(PBX)を使用している可能性が大きいので、交換機を通さない電話回線につないでください。
② 市販の3ピンプラグからモジュラージャックへの変換アダプターをお求めください。
③ 専門業者によるモジュラーコンセントへの変換工事が必要です。
④ 付属の電話線とモジュラー分配器のみで接続可能です。(**74**ページ参照)
⑤ 専門業者による分岐工事が必要です。
⑥ 本機をターミナルアダプターに直接つないでください。
⑦ ターミナルアダプター(市販品)を使用し、本機をターミナルアダプターに直接つないでください。詳しくは、お使いのターミナルアダプターの取扱説明書をご覧ください。

※ ③、⑤についての詳細は、お近くのNTT営業窓口、もしくは116(局番なし)でご相談ください。

■ ADSL回線を利用するときは、「双方向通信を快適に楽しむ(LAN接続)」の説明(**184**ページ)をご覧ください。

※ ご加入の通信会社によっては、デジタル放送の双方向サービスを受けられない場合があります。詳しくは、ご加入の通信会社へご確認ください。

デジタル放送を視聴するための設定をする（つづき）

電話回線の設定

■ お使いになっている電話回線の設定をします。電話回線が接続されていることを確認してください。（**74**ページ参照）

- 電話回線のテスト実行には、回線接続料がかかります。
- 電話回線のテスト実行には、回線の種類により最大7分程度かかる場合があります。

メニュー画面について

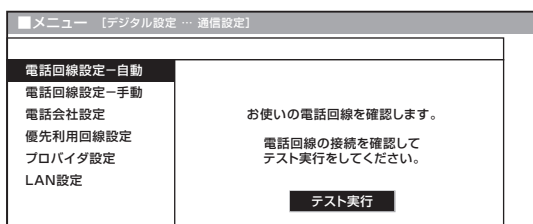
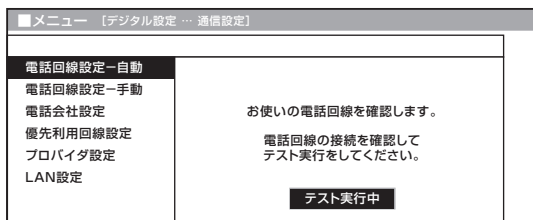
- メニュー画面は表示後、何も操作しないと約1分後に自動的に消えます。表示されている間につぎの操作を行ってください。

1 ① メニュー を押し、メニュー画面を表示する

② ◀▶で「デジタル設定」を選ぶ

③ ▲▼で「通信設定」を選び、決定を押す

2 ① ▲▼で「電話回線設定－自動」を選び、決定を押す

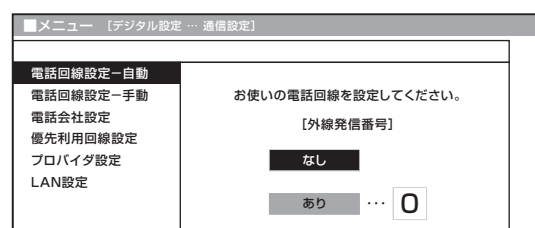
② 「テスト実行」で決定を押す

- 「テスト実行中」が表示されます。

- 「テスト実行中」→「テスト終了」と表示が変われば、電話回線の設定は完了です。
- 2回以上連続して電話回線の設定確認ができなかった場合は、自動的に外線発信番号の設定画面に切り換わります。（次の「外線発信番号の設定」をしてください。）

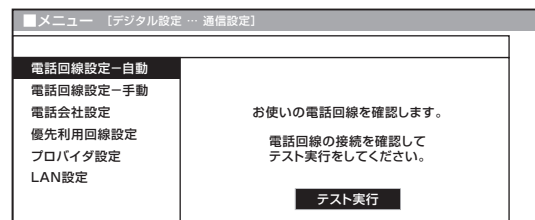
■ 電話回線の自動判定が2回以上連続してできなかった場合は、つぎの設定を行ってください。

外線発信番号の設定

1 ▲▼で外線発信番号「なし」または「あり」を選び、決定を押す

「なし」…… 外線交換機を使用しない場合（通常の一般家庭）

「あり」…… 電話交換機などをご使用の場合

- 「あり」を選んだ場合は、数字ボタン（1～10/0）で、外線発信番号（0～9）を右のボックスに入力してから、決定ボタンを押します。

2 「テスト実行」で決定を押す

- 「テスト実行」→「テスト実行中」→「テスト終了」と表示が変われば、電話回線の設定は完了です。
- 電話回線の設定確認ができなかった場合は、「接続を確認して、もう一度テスト実行をしてください。」と表示されます。

どうしても自動で電話回線の設定ができない場合は、「手動による電話回線設定」の手順にしたがってください。（**77**ページ参照）

- 外線発信番号はお間違いのないように設定してください。
- ご加入の通信会社によっては、デジタル放送の双方向サービスを受けられない場合があります。詳しくは、ご加入の通信会社にご確認ください。

■ どうしても自動で電話回線設定ができない場合は、つぎの手順により、手動で設定してください。

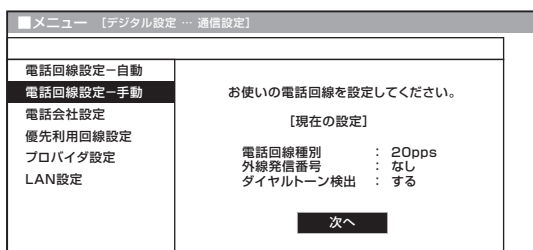
手動による電話回線設定

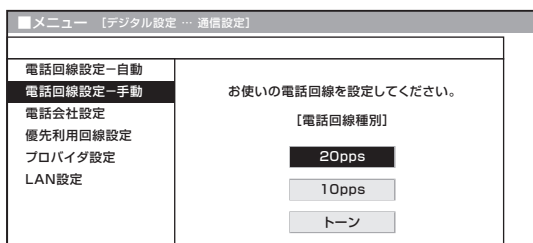
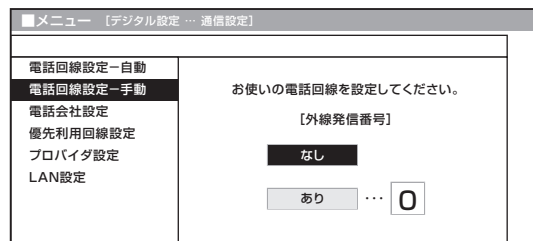
1 ① メニューを押し、メニュー画面を表示する

② ◀▶で「デジタル設定」を選ぶ

③ ▲▼で「通信設定」を選び、決定を押す

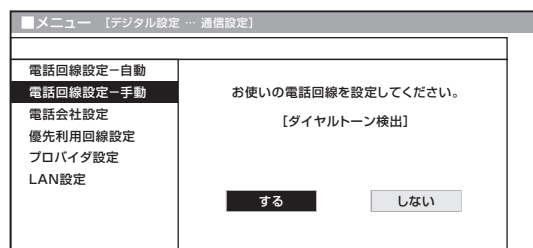
2 ① ▲▼で「電話回線設定－手動」を選び、決定を押す

② 「現在の設定」を確認し、「次へ」で決定を押す

3 ご契約の電話回線種別を▲▼で選び、決定を押す

- 契約している電話回線種別（ダイヤル方式）が分からない場合は、お近くのNTT営業窓口にお問い合わせください。

4 ① ▲▼で外線発信番号「なし」または「あり」を選ぶ

- 「あり」を選んだ場合は、数字ボタン（1〜10/0）で、外線発信番号（0〜9）を右のボックスに入力してください。

② 決定を押す

5 ダイヤルトーン検出「する」または「しない」を◀▶で選び、決定を押す

- NTT回線に直結している場合は「する」を選び、交換機を中継する場合は、交換機の機種により、「する」または「しない」を選んでください。

- 「電話回線設定－手動」で設定した内容を確認したい場合は、「電話回線設定－自動」で「テスト実行」を行ってください。（**76**ページ参照）

操作終了する場合は

メニュー または 終了 を押し、通常画面に戻す

- 1つ前に戻る場合は 戻る を押してください。

- 外線発信番号はお間違いのないように設定してください。

受信設定

デジタル放送を視聴するための設定をする（つづき）

次ページへつづく

デジタル放送を視聴するための設定をする(つづき)

電話会社設定

■ 各放送局など、電話回線を使って通信する際に利用する電話会社に関する設定です。
■ **通常は設定する必要はありません。**

発信者番号通知設定

・通信後、放送局などの相手先に電話番号を通知するかしないかの設定です。

1 ① メニューを押し、メニュー画面を表示する
② ◀▶で「デジタル設定」を選ぶ
③ ▲▼で「通信設定」を選び、決定を押す

2 ① ▲▼で「電話会社設定」を選び、決定を押す
② 「現在の設定」を確認し、「次へ」で決定を押す

3 ▲▼で「設定しない」「186」「184」のいずれかを選び、決定を押す

「設定しない」…… 「186」「184」の、どちらにも設定しません。
「186」…………… 番号を通知します。
「184」…………… 番号を通知しません。

事業者番号設定

・電話回線での通信に利用する電話会社の事業者番号を登録します。

4 ▲▼◀▶で、利用している電話会社の事業者番号を選び、決定を押す

解除番号設定

・マイラインプラスの登録をしている場合、登録している電話会社を使わずに発信するよう設定することができます。

5 ◀▶で「する」または「しない」を選び、決定を押す

「する」……… マイラインプラスを解除するための番号「122」を付けて発信します。
「しない」…… マイラインプラスを解除しないで、発信します。

操作終了する場合は

メニュー または 終了 を押し、通常画面に戻す

• 1つ前に戻る場合は 戻る を押してください。

システム動作テストを行う

■ 本機は、電話回線が正しく接続されているか、また、B-CASカードが正しく装着されているか、などをテストすることができます。

システム動作テストに失敗したときは

電話線接続
電話回線の接続と設定を確認してください。
⇨ **74**·**76**ページ

B-CASカード
B-CASカードが正しく挿入されているか確認してください。
⇨ **63**·**64**ページ

1 **メニュー画面から「デジタル設定」ー「システム動作テスト」を選び、(決定)を押す**

2 **「テスト実行」で(決定)を押し、テストを開始する**

- 表示が「テスト実行中」に変わります。
  テストが終了すると「テスト終了」になります。

3 **① 結果を確認する**
② 「テスト終了」で(決定)を押す

操作終了する場合は

(メニュー) または (終了) を押し、通常画面に戻す

- 1つ前に戻る場合は(戻る)を押してください。

BS・110度CSデジタル放送のチャンネルスキップ設定

■ BS/CSデジタル放送局には、テレビ／ラジオ／データと多チャンネルがありますが、選局ボタン(∧順／∨逆)で選局するときに、視聴しないチャンネルをスキップするように設定することができます。

［例］ BSデジタル放送のチャンネルスキップを設定する

1 **BS を押し、BSデジタル放送を選ぶ**

▼画面表示

④ BS テレビ
141
音声 ステレオ

2 **メニュー画面から「本体設定」－「チャンネル設定」を選び、決定 を押す**

3 **① ▲ ▼ で「BSデジタル」を選び、決定 を押す**
② ▲ ▼ で、スキップ設定したい放送チャンネルを選び、決定 を押す

地上アナログ 地上デジタル BSデジタル CSデジタル	放送局	3桁	スキップ
	テレビ ① ●●●●●	101	
	テレビ ② ●●●●●	102	
	テレビ ③ ●●●●●	103	
	テレビ ④ ●●●●●	141	
	テレビ ⑤ ●●●●●	142	▼

以上のチャンネルが受信できます。
設定を変更したいチャンネルを
選択して決定ボタンを押してください。

4 **◀ ▶ で「スキップ」を選び、決定 を押す**

地上アナログ 地上デジタル BSデジタル CSデジタル	放送局	3桁	スキップ
	テレビ ① ●●●●●	101	
	テレビ ② ●●●●●	102	
	テレビ ③ ●●●●●	103	
	テレビ ④ ●●●●●	141	
	テレビ ⑤ ●●●●●	142	▼

変更する項目を選択してください。

数字ボタン　スキップ　戻る

5 **◀ ▶ で「する」を選び、決定 を押す**

• スキップをしないときは、左右カーソルボタンで「しない」を選び、決定ボタンを押します。

地上アナログ 地上デジタル BSデジタル CSデジタル	放送局	3桁	スキップ
	テレビ ① ●●●●●	101	
	テレビ ② ●●●●●	102	
	テレビ ③ ●●●●●	103	
	テレビ ④ ●●●●●	141	
	テレビ ⑤ ●●●●●	142	▼

選局順逆時にこのチャンネルを
スキップして選局しますか?

する　しない　戻る

6 • 放送チャンネルリストのスキップ欄に「する」が表示されます。

地上アナログ 地上デジタル BSデジタル CSデジタル	放送局	3桁	スキップ
	テレビ ① ●●●●●	101	する
	テレビ ② ●●●●●	102	
	テレビ ③ ●●●●●	103	
	テレビ ④ ●●●●●	141	
	テレビ ⑤ ●●●●●	142	▼

以上のチャンネルが受信できます。
設定を変更したいチャンネルを
選択して決定ボタンを押してください。

操作終了する場合は

メニュー または 終了 を押し、通常画面に戻す

• 1つ前に戻る場合は 戻る を押してください。

放送を視聴する

ページ

番組を選ぶ 82

番組の選択手順と操作のしかた 82

その他の選局方法 83

ゴーストを軽減する（GR機能） 84

デジタル放送の登録チャンネルを確認する 86

工場出荷時に設定されているデジタルチャンネル一覧 87

デジタル放送のお好みのチャンネルを登録する 88

複数の映像や音声を切り換える 89

複数の映像を楽しむ 89

複数の音声を楽しむ 89

視聴中の番組の情報を見る 90

テレビ放送に連動したデータ放送を視聴する 90

番組を選ぶ

番組の選択手順と操作のしかた

操作のしかた

1 ネットワークを選ぶ

放送切換ボタンで、ネットワーク(放送)を選びます。

ボタン	放送
地上A	地上アナログ放送
地上D	地上デジタル放送
BS	BSデジタル放送
CS	110度CSデジタル放送

2 メディアを選ぶ(デジタル放送の場合)

テレビ／ラジオ／データボタンで、メディアを選びます。

・メディアとは、テレビ、ラジオなどの放送媒体を意味します。

※ボタンを押すたびに切り換わります。

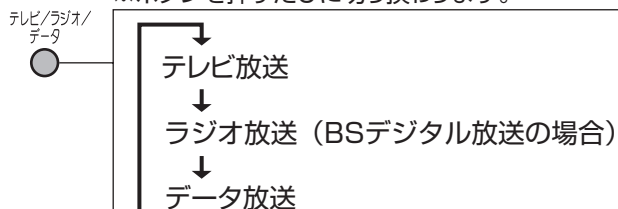
3 視聴したいチャンネルを選ぶ

次のいずれかの方法でチャンネルを選びます。

チャンネルボタン（数字ボタン）で選ぶ

- チャンネルボタンを押してください。
- チャンネルボタンには、各放送局のチャンネルが登録（設定）されており、ワンタッチ選局できます。
- 登録されているチャンネルは画面で確認できます。デジタル登録ボタンを押すと、チャンネルボタンに登録されている放送局の一覧が画面に表示されます。（**86**ページ参照）

選局(∧順／∨逆)ボタンで選ぶ

- 視聴したい番組が表示されるまで選局（∧順／∨逆）ボタンを押してください。
- 選局（∧順／∨逆）ボタンを押すたびに、視聴中のネットワーク・メディアのチャンネルが、順方向・逆方向に選局できます。

3 デジタル放送の場合は、電子番組表(EPG)を使って番組を選ぶこともできます

- 右記手順①～②の後に電子番組表を表示して、放送中の番組を選びます。

電子番組表(EPG)の表示のしかた、機能、操作方法については、**92**～**98**ページをご覧ください。

- デジタル放送はB-CASカード(**63**·**64**ページ)を挿入してご覧ください。挿入しないと視聴できません。
  地上デジタル放送は、地域設定とチャンネル設定(**65**～**71**ページ)を行うとご覧になれます。なお、お住まいの地域で地上デジタル放送開始前は設定しても受信できません。
- データ放送の使いかたは、各放送局の番組の作りかたによって異なります。基本的にはカーソルボタン、決定ボタン、カラーボタンなどで操作します。
- 地上デジタル放送と110度CSデジタル放送には、ラジオ放送がありません。

選局したチャンネルの画面表示例

- BSデジタル放送のテレビ放送「NHK BS1」を選んだとき

- BSデジタル放送のラジオ放送「WINJ」を選んだとき

- BSデジタル放送のデータ放送「デジキャス933」を選んだとき

その他の選局方法

お好み選局／登録画面を表示して選ぶ

- お好み選局／登録ボタンを押して、登録されているチャンネルを選局します。(**174**ページ「お好みのチャンネルを登録する」を参照してください。)

1 ① お好み選局/登録 ○ **を押して、お好み選局／登録画面を表示する**

② **視聴したいチャンネルが登録されているチャンネルボタン(1～12)を押す**

- 視聴したいチャンネルがダイレクトに選局できます。

CATVチャンネルを選ぶ

- 本機のCATVチャンネルは、C13～C63チャンネルの範囲で選局できます。
  [例] C23を選ぶとき

1 CATV ○ **を押す**

2 **数字ボタン 2 3 を押す**

3桁入力で選ぶ(デジタル放送の場合)

- 視聴したい番組の3桁チャンネル番号を入力して選局できます。
  チャンネル番号表(**41**・**87**ページ)を参照してください。

1 地上D BS CS **のいずれかを押し、ネットワーク(放送)を選ぶ**

2 [例] BSデジタル放送の161チャンネル(BS-i)を選ぶとき

① 3桁入力 **を押す**

- 画面右上に3桁入力欄が表示されます。

BS
–––

② **数字ボタン 1 6 1 を押す**

BS
16–

- 間違った番号を入力した場合は、再度3桁入力ボタンを押すと、入力した番号がクリアされます。

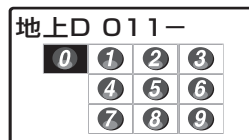
ヒント

つぎの操作手順でも選局できます

① 3桁入力ボタンを押す。
② 放送切換「地上D」「BS」「CS」ボタンでネットワークを選ぶ。
③ 数字ボタンで番号を入力する。

地上デジタルチャンネルの枝番を選んで選局する

- 地上デジタル放送を3桁入力で選局したとき、チャンネル番号の重複する放送局がある場合は、4桁め(枝番)を選んで番組を選局します。

1
- 3桁チャンネル番号が重複している場合は、4桁め(枝番)の選択画面が表示されます。

数字ボタン(1～10/0)で4桁めの数字(枝番)を入力し、選局する

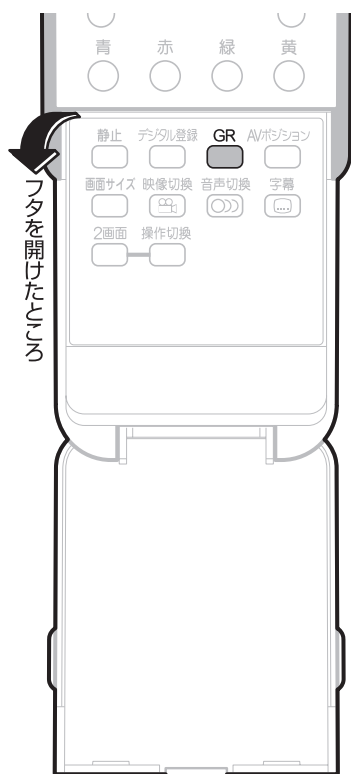
はじめてCSチャンネルを選局するときは

- CSネットワーク情報を取得するため、次の手順で操作してください。
  ① 放送切換ボタンの CS を押します。そのままで5秒程お待ちください。
  ② リモコンのチャンネルボタン 1 を押します。そのままで5秒程お待ちください。
  ③ 番組表 を押して、選局したい放送局のチャンネル番号が表示されることを確認します。
  ④ 選局したい放送局のチャンネル番号が表示されない場合は、チャンネルボタン 1 または 2 を押し、目的のチャンネル番号が表示されるまで、再度5秒程度お待ちください。

ゴーストを軽減する(GR機能)

■ ゴースト(電波障害)の発生によって見にくくなった地上アナログ放送チャンネルのゴーストを軽減することができます。(GR機能)
※GRはゴーストリダクションの略称です。

■ GR機能は、地上アナログ放送の入力信号に対してのみ動作し、チャンネルごとに設定できます。

■ GR設定は工場出荷時、地上アナログ放送のすべてのチャンネルが「入」に設定されています。

- つぎのような場合は、ゴースト軽減効果が得られません。
  - 放送局からゴースト除去基準信号が送られていないとき
  - 飛行機などの反射によりゴーストが変動するとき
  - ゴーストの電波が強いとき
  - ビデオデッキからの映像を見るとき
- GR設定を「入」にしておくと映像が見づらい場合は、「切」にしてください。
- チャンネルを切り換えた直後は、一時的にゴーストが増えることがあります。
- 電波が弱いときにGR機能を働かせた場合は、新たにゴーストがつく場合があります。
- アンテナを正しい向きに設置しないと、ゴーストが軽減できない場合があります。(アンテナは、最も強い電波が来る方向に向けてください。)

1 リモコンフタ内のGRを押す

- 画面左下に現在のGR設定が表示されます。

GR：入

GR設定表示

2 GR設定表示が出ている間に再びGRを押す

- ボタンを押すたびに「GR：入」⇄「GR：切」と切り換わります。
- 「GR：入」にしても、ゴーストの内容によっては動作に少し時間がかかったり、軽減効果が得られない場合があります。

- GR機能を「入」にすると、チャンネル表示の中に「**GR**」が表示されます。

地上A テレビ
12 GR
音声 ステレオ

GR表示

「ゴースト」について

- ゴーストとは、放送局とテレビアンテナの間に高層ビル等の障害物がある場合など、電波が乱反射することによって発生する現象で、映像がダブって見えたり、ぼやけて見えたりするためにゴースト(幽霊)と呼ばれます。また、工事用のクレーンや天候等が原因で発生したゴーストは、時間の経過とともに大きく変化したり揺れたりします。
- ゴーストは、場所･天候等により発生原因が千差万別であるため、発生原因に対応して完全にゴーストを消すことはできません。

メニュー画面でGR設定をする

[例] チャンネルボタン⑥に登録されている地上アナログ放送のチャンネルをGR設定する

1 ① 地上Aを押し、地上アナログ放送を選ぶ
② チャンネルボタン⑥を押し、6チャンネルを選局する

2 メニュー画面から「本体設定」ー「チャンネル設定」を選び、決定を押す

3 ▲▼で「地上アナログ」を選び、決定を押す

4 ① ▲▼で「地上アナログー個別」を選び、決定を押す
② ◀▶で「する」を選び、決定を押す

5 ① ▲▼で「GR設定」を選ぶ
② ◀▶で「入」を選ぶ

6 ① ▲▼で「GR速度」を選ぶ
② ◀▶で「標準」または「速い」を選ぶ

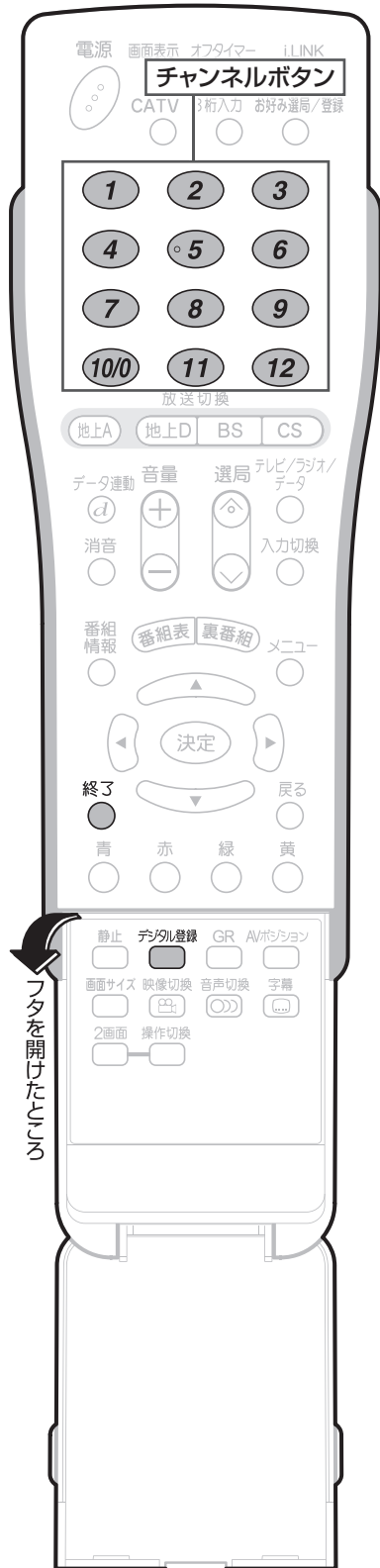
「標準」……GR効果はゆっくり現れますが、より確実な効果が得られます。
「速い」……GR効果は早く現れますが、確実な効果が得られない場合があります。

操作終了する場合は

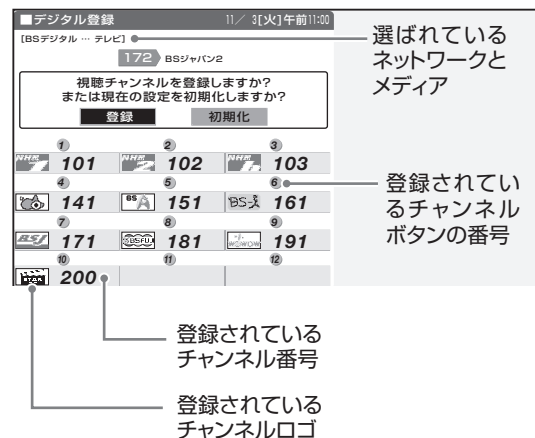
メニュー または 終了 を押し、通常画面に戻す

- 1つ前に戻る場合は 戻る を押してください。

デジタル放送の登録チャンネルを確認する

■ ワンタッチ選局に使うチャンネルボタンに現在登録されているデジタル放送のチャンネルを確認することができます。

1 **デジタル放送を視聴中にリモコンフタ内の デジタル登録 を押す**

・登録されているチャンネル内容の一覧が表示されます。

〈例〉BSデジタル放送の、テレビ放送の一覧

・確認後、画面表示を消すには、デジタル登録 または 終了 を押します。

・各デジタル放送のデジタル登録画面は、それぞれ放送を視聴しているときにデジタル登録ボタンを押すと表示されます。
・デジタル登録画面を表示中に、各放送切換ボタンまたはテレビ／ラジオ／データボタンを押すと、ネットワーク・メディアが切り換わり、そのデジタル登録画面が表示されます。

工場出荷時に設定されているデジタルチャンネル一覧

BS（BSデジタル放送）チャンネル

チャンネルボタン	テレビ		ラジオ		データ	
	チャンネル名	チャンネル番号	チャンネル名	チャンネル番号	チャンネル名	チャンネル番号
1	NHK BS1	101	—	—	—	—
2	NHK BS2	102	—	—	ウェザーニュース	910
3	NHK ハイビジョン	103	—	—	デジキャス933	933
4	BS 日テレ	141	WINJ	333	—	—
5	BS 朝日	151	—	—	—	—
6	BS-i	161	—	—	—	—
7	BS ジャパン	171	—	—	知求チャンネル	999
8	BS フジ	181	—	—	—	—
9	WOWOW	191	—	—	—	—
10/0	スター･チャンネル	200	—	—	—	—
11	—	—	—	—	—	—
12	—	—	—	—	—	—

CS（110度CSデジタル放送）チャンネル

チャンネルボタン	テレビ	ラジオ	データ
	チャンネル番号	チャンネル番号	チャンネル番号
1	100	–	–
2	001	–	–
3	–	–	–
4	–	–	–
5	–	–	–
6	–	–	–
7	–	–	–
8	–	–	–
9	–	–	–
10/0	–	–	–
11	–	–	–
12	–	–	–

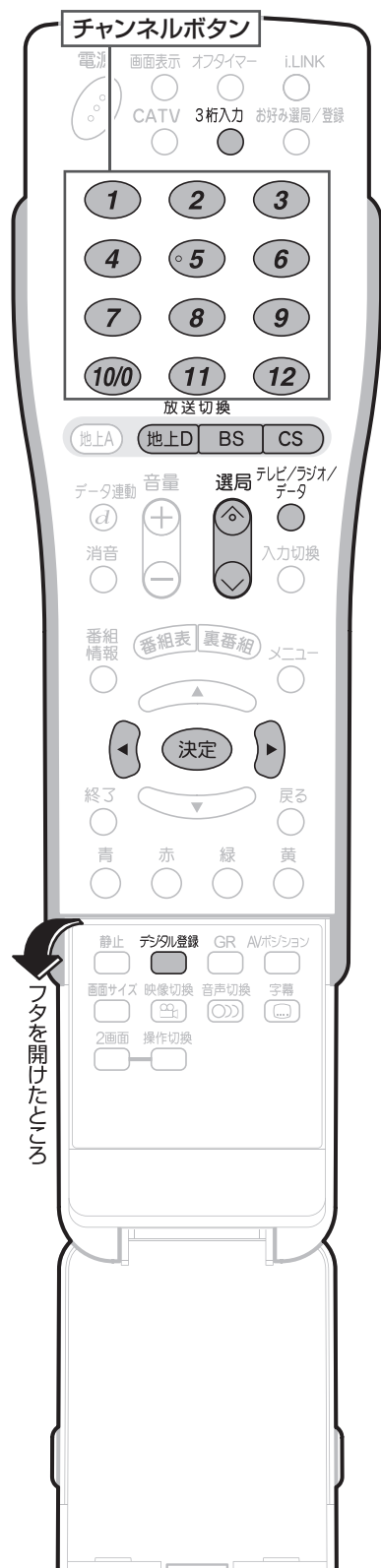
地上デジタルチャンネル

チャンネルボタン	チャンネル名	チャンネル番号
1	NHK総合･東京	011
2	NHK教育･東京	021
3	—	—
4	日本テレビ	041
5	テレビ朝日	051
6	TBS	061
7	テレビ東京	071
8	フジテレビジョン	081
9	東京MXテレビ	091
10/0	—	—
11	—	—
12	放送大学	121

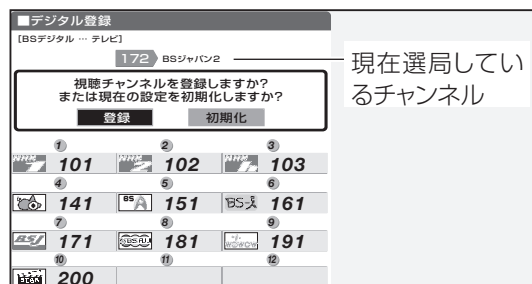
関東の東京で受信できるチャンネルです。

- 上記チャンネルプランは2005年12月現在のもので、変更されることもあります。
- 地上デジタル放送と110度CSデジタル放送には、ラジオ放送がありません。

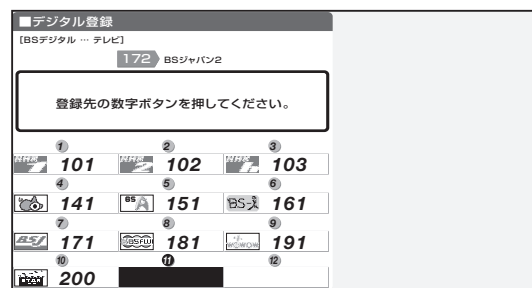
デジタル放送のお好みのチャンネルを登録する

■ 各デジタル放送ネットワーク（地上D、BS、CS）の各メディア（テレビ／ラジオ／データ）につき、登録したいチャンネルを12局まで、チャンネルボタン（1〜12）に登録することができます。

1 ① **登録したいチャンネルを選局する**

② **リモコンフタ内の デジタル登録 を押す**

③ **◀▶で「登録」を選び、決定を押す**

・設定を工場出荷時の状態に戻したいときは、「初期化」を選んで決定ボタンを押します。

2 **登録したいチャンネルボタン（1〜12）を押す**

[例]「BSジャパン2」（172チャンネル）を11に登録する場合は、チャンネルボタン11を押します。

・登録確認画面が表示されます。

複数の映像や音声を切り換える

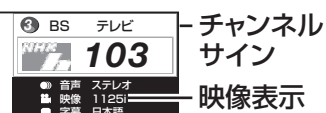
■ 複数の映像（最大4つ）または音声（最大8つ）がある番組をご覧のとき、映像および音声を切り換えて楽しむことができます。

複数の映像を楽しむ

■ 複数の映像のある番組をご覧のとき、映像切換ボタンを押すと、映像を切り換えることができます。

1 映像切換 を押し、映像を切り換える

・ボタンを押すたびに映像が切り換わり、チャンネルサインの下に映像表示が出ます。

（画面例）

※番組によって映像の数は異なります。

複数の音声を楽しむ

■ 複数の音声のある番組をご覧のとき、音声切換ボタンを押すと、音声を切り換えることができます。

1 音声切換 を押し、音声を切り換える

・ボタンを押すたびに音声が切り換わり、チャンネルサインの下に音声表示が出ます。

（画面例）

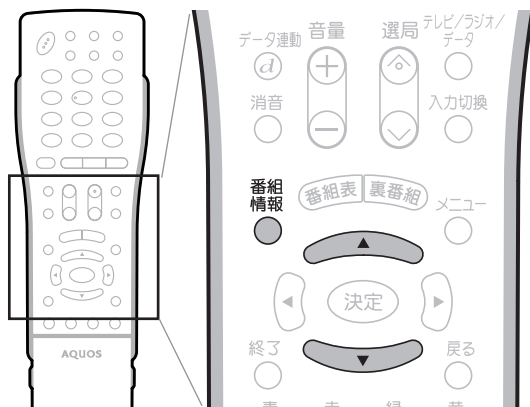
マルチ音声番組のとき　→音声1→音声2～8※

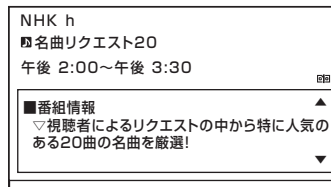
※番組によって音声の数は異なります。

二重音声番組のとき　→主→副→主/副

・マルチ音声番組を受信したときは、前回の選択にかかわらず、「音声1」が選択されます。
・二重音声番組を受信したときは、前回選択されていた音声が選択されます。
・録画予約時に「詳細を設定する」を選択していない場合、二重音声の場合は、直前に視聴した音声で録画します。その他の場合は、「映像1」「音声1」で録画します。

視聴中の番組の情報を見る

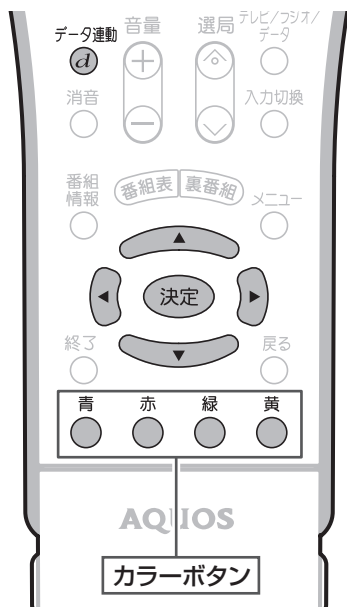
■ 番組視聴中に番組情報ボタンを押すと、画面に番組情報が表示されます。

1 番組情報 ○を押し、番組情報を表示する

（番組情報の画面例）

- 表示内右側に▲▼マークがある場合は、上下カーソルボタンで情報内容の送り･戻しができます。
- 番組情報表示を消すときは、もう一度番組情報ボタンを押します。

テレビ放送に連動したデータ放送を視聴する

■ テレビ放送に連動したデータ放送がある場合は、データ連動ボタンを押すと、連動データ放送を見ることができます。

おしらせ

- 電源を入れた直後やチャンネル切換えをした直後は、データ連動(*d*)ボタンを押しても連動データ放送画面が表示されないことがあります。この場合は、テレビ放送受信後しばらく(約20秒)待ってから操作してください。(表示されるまでの時間は、放送内容によって異なります。)

1 データ連動 *d* を押す

- 連動データ放送の画面になります。

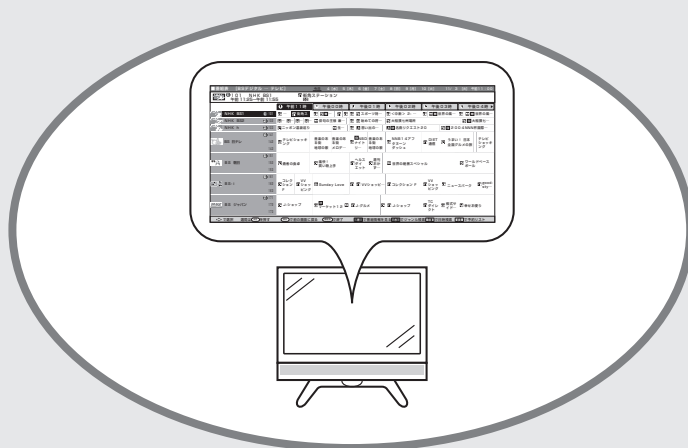
（連動データ放送の画面例）

- テレビ放送に戻すときは、もう一度データ連動(*d*)ボタンを押します。

データ放送の基本操作

1 ① ▲ ▼ ◀ ▶ で項目を選び、決定 を押す

② カラーボタンに対応した項目のボタンを押す

※データ放送は放送局側で制作したメニュー画面により操作が異なりますので、画面の表示に従って操作してください。

電子番組表(EPG)の使いかた

ページ

電子番組表(EPG)について 92

電子番組表(EPG)を利用するための設定を行う 94

番組表取得設定(地上デジタル放送) 94

表示範囲設定 94

ジャンルアイコン設定 94

電子番組表(EPG)で番組を探す 95

見たい番組を探す 95

日時を指定して番組を探す 96

分類(ジャンル)で番組を探す 97

電子番組表(EPG)で番組の内容を確認する 98

電子番組表(EPG)について

■ デジタル放送では、電子番組表(EPG)の情報が送信されており、見たい番組を探したり、番組情報を見たり、番組を予約したりするのに、この電子番組表を使います。

電子番組表(EPG)を表示する

デジタル放送を視聴中に 番組表 を押します。

以下の操作は、番組表が表示されているときに行います。

デジタル放送の番組を探して 決定 を押す

 で番組表から番組を選べます。

他のネットワークやメディアの番組を探す

地上D BS CS でネットワーク(放送)を選びます。

テレビ/ラジオ/データ でメディアを選びます。

赤 を押して「映画」「音楽」「ドラマ」などのジャンル別に探す

緑 を押して日時を指定して探す

青 を押して番組情報を見る(詳しくは**98**ページ)

放送予定番組の詳しい内容が表示されます。

裏番組の情報を知りたいときは、

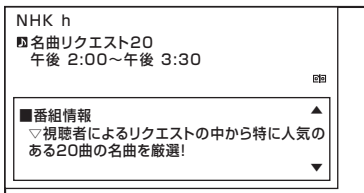
 を押してから 青 を押します。

(詳しくは**98**ページ)

視聴中の番組の詳しい情報を見る

番組情報 を押します。(詳しくは**90**ページ)

NHK h
名曲リクエスト20
午後 2:00〜午後 3:30

■番組情報
▽視聴者によるリクエストの中から特に人気のある20曲の名曲を厳選!

- **地上デジタル番組表について**
  地上デジタル放送の電子番組表(EPG)の情報は、送信している各放送チャンネルから取得する必要があります。(**94**ページ)

・電子番組表を表示できるのはデジタル放送のみです。
・本書ではおもにBSデジタル放送の電子番組表の画面を表示例にしています。

視聴中の番組のチャンネル番号を知りたいとき

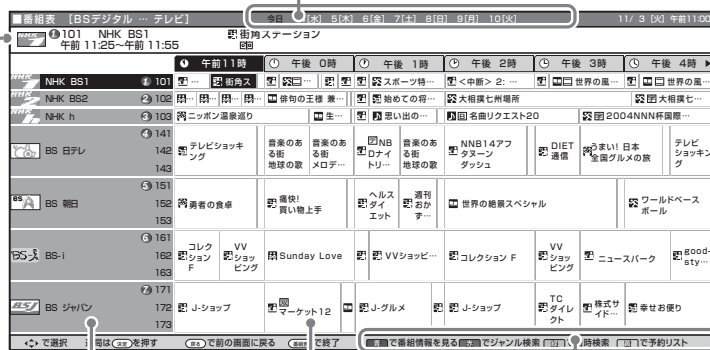
画面表示 を押します。(番組表を表示していないときに表示できます。)

リモコンのチャンネルボタンの番号

視聴中の番組のチャンネル番号

番組の放送内容を調べたり、
録画の予約もできるのね。

電子番組表（EPG）の例

- **放送中の番組を選んだとき**
  ⇨選んだ番組が選局されます。
- **放送予定の番組を選んだとき**
  ⇨予約選択画面になります。
  （**102**ページ）

電子番組表(EPG)の表示時間は、表示範囲を切り換えて3時間表示（拡大）と6時間表示（広角）が選択できます。（**94**ページ参照）

ジャンル別番組表

（詳しくは**97**ページ）

ジャンル別に一覧表示された番組から、▲▼で選び、（決定）を押す

日時指定した番組表

（詳しくは**96**ページ）

◀▶で日付と時間帯を指定して番組を選び、（決定）を押す

緑 ◯ **:日時指定した日の前日の番組表**

黄 ◯ **:日時指定した日の次の日の番組表**

電子番組表（EPG）に表示されるアイコン

ジャンルを示すアイコン

アイコン	ジャンル	アイコン	ジャンル
	ニュース／報道		映画
	スポーツ		アニメ／特撮
	情報／ワイドショー		ドキュメンタリー／教養
	ドラマ		劇場／公演
	音楽		趣味／教育
	バラエティ		福祉

・ジャンルアイコンの表示はメニューで変更できます。（**94**ページ）

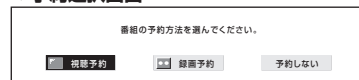
番組情報を示すアイコン

アイコン	内　容
	視聴予約している番組
	録画予約（ビデオ連動予約）している番組
	録画予約（i.LINK予約）している番組
	有料放送、または PPV（ペイパービュー）番組
	i.LINKによるデジタルコピーが禁止の番組
	i.LINKによるデジタルコピーが1回のみ可能な番組

番組を予約（視聴予約・録画予約）する

放送予定の番組を予約します。

放送予定の番組を選んで（決定）を押します。

▼予約選択画面

（詳しくは102ページ）

予約を確認する

黄 ◯（予約リスト）を押します。

予約済み番組の確認、変更、取り消しができます。

▼予約リスト画面

（詳しくは110ページ）

電子番組表(EPG)を利用するための設定を行う

共通操作

1 **メニュー画面から「デジタル設定」－「番組表設定」を選び、決定を押す**

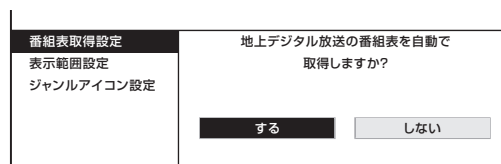
2 **▲▼で設定したいメニュー項目を選び、決定を押す**

メニュー項目	設定画面

番組表取得設定(地上デジタル放送)

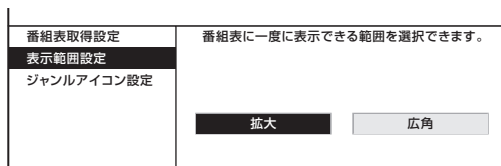
■ 地上デジタル放送の電子番組表(EPG)を取得、表示するときの詳細な設定です。
設定を「する」にしておくと、電源待機中に自動取得し、電子番組表(EPG)の表示が早くなります。

- 番組表取得設定を「する」に設定した場合、リモコンで電源を「切」にしても、電源が切れるまでにしばらく時間がかかることがあります。(本機が放送局の番組情報を取得しているためです。)
また、本体の電源(押・入-切)スイッチで「切」にした場合は、番組情報を取得できません。

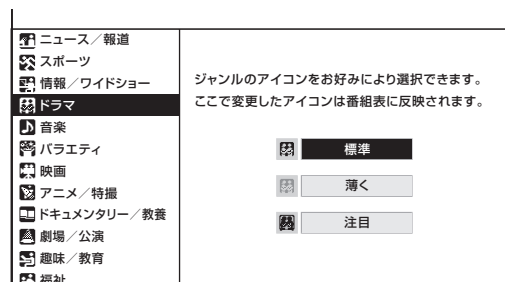
3 **◀▶で「する」または「しない」を選び、決定を押す**

表示範囲設定

■ 電子番組表(EPG)に一度に表示できる範囲を切り換えて、3時間表示(拡大)と6時間表示(広角)のどちらかを選択できます。
「拡大」:個々の番組を詳細に表示して3時間分表示
「広角」:表示範囲を広角にして6時間分表示

- 工場出荷時は「広角」に設定されています。

3 **◀▶で「拡大」または「広角」を選び、決定を押す**

ジャンルアイコン設定

■ 電子番組表(EPG)に表示されるジャンル名に濃淡やマークをつけて識別しやすくできます。

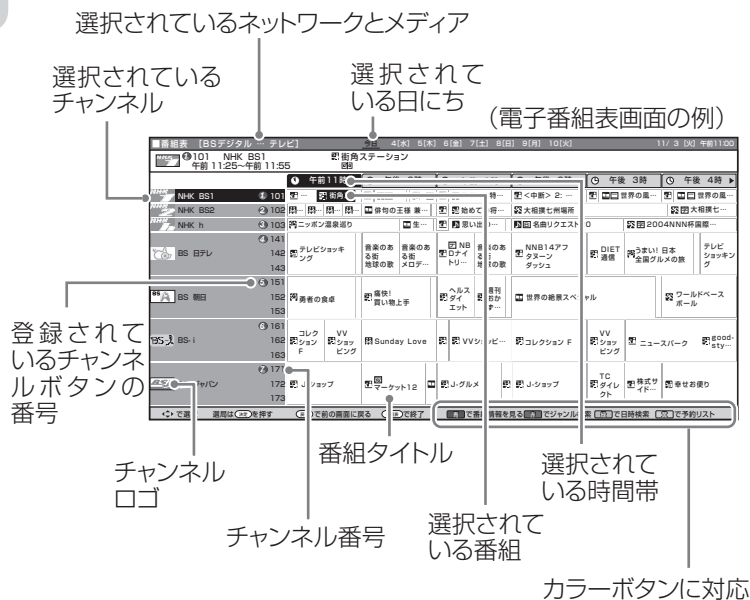
3
① **▲▼で識別したいジャンル名を選び、決定を押す**
② **▲▼で「標準」「薄く」「注目」のいずれかを選び、決定を押す**

操作終了する場合は

メニュー または 終了 を押し、通常画面に戻す

- 1つ前に戻る場合は 戻る を押してください。

電子番組表(EPG)で番組を探す

見たい番組を探す

1 番組表を押し、電子番組表(EPG)を表示する

2 見たい番組を ▲ ▼ ◀ ▶ で選び、決定を押す

放送中の番組を選んだとき
⇨選んだ番組が選局されます。

未来の番組を選んだとき
⇨予約選択画面になります。(**102**ページ参照)

・ 現在の時間帯より前の番組表は表示できません。

電子番組表の表示内容
・テレビ放送……8日分 ・ラジオ放送……3日分 ・データ放送……最低1日分 ・表示時間………3時間または6時間 ※ 電源を入れてからすぐに番組を選んだときは、表示されるまでに時間がかかる場合があります。

・ 電子番組表(EPG)の表示時間は、表示範囲を切り換えて3時間表示(拡大)と6時間表示(広角)が選択できます。(**94**ページ参照)

日時を指定して番組を探す

■ 日時を指定して、電子番組表を表示させることができます。

1 ① **番組表を押し、電子番組表(EPG)を表示する**

② **緑(日時検索)を押す**

2 **◀▶で時間帯(6時間単位)を選び、決定を押す**

・緑ボタンを押すと、前日の電子番組表が表示されます。黄ボタンを押すと、次の日の電子番組表が表示されます。

・指定された日時の電子番組表が表示されます。

3 **▲▼◀▶で番組を選び、決定を押す**

放送中の番組を選んだとき

⇨選んだ番組が選局されます。

未来の番組を選んだとき

⇨予約選択画面になります。(**102**ページ参照)

次ページへつづく

分類(ジャンル)で番組を探す

■ 番組を分類(ジャンル)別に表示させて、見たい番組を選ぶ方法です。

1 ① (番組表)を押し、電子番組表(EPG)を表示する

② 赤 ◯(ジャンル検索)を押す

2 ① (▲)(▼)でジャンルを選ぶ

② (◀)(▶)で時間帯(12時間単位)を選び、(決定)を押す

3 見たい番組を(▲)(▼)で選び、(決定)を押す

・黄ボタンを押すと、番組表示を次のページに送ることができます。前のページに戻るときは、緑ボタンを押します。

放送中の番組を選んだとき
⇨選んだ番組が選局されます。

未来の番組を選んだとき
⇨予約選択画面になります。(**102**ページ参照)

電子番組表(EPG)で番組の内容を確認する

1 番組の内容を確認する

・電子番組表で、番組の詳しい情報を見ることができます。

番組表を押し、電子番組表を表示する

放送中の他の番組(裏番組)を知りたいとき

・気になる裏番組を一覧で確認できます。

裏番組を押し、裏番組表を表示する

チャンネル	番組
101 NHK BS1	街角ステーション
102 NHK BS2	純愛ドラマ総集編
103 NHK h	ニッポン温泉巡り
141 BS 日テレ	テレビショッキング
151 BS 朝日	勇者の食卓
161 BS・i	コレクション F
171 BS ジャパン	J-ショップ
181 BS フジ	らくらくショッピング
191 WOWOW	シネマアイ
200 スターチャンネル	ラスト・サプライズ

2 内容を確認したい番組を ▲▼◀▶で選ぶ

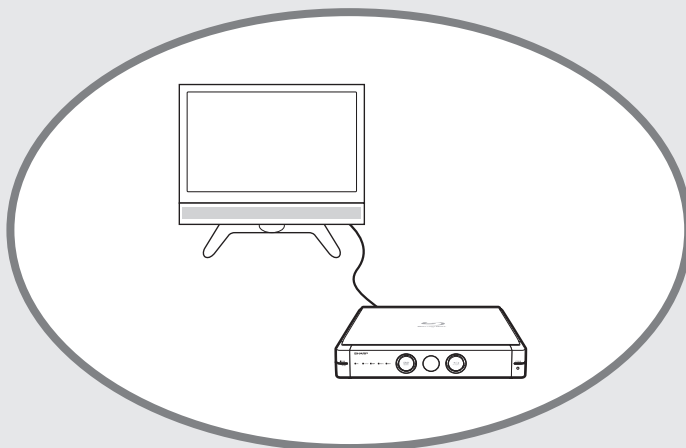
3 青(番組情報を見る)を押す

・番組情報が表示されます。

・番組情報案内にしたがって、カラーボタン、テレビ/ラジオ/データボタン、カーソルボタンを使い、希望する情報を選択します。
・選んだ番組を視聴したいときは、決定ボタンを押すと選局できます。(裏番組の情報表示中)

視聴中の番組の内容を見るには

・番組情報を押してください。(**90**ページ参照)
(電子番組表を表示する必要はありません。)

・地上D・BS・CSのいずれのネットワークについても、また、テレビ・ラジオ・データのいずれのメディアについても、同じように裏番組表を表示することができます。
・裏番組表を表示しているときに放送切換ボタン(地上D・BS・CS)、テレビ/ラジオ/データボタンを押すと、他のネットワークやメディアの裏番組表に切り換えることができます。

デジタル放送の予約と録画

ページ

デジタル放送の予約のながれ 100

デジタル放送の予約の種類と手順............. 102

予約の種類について... 102

予約操作を始めよう... 102

「視聴予約」を選んだ場合.. 103

「録画予約」を選んだ場合.. 103

録画予約する 104

ビデオ連動予約するとき 104

ビデオ連動録画の詳細設定 105

i.LINK予約するとき 106

i.LINK予約の詳細設定.. 107

詳細設定時のメッセージについて............. 108

デジタル放送を録画しながら
デジタル放送の裏番組を見る................. 109

予約の確認・取り消し・変更をする............. 110

予約を確認したいとき.. 110

予約を取り消したいとき 111

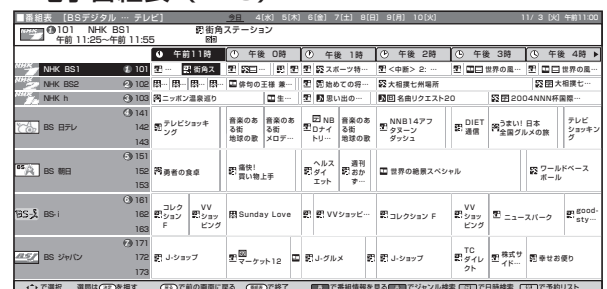
予約を変更したいとき.. 111

予約動作や出力信号について 112

電源待機状態からの予約動作について...................... 112

録画出力／モニター出力から出力される信号について..... 112

デジタル放送の予約のながれ

電子番組表（EPG）から番組を予約する

■ デジタル放送の番組を電子番組表（EPG）から予約して視聴したり、外部録画機器に録画できます。
■ 予約の種類は「視聴予約」と「録画予約」の 2 種類があります。
■ 番組の延長や放送時間の変更に追従して、視聴あるいは録画できます。

番組予約（「視聴予約」と「録画予約」）の手順

くわしくは
102〜108ページ

1 デジタル放送を視聴中に 番組表 を押して電子番組表（EPG）を表示させる

▼電子番組表（EPG）

2 番組を選ぶ（日時指定やジャンル検索もできます）

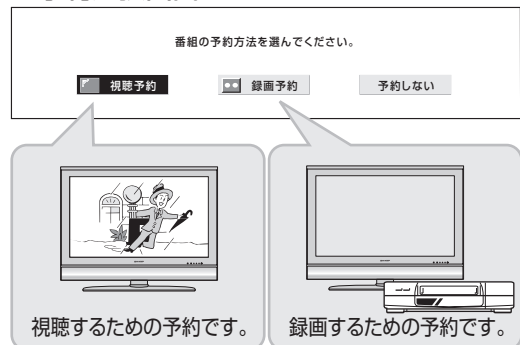
3 予約の種類を選ぶ（102ページ）

視聴予約：
予約した時刻になると、予約した番組に切り換わります。

◎ 視聴予約の手順はここまでです。以下の手順は必要ありません。

録画予約（ 4 へ）：
予約した時刻になると、予約した番組が録画出力端子または i.LINK端子から出力されます。

▼予約選択画面

視聴するための予約です。　録画するための予約です。

4 録画機器を選ぶ（103ページ）

ビデオ連動予約：
予約した時間に合わせ、ビデオ機器をビデオコントロール信号で録画開始、終了させます。

i.LINK予約：
予約した時間に合わせ、i.LINK接続に対応した機器を録画開始、終了させます。

予約しない：
予約をしないで、番組表に戻ります。

▼予約選択画面

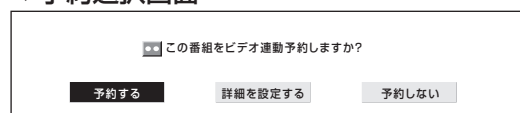
ビデオデッキ

D-VHSビデオデッキ
AV-HDDレコーダー
Blu-ray Discレコーダー

5 予約の方法を選ぶ（104・106ページ）

予約する（次ページの 7 へ）：
無料放送や契約済みの番組を簡単予約します。

詳細を設定する（次ページの 6 へ）：
録画する音声や録画機器の選択、PPVの事前購入などを行います。

▼予約選択画面

6 「詳細を設定する」を選んだ場合は（105・107・108ページ）

受信契約の確認、PPVの事前購入

●BSデジタル放送の視聴契約
BSデジタル放送は、有料放送と無料放送があり、有料放送には、あらかじめ契約して視聴する番組と、番組単位で購入して視聴するPPVがあります。

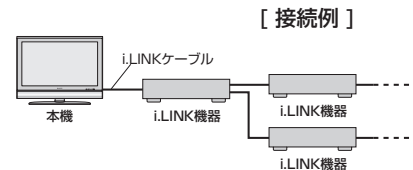
●110度CSデジタル放送の視聴契約
110度CSデジタル放送は有料放送で、各放送局との個別受信契約が必要です。その他に、番組単位で購入して視聴するPPVがあります。

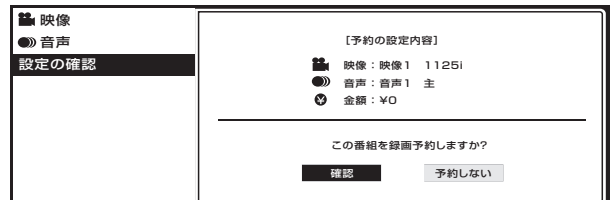
映像・音声の選択と、購入設定

●映像や音声について
デジタル放送の一部の番組では、マルチビューや副映像、副音声などの情報が同時に送られてきます。

▼PPV番組購入画面の一例

▼追加購入グループ情報の一例

録画機器の選択

7 予約した内容を確認する（105・107ページ）

予約した番組の詳細を確認します。

8 予約完了

デジタル放送の録画に関するご注意

デジタル放送のほとんどの番組には「1回だけ録画可能」のコピー制御信号が加えられています。この信号とともに録画された番組は、他のデジタル機器へのダビングができません。

- 有料放送を視聴･予約する場合は、有料放送を行うプラットフォームや放送局とあらかじめ受信契約を済ませてください。
- 契約していない有料放送は、番組表から予約しても予約どおりに視聴や録画ができません。
- 番組が開始する2分前までに予約を完了してください。開始2分前になると、予約ができません。
（ビデオ連動録画設定（**129**ページ参照）をシャープ7、8に設定している場合に限り、2分前でなく、5分前までに予約を完了してください。）

デジタル放送の予約の種類と手順

予約の種類について

■ 電子番組表から、見たい番組の視聴予約や録画予約ができます。

- 有料放送を予約する場合は、有料放送のプラットフォームや放送局と、あらかじめ契約をしておく必要があります。契約をしていないと、予約どおりの視聴や録画はできません。
- 前に入れた予約と日時が重なっている場合は、前の予約を破棄して新たな予約をするか、しないかを選択します。
- 最大16番組まで予約できます。すでに16番組を予約していて、新たな予約をしたい場合は、予約の取り消し（**111**ページ）が必要です。

- 番組を見逃したくない → 視聴予約（**103** ページ）
- 番組をビデオテープやハードディスク、DVD ディスクに録画したい → 録画予約（**103** ページ） → ビデオ連動予約（**104** ページ）／i.LINK 予約（**106** ページ）

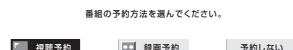
- デジタル放送を録画しながらデジタル放送の裏番組を見たい → （**109** ページ）
- 予約の確認や取り消し、変更をしたい → （**110** ページ）

予約操作を始めよう

1 ① 番組表を押し、電子番組表を表示する

② 予約したい番組を▲▼◀▶で選び、決定を押す

- 予約選択画面になります。
- 翌日以降の番組を予約したいときは、日時指定（**96**ページ）で番組表を表示させると便利です。

2 ◀▶で予約の種類を選び、決定を押す

「視聴予約」…… 視聴のみの予約となります。視聴予約の手順に進みます。（☞**103**ページ）

「録画予約」…… 録画する機器の選択ができます。録画予約の手順に進みます。（☞**103**ページ）

次ページへつづく

「視聴予約」を選んだ場合

3 ◀で「予約する」を選び、決定を押す

この番組を視聴予約しますか?

予約する　予約しない

4 「戻る」で決定を押す

この番組を視聴予約しました。

戻る

・視聴予約が設定され、本体前面右下の予約ランプが点灯します。

「録画予約」を選んだ場合

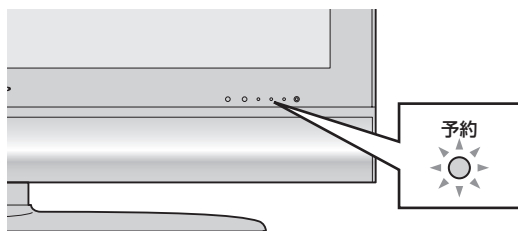
3 ◀▶で録画予約の方法を選び、決定を押す

録画予約の方法を選んでください。

ビデオ連動予約　i.LINK予約　予約しない

「ビデオ連動予約」… ビデオコントローラーを使ってのビデオ連動予約に進みます。
(☞ **104**ページ)

「i.LINK予約」……… i.LINK予約に進みます。
(☞ **106**ページ)

次ページへつづく

ご注意

視聴予約・録画予約を設定した後に電源を切るときのご注意

- リモコンの電源ボタンで「切」にしてください。本体の電源(押・入-切)スイッチでは切らないでください。本体の電源(押・入-切)スイッチで「切」にした場合は、予約ランプの点灯、消灯にかかわらず、予約が実行されません。

- 番組の始まる2分前(一部の機器では5分前)までに予約して、電源を切るときは、リモコンで電源を切るのね。
- 有料放送は契約してから予約してね。
- 予約できる番組数は16番組までです。

- デジタル放送をビデオデッキで録画する場合は、「デジタル固定」または「ビデオ連動予約」で録画することをおすすめします。
- ビデオ連動録画する場合は、入力4端子設定を「録画出力」に設定してください。(**132**ページ参照)
- テレビの画面が消えている場合は、デジタル音声出力(光)端子からは、出力されません。MDへ予約録音する場合は、視聴予約を設定してください。
- ビデオ連動録画では、データ放送画面や字幕を録画できません。データ放送を録画するときは、視聴予約をした上で、録画機器のタイマー設定をしてください。
- D-VHSビデオデッキなどのi.LINK機器で録画するときは、i.LINKの設定を行ってください。(**136**～**139**ページ)
- i.LINK機器によっては、i.LINK録画機器側で接続するテレビの設定が必要な場合があります。
- あなたが録画(録音)したものは、個人として楽しむなどのほかは著作権法上、権利者に無断で使用できません。
- 番組開始の2分前から予約準備が始まります。ビデオ連動録画設定(**129**ページ)をシャープ7、8に設定している場合に限り、5分前から予約の準備が始まります。
- 録画予約が設定されている場合は、デジタル固定が解除されます。
- 予約した番組が始まると録画出力端子から映像と音声が出力され、番組が終了すると出力も終了します。(主電源が切れていると、出力されません)。

録画予約する

ビデオ連動予約するとき

■ ビデオ連動予約とは、付属のビデオコントローラーを使い、予約時間に合わせてビデオデッキの録画を開始・終了させ、予約したデジタル放送の番組を録画する方法です。

- デジタル放送をビデオデッキで録画する場合は、「デジタル固定」または「ビデオ連動予約」で録画することをおすすめします。
- ビデオ連動録画する場合は、入力4端子設定を「録画出力」に設定してください（**132**ページ参照）。
- ラジオ放送をMDで録音するときは、デジタル放送音声出力（光）端子の設定を「PCM」にしてください。（**149**ページ）
- あなたが録画（録音）したものは、個人として楽しむなどのほかは著作権法上、権利者に無断で使用できません。

- ビデオ連動予約を初めて行う場合は、あらかじめ、ビデオデッキ・ビデオコントローラーの接続（**128**ページ）、およびビデオ連動録画設定（**129**ページ）を済ませておいてください。

1 103ページ「「録画予約」を選んだ場合」の手順3で、◀で「ビデオ連動予約」を選び、決定を押す

録画予約の方法を選んでください。

ビデオ連動予約　i.LINK予約　予約しない

- ビデオ連動録画設定が済んでいるときは、手順**2**の画面になります。
- ビデオ連動録画設定が済んでいないときは、つぎの画面が表示されます。

ビデオ連動設定がされていません。
設定しますか?
設定しないと録画予約ができません。

設定する　設定しない

- 「設定する」を選んで決定ボタンを押すと、ビデオ連動録画設定画面になります。設定を行ってください。（**129**ページ参照）

2 ◀▶で予約の方法を選び、決定を押す

この番組をビデオ連動予約しますか?

予約する　詳細を設定する　予約しない

「予約する」………… 無料放送や契約している有料放送が予約できます。

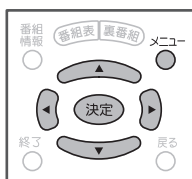
「詳細を設定する」… 映像・音声の詳細の予約設定ができます。視聴制限や購入金額制限の設定によって視聴や購入が制限されている番組の場合は、暗証番号入力画面が表示されます。
→**105**ページへ

ビデオ連動録画の詳細設定

■ 映像·音声の詳細の予約設定ができます。
視聴年齢制限のある番組や非契約の有料番組を予約したとき、B-CASカード未挿入で有料番組を予約したときは、メッセージが表示されます。設定を済ませてから、PPV番組の購入予約ができます。（詳しくは**108**ページ）

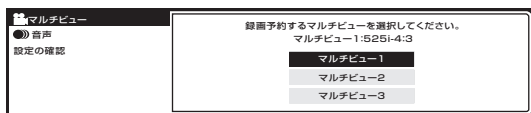
映像の種類を選択する

・映像の種類はつぎのとおりです。それぞれ、表示のあるときのみ選択できます。

「マルチビュー」… いろいろな角度から見た映像
「映像」……… 映像（最大4つ）

リモコンのボタン

1 マルチビュー番組を選んでいるとき

① ▲▼で「マルチビュー」を選び、決定を押す

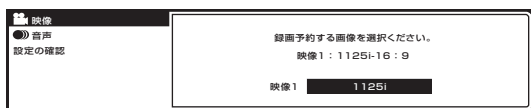
② ▲▼ ◀▶でマルチビューの種類を選び、決定を押す

副映像のある番組を選んでいるとき

① ▲▼で「映像」を選び、決定を押す

② ▲▼ ◀▶で映像を選び、決定を押す

・映像の数は、番組によって異なります。

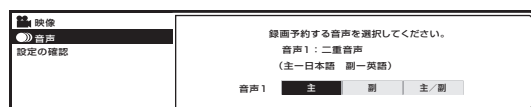
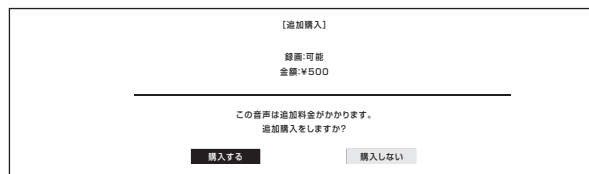
予約ランプについて
・**103**ページの手順**4**を参照してください。
実行中の録画予約を解除するには
・**107**ページを参照してください。

ご注意
録画予約を設定した後に電源を切るときのご注意
・必ずリモコンで電源を「切」にしてください。本体の電源を切ると予約は行われません。

音声の種類を選択する

・音声の種類はつぎのとおりです。それぞれ、表示のあるときのみ選択できます。
「音声」……… 音声（最大8つ）
「二重音声」… 主音声と副音声

1 ① ▲▼で「音声」を選び、決定を押す

② ▲▼ ◀▶で音声を選び、決定を押す

・音声の数は、番組によって異なります。

・映像·音声の購入に追加料金が必要なときは、追加購入のための画面が表示されます。

・「購入する」または「購入しない」を選び、決定ボタンを押します。

予約設定を確認する

1 ▲▼で「設定の確認」を選び、決定を押す

2 ① 画面に表示された設定内容を確認する

② 「確認」で決定を押す

・録画予約が設定されました。
・「予約しない」を選んで決定ボタンを押すと、予約を中止して番組表に戻ります。

・録画出力信号について
ビデオ連動録画設定で、リモコン信号が異なり動作しない場合でも、録画出力端子からは、映像と音声信号が出力されます。（この場合は録画する機器側で録画予約設定を行ってください。）

i.LINK予約するとき

■ i.LINK予約とは、本体背面のi.LINK端子に接続したD-VHSビデオデッキなどのi.LINK機器を予約時間に合わせて録画開始･終了させ、予約したデジタル放送の番組を録画する方法です。

- i.LINK予約するときは、あらかじめ、i.LINK機器の接続（**136**ページ）とi.LINK設定（**138**・**139**ページ）を済ませておいてください。
- i.LINK予約をするときは、i.LINK機器を本機と1対1で接続してください。複数のi.LINK機器を接続すると、i.LINK予約の実行に失敗することがあります。
- i.LINK機器によっては、i.LINK録画機器側で接続するテレビの設定が必要な場合があります。

1 103ページ「「録画予約」を選んだ場合」の手順3で、◀▶で「i.LINK予約」を選び、決定を押す

- i.LINK設定が済んでいるときは、手順**2**の画面になります。
- i.LINK設定が済んでいないときは、つぎの画面が表示されます。

- 「確認」で決定ボタンを押すと、番組表に戻ります。i.LINK機器の接続を確認してください。（**136**ページ参照）

2 ◀▶で予約の方法を選び、決定を押す

この番組をi.LINK録画予約しますか？
予約する　詳細を設定する　予約しない

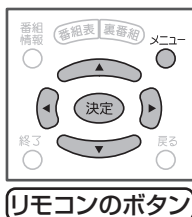
「予約する」…………無料放送や契約している有料放送が予約できます。

「詳細を設定する」…視聴制限や購入金額制限の設定によって視聴や購入が制限されている番組の場合は、暗証番号入力画面が表示されます。
→**107**ページへ

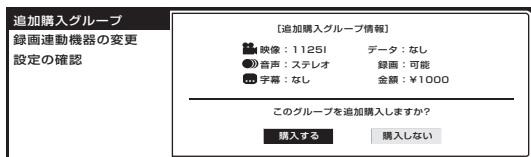
i.LINK予約の詳細設定

■ 追加購入する映像･音声の組合せを選んだり、使用するi.LINK機器を変更することができます。
視聴年齢制限のある番組や非契約の有料番組を予約したとき、B-CASカード未挿入で有料番組を予約したときは、メッセージが表示されます。設定を済ませてから、PPV番組の購入予約ができます。（詳しくは**108**ページ）

追加購入グループを選択する

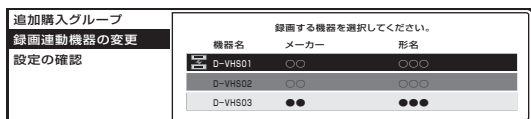
・追加購入する映像･音声の組合せ（グループ）が複数あるときのみ必要な手順です。

リモコンのボタン

1 ① **▲▼で「追加購入グループ」を選び、決定を押す**
② **▲▼◀▶で購入グループを選び、決定を押す**

2 **◀▶で「購入する」または「購入しない」を選び、決定を押す**

使用するi.LINK機器を変更する

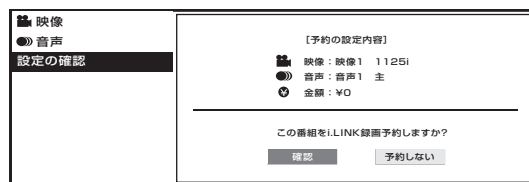
・使用するi.LINK機器を変えたいときのみ必要な手順です。

1 **▲▼で「録画連動機器の変更」を選び、決定を押す**

2 **▲▼で、使用するi.LINK機器を選び、決定を押す**

・i.LINK予約をするときは、i.LINK機器を本機と1対1で接続してください。複数のi.LINK機器を接続すると、i.LINK予約の実行に失敗することがあります。

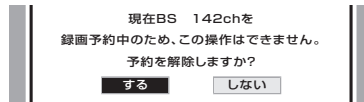
予約設定を確認する

1 **▲▼で「設定の確認」を選び、決定を押す**

2 ① **画面に表示された設定内容を確認する**
② **「確認」で決定を押す**

・録画予約が設定されました。
・「予約しない」を選んで決定ボタンを押すと、予約を中止して番組表に戻ります。

録画予約を設定した後に電源を切るときのご注意
・必ずリモコンで電源を「切」にしてください。本体の電源を切ると予約は行われません。

予約ランプについて
・**103**ページの手順**4**を参照してください。

実行中の録画予約を解除するには
・2画面ボタンを押してから、操作切換ボタンで、録画予約実行中の画面を操作画面にします。それから、数字ボタンなどで選局操作をしてください。そのとき画面に表示される「予約を解除しますか？」の選択項目の「する」を左右カーソルボタンで選び、決定ボタンを押すと予約を解除できます。

詳細設定時のメッセージについて

■ ここでは詳細設定を選んだときに表示されるメッセージについて説明します。

視聴年齢制限のある番組を予約したとき

1 ・暗証番号入力画面が表示されます。

・数字ボタン（1～10/0）で暗証番号を入力してください。（**180**ページ参照）

B-CASカード未挿入で有料番組を予約したとき

1

・「カードの挿入を確認してください。予約の設定はできません。」のメッセージが表示されます。B-CASカードを挿入してから、予約をしなおしてください。

非契約の有料番組を予約したとき

1

非契約の有料番組です。
予約の設定はできません。
コード:A103
確認

・「非契約の有料番組です。予約の設定はできません。」のメッセージが表示されます。「確認」で決定ボタンを押してください。

PPV番組（有料番組）を予約したとき

・PPV番組を選んでいるときのみ必要な手順です。

ビデオ連動予約の場合

1 **◀▶で「購入する」または「購入しない」を選び、決定を押す**

・「購入しない」を選んだときは、番組表に戻ります。

i.LINK予約の場合

1 **◀▶で「する」または「しない」を選び、決定を押す**

・「しない」を選んだときは、番組表に戻ります。

デジタル放送を録画しながらデジタル放送の裏番組を見る

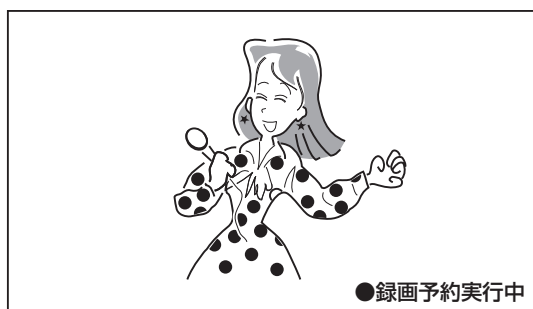
■ 本機はデジタルダブルチューナーを搭載していますので、デジタル放送を視聴しながら、デジタル放送の裏番組を録画することができます。

1

録画予約する場合

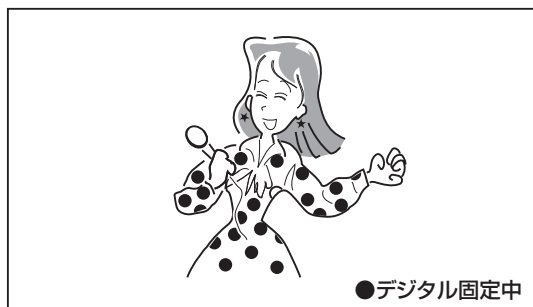
① デジタル放送の録画予約(ビデオ連動予約、i.LINK予約)を設定する(100〜107ページ)

- 予約時刻になると録画番組が出力端子から出力されます。
- 視聴中画面は視聴している画面のままとなります。

●録画予約実行中

デジタル固定する場合

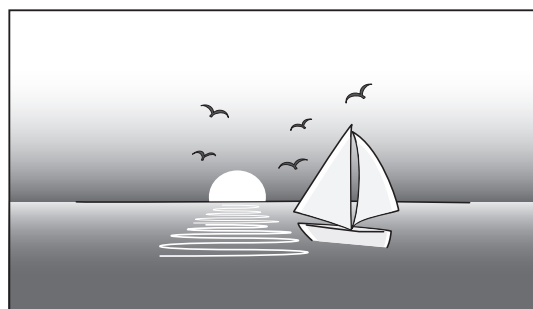
① 録画したいチャンネルをデジタル固定する(133ページ)

② 視聴中の番組がデジタル固定されて出力端子から出力される

③ 録画機器側で録画の操作を開始する

●デジタル固定中

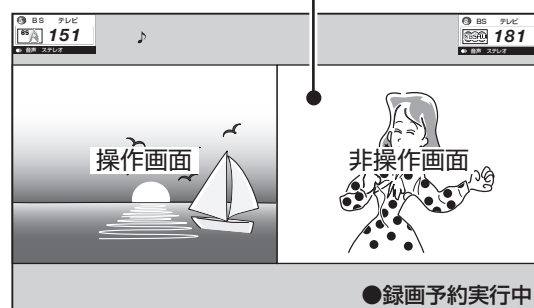
録画中に裏番組を見るとき

2

① 見たいチャンネルを選局する

- 選局した番組に切り換わり、録画は継続されます。

録画中の画面を確認するとき

2

① リモコンフタ内の［2画面］を押す

●録画予約実行中

② 見たいチャンネルを選局する

- ２画面の右側は録画中の画面に固定され、選局などの操作をすると、「予約を解除しますか？」という画面を表示します。

- 録画予約実行中、デジタル固定中は録画出力、モニター出力からデータ放送は出力されません。

予約の確認・取り消し・変更をする

■ 電子番組表から予約リストを表示させ、予約の確認、取り消しや変更をすることができます。

予約を確認したいとき

1 ① 番組表を押し、電子番組表を表示する

② 黄（予約リスト）を押し、予約リストを表示する

▼予約リストの例

・予約リストで現在の予約内容を確認します。

・表示内右側に▲▼マークがある場合は、上下カーソルボタンで予約リストの送り・戻しができます。

2 ▲▼で確認したい予約を選び、決定を押す

・予約した番組の設定内容が表示されます。

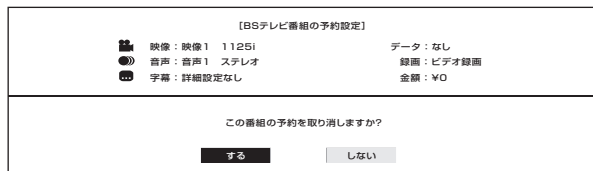
デジタル放送の電子番組表からの録画予約、視聴予約について

● 電子番組表から予約した番組の放送時間が変更された場合、本機は変更された放送時間に合わせて、録画あるいは視聴できます。

［例］・録画予約したスポーツ中継が延長された場合
→スポーツ中継が終了するまで録画します。
・録画予約したドラマがスポーツ中継の延長で放送時間が遅れた場合
→遅延した放送時間で録画します。
※ただし、放送局からの情報により、番組の時間変更に対応できない場合もあります。

予約を取り消したいとき

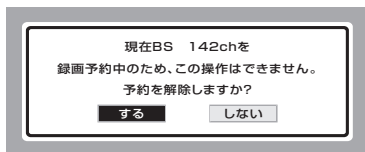
1 ① 番組表を押し、電子番組表を表示する
② 黄(予約リスト)を押し、予約リストを表示する

2 ▲▼で取り消したい予約を選び、決定を押す

3 ◀▶で「取り消す」を選び、決定を押す

4 ◀▶で「する」を選び、決定を押す

【BSテレビ番組の予約設定】
映像：映像1　1125i　データ：なし
音声：音声1　ステレオ　録画：ビデオ録画
字幕：詳細設定なし　金額：¥0
この番組の予約を取り消しますか?
する　しない

実行中の録画予約を解除するには
・2画面ボタンを押してから、操作切換ボタンで、録画予約実行中の画面を操作画面にします。それから、数字ボタンなどで選局操作をしてください。そのとき画面に表示される「予約を解除しますか？」の選択項目の「する」を左右カーソルボタンで選び、決定ボタンを押すと予約を解除できます。

現在BS　142chを
録画予約中のため、この操作はできません。
予約を解除しますか?
する　しない

予約を変更したいとき

1 ① 番組表を押し、電子番組表を表示する
② 黄(予約リスト)を押し、予約リストを表示する

2 ▲▼で変更したい予約を選び、決定を押す

3 ◀▶で「変更する」を選び、決定を押す
・予約選択画面になります。

4 予約操作をやりなおす
・**102〜108**ページの操作手順を参照してください。

●録画予約した番組が録画されていなかった場合は、受信機レポート(**182**ページ)を確認してください。
・「予約の実行に失敗しました。」というレポートがある場合は、予約の実行に失敗しています。
・レポートに「前の予約番組が延長されたため、予約の開始ができませんでした。」または「番組放送時間が変更されました。」と書かれている場合は、番組の放送時間の変更により録画ができなかった事例です。
・レポートに「予約の開始時間に電源が切れていました。」と書かれている場合は、本体天面の電源を切ったり、電源コードを抜いたりして、予約開始時間に電源が入らなかった事例です。録画予約した場合は、必ず、リモコンで電源を切ってください。
・受信機レポートがない場合は、予約の実行は成功しています。

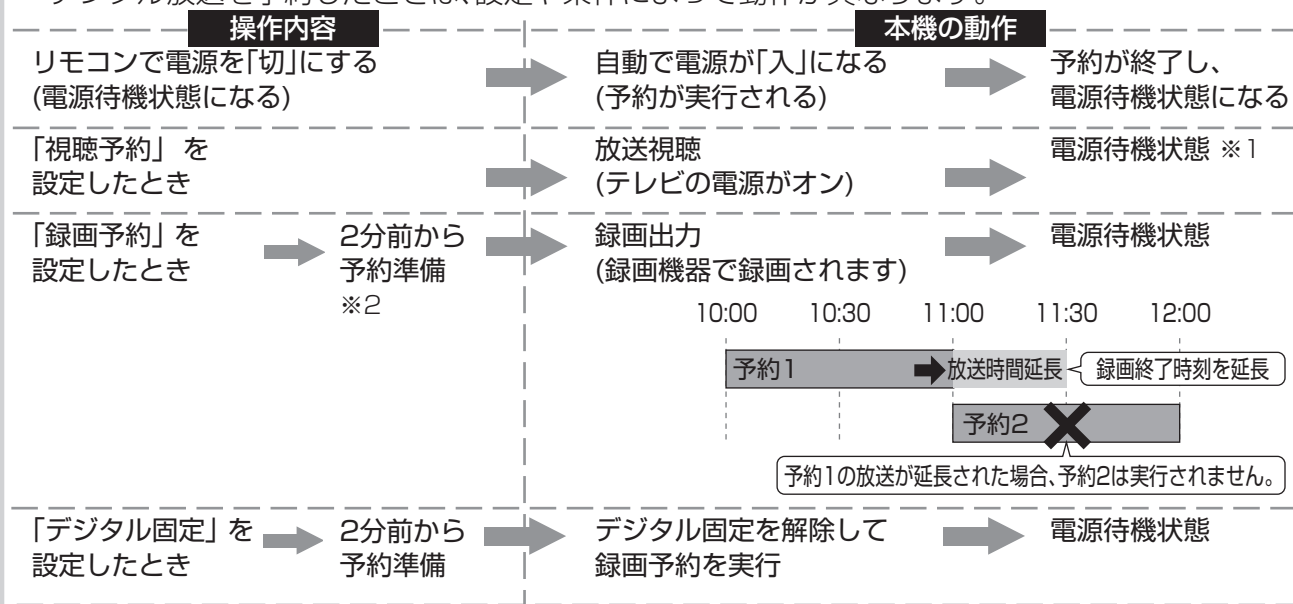
●ビデオ連動予約の場合は、下記の点を確認してください。
・**ビデオデッキの電源状態の確認**
録画予約を設定したら、ビデオデッキの電源が「切」であることを確認してください。電源が「入」の状態であったり、ビデオデッキがタイマー録画の状態であるときは、本機で録画予約を設定しても、予約した番組を録画することができません。
・**ビデオデッキの設定の確認**
本機の録画出力(入力4端子)から接続したビデオデッキの入力端子が録画する状態になっていることを確認してください。ビデオデッキの内蔵チューナーから録画する設定になっていると、予約した番組を録画することができません。
また、ビデオテープが入っていない場合やテープ残量が録画時間分ない場合も、予約した番組を正しく録画することができません。
・**ビデオコントローラーの取り付け位置の再確認**
129〜131ページの手順でビデオデッキの電源が「入」になることを確認してください。

予約動作や出力信号について

電源待機状態からの予約動作について

・デジタル放送を予約したときは、設定や条件によって動作が異なります。

※1 視聴予約実行中に何らかのボタン操作をすると、視聴予約は終了します。この場合、予約した番組が終了しても電源待機状態にはなりません。

※2 ビデオ連動録画設定(**129**ページ)をシャープ7、8に設定している場合に限り、5分前から予約の準備が始まります。

録画出力／モニター出力から出力される信号について

・録画出力／モニター出力／入力4端子は、出力用と入力用に使い分けることができます。切り換えは、メニュー画面の「機能切換」ー「入力4端子設定」で行います。(**132**ページ参照)

・録画出力／モニター出力／入力4端子は、本機背面にあります。(**114**ページ参照)

・「録画出力」に設定したときと「モニター出力」に設定したときとでは、出力される信号が異なります。

入力４端子設定 ＼ 視聴画面	デジタル固定、録画予約ともしていない場合		デジタル固定または録画予約している場合
	モニター出力	録画出力	
地上アナログ放送	地上アナログ放送	デジタル放送 (最後に視聴したチャンネル)	デジタル放送 (設定したチャンネル)
デジタル放送 (地上デジタル、BS、CS)	デジタル放送 (視聴画面と同じチャンネル※)	デジタル放送 (視聴画面と同じチャンネル※)	デジタル放送 (設定したチャンネル)
映像入力 (ビデオ 1、2、3)	ビデオ 1、2、3 入力	デジタル放送 (最後に視聴したチャンネル)	デジタル放送 (設定したチャンネル)
S2 入力(ビデオ 3)	S2 入力(ビデオ 3) ただし、S 端子からのみの出力になります	デジタル放送 (最後に視聴したチャンネル)	デジタル放送 (設定したチャンネル)
D4 入力	映像は出力されません	デジタル放送 (最後に視聴したチャンネル)	デジタル放送 (設定したチャンネル)
i.LINK 入力	i.LINK 入力	i.LINK 入力	デジタル固定：設定できません 録画予約時：デジタル放送
電源スタンバイ時	出力されません	出力されません	デジタル放送 (設定したチャンネル)

※2画面表示中は操作画面の映像出力になります。

・有料放送を視聴･予約する場合は、有料放送を行うプラットフォームや放送局とあらかじめ受信契約を済ませてください。契約していない有料放送は、番組表から予約しても予約どおりに視聴や録画ができません。
・デジタル固定／録画予約時は、データ放送画面や字幕は出力されません。

録画や再生などの機器の接続

ページ

他の機器の接続について 114
接続できる機器 114
本機の接続端子と接続の目やす 115
ビデオやDVDを見る 116
ビデオ機器の接続のしかた 116
ビデオ機器の再生映像を見る 117
DVDプレーヤーなどの接続のしかた 118
高精細映像を楽しむ 119
HDMI対応機器の映像を見る 120
HDMI端子付き機器の接続のしかた 120
HDMI対応機器を接続しないとき(入力スキップ設定) . 120
HDMI対応機器の映像を見る 121
DVI対応機器の映像を見る 122
DVI対応機器の接続のしかた 122
DVI対応機器の映像を見る 123
DVI対応機器を接続しないとき(入力スキップ設定) . 123
ビデオカメラの映像を ビデオデッキで録画する 124
接続について 124
録画の操作について 125
デジタル放送の番組を ビデオデッキで録画する 126
接続について 126
録画の操作について 127
デジタル放送の番組をビデオコントローラーで予約録画する(ビデオ連動録画) 128
接続について 128
ビデオコントローラーを使うための設定をする 129
他の機器を使って録画するための設定 132
入力4端子を録画用または入力用に設定する 132
デジタル固定の設定 133
入力選択の設定 134
外部機器のなまえを表示させる 135

ページ

i.LINK機器を使う 136
i.LINK(アイリンク)について 136
i.LINK接続のしかた 136
i.LINK機器を操作するための準備について 137
i.LINK設定について 138
i.LINK機器の選択と解除について 139
i.LINK機器の操作のしかた 140
D-VHSビデオで録画・再生する 141
デジタル放送を録画する 141
録画した番組を再生する 141
ハイビジョンビデオカメラで撮影・再生する 142
ハイビジョンビデオカメラの映像・音声をAQUOSで楽しむ ... 142
再生する 143
撮影する 143
AV-HDDやBlu-ray Discレコーダーで録画・再生する 144
デジタル放送を録画する 144
録画した番組を再生する 145
録画した番組の消去・保護について 146
音響機器をつないで音声を楽しむ 148
アナログ音声の音響機器を接続する 148
デジタル音声(光)の音響機器を接続する 148
デジタル音声出力(光)端子の設定について 149
PC(パソコン)の画面を表示する 150
接続について 150
PC入力対応表 151
入力解像度の選択について 151
PC入力の画面サイズの種類と切換えについて 152
自動同期調整で最適な画面にする 153
手動で最適な画面に調整する 154
省エネ機能を設定する 155
PC(パソコン)で本機を制御する 156
PC(パソコン)による本機の制御について 156
接続のしかた 156
通信仕様 156
通信手順 156
RS-232Cコマンド一覧 157
通信内容 158

他の機器の接続について

接続できる機器

➡ 映像·音声の流れ

▼本体背面

i.LINK(TS)端子

- D-VHSビデオデッキ
- AV-HDDレコーダー
- Blu-ray Disc レコーダー
- ハイビジョンビデオカメラ

136ページ

ハイビジョン映像の録画·再生用端子

入力5(HDMI 端子)

HDMI 対応機器

120ページ

高画質映像などの入力端子

入力1·入力2
録画出力/モニター出力/入力4

ビデオデッキ

HDD/DVDレコーダー

118ページ

録画出力用端子
高精細、高画質な映像の入力にも対応
(入力4端子の設定で変更します。)

入力3

ビデオカメラ

124ページ

一時的につないで見るときなどの端子

コントロール(RS-232C)端子

PC(パソコン)

156ページ

パソコン入力用入力端子

ビデオコントロール端子

ビデオ連動録画用

ビデオコントローラー

128ページ

モニター音声出力端子

デジタル音声出力(光)端子

シアターシステム

148ページ

高画質映像などの入力端子

入力6(DVI-I 端子)

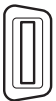
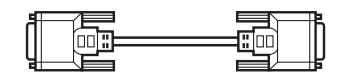
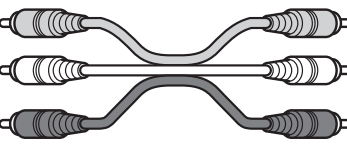
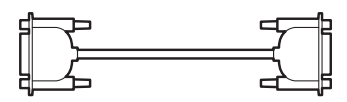
DVI対応機器

122ページ

接続した機器を使うときは

- 入力1端子に接続した機器の再生画像を見たいときは、入力切換を押し、入力切換メニューで「入力1」を選びます。

- i.LINK機器を使うときは、リモコンの i.LINK を押します。

接続した機器の名前を表示させるには

- 入力1端子に接続した機器がビデオデッキの場合、入力切換メニューの表示を「ビデオ」に設定することもできます。(**135**ページ)

- i.LINK機器の名前は変更できません。

本機の接続端子と接続の目やす

	① 端子の形と呼び方	② 端子の詳細と接続ケーブル		画質など
入力1・2	D(4)端子		・ビデオ機器側のD端子は、D1〜4の種類がありますが、1〜4の番号のいずれでも接続できます。	D4:高精細映像 D3:高精細映像 D2:高画質映像 D1:標準映像 高精細な映像入力に対応。
	白 赤 左-音声-右 音声端子		・映像専用端子のため、音声は別に接続します。	
入力3・4	S(2)端子		・ビデオ機器側のS端子は、S,S1,S2の種類がありますが、いずれの種類にも接続できます。	高精細な映像入力に対応。
	白 赤 左-音声-右 音声端子		・映像専用端子のため、音声は別に接続します。	
入力5	HDMI端子 (ハイディフィニション・マルチメディア・インターフェイス)		・映像と音声が1本のケーブルで接続できます。	高精細な映像入力に対応。
入力6	DVI-I端子		・映像専用端子	高精細な映像入力に対応。
	白 赤 左-音声-右 音声端子		・音声は別に接続します。	
i.LINK	i.LINK端子		・映像と音声が1本のケーブルで接続できます。	デジタル放送などハイビジョン映像に対応。
入力1〜4	黄 白 赤 映像・音声端子		・映像と音声をそれぞれ別に接続します。	標準映像 (525i)
コントロール			・パソコン用接続端子	—

① 接続するビデオ機器側の端子の形を確認する

※ビデオ機器側の端子の番号は必ずしも本機のものと同じではありません。

② 本機とビデオ機器を専用のケーブルで接続する

※接続ケーブルは付属しておりません。市販品をお求めください。

ビデオやDVDを見る

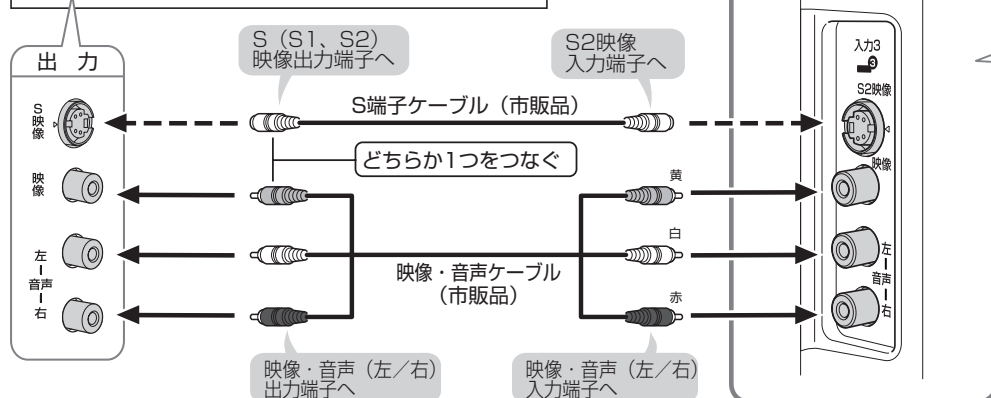
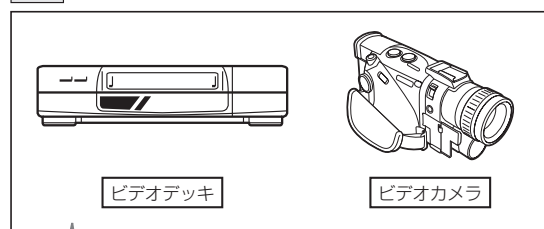
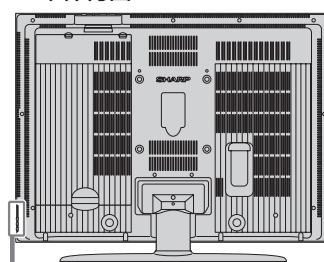
■ 本機はビデオ入力端子6系統を備えており、ビデオやDVDプレーヤーなどの外部再生機器を6台まで接続することができます。（HDMI接続のしかた…**120**ページ。i.LINK接続のしかた…**136**ページ）
■ 接続する機器に応じて、それぞれの端子に合う接続ケーブルをご用意ください。

■ 接続上のご注意

- 接続をするときは、本機や接続する機器の保護のため電源を切ってください。
- 接続ケーブルのプラグは奥まで完全に差し込んでください。不完全な接続は、画像や音声にノイズや雑音が出る原因となります。
- 接続ケーブルを端子から抜くときは、ケーブルを引っぱらずにプラグを持って抜いてください。
- 複数の機器を接続したときは、お互いの干渉を防ぐため、使わない機器の電源を切っておいてください。
- 接続した機器と本機の画像や音にノイズや雑音が出るときは、お互いを十分に離してください。

ビデオ機器の接続のしかた

映像入力端子、S2映像入力端子に接続する

- 音声はそれぞれの音声端子（左／右）に接続してください。
- 入力1～4の映像・音声入力端子または入力3、入力4のS2映像・音声入力端子に接続できます。
- 入力4に接続するときは、入力4端子設定を「入力」に設定してください。（**132**ページ）
- 接続する機器の取扱説明書を併せてお読みください。

S2映像入力端子について

- S2映像入力端子は、映像端子（ビデオ映像端子）に対し、より高画質な映像で再生するためにS端子ケーブルを使って外部機器を接続するときの端子です。
- 本機は、画面サイズ制御信号（フルモード制御信号、レターボックス制御信号）の入った映像が入力3、入力4のS2映像端子から入力されると、自動的に最適な画面サイズで映し出すように設定することができます。（**162**ページ）
- 本機のS2映像端子に外部機器のS映像出力端子を接続しても、映像を楽しむことができます。（S端子接続の場合、画面サイズ制御信号には対応していません。）

ビデオ機器の再生映像を見る

［例］ 入力1に接続したビデオ機器の再生映像を見る

1 **ビデオ機器の準備をする**

① 本機背面の入力1にビデオデッキを接続し、電源を入れる

② 再生したいビデオテープを入れる

2 **入力切換を押し、入力切換メニューを表示する**

- 入力切換メニュー表示中につぎの操作を行います。

3 **① 入力切換または▲▼を押し、「入力1」を選ぶ**

・入力1～入力4は、外部機器が接続されているときのみ選択できます。
・i.LINKは、機器を接続、選択しているときのみ選べます。

※入力4は、入力4端子設定を「入力」にしているときのみ選択できます。（**132**ページ参照）

② 決定を押す

- 決定ボタンを押さなくても、しばらくすると入力切換メニューは消えます。

4 **ビデオ機器を再生状態にする**

入力端子の形を確認してケーブルを選び、ケーブルをつないだ入力に切り換えるのね。

入力選択の設定について

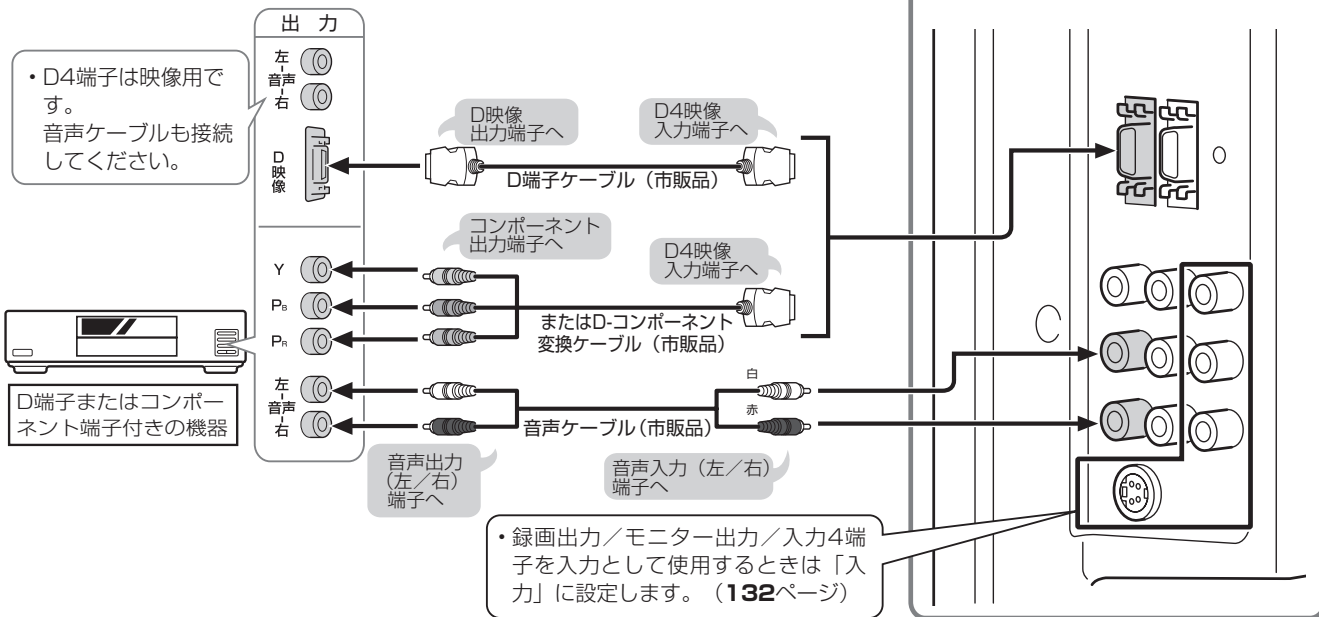
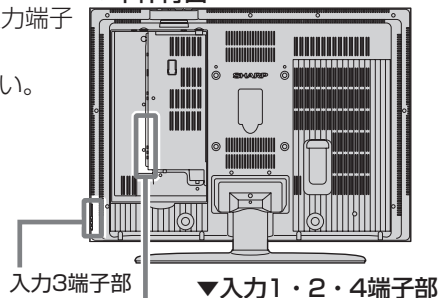
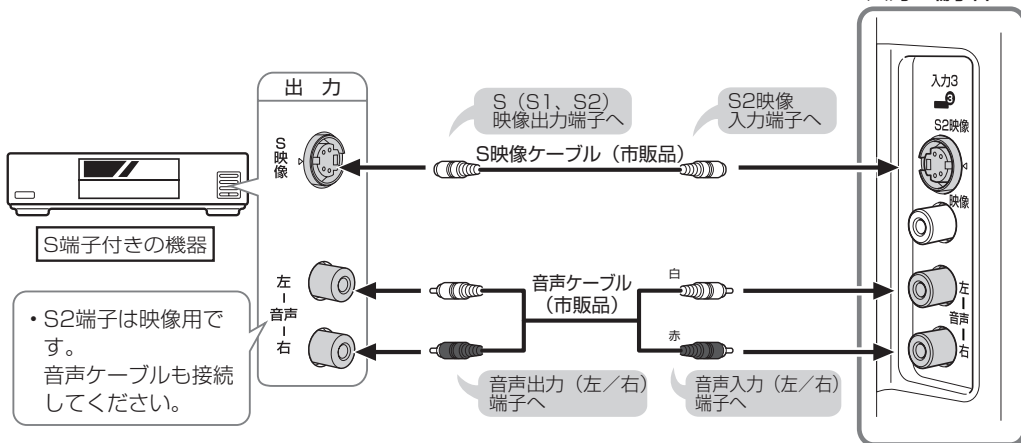
- 接続されている映像用端子と、入力選択の設定で選択されている端子が異なり、映像が表示されない場合は、その旨のメッセージが画面に表示されます。このときは、外部機器を接続している入力の入力選択設定を行ってください。（**134**ページ参照）

DVDプレーヤーなどの接続のしかた

■ DVDプレーヤーなどに、D端子、S端子などの高精細映像に対応した出力端子がついている場合は、その出力端子に合った接続をお選びください。より高画質な映像を楽しむことができます。

D4映像入力端子、S2映像入力端子に接続する

- 音声はそれぞれの音声端子（左／右）に接続してください。
- 入力1･2のD4映像･音声入力端子または入力3･4のS2映像･音声入力端子に接続できます。
- 入力4に接続するときは、入力4端子設定を「入力」に設定してください。（**132**ページ）
- 接続する機器の取扱説明書を併せてお読みください。

- D4端子、S2端子を使うときは、同じ入力の映像端子に接続する必要はありません。
- D4端子、S2端子などは高精細な画質で入力された映像を同じ画質で再現するための端子です。標準画質で入力された映像は同じ標準画質になります。

D4映像入力端子について

- 本機のD4映像入力端子は、D1（525i）、D2（525p）、D3（1125i）、D4（750p）の映像の入力に対応しています。
- D4端子を使用するときは、接続端子の種類に応じた画面サイズの判定の設定を行ってください。（**163**ページ）

ビデオを見たり、録画したりするための接続のしかたです。
- 映像を見るときは、本機の入力と接続機器の出力をつなぎます。
- 録画するときは、本機の出力(モニター出力/録画出力)と接続機器の入力をつなぎます。

高精細映像を楽しむ

■ 本体背面の入力1または入力2のD4映像端子にDVDプレーヤーなどの機器を接続して、より高画質の映像を楽しむことができます。
入力5のHDMI端子に接続するときは、**120**ページをご覧ください。

[例] 入力2に接続したDVDプレーヤーの再生映像を見る

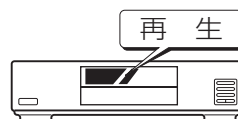
1 DVDプレーヤーの準備をする
① 本機背面の入力2にDVDプレーヤーを接続し、電源を入れる
② 再生したいディスクを入れる

2 入力切換を押し、入力切換メニューを表示する(114ページ)

3 入力切換メニュー表示中に、入力切換または▲▼を押し、「入力2」を選ぶ

- 入力1～入力4は、外部機器が接続されているときのみ選択できます。
- i.LINKは、機器を接続、選択しているときのみ選べます。

※入力4は、入力4端子設定を「入力」にしているときのみ選択できます。(**132**ページ参照)

4 DVDプレーヤーを再生状態にする

おしらせ
- 詳しくは、DVDプレーヤーの取扱説明書を併せてお読みください。
- 入力4端子設定(**132**ページ)を「モニター出力(固定または可変)」に設定した場合、D4映像端子から入力された映像信号は、モニター出力から出力されません。(音声は出力されます。)
- DVDプレーヤーなどの機器を接続するときは、本機に直接接続してください。ビデオデッキを通して本機で映像を見ると、コピーガード機能の働きにより、映像が正常に映らないことがあります。

入力選択の設定について
- 接続されている映像用端子と、入力選択の設定で選択されている端子が異なり、映像が表示されない場合は、その旨のメッセージが画面に表示されます。このときは、外部機器を接続している入力の入力選択設定を行ってください。(**134**ページ参照)

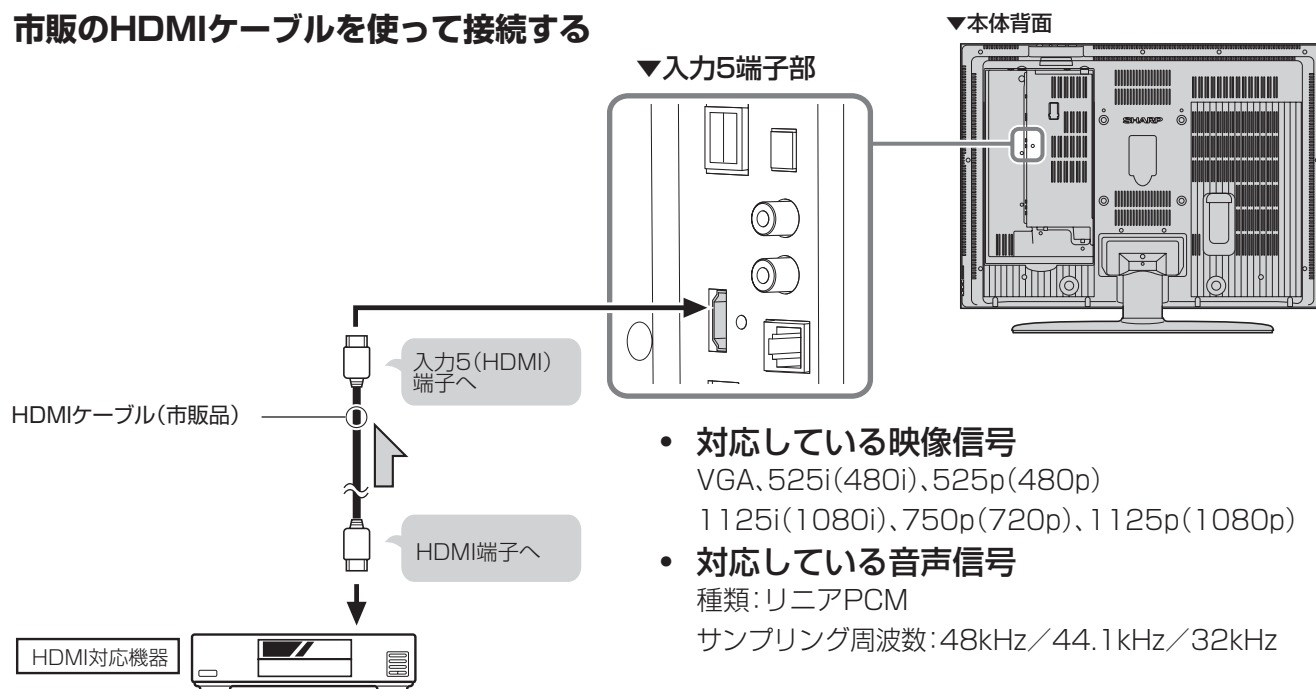
HDMI対応機器の映像を見る

HDMI端子付き機器の接続のしかた

■ HDMI端子は、映像と音声の信号を1本のケーブルでつなぐことができる新しい規格の専用端子です。
■ HDMI対応機器の映像や音声を楽しむときは、入力切換で「入力5」を選びます。
■ HDMI対応機器を接続せず、「入力5」を飛ばして入力切換をしたいときは、「入力スキップ設定」を「する」に設定します。（工場出荷時はHDMI対応機器を接続していなくても「入力5」が選べるようになっています。）

■ HDMI出力端子付きビデオ機器との接続

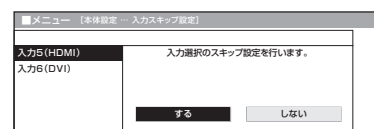
市販のHDMIケーブルを使って接続する

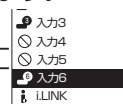
- **対応している映像信号**
  VGA、525i（480i）、525p（480p）
  1125i（1080i）、750p（720p）、1125p（1080p）
- **対応している音声信号**
  種類：リニアPCM
  サンプリング周波数：48kHz／44.1kHz／32kHz

- HDMI、HDMIロゴおよび高品位マルチメディアインターフェイスは、HDMI Licensing, LLCの商標または登録商標です。

HDMI対応機器を接続しないとき（入力スキップ設定）

- 「入力5」を飛ばして入力切換ができます。（工場出荷時は、HDMI対応機器を接続していなくても「入力5」を選べるようになっています。）

① メニュー画面から「本体設定」ー「入力スキップ設定」を選び、決定を押す

② ▲▼で「入力5（HDMI）」を選び、決定を押す

③ ◀▶で「する」を選び、決定を押す

- 「する」に設定すると入力切換ボタンを押したとき、次のような表示になります。
  - 入力5に、⃠が表示され、入力5を飛ばして入力切換ができます。
- 「入力5」のスキップを解除するには、入力切換メニューで「テレビ」を選び、メニュー画面から「本体設定」ー「入力スキップ設定」ー「入力5（HDMI）」ー「しない」を選んでください。

HDMI対応機器の映像を見る

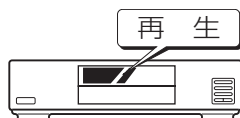
1 **HDMI対応機器の準備をする**
本機背面の入力5端子にHDMI対応機器を接続し、電源を入れる

2 **入力切換 ◯ を押し、入力切換メニューを表示する**

3 **入力切換メニュー表示中に、入力切換 ◯ または ▲ ▼ を押し、「入力5」を選ぶ**

- 入力1～入力4は、外部機器が接続されているときのみ選択できます。
- i.LINKは、機器を接続、選択しているときのみ選べます。

※入力4は、入力4端子設定を「入力」にしているときのみ選択できます。（**132**ページ参照）

4 **HDMI対応機器を再生状態にする**

DVI対応機器の映像を見る

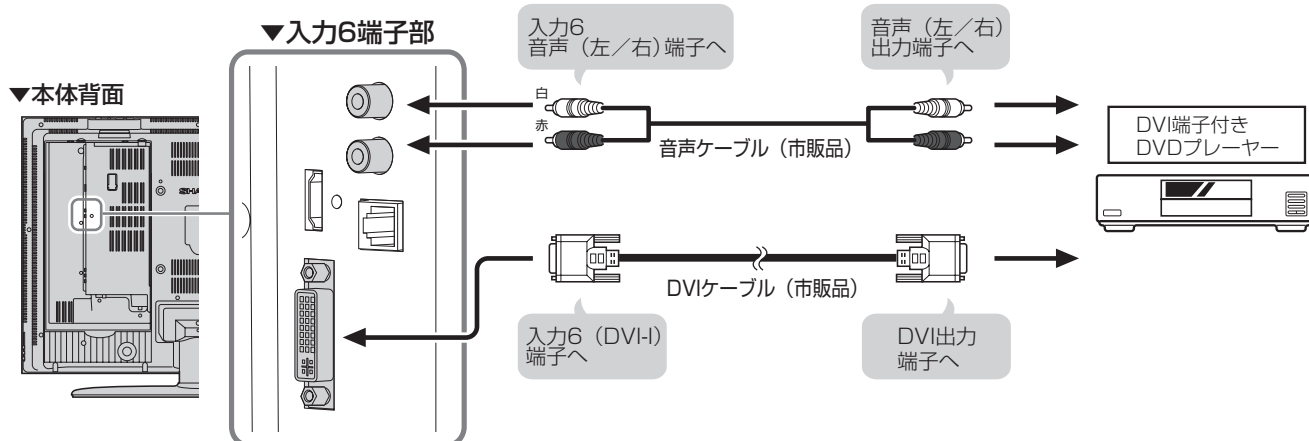
DVI対応機器の接続のしかた

■ DVI対応機器を接続するときは、DVIケーブル(市販品)をご使用ください。DVIケーブルは映像用のケーブルです。DVIケーブルを接続するときは、音声ケーブルも接続してください。

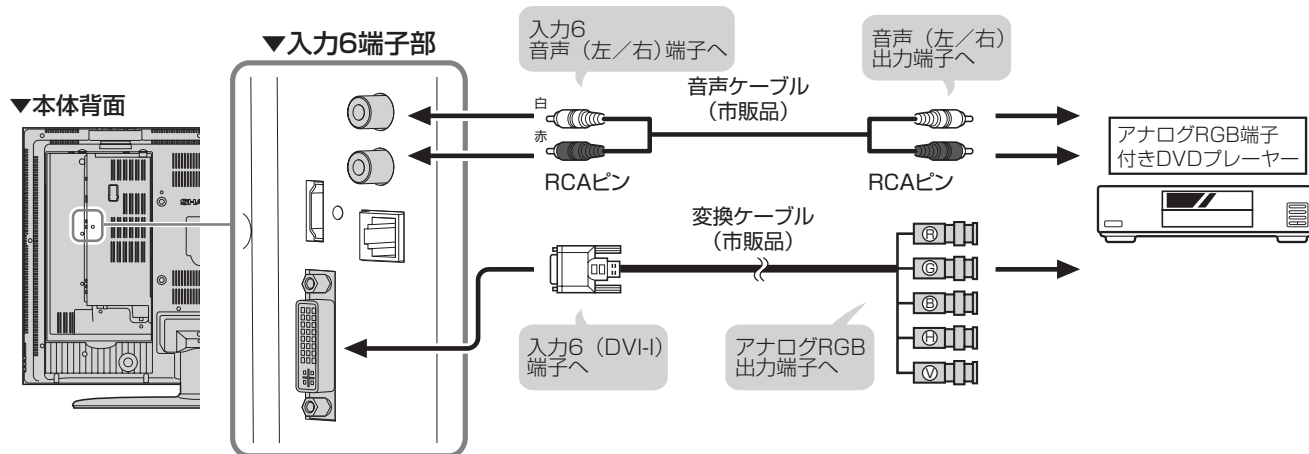
■ DVI対応機器の映像や音声を楽しむときは、入力切換で「入力6」を選びます。

■ DVI対応機器を接続せず、「入力6」を飛ばして入力切換をしたいときは、「入力スキップ設定」を「する」に設定します。(工場出荷時はDVI対応機器を接続していなくても「入力6」が選べるようになっています。)

■ DVI出力端子付きビデオ機器との接続

市販のDVIケーブルを使って接続する

・本機のDVI端子はHDCP(コピープロテクト機能)に対応しています。

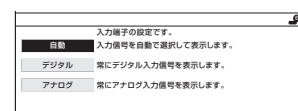
■ アナログRGB出力端子付きビデオ機器との接続

市販の変換ケーブルと変換アダプターを使って接続する

入力6に接続した機器に合わせて端子を設定する

・DVI対応AV機器の入力対応信号は、525i、525p、1125i、750pです。(デジタルAV信号のみ1125pに対応します。)

・対応した信号で正しく表示されない場合は、右の手順に従い、接続した信号に合わせて、入力6を「アナログ」または「デジタル」に設定してください。通常は「自動」のままでかまいません。

① メニュー画面から「機能切換」−「入力選択」を選び、決定を押す

② ▲ ▼ で接続した信号を選び、決定を押す

DVI対応機器の映像を見る

1 DVI対応機器の準備をする

① 本機背面の入力6端子にDVI対応機器を接続し、電源を入れる

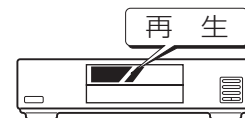
② 再生したいディスクを入れる

2 入力切換を押し、入力切換メニューを表示する

3 入力切換メニュー表示中に、入力切換またはを押し、「入力6」を選ぶ

- 入力1～入力4は、外部機器が接続されているときのみ選択できます。
- i.LINKは、機器を接続、選択しているときのみ選べます。

※入力4は、入力4端子設定を「入力」にしているときのみ選択できます。(132ページ参照)

4 DVI対応機器を再生状態にする

表示状態が最適にならないときは

■ DVI対応機器をHDMI(入力5)端子に接続した場合、「HDMI動作切換」を設定してください。

信号種類の設定

- RGB:赤(R)緑(G)青(B)で映像を表示する形式
- YCbCr:明暗を表す輝度信号(Y)と色を表す色差信号(CbCr)で映像を表現する形式

① 入力切換 で「入力5」を選ぶ

②メニュー画面から「機能切換」ー「HDMI動作切換」を選び、決定を押す

③ で「信号種類」を選び、決定を押す

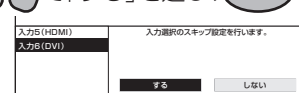
④ で設定値を選び、決定を押す

DVI対応機器を接続しないとき(入力スキップ設定)

- 「入力6」を飛ばして入力切換ができます。(工場出荷時は、DVI対応機器を接続していなくても「入力6」を選べるようになっています。)

①メニュー画面から「本体設定」ー「入力スキップ設定」を選び、決定を押す

② で「入力6(DVI)」を選び、決定を押す

③ で「する」を選び、決定を押す

- 「入力6」のスキップを解除するには、入力切換メニューで「テレビ」を選び、メニュー画面から「本体設定」ー「入力スキップ設定」－「入力6(DVI)」－「しない」を選んでください。

操作終了する場合は

メニューまたは終了を押し、通常画面に戻す

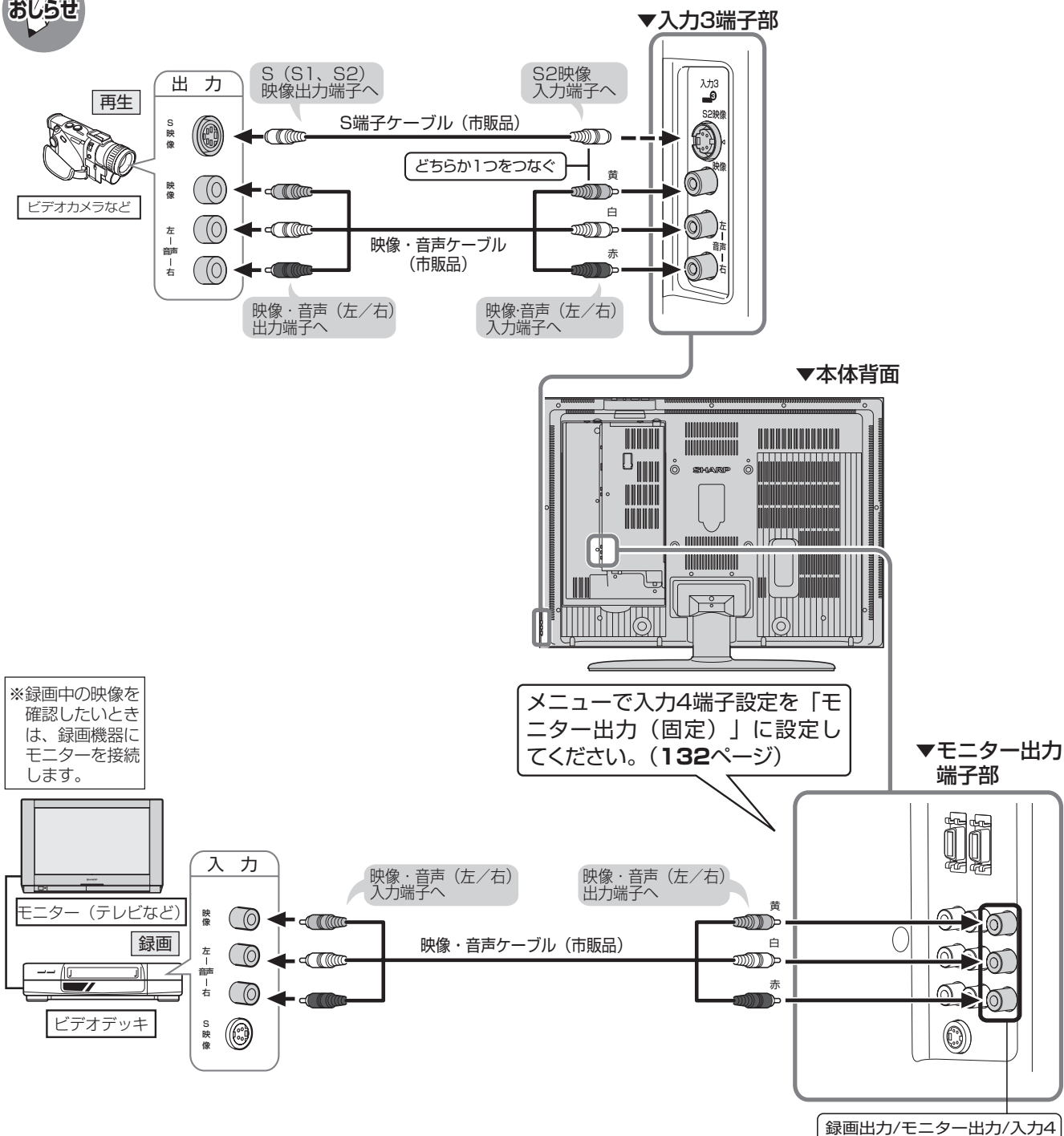
- 1つ前に戻る場合は戻るを押してください。

ビデオカメラの映像をビデオデッキで録画する

接続について

［例］本機側面の入力3に接続したビデオカメラの映像を、モニター出力端子（「モニター出力（固定）」に設定）につないだビデオデッキに録画する

接続のしかた

おしらせ
- 接続する機器の取扱説明書を併せてお読みください。

モニター出力のS2映像端子について
- S2映像端子からは地上アナログ放送、ビデオ信号（ビデオ入力、D4入力）が出力されませんので、録画するときは、映像端子をお使いください。（モニター出力／録画出力について詳しくは**132**ページをご覧ください。）

録画の操作について

1 入力4をモニター出力(固定)に切り換える

- 入力4をモニター出力(固定)に切り換えるための「**入力4端子の設定**」を行ってください。(**132**ページ)

2 入力切換メニュー表示中に、(入力切換)または▲▼を押し、「入力3」を選ぶ

- 入力1～入力4は、外部機器が接続されているときのみ選択できます。
- i.LINKは、機器を接続、選択しているときのみ選べます。

入力切換
テレビ
入力1
入力2
入力3
入力4
入力5
入力6
i.LINK

※入力4は、入力4端子設定を「入力」にしているときのみ選択できます。(**132**ページ参照)

3 モニター出力に接続しているビデオデッキの入力切換を「外部入力」にする

4 モニター出力に接続しているビデオデッキを録画状態にする

5 入力3に接続したビデオカメラを再生状態にする

- 接続する機器の操作については、各機器の取扱説明書をご覧ください。
- 入力4端子設定(**132**ページ)を「モニター出力(固定または可変)」に設定した場合、D4映像端子から入力された映像信号は、モニター出力から出力されません。(音声は出力されます。)
- あなたが録画、録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

デジタル放送の番組をビデオデッキで録画する

接続について

■ 本機背面の録画出力端子(「録画出力」に設定)にビデオデッキなどの録画機器を接続して、デジタル放送を録画することができます。

接続のしかた

▼本体背面

メニューで入力4端子設定を「録画出力」に設定してください。(**132**ページ)

▼録画出力端子部

※録画中の映像を確認したいときは、録画機器にモニターを接続します。

映像･音声(左／右)出力端子へ

黄

映像･音声ケーブル(市販品)

白

赤

モニター(テレビなど)

S2映像出力端子へ

録画出力/モニター出力/入力4

入 力

映像

左－音声－右

S映像

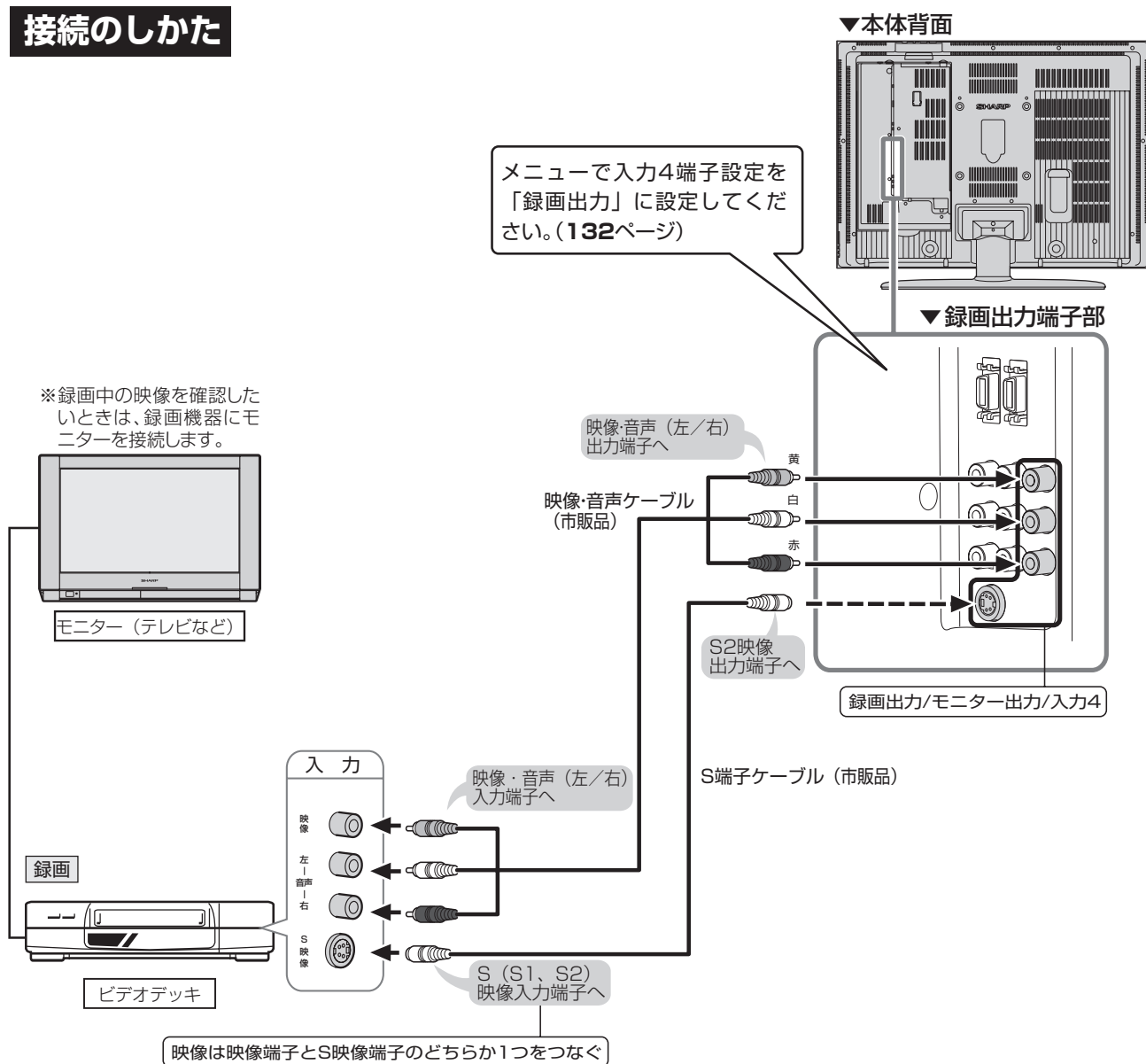
映像・音声(左／右)入力端子へ

S端子ケーブル(市販品)

録画

ビデオデッキ

S(S1、S2)映像入力端子へ

映像は映像端子とS映像端子のどちらか1つをつなぐ

- 録画出力(「録画出力」に設定時)からは、デジタル放送のハイビジョン画質(1125i)の映像を標準画質(525i)に変換して出力します。したがって、**接続された録画機器では標準画質で録画されます。**
- ハイビジョン画質で録画するときは、D-VHS･AV-HDD･BDなどのi.LINK機器をi.LINK接続して行ってください。(**136**～**139**ページ参照)
- 番組により、録画･録音が制限されている場合などがあります。
- 著作権保護された番組をビデオデッキなどで録画する際、著作権保護のための機能が働き、正しく録画できません。また、この機能により、再生目的でもビデオデッキを介してモニター出力した場合には画質劣化する場合がありますが、機器の問題ではありません。著作権保護された番組を視聴する場合は本製品とモニターを直接接続してお楽しみください。

録画の操作について

■ デジタル放送は、チャンネルを固定して録画することができます。（デジタル固定…**133**ページ）
■ デジタル放送は、ビデオコントローラーで予約録画することができます。（ビデオ連動録画…**128**ページ）

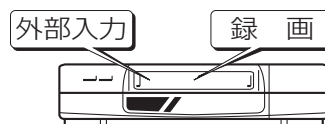
［例］NHKハイビジョンの番組を録画するとき

1 入力4を録画出力に切り換える

• 入力4を録画出力に切り換えるための「入力4端子の設定」を行ってください。（**132**ページ）

2 ① **BSを押し、BSデジタル放送（テレビ）を受信する**

② **チャンネルボタン3を押し、NHKハイビジョンを選局する**

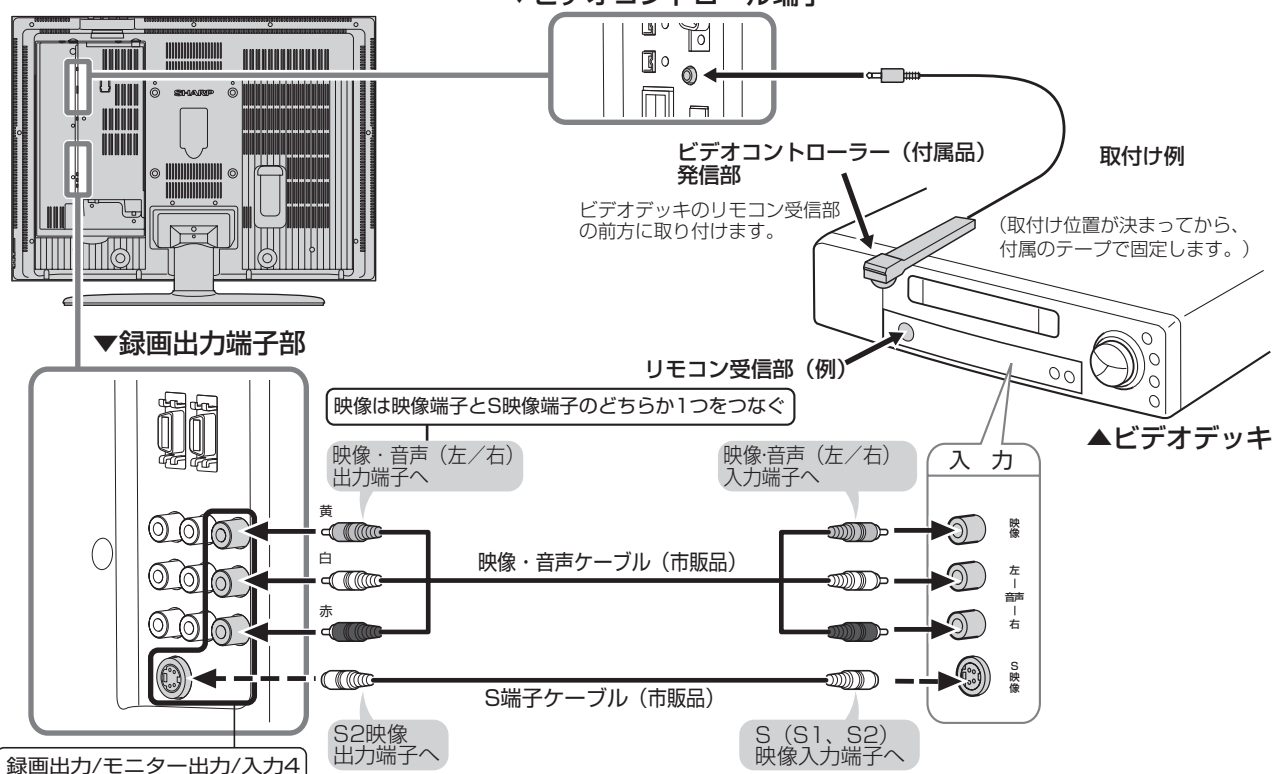
3 ビデオデッキを外部入力に切り換え、録画状態にする

• あなたが録画（録音）したものは、個人として楽しむなどのほかは著作権法上、権利者に無断で使用できません。

デジタル放送の番組をビデオコントローラーで予約録画する(ビデオ連動録画)

接続について

ビデオコントローラーを使うと、予約した時刻にビデオコントローラーからビデオデッキにリモコン信号が送信され、ビデオデッキの電源の入／切や録画の開始／停止を行い、本機の予約機能と連動してデジタル放送の番組を録画(ビデオ連動録画)することができます。この場合、ビデオデッキの予約設定は必要ありません。

※ ビデオデッキの機種によっては、リモコン信号が異なるため動作しない場合があります。そのときは、ビデオコントローラーは使用できません。また、ビデオデッキ内蔵型テレビにも録画できません。

(ビデオコントローラーと映像・音声ケーブルをつなぎます)

機種番号について

■ メーカーにより複数のリモコン信号を採用しており、つぎの機種番号で区分されます。

メーカー	機種番号
シャープ	1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8
アイワ	1, 2, 3, 4
NEC	1, 2, 3, 4
サンヨー	1, 2, 3, 4
ソニー	1, 2, 3, 4, 5, 6
東芝	1, 2, 3, 4, 5, 6
ビクター	1, 2, 3, 4
日立	1, 2, 3
フナイ	1
松下	1, 2, 3, 4, 5, 6
三菱	1, 2, 3, 4
パイオニア	1, 2, 3

工場出荷時の設定：未設定

※入力4端子の設定について

- ビデオ連動録画をするときは、メニューで入力4端子設定を「録画出力」に設定してください。(**132**ページ)

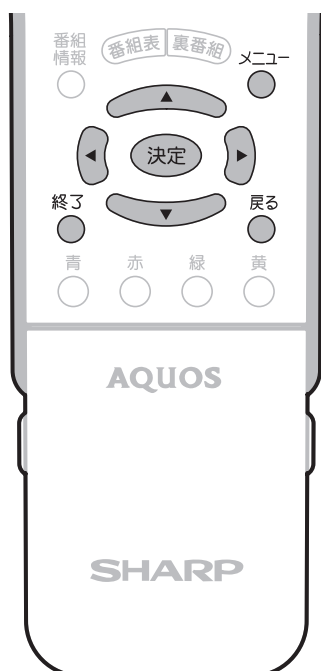
ビデオコントローラー取付けの際のご注意

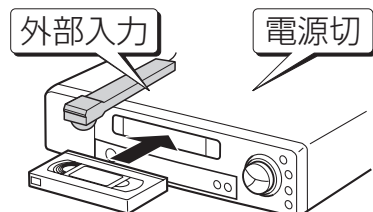
- リモコン受信部の位置は、ビデオデッキのメーカーや機種によって異なります。一般的には、液晶表示部に隣接して丸いものがうすく見えます。
- ビデオコントローラーの発信部がビデオデッキのリモコン受信部に確実に向いていることをご確認ください。
- ビデオコントローラーを取り付けるときは、はじめから任意の位置に固定しないで、**129**～**131**ページ「ビデオコントローラーを使うための設定をする」のテストでビデオデッキの電源が「入」になる位置を探し、その位置に固定してください。

ビデオコントローラーを使うための設定をする

- ビデオ連動録画設定が必要なのは初回のみです。（ただし接続している機器を変更したときは、再度設定が必要になります。）
- ビデオ連動録画できるのは、デジタル放送のみです。地上アナログ放送、CATV放送などはビデオ連動録画ができません。

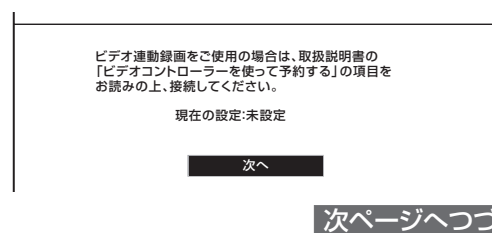
操作の前に

- **録画出力信号について**
  ビデオ連動録画設定で、リモコン信号が異なり動作しない場合でも、録画出力端子からは、映像と音声信号が出力されます。（この場合は録画する機器側で録画予約設定を行ってください。）
- **ビデオデッキの準備について**
  ビデオデッキ側は起動時に選局しているチャンネルの映像を録画しますので、外部入力チャンネルに切り換えた上で電源を「切」にして待機してください。
  他のチャンネルでのタイマー録画が先に実行されると外部チャンネルが変更されてしまい、他のチャンネルが録画されます。

1 ビデオデッキの準備をする

① 本機につなぐ（128ページ参照）
② ビデオコントローラーを取り付ける（128ページ参照）
③ 外部入力に切り換える
④ 録画用ビデオテープを入れる
⑤ ビデオのリモコンで電源を「切」にする

2 メニュー画面から「デジタル設定」—「ビデオ連動録画設定」を選び、決定を押す

3

① ビデオコントローラーの接続を確認する
② 「次へ」で決定を押す

次ページへつづく

操作終了する場合は

メニュー または 終了 を押し、通常画面に戻す

- 1つ前に戻る場合は 戻る を押してください。

デジタル放送の番組をビデオコントローラーで予約録画する(ビデオ連動録画)(つづき)

4 お使いのビデオデッキのメーカーを▲▼◀▶で選び、決定を押す

ビデオのメーカーを選択してください。

シャープ	アイワ	NEC	サンヨー
ソニー	東芝	ビクター	日立
フナイ	松下	三菱	パイオニア

●該当メーカーがないとき　：　ビデオコントローラーを使用しない
録画する機器側での設定が必要です

- 外部自動録画機能(シンクロ予約機能)を使用して録画する場合、「ビデオコントローラーを使用しない」を選択してください。
- 該当するビデオメーカーがない場合は、「ビデオコントローラーを使用しない」を選択して、ビデオ連動予約を行う際はビデオデッキにもタイマー予約を設定してください。

5 「テスト実行」で決定を押し、テストを開始する

■メニュー　[デジタル設定 … ビデオ連動録画設定]

リモコンの決定ボタンを押してください。
テスト実行

ビデオの電源は「入」になりましたか?
●「入」になった　：　設定する
●「入」にならなかった　：下記設定を変えてテストしてください。
現在の設定：　シャープ1　1 2 3 4 5 6 7 8
●該当番号がないとき　：　ビデオコントローラーを使用しない
録画する機器側での設定が必要です

テストの結果
- ビデオデッキの電源が「入」になったとき(正常)
  ⇨手順8に進みます。
- ビデオデッキの電源が「入」にならなかったとき
  ⇨ビデオデッキの接続、ビデオコントローラーの取付け、メーカーを確認し、手順6に進みます。

- ビデオコントローラーの取付け位置が適切でないために、ビデオデッキの電源が「入」にならないことがあります。その場合は、手順6・7でテストをくり返しながらビデオデッキの電源が「入」になる位置を見つけ、その位置にビデオコントローラーを固定してください。

次ページへつづく

6 ① でカーソルを機種番号の欄に移動する

② でメーカーの機種番号を選び、決定を押す

- **128**ページ左下にある「機種番号について」の表を参考に機種番号を選んでください。機種番号が複数あるメーカーの場合は、お使いのビデオデッキが操作できるようになるまで手順**6**・**7**をくり返してください。

7 決定を押し、テストを実行する

- テストの結果、該当する機種番号がない場合は、「ビデオコントローラーを使用しない」を選択して、ビデオ連動予約を行う際はビデオデッキにもタイマー予約を設定してください。

8 ① ビデオデッキの電源が「入」になったことを確認する

② 「設定する」で決定を押す

- これでビデオ連動録画の設定は完了です。

操作終了する場合は

メニュー または 終了 を押し、通常画面に戻す

- 1つ前に戻る場合は 戻る を押してください。

設定が終了したら、再度ビデオデッキの電源を「切」にします。(ビデオのリモコンで切ります。)

- 予約した時刻になると、ビデオデッキの電源が入り、録画が開始されます。
- 録画予約のしかたについては、**102**～**105**ページをご覧ください。

- ビデオコントローラーのテストで、どの機種番号を選んでもビデオデッキの電源が「入」にならない場合は、ビデオコントローラーの発信部がビデオデッキのリモコン受信部に確実に向いているか、再度ご確認ください。

他の機器を使って録画するための設定

入力4端子を録画用または入力用に設定する

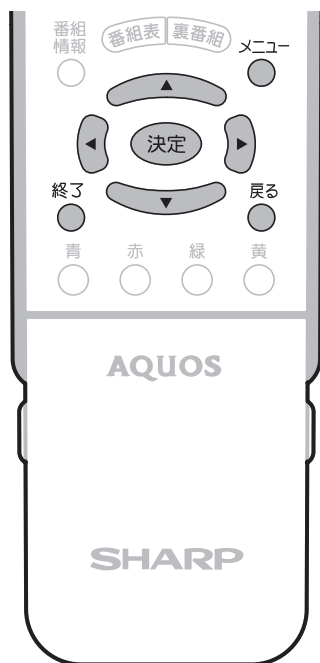
■ 本機背面の入力4端子は、録画用と入力用に使い分けることができます。

操作の前に

他の機器を接続して録画するときの設定

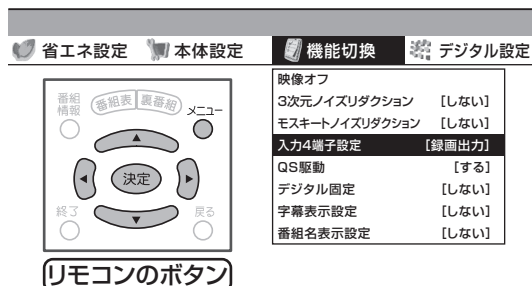
- **録画出力**（工場出荷時の設定）
  デジタル放送を録画するときに選びます。
- **モニター出力（固定）**
  音声出力端子から出力される音量レベルは一定で、スピーカーの音量を調整しても端子の出力レベルは変化しません。
- **モニター出力（可変）**
  スピーカーからは音声が出ません。音声出力端子から出力される音量レベルを、音量ボタンで調整することができます。

ビデオやDVDを見るときの設定

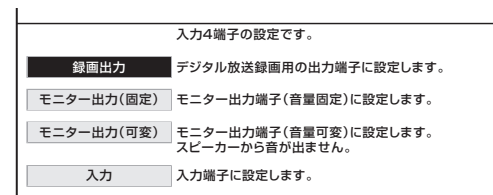
- **入力**
  ビデオ再生機器をつなぐなど、入力端子として使うときに選びます。

•モニター出力／録画出力される信号について

出力	モニター出力				録画出力
	固定		可変		
	S2	映像	S2	映像	S2／映像
地上アナログ放送	×	○	×	○	×
デジタル放送	○	○	○	○	○
ビデオ入力	×	○	×	○	×
D4入力	×	×	×	×	×

1 **メニュー画面から「機能切換」ー「入力4端子設定」を選び、(決定)を押す**

リモコンのボタン

2 **(▲)(▼)で「録画出力」「モニター出力（固定）」「モニター出力（可変）」「入力」のいずれかを選び、(決定)を押す**

入力4端子の設定です。

録画出力	デジタル放送録画用の出力端子に設定します。
モニター出力（固定）	モニター出力端子（音量固定）に設定します。
モニター出力（可変）	モニター出力端子（音量可変）に設定します。スピーカーから音が出ません。
入力	入力端子に設定します。

- 「モニター出力」に設定すると、音量を調整したとき、次のような音量表示が画面に表示されます。

「モニター出力（固定）」にしたときの音量表示

30

「モニター出力（可変）」にしたときの音量表示

30

- 「モニター出力（可変）」に設定し、モニター音声出力レベルを調整する場合は、スピーカーの音量を変えるときと同じように、音量（大／小）ボタンで調整します。
- 「モニター出力（固定）」「モニター出力（可変）」のいずれを選んだ場合でも、ヘッドホン端子からの音声出力は可能です。
- 予約録画実行中、デジタル固定中は、「モニター出力（固定または可変）」に設定していても、「録画出力」になります。
- 「モニター出力（可変）」に設定しているとき、音声調整の設定はできません。

操作終了する場合は

(メニュー)または(終了)を押し、通常画面に戻す

- 1つ前に戻る場合は(戻る)を押してください。

デジタル固定の設定

■「デジタル固定」とは、現在受信しているデジタル放送のチャンネルに固定する機能です。

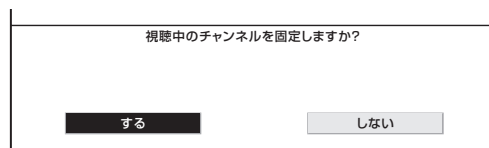
操作の前に

こんなときに便利です

- デジタル放送の番組を録画しているとき、誤ってチャンネルを変えてしまうのを防ぐことができます。
- リモコンで電源「切」にした状態（待機状態）で、デジタル放送の番組を録画できます。
- デジタル放送の番組を録画しながら他のチャンネルを視聴したりすることができます。
- デジタル固定を「する」に設定しているときは、リモコンで電源を「切」（電源待機状態）にしても、録画出力からデジタル放送の映像・音声が出力されますので、録画を続けることができます。

1 **固定したいデジタル放送のチャンネルを選局する**

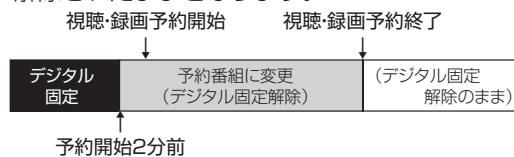
2 **メニュー画面から「機能切換」ー「デジタル固定」を選び、決定を押す**

3 **◀▶で「する」を選び、決定を押す**

- 視聴中のデジタル放送のチャンネルに固定されます。

操作終了する場合は

メニューまたは終了を押し、通常画面に戻す

- 1つ前に戻る場合は戻るを押してください。

- デジタル固定中に視聴・録画予約時間の2分前（ビデオ連動録画設定（**129**ページ）をシャープ7、8に設定している場合に限り、5分前）になると、デジタル固定が自動的に解除されます。また、視聴・録画予約が終了してもデジタル固定は解除されたままとなります。

- 予約録画実行中やi.LINK入力時は、デジタル固定にできません。
- デジタル放送をビデオデッキで録画する場合は、「デジタル固定」または「ビデオ連動録画」（**128**ページ）で録画することをおすすめします。

入力選択の設定

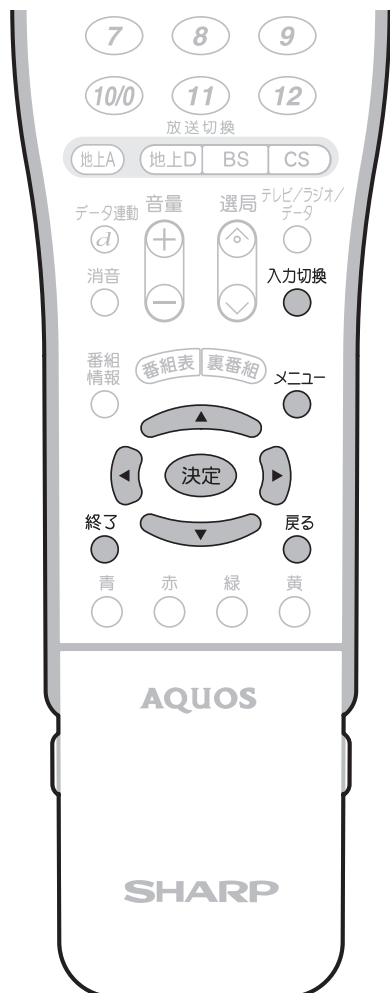
■ 入力1～4に外部機器を接続しているとき、複数の映像用端子(例えば、入力1では「D4映像」「映像」の2種類)のどれを使用するかを設定することができます。
■ 工場出荷時の状態では、入力1～4は「自動」に設定されています。通常の使用方法の場合、特に設定を変更する必要はありません。

入力選択の項目について

■入力1～4のそれぞれにつき、選択できる入力項目はつぎのとおりです。

入力1　入力2
自動
D端子
ビデオ映像

入力3　入力4
自動
S端子
ビデオ映像

■入力6の入力選択については、**122**ページを参照してください。

[例] 外部機器を入力1に接続しているとき、D4映像端子からの入力を選択する

1 入力切換で「入力1」を選ぶ

• 入力1～入力4は、外部機器が接続されているときのみ選択できます。
• i.LINKは、機器を接続、選択しているときのみ選べます。

※入力4は、入力4端子設定を「入力」にしているときのみ選択できます。(**132**ページ参照)

2 メニュー画面から「機能切換」ー「入力選択」を選び、決定を押す

• テレビ入力およびi.LINK入力のとき、「入力選択」はメニューに表示されません。

3 ▲▼で「D端子」を選び、決定を押す

操作終了する場合は

メニュー または 終了 を押し、通常画面に戻す

• 1つ前に戻る場合は 戻る を押してください。

映像入力端子選択の優先順位について

• 入力1～4の入力選択を「自動」に設定したときは、つぎの優先順位で映像入力端子が選択されます。

入力1・入力2　D端子→ビデオ映像
入力3・入力4　S端子→ビデオ映像

外部機器のなまえを表示させせる

■ 入力1～6に接続している外部機器に合わせて、入力切換メニューや画面表示（チャンネルサイン）に表示される機器の名称を選択することができます。
■ 機器の名称をおこのみの名称に変更することもできる「ユーザー設定」があります。

表示できる名称について

入力1／入力2

入力1 ※	ビデオ1 ※	ビデオ
コンポーネント1 ※	コンポーネント	D端子1 ※
D端子	CATV	CS
DVD	ゲーム	ムービー
D-VHS	HDD	DVR
BD		

※「入力2」選択時は、入力2　ビデオ2 などの表示になります。

入力3／入力4

入力3 ※	ビデオ3 ※	ビデオ
CATV	CS	DVD
ゲーム	ムービー	D-VHS
HDD	DVR	BD

※「入力4」選択時は、入力4　ビデオ4 などの表示になります。

入力5

入力5	ビデオ5	ビデオ
HDMI	DVD	DVR
HDD	BD	

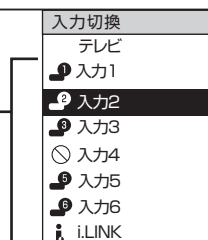
入力6

入力6	ビデオ6	ビデオ
DVI-I	DVD	PC

ゲーム機との接続について
- ゲームの種類の中で、ピストルを使ったシューティングゲームはできません。

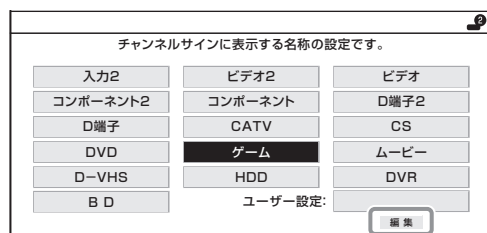
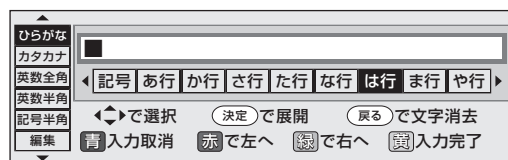
［例］入力2の表示を「ゲーム」に変える

1 入力切換 で「入力2」を選ぶ

- 入力1～入力4は、外部機器が接続されているときのみ選択できます。
- i.LINKは、機器を接続、選択しているときのみ選べます。

※入力4は、入力4端子設定を「入力」にしているときのみ選択できます。（**132**ページ参照）

2 メニュー画面から「本体設定」－「入力表示選択」を選び、決定を押す

- テレビ入力およびi.LINK入力のとき、「入力表示選択」はメニューに表示されません。

3 ▲▼◀▶で「ゲーム」を選び、決定を押す

ユーザー設定について
- おこのみで機器の名称を入力したいときは、「編集」を選んで決定します。文字入力のしかたについては、**186**ページをご覧ください。

- ユーザー設定を選択して名称を入力する前は、「入力1」「入力2」などの初期値が表示されます。
- 入力できる最大文字数は、全角文字で5文字、半角文字で10文字です。

4 メニュー または 終了 を押し、通常画面に戻す

- 入力切換ボタンを押すと、入力切換メニューに「❷ゲーム」が表示されます。

i.LINK機器を使う

i.LINK(アイリンク)について

■ i.LINKは、i.LINK端子を持つ機器間で、デジタル映像やデジタル音声などのマルチメディア系のデータ転送や、接続した機器の操作ができるシリアル転送方式のインターフェースで、i.LINKケーブル1本で接続することができます。
i.LINKは、IEEE1394の呼称で、IEEE(米国電子電気技術者協会)によって標準化された国際標準規格です。現在、100Mbps/200Mbps/400Mbpsの転送速度があり、それぞれS100/S200/S400と表示されます。本機では最大400Mbpsの転送が可能です。

本機に接続できるi.LINK機器について

■ 本機が対応しているi.LINK機器

- D-VHSビデオデッキ(D-VHS)
- AV-HDDレコーダー(AV-HDD)
- Blu-ray Discレコーダー(BD)
- HDV方式ハイビジョンビデオカメラ(HDV)

※上記のi.LINK機器でも、機器によっては機器の認識やコントロール、録画や再生ができない場合があります。

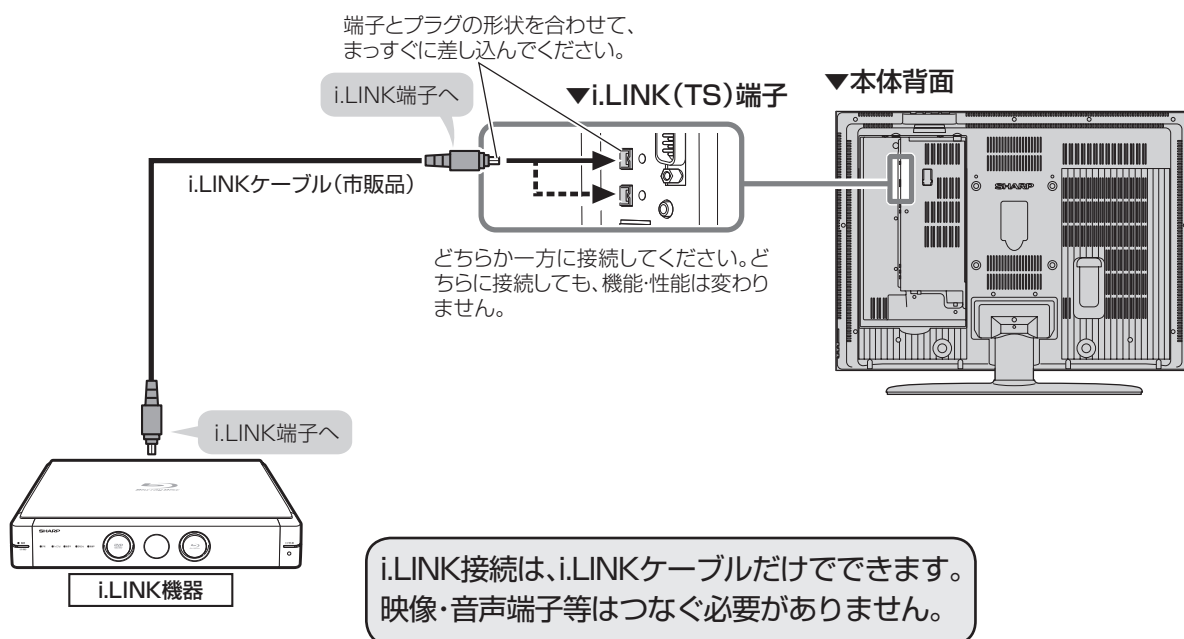
※DVDレコーダーやDV機器、PC(パソコン)、PC周辺機器などは、仕様が異なりますので接続できません。

i.LINKで録画できる内容について

■ 本機とi.LINK機器をi.LINK接続して録画できるのは、**デジタル放送のみ**です。それ以外のテレビ(地上アナログ放送)、外部入力(入力1～6)は、i.LINK録画ができません。また、ハイビジョンビデオカメラでは、本機のデジタル放送をi.LINK録画することができません。

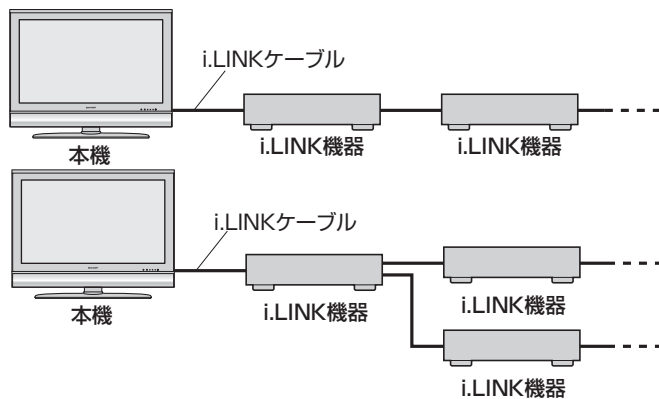
i.LINK接続のしかた

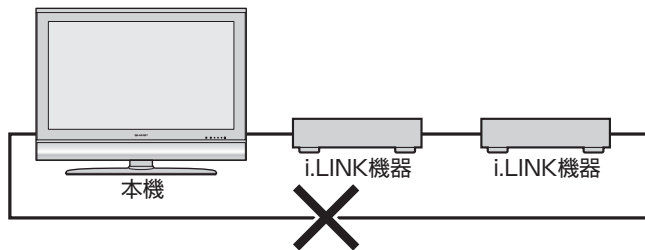
［例］ 接続するi.LINK機器が1台の場合

i.LINK接続は、i.LINKケーブルだけでできます。
映像·音声端子等はつなぐ必要がありません。

- 接続の際は、「S400」タイプのi.LINKケーブルをご使用ください。

i.LINK機器(D-VHS/AV-HDD/BD)が2台以上のとき

■ i.LINKケーブルを使い、デイジー・チェーン(数珠つなぎ)で接続します。この接続では、i.LINK機器を最大16台までつなぐことができます。

■ i.LINK端子が3つ以上ある機器の場合は、分岐をしてつなぐこともできます。分岐接続する場合は、i.LINK機器を最大62台までつなぐことができます。

接続に関するご注意

- 一部のi.LINK機器では、その機器の電源が切られているとデータを中継できない場合があります。この場合は、その機器を終端に接続してください。
- 図のようなループ(輪)接続をしないでください。
- i.LINK機能使用中は、使用していないi.LINK機器であっても、ケーブルを抜いたり、電源を切ったりしないでください。映像・音声が乱れることがあります。
- DVDレコーダーやDV機器、PC(パソコン)、PC周辺機器など、本機が対応していない機器を同時に接続していると、誤動作することがあります。
- 接続したi.LINK機器の認識やコントロール、録画・再生が正しくできなくなったときは、i.LINKケーブルの抜き差しを行うことで、復帰する場合があります。
- 複数のi.LINK機器を接続して使用する場合、接続機器の仕様や相互接続性により、動作が安定しない場合があります。この場合、使用していない機器の接続を外したり、接続のしかたを変更すると安定する場合があります。

i.LINK機器を操作するための準備について

i.LINK操作パネルを表示させる

1 **本機のi.LINK端子にi.LINK機器を接続し、i.LINK機器の電源を入れる**

2 **本機の電源を入れる**

3 **i.LINKを押して、i.LINK操作パネルを表示する**

- 詳しくは139ページの「i.LINK機器の選択」をご覧ください。

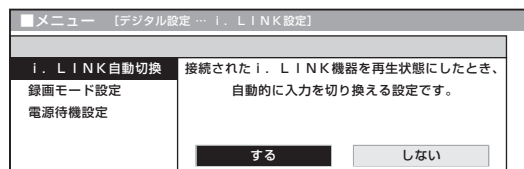
リモコンのボタン

i.LINK自動切換を設定する

■i.LINKで接続した録画機器を再生状態にしたとき、自動的に入力が「i.LINK」に切り換わるように設定することができます。

1 **メニュー画面から「デジタル設定」—「i.LINK設定」を選び、決定を押す**

2 **▲▼で「i.LINK自動切換」を選び、決定を押す**

3 **◀▶で「する」を選び、決定を押す**

i.LINK機器を使う（つづき）

i.LINK設定について

- 複数のi.LINK機器をi.LINKケーブルで接続した場合、本機の「電源待機設定」を「しない」に設定して電源を待機状態（電源ランプ赤色点灯）にすると、本機を中継して接続されているi.LINK機器間のデータのやりとりができなくなります。本機をi.LINK機器の中間に接続している場合は、本機の「電源待機設定」を「する」に設定するか、下図のように本機をi.LINK機器の末端に接続してください。

- 現在発売されているi.LINK機器のほとんどは、記録している映像・音声の伝送レートを自動認識し録画モードを制御するため、**本機の「録画モード設定」は通常「しない」に設定してください。**
- i.LINK機器の種類や、i.LINK機器で記録しようとしている放送の内容によっては、本機から録画モードを正常に制御できない場合があります。この場合は、本機の「録画モード設定」を「しない」に設定してください。
- 本機の電源が待機状態（電源ランプ赤色点灯）のときは、外部機器からのi.LINK制御コマンドを受けつけることができません。これは「電源待機設定」を「する」に設定しても同じです。外部機器から本機をi.LINK制御する場合は、本機の電源を「入」（電源ランプ緑色点灯）にしてから行ってください。

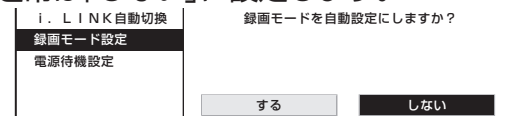
1 **メニュー画面から「デジタル設定」ー「i.LINK設定」を選び、(決定)を押す**

録画モードの設定

- 本機には、録画時にi.LINK機器の録画モードを自動的に制御する機能があり、その機能を有効に「する」か「しない」かを選ぶことができます。

2 ① **(▲)(▼)で「録画モード設定」を選び、(決定)を押す**

② **(◀)(▶)で「する」または「しない」を選び、(決定)を押す**

- 通常は「しない」に設定します。

i.LINK電源待機の設定

- 本機では、i.LINK電源待機の設定により電源待機時の消費電力を少なくすることができます。
- i.LINK機器を接続していない場合は、消費電力が小さくなる「しない」を選択してください。

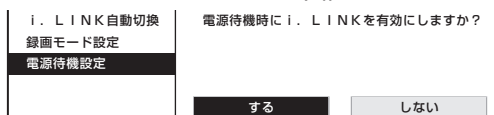
2 ① **(▲)(▼)で「電源待機設定」を選び、(決定)を押す**

② **(◀)(▶)で「する」または「しない」を選び、(決定)を押す**

「する」……電源待機時にもi.LINK回路を通電し、データの中継ができるようにします。

「しない」…電源待機時の消費電力を少なくします。ただし、データの中継はできません。

操作終了する場合は

(メニュー)または(終了)を押し、通常画面に戻す

- 1つ前に戻る場合は(戻る)を押してください。

i.LINK機器の選択と解除について

■i.LINK機器を選択したり解除するには、機器選択画面から操作を選びます。

i.LINK機器の選択

・本機からi.LINK機器を操作するためには、使用するi.LINK機器を選択する必要があります。
・最大16台のi.LINK機器から、使用する1台を選択できます。
・接続されたi.LINK機器は、自動的に機器選択画面のリストに登録されます。

1 i.LINK を押し、i.LINK操作パネルを表示する

・i.LINK機器が1台も接続されていないときは、「操作できるi.LINK機器がありません。」のメッセージが表示されます。機器を接続してください。（**136**ページ参照）
・i.LINK機器が選択されていないときは、機器選択画面になります。手順**3**に進んでください。

2 ▲ ▼ ◀ ▶ で「機器選択」を選び、決定 を押す

・機器選択画面が表示されます。

現在選択されている機器のマーク

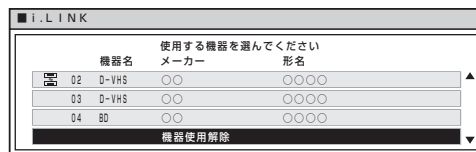
■i.LINK
使用する機器を選んでください
機器名 メーカー 形名
01 D-VHS ○○ ○○○○
02 D-VHS ○○ ○○○○
03 D-VHS ○○ ○○○○
04 BD ○○ ○○○○

3 操作したい機器を ▲ ▼ で選び、決定 を押す

・選んだi.LINK機器の操作パネルが表示されます。

i.LINK機器の使用解除

・登録されたi.LINK機器の使用を解除できます。
・i.LINK機器の使用を解除することにより、その機器を別のi.LINK機器から使用できるようになります。

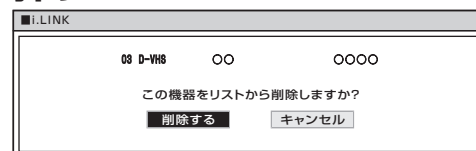
1 ① 「i.LINK機器の選択」の手順1・2を行う
② ▼ で、リストの一番下にある「機器使用解除」を選び、決定 を押す

・i.LINK機器の使用が解除されます。

・本機で使用しているi.LINK機器を他のi.LINK機器で使用するためには、本機の機器選択画面から「機器使用解除」を行ってください。

i.LINK機器の登録削除

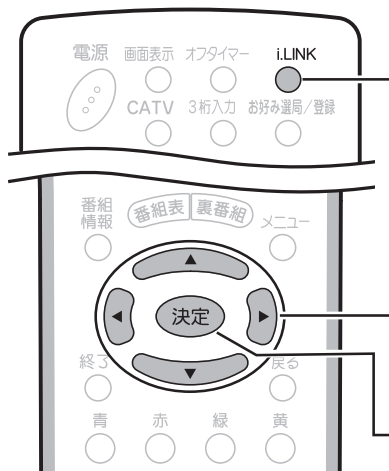
・機器選択画面に登録されているi.LINK機器を、リストから削除できます。
・接続されているi.LINK機器は、削除できません。

1 ① 「i.LINK機器の選択」の手順1・2を行う
② 削除したいi.LINK機器を ▲ ▼ で選び、決定 を押す

③ ◀ で「削除する」を選び、決定 を押す

• 選んだi.LINK機器がリストから削除されます。
• 削除しないときは、「キャンセル」を選んで決定ボタンを押します。

・本機で認識することができない機器は、機器選択画面のリストに表示されません。
・接続したi.LINK機器によっては、メーカー名や機器名が正しく表示されないことがあります。
接続したi.LINK機器のメーカー名や機器名が正しく表示されない場合は、i.LINKケーブルを抜き、「i.LINK機器の登録削除」の手順により、一度登録されているi.LINK機器を削除してからi.LINKケーブルを接続し直してください。
・機器選択画面のリスト項目に⊘マークがついているi.LINK機器は、本機が対応していない機器であり、使用することができません。

i.LINK機器を使う（つづき）

i.LINK機器の操作のしかた

■ i.LINKに対応した録画機器の操作ができます。画面にi.LINK操作パネルを表示させ、パネル上のボタンで操作します。

■ 操作を始める前に、**138**･**139**ページの設定を済ませておいてください。

■ 本機で操作するi.LINK機器の取扱説明書をあらかじめご覧ください。

1 i.LINKボタンを押し、i.LINK操作パネルを表示する

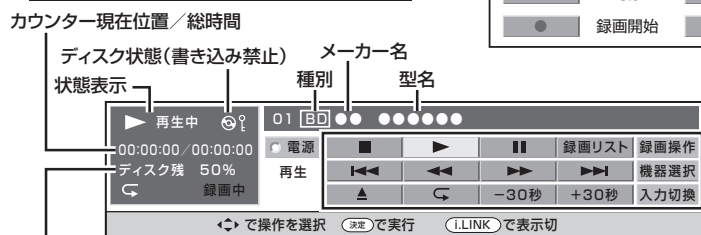
• 操作パネルを終了するときも、このボタンを押します。

2 操作したい機能をカーソルボタンで選ぶ

3 決定ボタンを押し、選んだ機能を実行する

▼操作ボタンの機能（D-VHS）

ボタン	機能	ボタン	機能	ボタン	機能
■	停止	⏮	1つ前に戻って頭出し	機器選択	機器選択画面へ
▶	再生	◀◀	巻戻し	入力切換	入力切換え i.LINK入力とその前の画面（テレビまたは外部入力）との切換えに使用します。
❚❚	一時停止	▶▶	早送り		
●	録画開始	⏭	1つ先に進んで頭出し	電源	電源の入／切

▼操作ボタンの機能（AV-HDD･BD）

ボタン	機能	ボタン	機能	ボタン	機能	ボタン	機能
■	停止	⏮	1つ前に戻って頭出し	⏏	イジェクト（BDの場合のみ、AV-HDDは非表示）	機器選択	機器選択画面へ
▶	再生	◀◀	早送り再生（押すごとに早さが変わります）	リピート	リピート設定（リピート状態では再生状態のときに1つの番組を繰り返し再生します）	入力切換	入力切換え i.LINK入力とその前の画面（テレビまたは外部入力）との切換えに使用します。
❚❚	一時停止	▶▶	巻戻し再生（押すごとに早さが変わります）	−30秒	30秒後戻し	録画操作	録画操作パネルへ
録画リスト	録画リスト画面へ	⏭	1つ先に進んで頭出し	+30秒	30秒先送り	電源	電源の入／切

録画中表示:録画中の再生操作パネルで表示されます。

• IEEE1394は、米国電子電気技術者協会（IEEE）によって標準化された国際標準規格です。
• i.LINK（アイリンク）とi.LINKロゴは、ソニー株式会社の登録商標です。
• 著作権保護に対応したi.LINK対応機器には、デジタルデータのコピー･プロテクション技術が採用されています。この技術は、DTLA（The Digital Transmission Licensing Administrator）というデジタル伝送における著作権保護技術の管理運用団体から許可を受けているものです。このDTLAのコピー･プロテクション技術を搭載している機器間では、コピーが制限されている映像、音声、データにおいて、i.LINKでのデジタルコピーができない場合があります。また、DTLAのコピー･プロテクション技術を搭載している機器と搭載していない機器との間では、映像、音声、データのやりとりができない場合があります。

D-VHSビデオで録画・再生する

デジタル放送を録画する

■ 以下の操作をする前に、**138**･**139**ページの設定を済ませてください。
■ 本機で操作するi.LINK機器の取扱説明書をあらかじめご覧ください。

1 録画したいデジタル放送の番組を選局する

2 i.LINKを押し、i.LINK操作パネルを表示する

3 ▲▼◀▶で●(録画ボタン)を選び、決定を押す

・録画が開始します。
・録画を止めるときは、■(停止ボタン)を選んで決定ボタンを押します。

・録画中は、入力切換ボタンで「i.LINK」を選ぶことはできません。

録画した番組を再生する

1 i.LINKを押し、i.LINK操作パネルを表示する

2 開始地点まで巻き戻し、▲▼◀▶で▶(再生ボタン)を選び、決定を押す

・再生が開始します。
・再生中に特殊再生するときは、▶▶(早送りボタン)、◀◀(巻戻しボタン)、II(一時停止ボタン)を選び、決定ボタンを押します。
・停止するときは、■(停止ボタン)を選んで決定ボタンを押します。

デジタル放送をi.LINKで録画予約したい場合は、「デジタル放送の予約と録画」(**100〜103・106・107**ページ)をあわせてご覧ください。

おしらせ

D-VHSビデオデッキの録画、再生について

・D-VHSビデオデッキによっては、本機のi.LINK操作パネル上の操作ボタンで操作できなかったり、D-VHSビデオデッキが再生している映像･音声を視聴することができない場合があります。
・D-VHSビデオデッキによっては、VHSテープやS-VHSテープ、またはアナログで記録されているD-VHSテープの再生映像･音声を本機のi.LINK入力で視聴することができない場合があります。この場合は、D-VHSビデオデッキのアナログ出力を本機のアナログ外部入力(入力1〜4)に接続し、本機を外部入力に切り換えてから視聴してください。
・D-VHSビデオデッキのタイマー録画予約中に本機のi.LINK操作パネルで操作すると、タイマー録画予約に失敗することがありますので、D-VHSビデオデッキのタイマー録画予約中はi.LINK操作パネルを操作しないでください。
・本機のi.LINK操作パネルの録画ボタンによる録画では、本機が受信しているデジタル放送の映像･音声がD-VHSビデオデッキに記録されます。
・本機で受信しているデジタル放送の映像･音声をD-VHSビデオデッキで記録するときは、D-VHSテープを使用してください。VHSテープやS-VHSテープでは記録することができません。
・番組の内容によっては、D-VHSビデオデッキで録画･録音ができない場合があります。
・使用しているD-VHSビデオデッキによっては、特殊再生時(送り再生や戻し再生など)に、映像･音声が出なかったり、映像の品位が悪くなる場合があります。

ハイビジョンビデオカメラで撮影・再生する

ハイビジョンビデオカメラの映像・音声をAQUOSで楽しむ

■ HDV方式のハイビジョンビデオカメラには、「HDVフォーマット」の信号だけでなく、「DVフォーマット」の信号も扱えるものがあります。本機で視聴することができる信号は「HDVフォーマット」で撮影された信号のみです。

本機に接続したハイビジョンカメラの操作パネル

ハイビジョンビデオカメラをビデオモードにしたときの操作パネル

ハイビジョンビデオカメラをカメラモードにしたときの操作パネル

・操作できるボタンは接続している機器により異なります。ボタンが表示されていても、操作できない場合があります。

・ビデオモードとカメラモードの切換えは、ハイビジョンビデオカメラ側の操作により行います。

操作ボタンの機能

ボタン	機能	ボタン	機能	ボタン	機能
■	停止	▶	再生	❚❚	一時停止
◀◀	巻戻し	▶▶	早送り	●	撮影

※ 入力切換ボタンについて

・i.LINK操作パネルの入力切換ボタンは、i.LINK入力とその前の画面（テレビまたは外部入力）との切り換えを行います。

i.LINK自動切換を「する」に設定している場合は、

・ハイビジョンビデオカメラを選択した状態で再生を開始すると自動的にi.LINK入力になります。

・ハイビジョンビデオカメラを選択した状態でハイビジョンビデオカメラをカメラモードに切り換えると、自動的にi.LINK入力になります。

※ 撮影ボタンについて

・i.LINK操作パネルの撮影ボタンは、ハイビジョンビデオカメラのカメラで映している映像・音声の撮影（録画）を開始します。

・本機でテレビや外部入力を視聴しているときは、撮影ボタンは無効になります。

- 本機で受信している放送または外部入力をハイビジョンビデオカメラで録画することはできません。
- 電子番組表(EPG)から録画予約するとき、ハイビジョンビデオカメラを録画連動機器として選択することはできません。
- ハイビジョンビデオカメラが「DV互換モード」に設定されていると、i.LINK機器選択の画面（**139**ページ）でハイビジョンビデオカメラを選択することができません。詳しくはハイビジョンビデオカメラの取扱説明書をご覧ください。
- i.LINK操作パネルでハイビジョンビデオカメラの電源操作はできません。
- ハイビジョンビデオカメラの電源が「切」のときは、本機からハイビジョンビデオカメラの操作はできません。

再生する

1 **① ハイビジョンビデオカメラを本機に接続する**
② ハイビジョンビデオカメラを「ビデオモード」にする

- ハイビジョンビデオカメラが「カメラモード」になっていると、ハイビジョンビデオカメラの映像を本機で見ることができません。

2 **リモコンのi.LINKを押し、i.LINK操作パネルを表示する**

3 **▲▼◀▶でi.LINK操作パネル上の▶（再生ボタン）を選び、決定を押す**

- 再生が始まります。
- 再生中に特殊再生するときは、▶▶（早送りボタン）、◀◀（巻戻しボタン）、II（一時停止ボタン）を選んで、決定を押します。
- 停止するときは、■（停止ボタン）を選んで決定を押します。

- 「DVフォーマット」で撮影された信号は、本機で視聴することができません。
- 「HDVフォーマット」と「DVフォーマット」が混在したテープを使用した場合などにDVフォーマットの信号が本機に入力されることがあります。この場合、「この信号を本機で再生することはできません。HDV機器の設定を確認してください。」というメッセージが表示されます。
- 本機からハイビジョンビデオカメラの頭出し操作はできません。

撮影する

1 **① ハイビジョンビデオカメラを本機に接続する**
② ハイビジョンビデオカメラを「カメラモード」にする

- ハイビジョンビデオカメラを「ビデオモード」から「カメラモード」に切り換えると、自動的にi.LINK入力に切り換わります。

2 **リモコンのi.LINKを押し、i.LINK操作パネルを表示する**

3 **▲▼◀▶でi.LINK操作パネル上の●（撮影ボタン）を選び、決定を押す**

- 撮影が始まります。
- 停止するときは、■（停止ボタン）を選んで決定を押します。

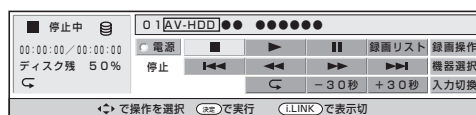
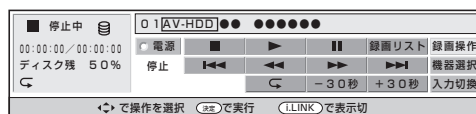
- ハイビジョンビデオカメラによっては、静止画を記録する機能として「フォトモード」を備えたものがあります。ハイビジョンビデオカメラが「フォトモード」になっていると、本機のi.LINK操作パネルでハイビジョンビデオカメラを操作することができません。詳しくはハイビジョンビデオカメラの取扱説明書をご覧ください。
- ハイビジョンビデオカメラによっては、カメラモードで撮影していない状態のまましばらく放置すると、自動的に待機状態に移行し、i.LINKからの制御を受け付けなくなる機器があります。この場合、本機のi.LINK操作パネルでハイビジョンビデオカメラを操作することはできませんので、ハイビジョンビデオカメラ本体を直接操作してください。
- 本機で受信している放送または外部入力をハイビジョンビデオカメラで録画することはできません。

AV-HDDやBlu-ray Disc レコーダーで録画・再生する

デジタル放送を録画する

■ 以下の操作をする前に、**138**･**139**ページの設定を済ませてください。
■ 本機で操作するi.LINK機器の取扱説明書をあらかじめご覧ください。

1 **録画したいデジタル放送の番組を選局する**

2 i.LINK **を押し、i.LINK操作パネルを表示する**

3 ▲▼◀▶で 録画操作（録画操作ボタン）を選び、決定を押す

4 ▲▼◀▶で ●（録画ボタン）を選び、決定を押す

- 録画が開始します。
- 録画を止めるときは、録画停止（録画停止ボタン）を選んで決定ボタンを押します。

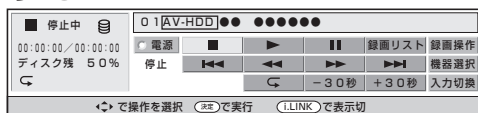
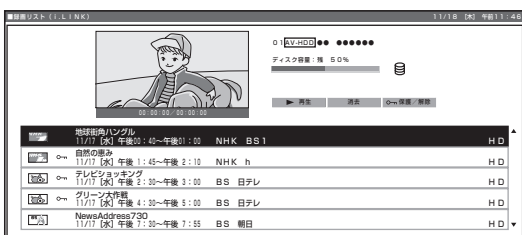
録画した番組を再生する

- ディスク機器の場合、録画が終了すると録画リストが作成されますので、複数の録画番組から再生したい番組を選ぶことができます。（**145**ページ）

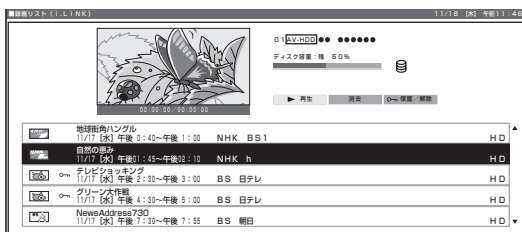
デジタル放送を i.LINK で録画予約したい場合は、「デジタル放送の予約と録画」**100 ～ 103・106・107** ページをあわせてご覧ください。

録画した番組を再生する

■ ディスク機器の場合、録画リストから再生する番組を選ぶことができます。

1 i.LINK ◯ を押し、i.LINK操作パネルを表示する

2 ▲ ▼ ◀▶ で 録画リスト (録画リストボタン)を選び、決定 を押す

・録画リストが表示されます。

3 ① ▲ ▼ で再生したいタイトルを選び、決定 を押す

② ◀▶ で「再生」を選び、決定 を押す

・再生中に特殊再生するときは、▶▶(早送りボタン)、◀◀(巻戻しボタン)、❚❚(一時停止ボタン)を選び、決定ボタンを押します。

・停止するときは、■(停止ボタン)を選んで決定ボタンを押します。

AV-HDDレコーダー(i.LINK)の録画、再生について

- AV-HDDレコーダーによっては、本機のi.LINK操作パネル上の操作ボタンで操作できなかったり、AV-HDDレコーダーが再生している映像·音声を視聴できない場合があります。
- 本機のi.LINK操作パネルの録画ボタンによる録画では、本機が受信しているデジタル放送の映像·音声がAV-HDDレコーダーに記録されます。
- 番組の内容によっては、AV-HDDレコーダーで録画·録音ができない場合があります。
- AV-HDDレコーダーによっては、特殊再生時(送り再生や戻し再生)に、映像·音声が出なかったり、映像の品位が悪くなる場合があります。
- AV-HDDレコーダーによっては、録画中の再生、および録画中の録画リスト画面の表示などの機能を操作できない場合があります。
- AV-HDDレコーダーによっては、他のi.LINK機器に切り換えたときに自動的に再生を停止する場合があります。
- AV-HDDレコーダーによっては、機器の動作モードがD-VHSモードのとき、AV-HDDレコーダーはD-VHSビデオデッキとして認識されます。

Blu-ray Discレコーダー(i.LINK)の録画、再生について

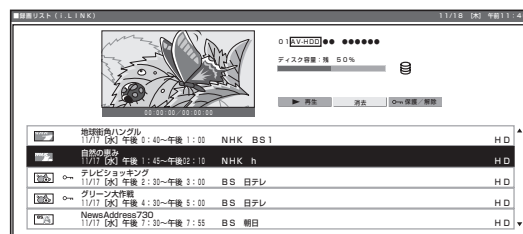
- Blu-ray Discレコーダーによっては本機のi.LINK操作パネル上の操作ボタンで操作できなかったり、Blu-ray Discレコーダーが再生している映像·音声を視聴できない場合があります。
- 本機のi.LINK操作パネルの録画ボタンによる録画では、本機が受信しているデジタル放送の映像·音声がBlu-ray Discレコーダーに記録されます。
- 番組の内容によっては、Blu-ray Discレコーダーに録画·録音ができない場合があります。
- Blu-ray Discレコーダーによっては、特殊再生時(送り再生や戻し再生)に、映像·音声が出なかったり、映像の品位が悪くなる場合があります。
- Blu-ray Discレコーダーによっては、録画中の再生、および録画中の録画リスト画面の表示などの機能を操作できない場合があります。
- Blu-ray Discレコーダーによっては、他のi.LINK機器に切り換えたときに自動的に再生を停止する場合があります。
- Blu-ray Discレコーダーが搭載しているチューナーやアナログ外部入力をBlu-ray Discレコーダー単体で記録した場合、Blu-ray Discレコーダーの設定によっては、音声がAC3フォーマットで記録されることがあります。本機はAC3フォーマットに対応していないため、このようなコンテンツを本機とi.LINK接続して再生した場合、音声が出力されません。

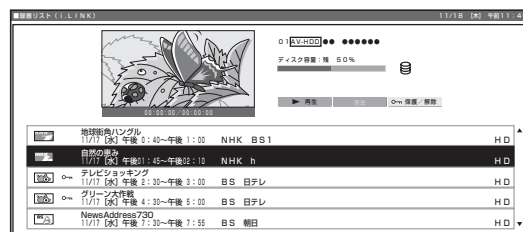
AV-HDDやBlu-ray Discレコーダーで録画・再生する（つづき）

録画した番組の消去・保護について

■ 録画リストから録画番組の保護や消去の操作ができます。

録画した番組を消去する

1
① **145ページの手順1・2を行い、録画リストを表示する**
② **▲▼で消去する番組を選び、決定を押す**
③ **◀▶で「消去」を選び、決定を押す**

録画した番組を保護する

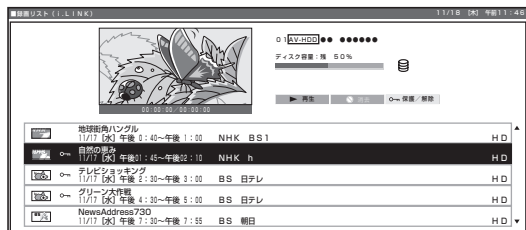
1
① **145ページの手順1・2を行い、録画リストを表示する**
② **▲▼で消去禁止（保護）する番組を選び、決定を押す**
③ **◀▶で「保護／解除」を選び、決定を押す**

・選んだタイトルに鍵マークが表示され、消去禁止（保護）されたことが分かります。

保護を解除する

1

① 145ページの手順1・2を行い、録画リストを表示する

② 鍵マークのあるタイトルを選び、(決定)を押す

③ (◀)(▶)で「保護／解除」を選び、(決定)を押す

・選んだタイトルの鍵マーク表示が消え、保護が解除されたことが分かります。

録画リストについて

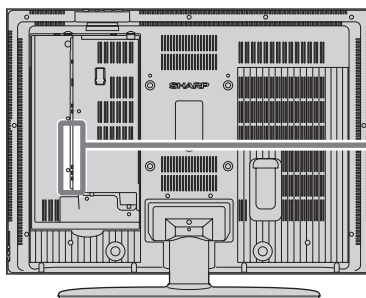
- 接続している機器によっては、再生小画面にカーソルで選択している番組の映像・音声が表示されない場合があります。
- 接続している機器によっては、録画中に録画リストを表示したとき、録画を停止する場合があります。
- タイトルに表示されている番組情報（番組名や日時）は、録画開始した時点の放送の番組情報から取得して記録したものを表示しています。
- 複数の番組を続けて録画した場合には、最初に録画開始した時点の番組情報が表示されます。
- 録画リストに表示される再生小画面では、データ放送の操作ができません。
- 選局直後に録画開始した場合、タイトルの番組情報が記録されない場合があります。
- 他の機器で録画した番組の場合、タイトルの番組情報が正しく表示されない場合があります。
- 録画中のタイトルには、録画中マーク「●」（赤丸）が表示されます。
- 本機には、録画したタイトルを編集する機能はありません。
- Blu-ray Discレコーダーによっては、録画したタイトルを編集する機能があり、編集されたタイトルには、プレイリストマーク「★」が表示されます。（編集されたタイトルは、「プレイリスト」と呼ばれます。）
- プレイリストの場合、本機による消去と保護／解除ができません。

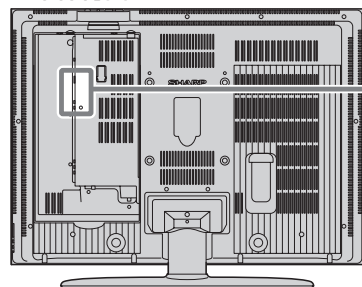
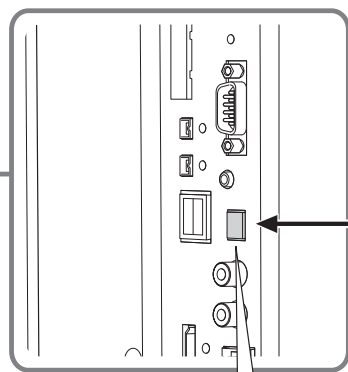
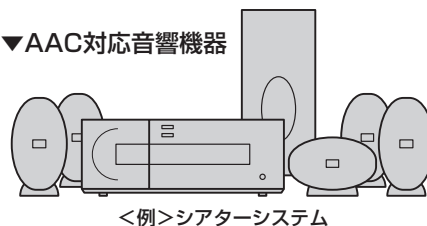
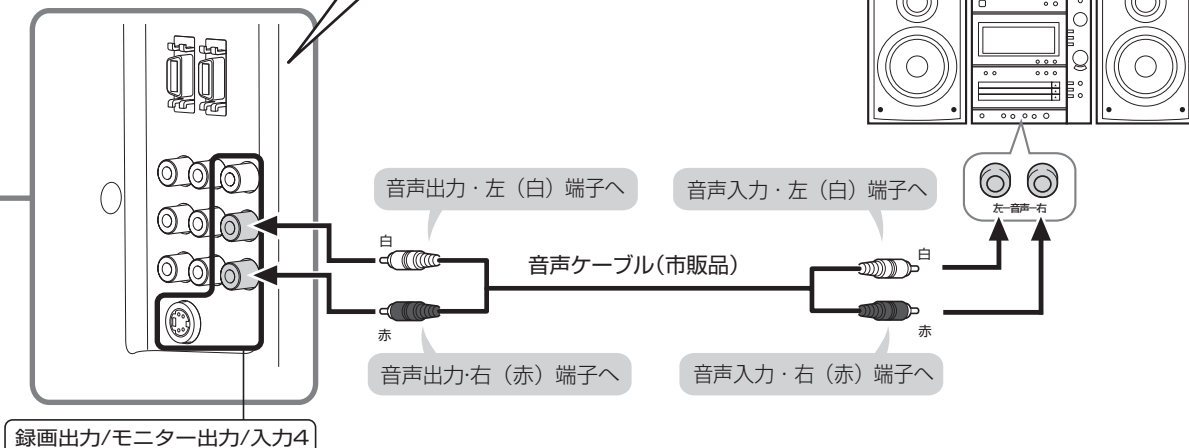
音響機器をつないで音声を楽しむ

アナログ音声の音響機器を接続する

■ 本体背面のモニター出力端子(「モニター出力(固定または可変)」に設定時)は、録画機器をつなぐ使いかた(**124**ページ参照)以外に、お手持ちの音響機器をつないで音声を楽しむなどの使いかたができます。

- 接続する機器の取扱説明書を併せてお読みください。
- モニター出力の音声端子(「モニター出力」に設定時)から出力される音声の出力レベルを「固定」にするか「可変」にするか選択することができます。操作のしかたなど、詳しくは**132**ページをご覧ください。

▼本体背面

デジタル音声(光)の音響機器を接続する

■ 本機のデジタル音声出力(光)端子は、MPEG2 AAC音声フォーマットを出力することができます。AAC対応の音響機器を接続すると、サラウンド放送の番組を迫力ある音声で楽しめます。

デジタル音声出力（光）端子の設定について

■ 本機背面のデジタル音声出力（光）端子の出力信号形式を、接続する音響機器に合わせて選択できます。

- 接続する機器がAAC／PCMの自動切換えに対応していない場合は、機器側の設定を手動で切り換えてください。
- 「AAC」に設定した場合でも、地上アナログ放送（VHF、UHF）やCATV放送の音声、ビデオ入力の音声は、「PCM」で出力されます。
- 「AAC」に設定した場合、字幕放送や一部のデータ放送の音声が出力されません。

1 メニュー画面から「デジタル設定」ー「デジタル音声設定」を選び、(決定)を押す

2 接続する機器に合わせて「PCM」または「AAC」を（▲）（▼）で選び、(決定)を押す

「PCM」… 音声AACに対応していない音響機器に接続するとき
視聴音声と同じもの（主、副、または主／副）が出力されます。

「AAC」… 音声AAC対応のAVアンプなどに接続するとき
主と副の両方の音声（主／副）が聞こえます。

デジタル音声光出力端子の信号形式を選択できます。

PCM …標準の設定です。
デジタル音声出力端子からはＰＣＭで出力されます。

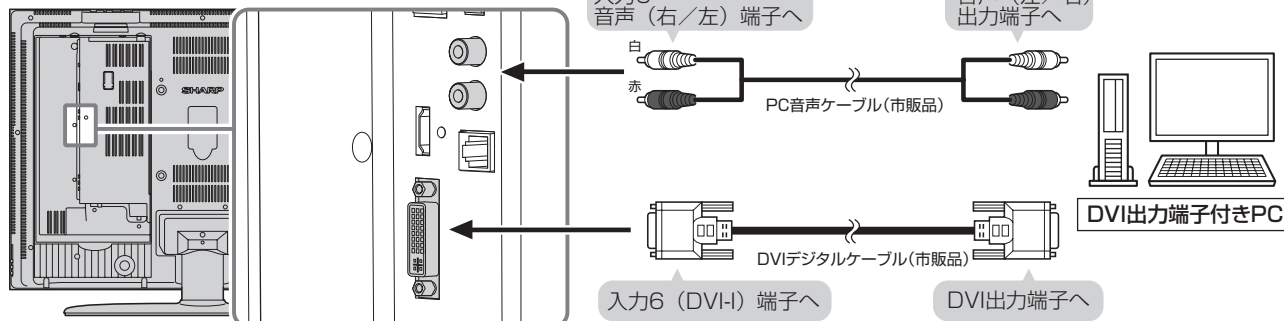
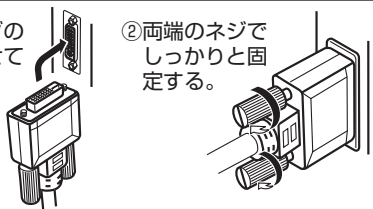
AAC …デジタル放送のサラウンド番組を迫力ある音声で再生します。
デジタル音声出力端子からはＡＡＣで出力されます。
…音声ＡＡＣ対応の機器

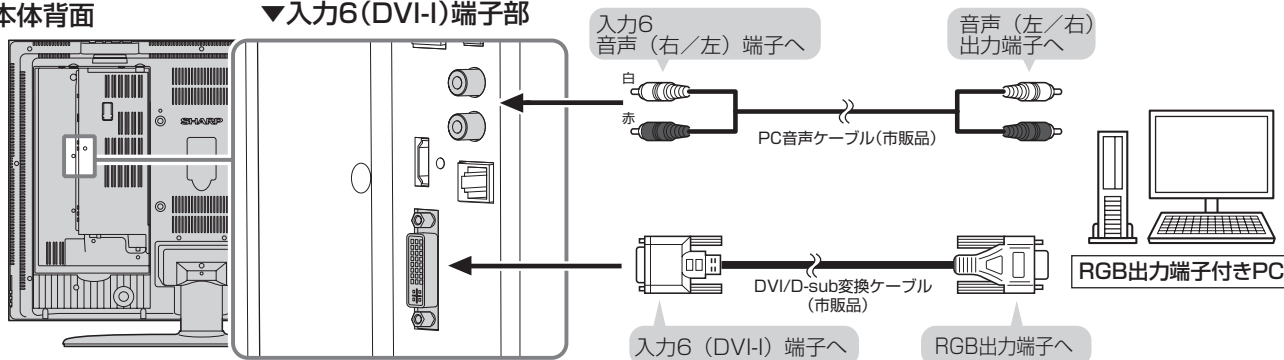
おしらせ

- 詳しくは、接続する音響機器の取扱説明書をご覧ください。
- 接続する前に本機と音響機器の電源を切ってください。
- 本機では通常、デジタル音声出力の内容はスピーカー音声出力の内容と同じです。
- テレビの画面が消えている場合は、デジタル音声出力（光）端子からは出力されません。

PC(パソコン)の画面を表示する

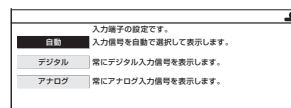
接続について

DVI出力端子付きPCとの接続(デジタル接続)

・本機のDVI端子はHDCP(コピープロテクト機能)に対応しています。

RGB出力端子付きPCとの接続(アナログ接続)

入力6に接続した機器に合わせて端子を設定する

- PC接続時の入力対応信号については、**151**ページの「PC入力対応表」をご覧ください。
- 対応された信号で正しく表示されない場合は、右の手順に従い、接続した信号に合わせて、入力6を「アナログ」または「デジタル」に設定してください。通常は「自動」のままでかまいません。

①メニュー画面から「機能切換」ー「入力選択」を選び、決定を押す

②▲▼で「入力6」に接続した機器を選び、決定を押す

PC入力対応表

解像度	水平周波数(kHz)	垂直周波数(Hz)	VESA規格	アナログ	デジタル
720×400	31.5	70	─	○	○
640×480	31.5	60	○	○	○
	37.9	72	○	○	○
	37.5	75	○	○	○
	43.3	85	○	○	○
800×600	35.1	56	○	○	─
	37.9	60	○	○	○
	48.1	72	○	○	○
	46.9	75	○	○	○
	53.7	85	○	○	○
1024×768	48.4	60	○	○	○
	56.5	70	○	○	○
	60.0	75	○	○	○
	68.7	85	○	○	○
1280×768	47.8	60	○	○	○
1360×768	47.7	60	○	○	○
1280×1024	64.0	60	○	○	○

- PC接続時の表示設定は、自動同期調整で最良に近い状態に設定されます。(自動同期調整……**153**ページ参照)
- PC入力信号により、選べる画面サイズが異なる場合があります。画面サイズの種類については、**152**ページ「**PC入力の画面サイズの種類と切換えについて**」をご覧ください。
- 1280×1024は縮小して表示されます。
- 接続するPCによっては、左記対応表の信号でも正しく表示できない場合があります。

入力解像度の選択について

■ PC入力時、入力信号によっては画面が正しく表示されない(縦横比が正しく表示されない、一部が切れるなどの)場合があります。この場合、入力解像度を手動で選択してください。

■ 入力された信号が下記の解像度の場合は自動的に判別ができません。このときは、「入力解像度」の設定で、どの信号(解像度)として表示するかを手動で選択します。一度選択すると、それ以降、同じ信号が入力されたとき、最後に選択した信号(解像度)として表示します。

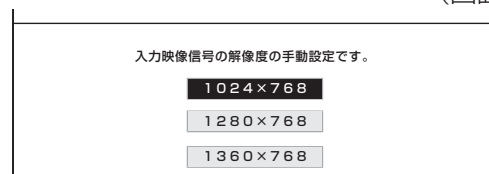
1024×768	1280×768	1360×768

※ 垂直ライン数(非表示期間を含む)が特殊な一部の信号の場合は、解像度を正しく判別できないことがあります。

1 入力切換をくり返し押し、入力6(PC入力)にする

2 メニュー画面から「本体設定」ー「入力解像度」を選び、決定を押す

3 ▲▼で入力解像度を選び、決定を押す

(画面例)

操作終了する場合は

メニュー または 終了 を押し、通常画面に戻す

- 1つ前に戻る場合は 戻る を押してください。

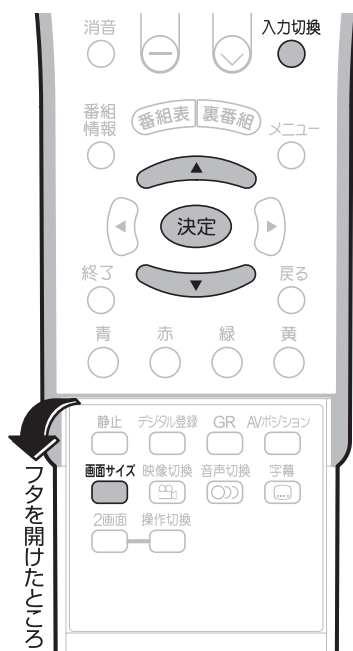
PC(パソコン)の画面を表示する(つづき)

PC入力の画面サイズの種類と切換えについて

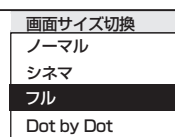
■ PC(パソコン)を接続しているときの画面サイズの種類と切換え方法です。

Dot by Dot(ドット・バイ・ドット)とは

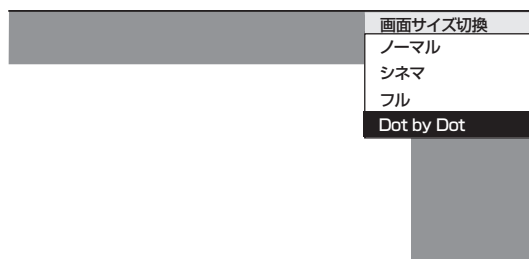
・接続したPC(パソコン)からの入力信号の解像度どおりのパネル画素数で表示する機能です。(**151**ページ「PC入力対応表」参照)

・縦横比16:9の映像が入力されたときの表示サイズについては、**「入力解像度の選択について」**(**151**ページ)をご参照ください。

●操作を行う前に、本機とPC(パソコン)を接続しておいてください。(**150**ページ参照)

1 入力切換 を押し、入力6(PC入力)を選ぶ

2 画面サイズ を押し、画面サイズ切換メニューを表示する

・メニュー表示中につぎの操作を行います。

3 画面サイズ または ▲ ▼ で、お好みの画面サイズを選び、決定 を押す

画面サイズ切換
ノーマル
シネマ
フル
Dot by Dot

■つぎの画面サイズから選択できます。(入力信号により、選べる画面サイズが異なる場合があります。)

入力信号	ノーマル	シネマ	フル	Dot by Dot
4:3映像 720×400 640×480、800×600 1024×768 1280×1024など	入力信号の縦横比をくずさずに、画面いっぱいに映します。	入力信号の縦横比をくずさずに、画面の左右いっぱいまで拡大して映します。映像の上下が切れます。	画面いっぱいに映します。	入力信号の解像度どおりのパネル画素数で映します。
16:9映像 1280×768 1360×768など			画面いっぱいに映します。	入力信号の解像度どおりのパネル画素数で映します。

自動同期調整で最適な画面にする

■「自動同期調整」は、PC(パソコン)をアナログ接続しているときにメニューで選ぶことができます。

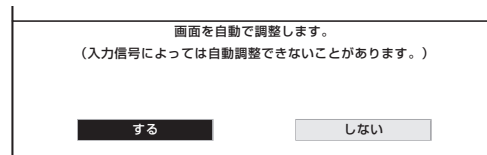
「自動同期調整」とは

・最適なコンピューター画面表示を得るための調整機能です。自動的に画面の位置などが調整されます。

● 操作を行う前に、本機とPC(パソコン)を接続しておいてください。(**150**ページ参照)

1 入力切換を押し、入力6(PC入力)を選ぶ

2 メニュー画面から「本体設定」ー「自動同期調整」を選び、決定を押す

3 ◀▶で「する」を選び、決定を押す

- 「自動同期調整中」が表示され、自動同期調整が実行されます。
- 自動調整が終了すると、「映像を調整しました。」と表示されます。
  正常に終了しないと、何も表示されずメニューに戻ります。

操作終了する場合は

メニュー または 終了 を押し、通常画面に戻す

- 1つ前に戻る場合は 戻る を押してください。

- つぎのような映像信号では自動調整により最適な画面にならないことがあります。
  ー動きのある映像
  ー画面全体が1色になっているなど、起伏の少ない映像
- 映像信号、PCによっては自動調整だけでは最適な画面にならないことがあります。その場合は、手動で調整してください。(**154**ページ参照)
- 入力信号によっては、入力解像度を手動で選択する必要がある場合があります。(**151**ページ参照)

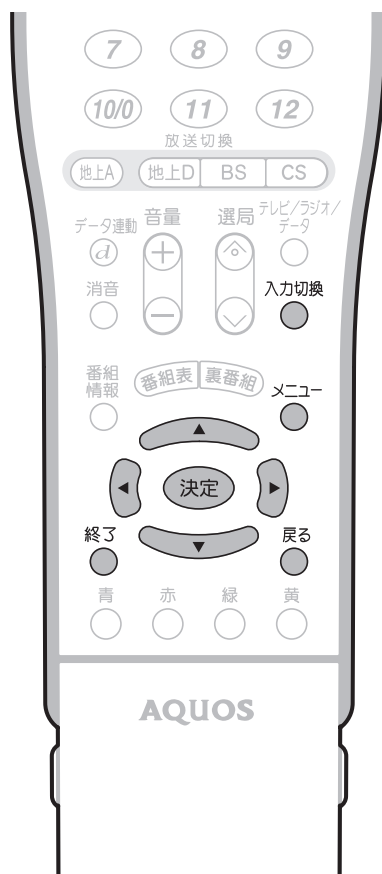
PC(パソコン)の画面を表示する(つづき)

手動で最適な画面に調整する

■「画面調整」は、PCを接続しているときにメニューで選ぶことができます。

「画面調整」とは

- コンピューター画面の表示位置や映り具合を最適化するための機能で、つぎの調整項目があります。
  「水平位置」…… 画像が右寄り、または左寄りの状態にあるときに調整します。
  「垂直位置」…… 画像が上がり過ぎ、または下がり過ぎの状態にあるときに調整します。
  「クロック周波数」… 縦じま状のチラツキがあるときに調整します。※
  「クロック位相」… 文字などを表示したときに、映像のチラツキが出たり、コントラストがつかないときに調整します。※

※「クロック周波数」、「クロック位相」は、PCからアナログ信号を入力している場合のみ設定できます。

工場出荷時の設定に戻したいとき

- 手順**3**の①で「リセット」を選び、決定ボタンを押します。

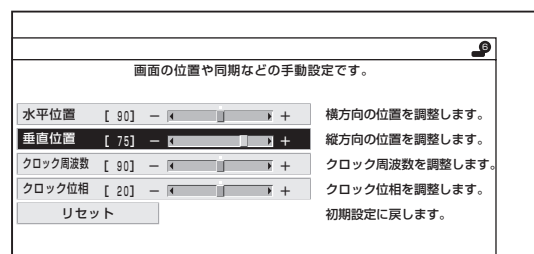
［例］ 画面の垂直位置を調整する

1 ① **本機とPC(パソコン)の接続を確認する(150ページ参照)**

② 入力切換 **を押し、入力6(PC入力)を選ぶ**

2 **メニュー画面から「本体設定」ー「画面調整」を選び、決定 を押す**

3 ① ▲ ▼ **で「垂直位置」を選ぶ**

② ◀ ▶ **で適切な位置に調整する**

各項目の調整範囲

項目	範囲
水平位置	0 ～ 180
垂直位置	0 ～ 100
クロック周波数	0 ～ 180
クロック位相	0 ～ 40

操作終了する場合は

メニュー または 終了 を押し、通常画面に戻す

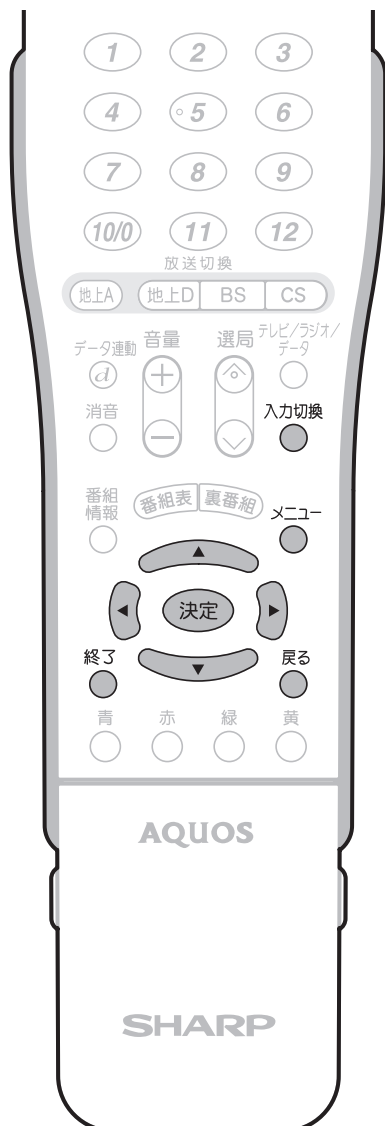
- 1つ前に戻る場合は 戻る を押してください。

省エネ機能を設定する

■ PC入力のとき、映像信号がなくなってからしばらくすると自動的に電源が切れるように設定することができます。(パワーマネージメント)
※「パワーマネージメント」は、入力6を選択しているときに選ぶことができます。

しない
パワーマネージメントを行いません。

モード1
無信号になったとき、約8分後に自動的に電源が切れる機能です。
電源が切れる5分前から、画面左下に残り時間が表示されます。

モード2
無信号の状態が8秒続くと、自動的に電源が切れる機能です。
アナログPC入力の場合、PCの映像信号が入力されると自動的に電源が入ります。

[例]　パワーマネージメントを「モード1」に設定する

1 ① **本機とPC(パソコン)の接続を確認する(150ページ参照)**
② 入力切換 **を押し、入力6(PC入力)を選ぶ**

2 **メニュー画面から「省エネ設定」−「パワーマネージメント」を選び、決定を押す**

3 **▲▼で「モード1」を選び、決定を押す**

操作終了する場合は

メニュー または 終了 を押し、通常画面に戻す
• 1つ前に戻る場合は 戻る を押してください。

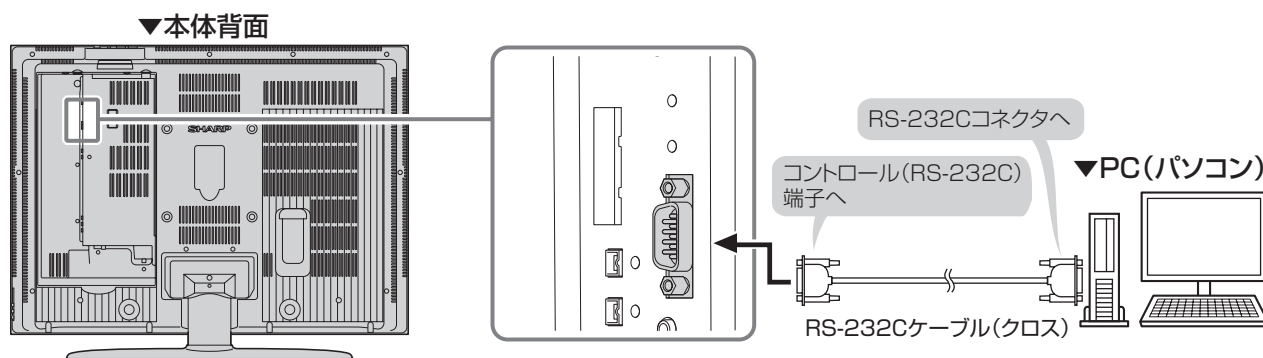
おしらせ
• パワーマネージメントを「モード2」に設定しているとき、コンセントを抜くなどして電源をしゃ断すると、再度電源を復帰させても正常に機能しない場合があります。このときは、リモコンの電源ボタンを押してください。
• パワーマネジメントで電源が切れた場合、PCの映像信号が入力されても自動的に電源は入りません。リモコンの電源ボタンを押して電源を入れてください。
(アナログPC入力でモード2の場合は自動的に電源が入ります。)

PC(パソコン)で本機を制御する

PC(パソコン)による本機の制御について

この操作システムはPC(パソコン)を使い慣れたかたのご利用をお願いいたします。

■ターミナルソフトなどを利用して、RS-232CコネクタでつないだPC(パソコン)から本機を制御することができます。チャンネル切換え、入力切換え、音量調整などの操作を行うことができます。
■接続には、市販のRS-232Cケーブル(クロス)をご用意ください。

接続のしかた

通信仕様

■PC側のRS-232C通信仕様を、本機の通信仕様に合わせてください。
■本機の仕様は、以下のとおりです。

ボーレート	9600bps
データ長	8ビット
パリティ	なし

ストップビット	1ビット
フロー制御	なし

通信手順

■PCからRS-232Cコネクタを通じて、制御コマンドを送信します。本機は、送られたコマンドに応じて動作し、レスポンスメッセージをPC側に送ります。
■複数のコマンドを同時に送信しないでください。正常時のレスポンス(OK)を受けとってから、つぎのコマンドを送信するようにしてください。

コマンド(PCから本機へ)

レスポンス(本機からPCへ)

・正常時

・異常発生時(通信エラーまたはコマンドに誤りがあったとき)

RS-232Cコマンド一覧

■下の表に掲載されている以外のコマンドについては動作保証範囲外です。

機　能		“A”part	“B”part	Part動作説明	備　考
電源		POWR	0		スタンバイへ移行
入力切換	トグル	ITGD	–※1※2	（トグル）	トグルで入力切換（入力切換ボタンと同じ）
	テレビ	ITVD	–		テレビに入力切換（チャンネルはそのまま[ラストメモリー]）
	入力1～6	IAVD	1～6※2	（入力端子番号）	入力1～入力6に入力切換
	i.LINK	LINK	–		i.LINKに入力切換
	放送切換（デジタル）	IDEG	–	（トグル）	デジタル放送のネットワーク切換
チャンネル切換	地上アナログ	CAIR	1～20	テレビのチャンネル番号	UV表示でなかったら入力切換含む（リモコン番号選択）
	CATV	CATV	13～63	CATVのチャンネル番号	CATV表示でなかったら入力切換含む
	BSデジタル3桁入力	CBSD	0～999	BSデジタルチャンネル番号	デジタル放送表示でなかったら入力切換含む
	CS1デジタル3桁入力	CCSD	0～999	CS1デジタルチャンネル番号	デジタル放送表示でなかったら入力切換含む
	CS2デジタル3桁入力	CCSD	0～999	CS2デジタルチャンネル番号	デジタル放送表示でなかったら入力切換含む
	地上デジタル	CTBD	0～999	地上デジタルチャンネル番号	枝番入力が必要な場合にはラスト枝番、同一チャンネル選択時は順に枝番を選択
	選局順	CHUP	–	テレビのチャンネル番号＋1	リモコン選局順と同じ動作（入力切換含む）
	選局逆	CHDW	–	テレビのチャンネル番号－1	リモコン選局逆と同じ動作（入力切換含む）
入力選択	入力1	INP1	0	自動	入力切換含む。入力5、入力6以外で有効
	入力2	INP2	1	D端子	入力1、入力2のみ有効
	入力3	INP3			
	入力4	INP4※3	3	S端子	入力3、入力4のみ有効
	入力5	INP5	4	ビデオ映像	入力5、入力6以外で有効
	入力6	INP6	5	デジタル	入力6のみ有効
			6	アナログ	入力6のみ有効
AVポジション		AVMD	0	（トグル）	現在選択できるものの中でトグル動作
			1	標準	
			2	映画	
			3	ゲーム	
			4	AVメモリー	
			5	ダイナミック固定	
			6	ダイナミック	
			7	PC	
音量		VOLM	0～60	音量値	
位置調整・画面調整	水平位置	HPOS	–10～+10	移動値	テレビ／AV入力時
			0～180	移動値	PC入力時
	垂直位置	VPOS	–20～+20	移動値	テレビ／AV入力時
			0～100	移動値	PC入力時
	クロック周波数	CLCK	0～180	移動値	PC入力時のみ有効
	クロック位相	PHSE	0～40	移動値	PC入力時のみ有効
画面サイズ		WIDE	0	（トグル）	
			1	ノーマル	（AV系／PC系）
			2	スマートズーム	（AV系）
			3	ワイド	（AV系）
			4	シネマ	（AV系／PC系）
			5	フル	（AV系／PC系）
			6	フル1	（AV系1125i）
			7	フル2	（AV系1125i）
			8	アンダースキャン	（AV系1125i以上）
			9	Dot by Dot	（PC系）
消音		MUTE	0	（トグル）	消音オン、オフのトグル
			1	消音	
			2	消音解除	
サラウンド		ACSU	0	（トグル）	トグル動作
			1	入	
			2	切	
音声切換		ACHA	–	（トグル）	
オフタイマー		OFTM	0	解除	
			1	オフタイマー30分	
			2	オフタイマー1時間	
			3	オフタイマー1時間30分	
			4	オフタイマー2時間	
			5	オフタイマー2時間30分	

※1 “B”part欄の「－」はスペースを意味します。

※2 入力4は、入力4端子設定が「入力」に設定されているときのみ有効。

※3 入力4端子設定が「入力」に設定されているときのみ有効。

PC(パソコン)で本機を制御する(つづき)

通信内容

■ 通信設定

ボーレート	9600bps
データ長	8ビット
パリティ	なし

ストップビット	1ビット
フロー制御	なし

■コマンド形式

アスキー8文字+CR

“A” part......コマンド(テキスト4文字)
“B” part......引数(0〜9、ー、空白、?)

■ 引数

“B”partには左詰めで入力し、残りはスペースで埋めます。(必ず4文字になるようにしてください。)
設定可能範囲外の場合、「ERR」が返ります。(「返り値」参照)
表中で引数が「ー」になっているものは、数値であれば何を書いてもかまいません。

0			

0	0	0	9

ー	3	0	

1	0	0	

0	0	5	5

いくつかのコマンドは、引数に「?」を与えることにより、現在の設定値を返します。

?			

?	?	?	?

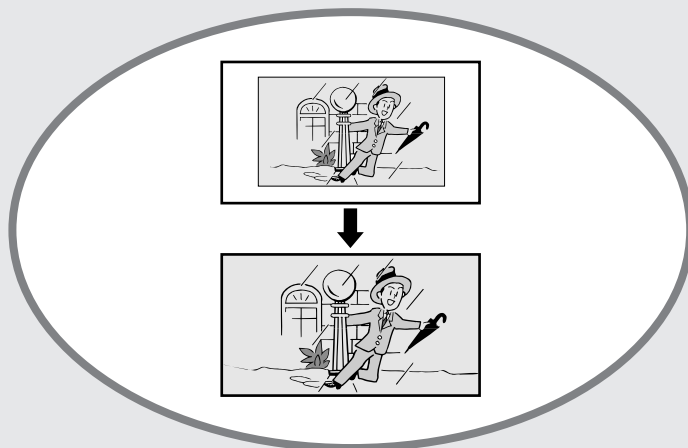
■ 返り値

コマンドの実行が終了したら、下記戻り値を返します。

O	K	(CR)

コマンドが実行できなかったり、コマンド表になかったりした場合は、下記戻り値を返します。

E	R	R	(CR)

画面や映像・音声の調整

ページ

画面サイズを設定する前に 160

画面サイズについて 160

画面サイズを設定する 161

画面サイズを手動で設定する（テレビ／ビデオ入力時）.. 161

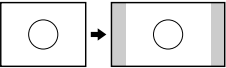
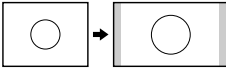
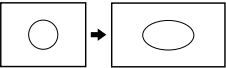
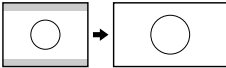
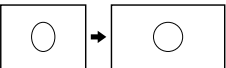
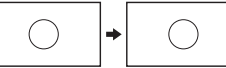
自動的に最適な画面サイズに設定する（オートワイド機能）.................................. 162

映像判別 163
S2対応 163
D端子識別 163
HDMI識別 163

画面の位置を調整する 164

画面位置の調整のしかた 164

映像の向きを変える（映像反転）......................... 164

ページ

お好みの映像・音声で楽しむ 165

記憶されたお好みの映像・音声設定を選ぶ（AVポジション）... 165

手動で映像を調整する 166

映像調整の項目 166

音声だけを楽しむ（映像オフ）............................. 168

映像をすっきりさせる（3次元ノイズリダクション）.. 168

ちらつきを低減する（モスキートノイズリダクション）.. 168

動きの速い映像を見やすくする（QS駆動）......... 168

お好みの音声に調整する（音声調整）.................. 169

音声調整の基本操作 169

音声調整の項目 169

二重音声放送やステレオ放送を楽しむ 170

二重音声放送の音声切換 170

ステレオ放送の音声切換 170

画面サイズを設定する前に

画面サイズについて

■ 手動でお好みの画面サイズを選べるだけでなく、放送やソフトの内容によって画面サイズが自動的に切り換わるように設定することができます。

■ つぎの6つの画面サイズから選択できます。

ノーマル	スマートズーム
通常のテレビ(4:3サイズ)の映像をそのまま映します。	通常の4:3映像をより自然に拡大して映します。
ワイド	**シネマ**
通常の4:3映像を画面いっぱいに映します。	シネスコまたは16:9サイズの映画ソフトを画面いっぱいに映します。
フル	**アンダースキャン**
16:9から4:3に圧縮された映像をもとの16:9に戻して画面いっぱいに映します。	入力信号どおりの映像で映します。16:9 → 16:9

■ 選択できる画面サイズは、映像の種類によって異なります。

映像の種類	選択できる画面サイズ
525i 地上アナログ放送 ビデオ映像など 525p	→ノーマル→スマートズーム→ワイド→シネマ→フル→
1125i ハイビジョン	→フル1(1080i)※→フル2(1035i)※→アンダースキャン→スマートズーム→ワイド→シネマ→
750p ハイビジョン	→フル→アンダースキャン→スマートズーム→ワイド→シネマ→

画面表示▶

映像の種類

※ 1080iと1035iは、本機の画面表示(チャンネルサイン)ではどちらも「1125i」と表示されます。

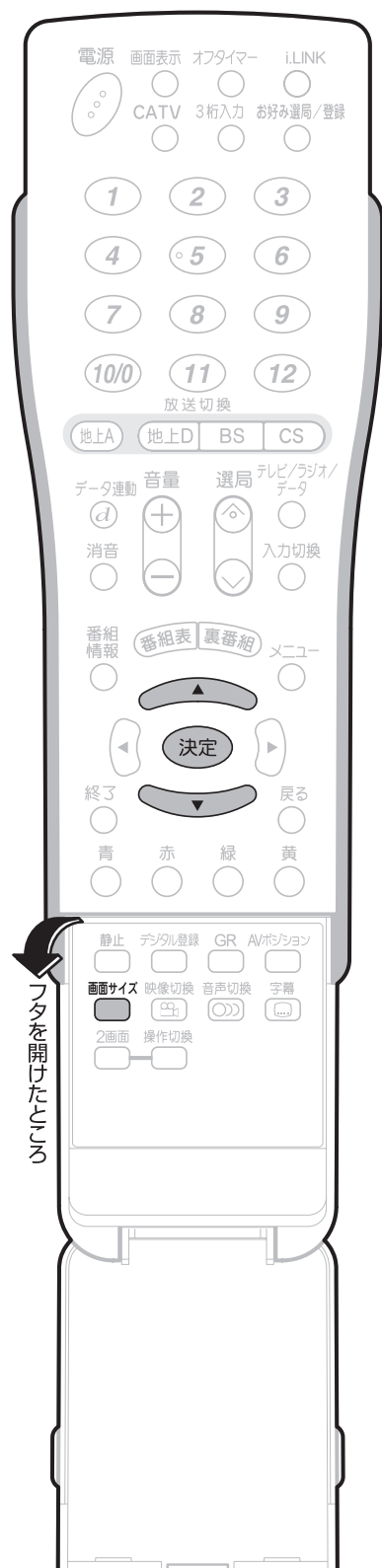
オートワイド機能について

• 画面サイズ制御信号を識別して、ディスプレイに表示される画面サイズを自動で設定する機能です。(☞**162**ページ)

• 本機の画面サイズ切換え機能を使うとき、テレビ番組やビデオソフトなど、オリジナル映像の画面比率と異なる画面サイズを選択すると、本来の映像とは見えかたが変わります。この点にご留意の上、画面サイズをお選びください。
• ワイド映像でない通常(4:3)の映像を、画面サイズ切換え機能を利用して画面いっぱいに表示してご覧になると、画像周辺部分が一部見えなくなったり、変形して見えます。制作者の意図を尊重したオリジナルな映像をご覧になるときは、画面サイズを「ノーマル」にしてください。
• 画面サイズ変更前の映像信号の縦横比によっては、「シネマ」に切り換わっても画面の上下に黒い帯が残る場合があります。
• 市販ソフトによっては、字幕など画像の一部が欠けることがあります。このようなときは、画面サイズ切換え機能で最適なサイズに切り換え、位置調整(**164**ページ)で垂直位置を調整してください。このとき、ソフトによっては画面の端や上部にノイズや曲がりが生じることがありますが、故障ではありません。
• テレビを営利目的または公衆に視聴させることを目的として、喫茶店、ホテル等にて、画面サイズ切換機能(オートワイド機能を含む)を利用して画面の圧縮や引き伸ばしなどを行うと、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意ください。

画面サイズを設定する

画面サイズを手動で設定する（テレビ／ビデオ入力時）

■ 本機は手動でお好みの画面サイズを選ぶことができます。

1 **リモコンフタ内の 画面サイズ を押し、画面サイズ切換メニューを表示する**

• 表示中につぎの操作を行います。

2 **画面サイズ または ▲ ▼ で、お好みの画面サイズを選ぶ**

• 映像の種類により、表示される画面サイズの種類は異なります。

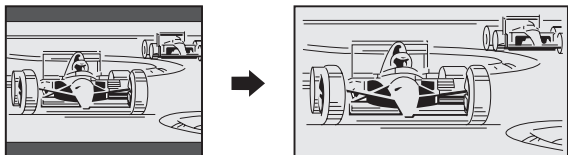
3 **決定 を押す**

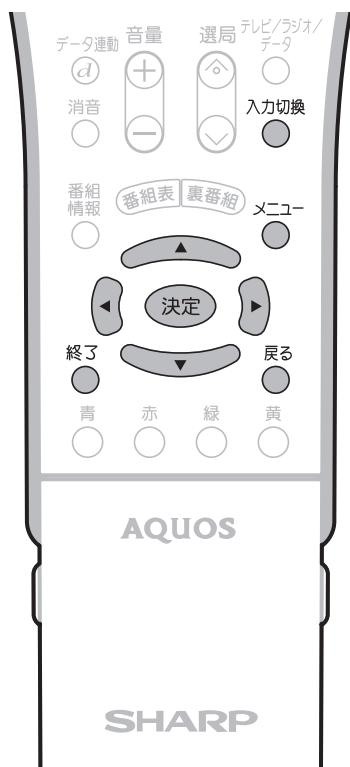
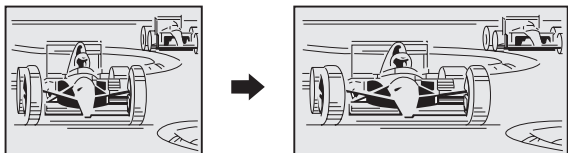
自動的に最適な画面サイズに設定する(オートワイド機能)

■ オートワイドとは、受信している放送や外部入力されたソフトの映像を自動的に最適な画面サイズに切り換える機能です。
■ オートワイド機能には4つの項目があります。詳しくは次のページをご覧ください。各項目はメニューの操作で設定します。
■ オートワイド機能は、ハイビジョン映像視聴時には選択できません。

オートワイド機能を働かせたときの画面表示例

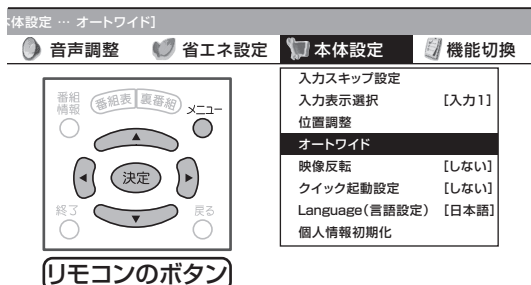
上下に黒い帯の入った映像

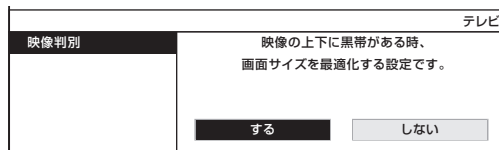
・映像判別 ・D端子識別
・S2対応 ・HDMI識別

横方向に圧縮された映像(スクイーズ映像)

・S2対応 ・D端子識別 ・HDMI識別

1 **•「S2対応」を設定する場合は**
(入力切換)を押し、S映像ケーブルを接続している入力(3または4)を選びます。

•「D端子識別」を設定する場合は
(入力切換)を押し、D端子ケーブルまたはD-コンポーネント変換ケーブルを接続している入力(1または2)を選びます。

•「HDMI識別」を設定する場合は
(入力切換)を押し、入力5を選びます。

2 **メニュー画面から「本体設定」ー「オートワイド」を選び、(決定)を押す**

3 ① **(▲)(▼)で設定したい項目を選び、(決定)を押す**
② **(◀)(▶)で「する」または「しない」を選び、(決定)を押す**

(映像判別の画面例)

操作終了する場合は

(メニュー)または(終了)を押し、通常画面に戻す

• 1つ前に戻る場合は(戻る)を押してください。

映像判別

■ 受信している放送や外部入力されたソフトの映像の上下に黒い帯があるとき、画面サイズを自動的に「シネマ」にする機能です。

- 映像判別機能は、テレビを受信しているときおよび入力1～5のときに働きます。
- 入力が1125i、750pの信号に対しては働きません。
- デジタル放送の映像に対しては働きません。

S2対応

■ S2映像端子から入力された映像に画面サイズ制御信号が含まれているとき、自動的に最適な画面サイズで表示する機能です。

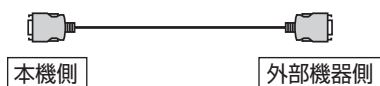
- S2対応機能は、入力3･4のとき（入力選択が「S2映像」または「自動」でS2映像が表示されているとき）に働きます。
- S2対応を「する」に設定しても、S2映像端子から入力された映像によっては、最適な画面サイズにならない場合があります。

D端子識別

■ D4映像端子と外部機器との接続に使う映像ケーブルの種類により、画面サイズの判定方法を変えることができます。

- D端子識別機能は、入力1･2のとき（入力選択が「D端子」または「自動」でD映像が表示されているとき）に働きます。

「する」： 外部機器との接続に使うケーブルがD端子ケーブルのときは、「する」に設定します。

本機側　外部機器側

「しない」： 外部機器との接続に使うケーブルがD-コンポーネント変換ケーブルのときは、「しない」に設定します。

本機側　外部機器側

HDMI識別

■ HDMI端子から入力された映像に画面サイズ制御信号が含まれているとき、自動的に最適な画面サイズで表示する機能です。

- HDMI識別機能は、入力5のときに働きます。

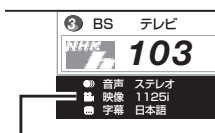
オートワイド機能が働かないようにするには

・オートワイド機能が働いているとき画面が大きくなったり小さくなったりすることがあります。
これは表示している映像に最適な画面サイズを探そうとしているために起こる現象で、故障ではありません。
気になる場合は、つぎの手順を行い、オートワイド機能が働かないようにしてください。

① メニューボタンを押し、メニュー画面を表示する。
② 左右カーソルボタンで「本体設定」を選ぶ。
③ 上下カーソルボタンで「オートワイド」を選び、決定ボタンを押す。
④ 画面に表示されているすべての項目（「映像判別」「S2対応」「D端子識別」「HDMI識別」のうち表示されているもの）を「しない」に設定する。
　・詳しい操作方法については、**162**ページをご覧ください。
⑤ メニューボタンまたは終了ボタンを押し、通常画面に戻す。

・ビデオ機器やゲーム機などをS2映像端子やD映像端子で接続した場合でも、機器やソフトなどによってオートワイド機能が働かない場合があります。

▼画面表示

③ BS テレビ
103
音声 ステレオ
映像 1125i
字幕 日本語

映像の種類	呼び方	画質
1125p	1125プログレッシブ	高精細
750p	750プログレッシブ	高精細
1125i	1125インターレース	高精細
525p	525プログレッシブ	高画質
525i	525インターレース	標準

※ 1125pはHDMI/DVI入力の場合

画面の位置を調整する

画面位置の調整のしかた

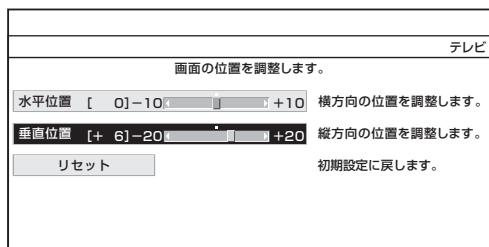
画面位置の調整について

- 画面の位置を調整することができます。
  - **「水平位置」**……画像が右寄り、または左寄りの状態にあるときに調整します。
  - **「垂直位置」**……画像が上がり過ぎ、または下がり過ぎの状態にあるときに調整します。

［例］ 画面の垂直位置を調整する

1 メニュー画面から「本体設定」ー「位置調整」を選び、決定を押す

2 ① ▲▼で「垂直位置」を選ぶ
② ◀▶で適切な位置に調整する

- 水平位置は、－10～0～＋10の範囲で調整できます。
- 垂直位置は、－20～0～＋20の範囲で調整できます。

操作終了する場合は

メニュー または 終了 を押し、通常画面に戻す

- 1つ前に戻る場合は 戻る を押してください。

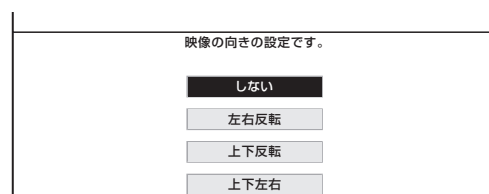
工場出荷時の設定に戻したいとき

- 手順**2**の①で「リセット」を選び、決定ボタンを押します。

映像の向きを変える(映像反転)

■ 設置のしかたに応じて、映像の左右、上下、上下左右を反転して映すことができます。
映像を鏡に映してご覧になるときなどに便利な機能です。

1 メニュー画面から「本体設定」ー「映像反転」を選び、決定を押す

2 ▲▼で「しない」「左右反転」「上下反転」「上下左右」のいずれかを選ぶ

- 「しない」を選んだときは、反転しません。
- 「しない」以外を選んだときは、メニューも反転表示されます。
- 「左右反転」「上下左右」を選んだとき、音声は左右反転しません。

操作終了する場合は

メニュー または 終了 を押し、通常画面に戻す

- 1つ前に戻る場合は 戻る を押してください。

映像反転の表示のされかた

しない(工場出荷時)
ABC

左右反転
ABC(左右反転)

上下反転
ABC(上下反転)

上下左右
ABC(上下左右反転)

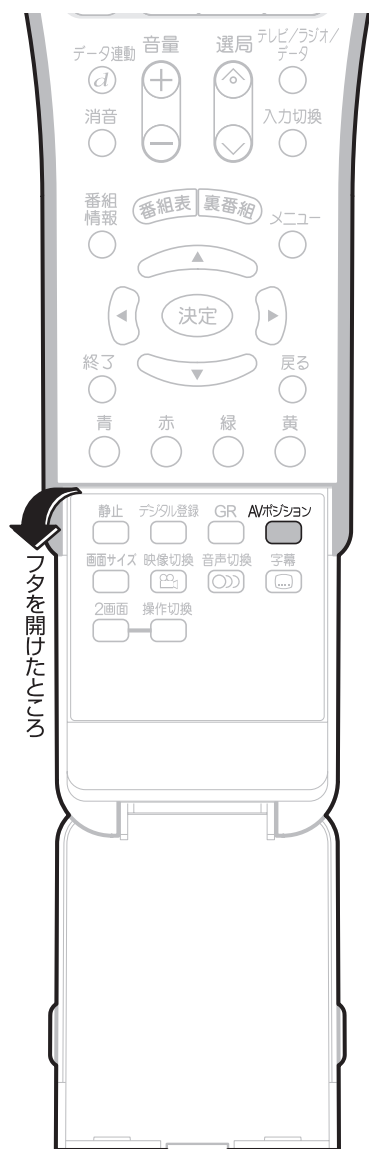
お好みの映像・音声で楽しむ

■ お好みの映像・音声を設定する方法には、次の2つがあります。
- AVポジションを選ぶ
- 映像・音声を個別の設定項目ごとに設定する

記憶されたお好みの映像・音声設定を選ぶ（AVポジション）

AVポジションとは

■ 部屋の明るさや再生ソフトの内容に合わせて、記憶されたお好みの映像・音声レベルに設定する機能です。

「ダイナミック」………… くっきりと色鮮やかな映像で、スポーツ番組などを迫力あふれたものにします。
「標準」………………………… 画質・音質の設定がすべて標準値になります。
「映画」………………………… コントラスト感を抑えることにより、暗い映像を見やすくします。
「ゲーム」…………………… テレビゲームなどの映像を、明るさを抑えて目にやさしい映像にします。
「PC」…………………………… PC用の画面モードです。（このポジションは入力5、6選択時のみ表示されます。）
「AVメモリー」………… 各入力ごとにお好みの調整内容を記憶させることができます。
「ダイナミック（固定）」… くっきりと色鮮やかな映像で、スポーツ番組などを迫力あふれたものにします。（このポジションを選んだときは、映像・音声調整ができません。）

1 リモコンフタ内の AVポジション を押す

- 画面左下に現在のAVポジションが表示されます。

AVポジション:ダイナミック

AVポジション表示

2 AVポジション表示が出ている間に再び AVポジション を押し、お好みの設定を選ぶ

- ボタンを押すたびに、AVポジションがつぎのように切り換わります。

→ ダイナミック → 標準 → 映画 → ゲーム → PC → AVメモリー → ダイナミック（固定） →

- AVポジションは各入力ごとに別のものを選ぶことができます（例えば、テレビは「標準」、入力1は「ダイナミック」….など）が、「i.LINK」は「テレビ」と同じ設定になります。また、「AVメモリー」の設定も「テレビ」と同じになります。

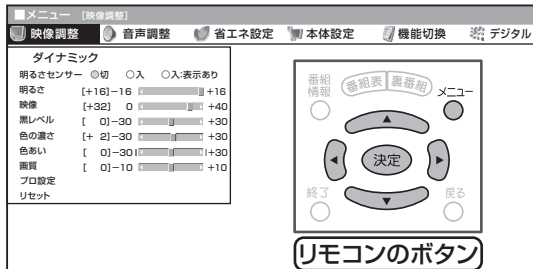
手動で映像を調整する

■「映像調整」とは、映像の濃淡や明るさ、色のぐあいなどを、お好みの状態に調整する機能です。
現在視聴している入力により、別の調整項目になっています。

■ AVポジションごとに、お好みの映像に調整し、調整内容を記憶させることができます。映像調整は、さきにAVポジションを選んでから行ってください。（**165**ページ参照）

■ AVポジション「ダイナミック（固定）」では、映像調整ができません。

■「プロ設定」では映像の状態をお好みに応じてさらにきめ細かく調整できます。

1 **メニュー画面から「映像調整」を選ぶ**

リモコンのボタン

2 ① **（▲）（▼）で調整したい項目を選ぶ**

② **（◀）（▶）でお好みの設定にする**

• ①で「プロ設定」を選んだ場合は（▲）（▼）でプロ設定の項目を選び、（決定）を押します。

工場出荷時の設定に戻したいとき

① 手順**2**の①で「リセット」を選び、決定ボタンを押します。

② 左右カーソルボタンで「する」を選び、決定ボタンを押します。
「初期設定に戻しました。」と表示されます。
この場合、プロ設定もすべて工場出荷時の設定に戻ります。

映像調整の項目

明るさセンサー

• 室内の照明状況など周囲の明るさに応じて画面の明るさが自動的に調整されるよう設定することができます。（明るさセンサー機能）
明るさセンサーの動作する明るさの範囲を手動で設定することもできます。（プロ設定項目の「明るさセンサー設定」**167**ページ参照）

• 放送や再生ソフトの映像内容に合わせ、画面をお好みの明るさに手動調整することができます。（映像調整の項目「明るさ」参照）

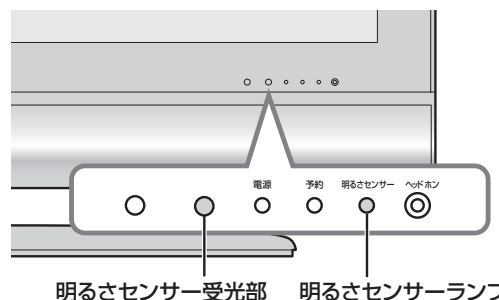
明るさセンサー ●切 ●入 ●入:表示あり

設定項目	設定内容
切	明るさセンサー機能が働かなくなります。
入	周囲の明るさが変化すると明るさセンサー機能が働いて、画面の明るさを自動調整します。
入:表示あり	自動調整中、明るさセンサー機能の効果が画面に表示されます。

明るさセンサー:

※メニュー表示中は表示されません。

• 明るさセンサー受光部の前にものを置いたりすると、明るさを感知できなくなります。

• 明るさセンサーを「入」または「入:表示あり」に設定すると、明るさセンサーランプが点灯します。

明るさ

- 放送番組や再生ソフトなど映像内容に合わせて、画面をお好みの明るさに手動調整することができます。

- 調整を行うと、明るさセンサー機能は「切」になります。

映像

- 映像の強弱を手動調整することができます。

黒レベル

- 画面を見やすい明るさに調整することができます。

色の濃さ

- 映像の色の濃さを手動調整することができます。

色あい

- 肌色を手動調整することができます。

画質

- 画面をお好みの画質に手動調整することができます。

プロ設定の項目

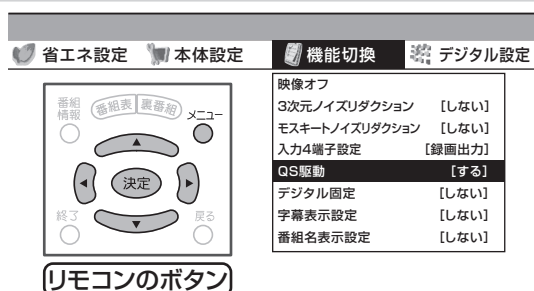
項　目	内　容	設　定
カラーマネージメント※1	色の構成要素となる6つの系統色のそれぞれを調整し、色相・彩度・明度を変化させます。	−30〜0〜+30
色温度	青みがかった白（高）にするか、赤みがかった白（低）にするかの調整です。	高/高-中/中/中-低/低
アンベールコントロール	エッジを補正することで奥行き感のある映像にします。	0〜+15
アクティブコントラスト	シーンに応じて映像のコントラストを自動的に調整します。	する/しない
I／P設定※2	動画より（通常のテレビ放送やビデオ等をきめ細かい映像で楽しむモード）と静止画より（静止画やグラフィック等の画像を、チラツキのないなめらかな映像で楽しむモード）を切り換えます。	動画より/静止画より
フィルムモード※3	フィルム収録のDVDなど、元信号が24コマ/秒の映像を高画質に再生します。	する/しない
3次元設定※4	映像素材に応じた設定にすると、画質が改善されます。	標準/動画より/静止画より
モノクロ	白黒映像にします。	する/しない
明るさセンサー設定※5	明るさセンサー「入」時の、稼働範囲の上限と下限をおこのみの値に設定できます。	最大値設定※6 −16〜0〜+16 最小値設定※7 −16〜0〜+16

※1 **カラーマネージメントの調整項目について**
例: 色相の調整の場合

系統色	調　整 −30………0………+30
R(赤)	マゼンタに近づく ⟷ 黄に近づく
Y(黄)	赤に近づく ⟷ 緑に近づく
G(緑)	黄に近づく ⟷ シアンに近づく
C(シアン)	緑に近づく ⟷ 青に近づく
B(青)	シアンに近づく ⟷ マゼンタに近づく
M(マゼンタ)	青に近づく ⟷ 赤に近づく

※2 デジタルハイビジョン放送や、画面表示(チャンネルサイン)に「525p」「750p」「1125p」と表示されるような映像を視聴している場合は、プロ設定の「I／P設定」は選択できません。
※3 元がプログレッシブの映像(525p、750p、1125p)およびPC入力では、プロ設定の「フィルムモード」は選択できません。
※4 地上アナログ放送、ビデオ映像以外を視聴しているときは、プロ設定の「3次元設定」は選択できません。
※5 周囲の明るさにもよりますが、設定範囲が少ない場合は、明るさセンサーが働きません。
※6 最大値は最小値より小さい値にできません。
※7 最小値は最大値より大きい値にできません。

お好みの映像・音声で楽しむ（つづき）

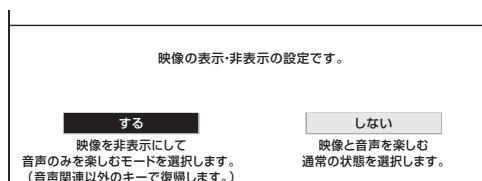
共通操作

1 **メニュー画面から◀▶で「機能切換」を選ぶ**

2 **▲▼で設定したいメニュー項目を選び、決定を押す**

メニュー項目	設定画面

音声だけを楽しむ（映像オフ）

■ 映像を消して、音声だけを楽しむことができます。
- 映像オフを「する」にしているとき、オフタイマー残り時間などのメッセージが表示されると、映像が復帰します。
- 操作により映像が復帰したり、一度電源「切」の状態にすると、自動的に設定が「しない」になります。
- 映像を復帰させたいときは、音量調整、消音、音声切換え以外の操作を行ってください。

3 **◀▶で「する」または「しない」を選び、決定を押す**

映像をすっきりさせる（3次元ノイズリダクション）

■ ビデオなどの再生映像を、すっきりさせる機能です。設定は「しない」「強」「弱」の3種類があります。
■ テレビ、ビデオ各入力ごとに個別に設定することができます。

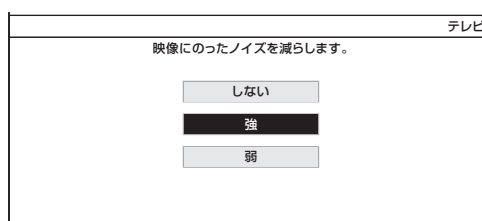
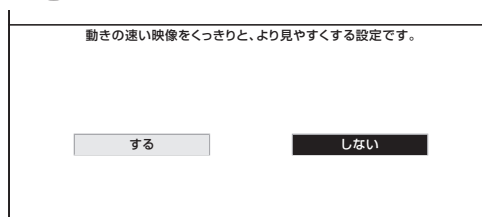
ちらつきを低減する（モスキートノイズリダクション）

■ モスキートノイズ（ちらつき）を低減します。
■ テレビ、ビデオ各入力ごとに個別に設定することができます。

3 ［例］ 3次元ノイズリダクションを「強」に設定する

▲▼で「強」を選び、決定を押す

動きの速い映像を見やすくする（QS駆動）

■ QS駆動とは、動きの速い映像をくっきりと、より見やすくする機能です。
（QS…クイックシュート）
■ 通常は「する」にしてご覧ください。

3 **◀▶で「する」または「しない」を選び、決定を押す**

お好みの音声に調整する（音声調整）

■「高音」「低音」「バランス」の3つの項目を、AVポジションごとに、お好みに合わせて調整することができます。
調整したいAVポジションを選んでから、音声調整の操作を行います。（**165**ページ参照）

※ AVポジション「ダイナミック（固定）」では、音声調整ができません。

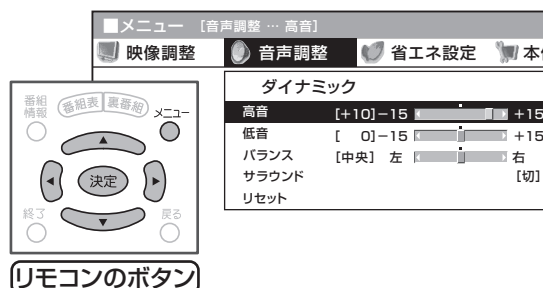
音声調整の基本操作

［例］ AVポジション「ダイナミック」の「高音」を調整する

1 **AVポジションを何回か押し、AVポジションを「ダイナミック」に設定する**

2 **メニュー画面から「音声調整」を選ぶ**

3 **① ▲▼で「高音」を選ぶ**
② ◀▶で、お好みの位置に調整する

リモコンのボタン

- 続けて他の項目を調整したいときは、手順**3**をくり返します。

操作終了する場合は

メニュー または 終了 を押し、通常画面に戻す

- 1つ前に戻る場合は 戻る を押してください。

- ヘッドホンを接続しているときや出力選択を「モニター出力（可変）」に設定しているときは、音声調整ができません。

工場出荷時の設定に戻したいとき

① 手順**3**の①で「リセット」を選び、決定ボタンを押します。

② 左右カーソルボタンで「する」を選び、決定ボタンを押します。
「初期設定に戻しました。」と表示されます。

音声調整の項目

- お客様が実際にお使いの音量で調整してください。

高音

- お好みに合わせて、高音を調整することができます。

高音 ［+10］−15 +15

低音

- お好みに合わせて、低音を調整することができます。

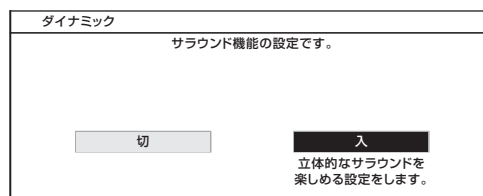
低音 ［ 0］−15 +15

バランス

- お好みに合わせて、左右のスピーカー音声のバランスを調整することができます。

バランス ［中央］ 左 右

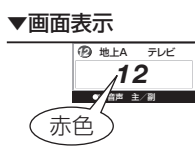
サラウンド

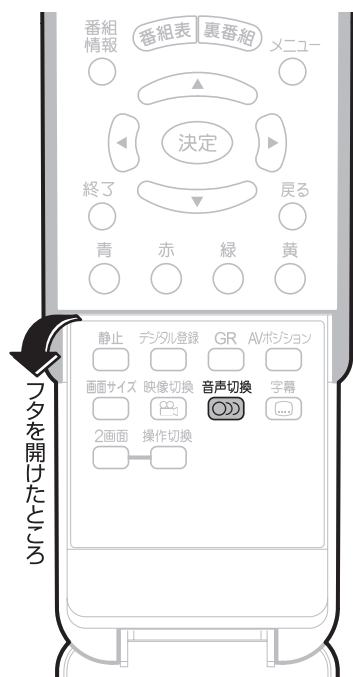
- 映画館のような迫力や臨場感あふれる音声を手軽に楽しむことができます。サラウンドを「入」にすると、DVDなどサラウンドの音声フォーマットで録音されたコンテンツを手軽に臨場感あふれる音声でお楽しみいただけます。（サラウンド機能）

- ヘッドホンで音声を聴いているときは、サラウンドの効果が得られません。
- モニター／録画出力端子からの音声出力、デジタル音声出力（光）端子からの出力では、サラウンドの効果が得られません。
- 放送やDVDなどのコンテンツによっては、サラウンドの効果が得られないことがあります。その際はサラウンドを「切」にしてお楽しみください。

二重音声放送やステレオ放送を楽しむ

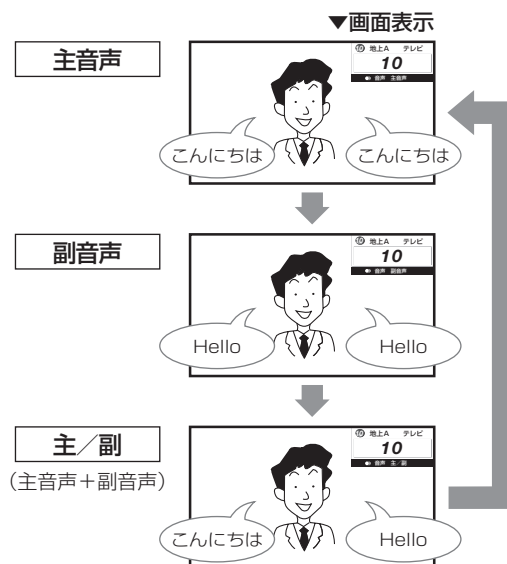
■ 二重音声放送やステレオ放送のとき、音声切換ボタンで音声モードを切り換えることができます。

チャンネル表示の色について

・二重音声放送やステレオ放送、モノラル放送は、チャンネル表示の色で区別することができます。(地上アナログ放送のみ)

主音声と副音声について

・ニュースや洋画などの二ヵ国語放送で、吹き替えの日本語(主音声)と英語などの外国語(副音声)の2種類の音声が楽しめます。

二重音声放送の音声切換

1 **リモコンフタ内の 音声切換 を押し、お好みの音声を選ぶ**

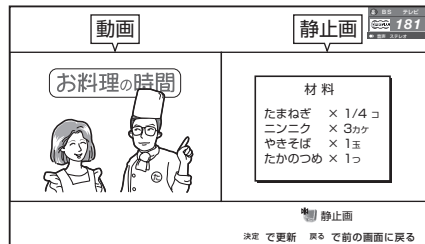
・ボタンを押すたびに、つぎのように切り換わります。

ステレオ放送の音声切換

・ステレオ放送のときは、自動的に「ステレオ」になります。

1 **雑音が多いときは、音声切換 で「モノラル」にする**

・画面右上のチャンネル表示内に「モノラル」と表示されます。
・「モノラル」にすると雑音が減って聞きやすくなることがあります。

・音声切換ボタンを押して「モノラル」にすると、ステレオ放送を受信してもモノラル音声になります。
ステレオ音声で聞くときは、再度ボタンを押して「ステレオ」に切り換えてください。
・デジタル放送は「モノラル」への切換えができません。
・デジタル放送視聴時の音声切換えについては、**89**ページをご覧ください。

便利な機能

ページ

2画面で見る 172

操作画面のチャンネルや入力を切り換えるには.. 173

操作画面を切り換えるには............ 173

1画面に戻すには............ 173

画面を静止させてメモをとる............ 173

1画面に戻すには............ 173

お好みのチャンネルを登録する............ 174

お好み選局／登録画面に
チャンネルを登録する（お好み登録）............ 174

お好み登録したチャンネルを確認する............ 175

お好み登録を変更する............ 175

お好み選局／登録画面から
チャンネルを選局する（お好み選局）............ 175

クイック起動機能を設定する............ 175

省エネ機能を使う............ 176

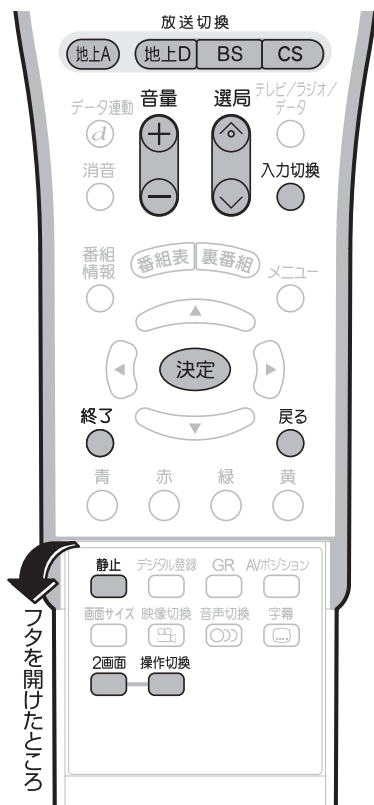
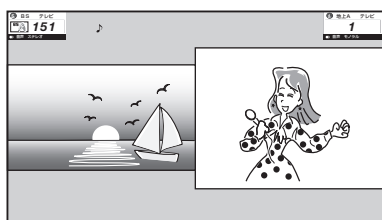
指定した時間後に電源を切る（オフタイマー）...... 176

オフタイマーの残り時間を見るには............ 176

放送終了後に電源を切る（無信号オフ）............ 176

操作しない状態のときに電源を切る（無操作オフ）....... 176

2画面で見る

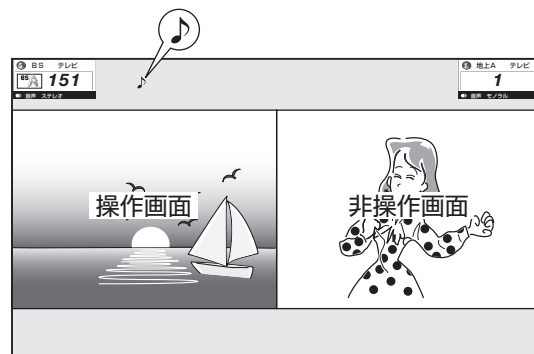
■ 本機は2つの異なる映像を同時に表示して見ることができます。
■ デジタル放送を視聴中に、2つの番組を左右に表示して見ることができます。
■ 2画面のとき、「♪」マークのある画面（操作画面）のチャンネルや入力を切り換えたり、音量を調整することができます。

- 2画面機能を入／切すると、まれに画面や録画出力の映像が一瞬途切れた状態になることがありますが、異常ではありません。
- 2画面表示中は、画面サイズボタンによる画面サイズの切換えができません。
- 2画面のとき、メニュー操作はできません。
- 2画面になった映像がハイビジョン信号（1125i、750p、1125p）のときは、16：9表示になります。

- 2画面のとき、電子番組表、i.LINKコントロールパネルは表示できません。
- デジタル放送どうしの2画面表示のときは、モニター出力にデータ放送が出力されません。
- 録画予約実行中、デジタル固定中、i.LINK録画中に2画面にすると、右画面は録画中の画面となります。右画面を他の放送や外部入力に切り換えることはできません。

2画面で見られる映像の組合せ

左画面＼右画面	地上アナログ放送	デジタル放送	外部入力
地上アナログ放送	×	○	○※1·5
デジタル放送	○	○ ※4	○※1·5
外部入力	○ ※2·5	○ ※2·5	○※1·2·3·5

※1　右画面には525i信号（地上アナログ放送と同じ画質）のみ表示できます。外部入力で高解像度信号（525p/1125i/750p）が入力されている場合は、表示できません。
※2　入力5は左画面にのみ表示されます。
※3　同じ外部入力どうしの2画面表示はできません。
※4　デジタル放送どうしの2画面のときは、データ放送画面は左画面のみ表示されます。データ放送を受信している画面には「♪」マークの隣に「(d)」マークが表示されます。
※5　入力6は2画面表示できません。

［例］　地上放送とBS放送を2画面で見る

1 リモコンフタ内の 2画面 を押す

- 操作画面の上には、「♪」マークが付いています。
- 操作画面の切り換えかたについては、**173**ページをご覧ください。
- 2画面表示中に予約録画が開始されたときは、1画面（操作画面）に戻ります。

2画面時の音声と音量調整について

- 「♪」マークのある画面の音声が聞けます。
- 音量（＋／－）ボタンで、操作画面の音量を調整できます。
- ヘッドホン接続時は「♪」マークのある操作画面の音声を聞くことができます。

操作画面のチャンネルや入力を切り換えるには

1
- 地上A 地上D BS CS のいずれかを押して放送を選びます。
- 選局（∧順／∨逆）ボタンを押すたびに、操作画面のチャンネルが選局されます。
- 入力切換ボタンを押すたびに、操作画面の入力が切り換わります。

操作画面を切り換えるには

1

↓ 操作切換 を押す ↑

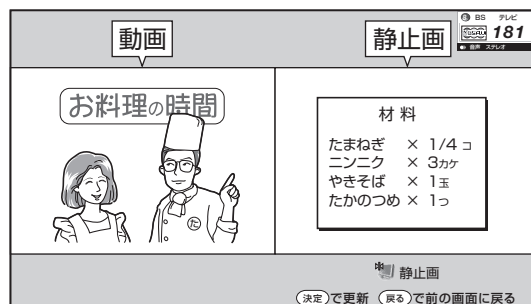
- 「♪」マークが移動します。

1画面に戻すには

1 2画面 をもう一度押すか、終了 を押す
- 操作画面に戻ります。

画面を静止させてメモをとる

- いま見ている放送や映像を静止することができます。料理番組などのメモをとったりするときに便利です。

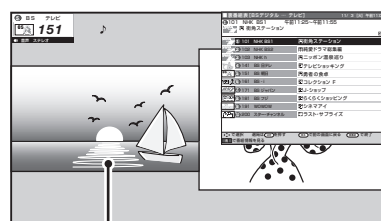
1 **映像を静止させたいところで、静止 を押す**
- 2画面表示となり、左側が動画、右側が静止画になります。

- 静止画表示中に決定ボタンを押すと、静止画が更新されます。

1画面に戻すには

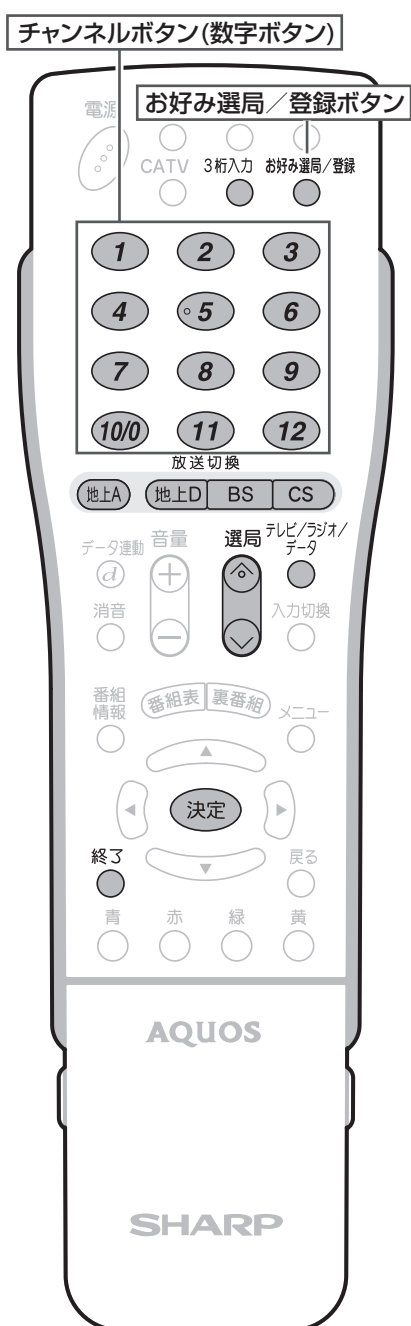
1 **戻る を押すか、終了 または 静止 を押す**

おしらせ
- 静止画表示中に選局や入力切換えをすると、1画面に戻ります。
- 静止画表示中の画面サイズ切換えはできません。
- 静止画表示中にメニューボタンを押すと、1画面に戻ります。
- 静止画表示中にi.LINKボタンを押すと、静止画が解除されます。
- 静止画表示後、30分経過すると自動的に1画面に戻ります。

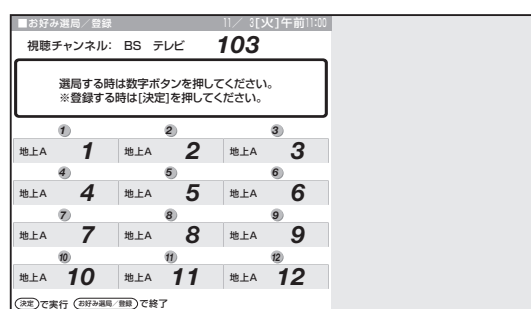
- 2画面表示中に 裏番組 を押すと、裏番組表が非操作画面側に表示されます。操作画面を見ながら裏番組を確認することができます。裏番組表で見たい番組を選択して 決定 を押すと、操作画面に選択した番組を表示します。

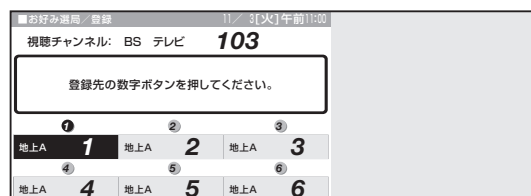
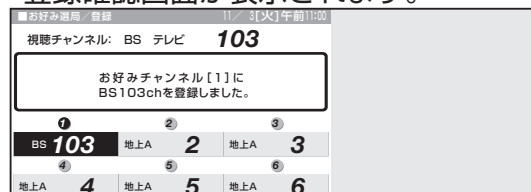
2画面状態での裏番組表の表示例

お好みのチャンネルを登録する

お好み選局／登録画面にチャンネルを登録する(お好み登録)

■ よく見るチャンネルをお好み選局／登録画面に登録できます。
■ ネットワーク(地上アナログ、地上デジタル、BSデジタル、110度CSデジタル)やメディア(テレビ、ラジオ、データ)を混在させた登録ができます。
※ お好み選局／登録画面は、工場出荷時の状態では、地上アナログ放送に設定されています。

[例] BSデジタルのテレビ放送の103チャンネルをお好み選局／登録画面の「1」(チャンネルボタン(1))に登録する

1 ① BS を押し、BSデジタル放送(テレビ)を選ぶ
② 103チャンネルを選局する

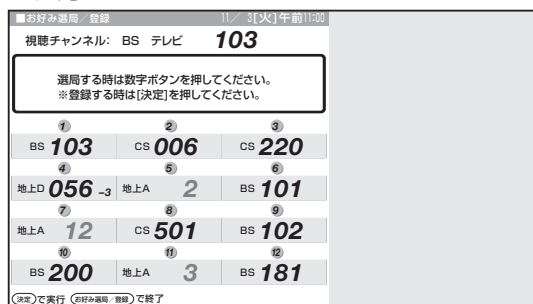
2 ① お好み選局／登録 を押す
・お好み選局／登録画面が表示されます。

② 決定 を押す

3 登録したいチャンネルボタン(1)(登録先のボタン)を押す

・登録確認画面が表示されます。

4 お好み選局／登録 または 終了 を押し、画面表示を消す
・お好み選局／登録ボタンまたは終了ボタンを押さなくても、しばらくすると画面表示は消えます。

お好み登録したチャンネルを確認する

■ お好み選局／登録画面(「1」〜「12」)に登録されているチャンネルの内容を画面で確認することができます。

1 **放送を視聴中に お好み選局/登録 を押す**

・登録されているチャンネル内容の一覧が表示されます。

・内容を確認します。

2 **お好み選局/登録 または 終了 を押し、画面表示を消す**

お好み登録を変更する

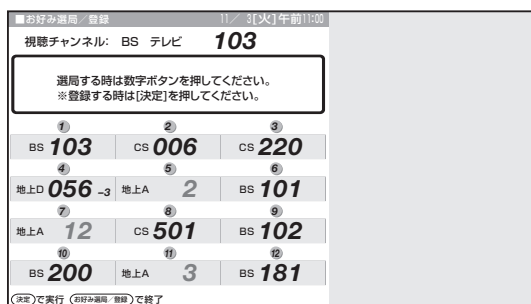
・お好み選局／登録画面に登録したチャンネルを変更するには、**174**ページの手順**1**〜**4**の操作を行い、お好み登録されているお好み選局／登録画面に新たなチャンネルを登録しなおします。

お好み選局／登録画面からチャンネルを選局する(お好み選局)

■ お好み選局／登録画面に登録したチャンネルを選局します。

■ ネットワーク(地上アナログ、地上デジタル、BSデジタル、110度CSデジタル)やメディア(テレビ、ラジオ、データ)を切り換えることなく、チャンネルを選べます。

1 **お好み選局/登録 を押す**

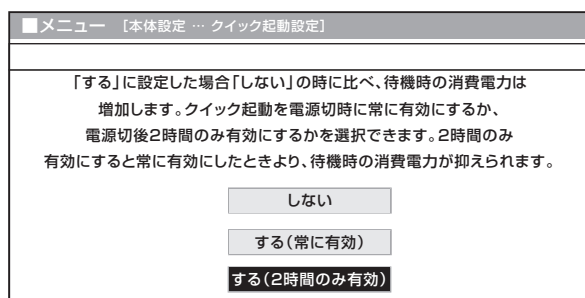
・お好み選局／登録画面が表示されます。

2 **見たいチャンネルボタン(1〜12)を押す**

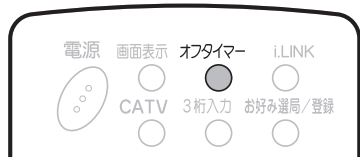
・選んだチャンネルの画面になります。

クイック起動機能を設定する

■ リモコンで電源を「入」にしたとき、起動時間を短縮してすぐに操作できる状態にする機能です。なお、この機能を使うと通常より消費電力がアップしますので、あらかじめ同意の上、ご使用ください。

① **メニュー画面から「本体設定」ー「クイック起動設定」を選び、決定 を押す**

② **▲ ▼ で設定したい項目を選び、決定 を押す**

省エネ機能を使う

■ 本機は省エネに役立つ機能を備えています。

指定した時間後に電源を切る（オフタイマー）

・「オフタイマー」を使うと、指定した時間後に電源を切ることができます。テレビを見ながらおやすみになるときなどに便利です。

1 オフタイマー を押す

・オフタイマーがすでに設定されている場合は、オフタイマーの残り時間が表示されます。設定されていないときは「切」と表示されます。

オフタイマー: 切

2 オフタイマー表示が出ている間に再び オフタイマー を押し、電源が切れるまでの時間を選ぶ

・ボタンを押すたびに、設定時間がつぎのように切り換わります。

→ 切（解除） → 0時間30分 → 1時間00分 → 1時間30分 → 2時間00分 → 2時間30分 →（切（解除）に戻る）

オフタイマーの残り時間を見るには

1 オフタイマー を押す

・残り時間が表示されます。

オフタイマー:残り　0時間15分

・しばらくすると表示が消えます。
・表示が出ている間に再びオフタイマーボタンを押すと、残り時間が変わってしまいます。
・オフタイマーの残り時間が5分になると、残り時間が画面に表示されます。

無信号オフ機能について

・放送が終了しても、他局の放送やその他の電波が混入するときや、ブルーバックなどのビデオ信号が入力されているときは、正しく動作しない場合があります。
・放送電波の状態などにより、放送を見ているときに無信号オフ機能が働いて電源が切れる場合は、設定を「しない」にしてください。
・PC入力のときは、別項目の設定となります。（**155**ページ参照）

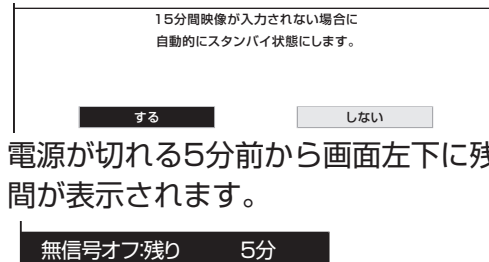
放送終了後に電源を切る（無信号オフ）

・放送が終了するなど無信号状態になると、約15分後に電源が切れるようにします。
・工場出荷時は、「しない」に設定されています。

1 メニュー画面から「省エネ設定」ー「無信号オフ」を選び、決定を押す

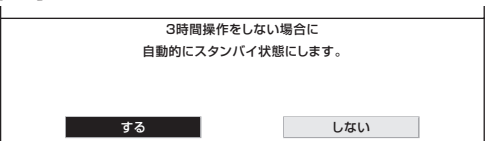
2 ◀▶で「する」を選び、決定を押す

・電源が切れる5分前から画面左下に残り時間が表示されます。

無信号オフ:残り　5分

操作しない状態のときに電源を切る（無操作オフ）

・操作しない状態が3時間以上経過すると、自動的に電源が切れるように設定できます。
・工場出荷時は、「しない」に設定されています。

1 メニュー画面から「省エネ設定」ー「無操作オフ」を選び、決定を押す

2 ◀▶で「する」を選び、決定を押す

操作終了する場合は

メニュー または 終了 を押し、通常画面に戻す

・1つ前に戻る場合は 戻る を押してください。

デジタル放送を快適に見るための設定

ページ

画面サイズや画面表示の設定 **178**
画面サイズ設定 178
録画画面サイズ設定 178
モニター出力表示設定 178
字幕を表示させるための設定 179
番組名を表示させるための設定 179

安心して使うための設定 **180**
暗証番号設定 180
視聴年齢制限設定 180
PPV設定 180
有料の番組の購入を制限する 180
有料の番組の購入金額を制限する 180

お知らせを見る **182**

双方向通信を利用する **183**
接続の種類を選ぶ（優先利用回線設定） 183
双方向サービスの利用を制限する 183
プロバイダ設定 183

双方向通信を快適に楽しむ（LAN接続） **184**
LAN設定 185
LAN設定の内容を変更・消去する 185

文字を入力する（ソフトウェアキーボード） **186**
ソフトウェアキーボード（文字入力画面）の使いかた 186
文字を入力する 187
入力文字の種類 188

画面サイズや画面表示の設定

共通操作

1 メニュー画面から「デジタル設定」ー「映像設定」を選び、決定を押す

・映像設定画面が表示されます。

2 **で設定したいメニュー項目を選び、決定を押す**

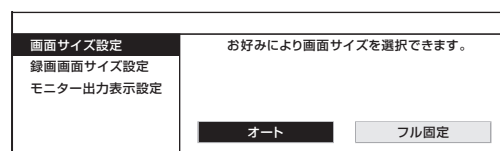
メニュー項目	設定画面

画面サイズ設定

■ デジタル放送を視聴するときの画面サイズをお好みに合わせて設定できます。

「オート」…… 番組で指定された画面サイズでディスプレイに表示・再生します。通常は「オート」でお使いください。

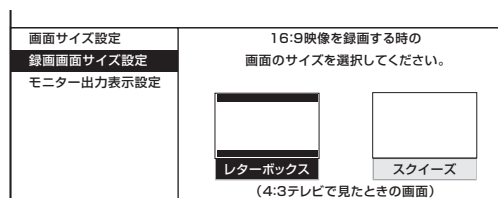
「フル固定」… すべての放送を1125iに変換してディスプレイに表示・再生します。

3 ◀▶で「オート」または「フル固定」を選び、決定を押す

録画画面サイズ設定

■ 本機に接続した録画用機器にデジタル放送の16:9映像を録画するときの画面サイズを選びます。

「レターボックス」… 4:3のテレビで見たとき、画面の上下に黒い帯が入った横長の映像で表示し、オリジナルの16:9映像のまま見ることができます。

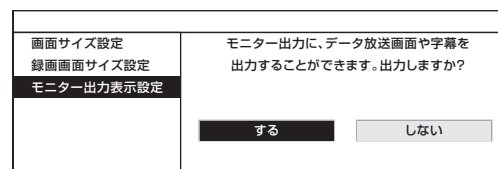
「スクイーズ」……… 4:3のテレビで見たとき、横方向に圧縮された縦長の映像になります。16:9のテレビで見たときは、オリジナル映像そのままのワイド映像になります。

3 ◀▶で「レターボックス」または「スクイーズ」を選び、決定を押す

モニター出力表示設定

■ 本機に接続した録画用機器に録画するとき、データ放送画面、字幕などの画面表示をいっしょに録画するかしないかを選ぶことができます。

・モニター出力表示設定を「する」に設定したとき、録画出力（「モニター出力（固定）」または「モニター出力（可変）」に設定時）から出力される映像の画面サイズが変わることがあります。

・デジタル固定／録画予約時は、データ放送画面や字幕は出力されません。

3 ◀▶で「する」または「しない」を選び、決定を押す

操作終了する場合は

メニュー または 終了 を押し、通常画面に戻す

・1つ前に戻る場合は 戻る を押してください。

字幕を表示させるための設定

■ 字幕のある番組で、字幕を表示するかしないかを選択できます。
■ 工場出荷時の状態では、「しない」に設定されています。

1 メニュー画面から「機能切換」ー「字幕表示設定」を選び、決定を押す

2 ◀▶で「する」または「しない」を選び、決定を押す

「する」…… 字幕のある番組では、つねに字幕を表示します。(リモコンの字幕ボタンを押しても、字幕表示を消せません。)
「しない」… リモコンの字幕ボタンで、字幕表示を入／切することができます。

操作終了する場合は

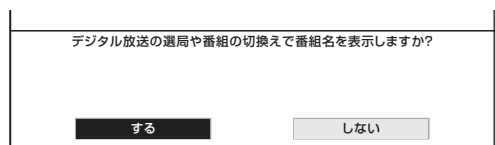
メニュー または 終了を押し、通常画面に戻す

• 1つ前に戻る場合は戻るを押してください。

番組名を表示させるための設定

■ 番組を選んで画面を切り換えたときなどに番組タイトルなどの表示をするかどうかを設定します。

1 メニュー画面から「機能切換」ー「番組名表示設定」を選び、決定を押す

2 ◀▶で「する」または「しない」を選び、決定を押す

(表示例)

「する」…… 番組タイトルや放送時間などを表示します。
「しない」… 何も表示しません。

操作終了する場合は

メニュー または 終了を押し、通常画面に戻す

• 1つ前に戻る場合は戻るを押してください。

字幕ボタンについて

・ 字幕表示設定を「する」にしたとき
複数の字幕がある番組では、リモコン(フタ内)の字幕ボタンを押すと、字幕を切り換えられます。
・ 字幕表示設定を「しない」にしたとき
字幕のある番組では、リモコン(フタ内)の字幕ボタンを押すと、字幕表示の入／切、および複数の字幕の切換えができます。

安心して使うための設定

共通操作

1 メニュー画面から◀▶で「デジタル設定」を選ぶ

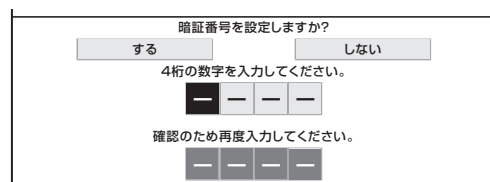
2 ▲▼で設定したいメニュー項目を選び、決定を押す

メニュー項目

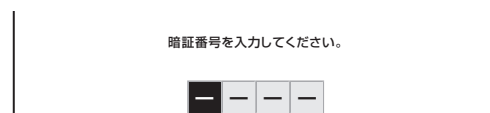
暗証番号設定

■ 本機は、視聴する人の年齢制限や視聴料金の制限など、各種の制限を設けることができます。
これらの制限を通過するときやPPV番組などを購入するときに暗証番号を使います。

・ 暗証番号は必ずメモしてください。

3 ① ◀▶で「する」を選び、決定を押す
② 数字ボタン（1～10/0）で、暗証番号を入力する

視聴年齢制限設定

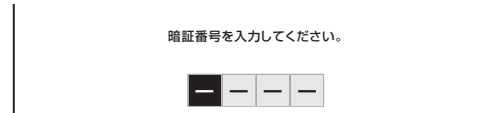
■ 年齢制限のある番組の視聴を制限することができます。なお、年齢制限は4～20歳の範囲で設定できます。この設定をするためには、あらかじめ暗証番号の設定（上記）をしておくことが必要です。

3 数字ボタン（1～10/0）で、暗証番号を入力する

・ 視聴年齢制限設定画面が表示されます。

PPV設定

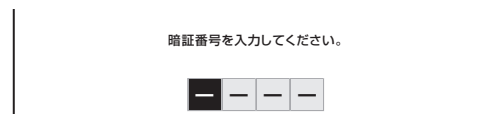
有料の番組の購入を制限する

■ 暗証番号を入力しないとPPV番組（有料番組）を購入できないように設定できます。この設定をするためには、あらかじめ暗証番号の設定（上記）をしておくことが必要です。

3 数字ボタン（1～10/0）で、暗証番号を入力する

・ PPV設定画面が表示されます。

有料の番組の購入金額を制限する

■ PPV番組（有料番組）の購入金額を制限します。設定した以上の金額の番組を購入するときは、暗証番号の入力が必要になります。この設定をするためには、あらかじめ暗証番号の設定（上記）をしておくことが必要です。

3 数字ボタン（1～10/0）で、暗証番号を入力する

・ PPV設定画面が表示されます。

暗証番号を変更するとき

① メニュー画面から「デジタル設定」ー「暗証番号設定」を選ぶ
- 暗証番号入力画面が表示されます。

② 数字ボタン（1～10/0）で、暗証番号を入力する

- 暗証番号を入力すると、**180**ページ「**暗証番号設定**」の手順**3**の画面になります。暗証番号を設定するときと同じ要領で設定しなおしてください。

暗証番号を忘れたときは

- 受信契約されている、有料放送の放送局（WOWOWやスターチャンネルなど）までご連絡ください。放送局で前の暗証番号を消去します。
  暗証番号の消去には手数料がかかります。（2004年12月現在）

操作終了する場合は

メニュー または 終了 を押し、通常画面に戻す
- 1つ前に戻る場合は 戻る を押してください。

設定画面

4 **確認のため、再度同じ番号を数字ボタン（1～10/0）で入力する**

- 間違った番号を入力した場合は、手順**3**の②からやりなおしになります。

5 ① **暗証番号をメモする**
② **「確認」で 決定 を押す**

4 **▲ ▼ で年齢の入力欄を選ぶ**

5 **制限する年齢を数字ボタン（1～10/0）で入力し、決定 を押す**
- 年齢制限を設けない場合は、「無制限」を選んで決定ボタンを押します。

4 **▲ ▼ で「PPV制限」を選び、決定 を押す**

5 **◀ ▶ で「する」または「しない」を選び、決定 を押す**

「する」…… PPV番組の購入前に、暗証番号の入力が必要になります。
「しない」… PPV番組の購入前に、暗証番号の入力は必要ありません。

4 **▲ ▼ で「購入金額制限」を選び、決定 を押す**

5 ① **▲ ▼ で購入金額の入力欄を選ぶ**
② **購入金額の上限を数字ボタン（1～10/0）で入力し、決定 を押す**
- 購入金額の制限を設けない場合は、「無制限」を選んで決定ボタンを押します。

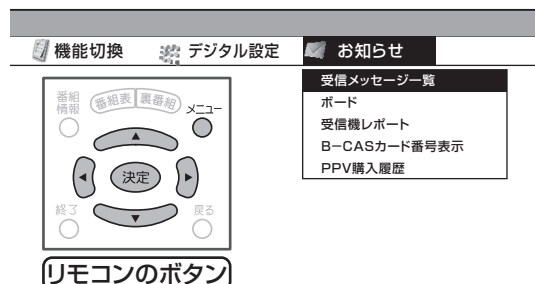
お知らせを見る

■ 受信契約した放送局から視聴者に向けて発信されるメッセージを見たり、有料放送に関するレポートやB-CASカード番号などを確認することができます。

お知らせを見るための基本操作

1 メニューを押し、メニュー画面を表示する

2 ① ◀▶でお知らせを選ぶ

リモコンのボタン

② ▲▼で見たい項目を選び、決定を押す

- 項目によっては、この後ネットワークを選ぶ手順になります。

3 見たい情報を▲▼で選び、決定を押す

[例]「ダウンロード成功のお知らせ」を見る

	受信日時	
未読		ダウンロード成功のお知らせ
未読	2/26[月]	●●●●●●●
未読	2/26[月]	●●●●●●●
未読	2/26[月]	●●●●●●●
未読	2/26[月]	●●●●●●●
未読	2/26[月]	●●●●●●●
未読	2/26[月]	●●●●●●●
未読	2/26[月]	●●●●●●●

4 ① 情報の内容を確認する
② ページを切り換えるときは「一覧へ」「前へ」「次へ」などを◀▶で選び、決定を押す

- 画面表示に従って操作してください。

お知らせの項目

項　目	内　容
受信メッセージ一覧	受信契約した放送局から発信されるメッセージを見ることができます。 受信メッセージがある場合は、画面右上のチャンネルサインに「お知らせ」と表示されます。
ボード	送られている、CS各ネットワークの掲示板(ボード情報)のタイトル一覧を表示して、ご覧になりたいタイトルを選び、メッセージを表示することができます。 ボード情報は、そのとき放送で送られているものを表示しますので、消去はできません。
受信機レポート	予約の失敗や変更に関するレポートやB-CASカードに関する情報、課金情報のアップロード(視聴履歴の送信)に失敗したときなど、受信機に関係したレポートを表示します。 アップロードに失敗したときは、「再発信」を選んで決定ボタンを押すと、アップロードしなおすことができます。
B-CASカード番号表示	受信機レポートで報告された不具合に関して、放送事業者のカスタマーセンターに連絡されるときに、お客さまの契約確認のためB-CASカードの番号を表示するものです。 **カード識別**… メーカー識別用のアルファベット1文字と3桁の数字からなります。 **カードID**…… カード固有の番号です。
PPV購入履歴	購入した最新24個のPPV番組の購入日時、チャンネル、番組名、購入金額を画面に表示して確認することができます。

- 受信メッセージがある場合は、画面右上のチャンネルサインに「お知らせ」と表示されます。
- 「お知らせ」の表示がある状態で、未読の受信メッセージをすべて表示すると、「お知らせ」の表示が消えます。

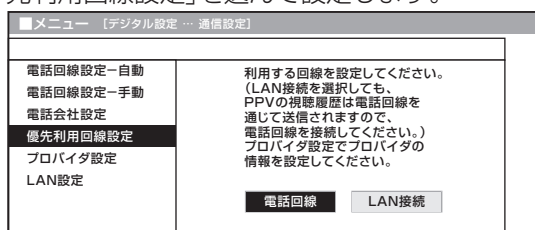
双方向通信を利用する

■ 双方向通信とは、地上デジタル放送の双方向サービスで利用される通信方式です。視聴者が番組上でショッピングしたり、クイズ番組に参加して楽しむことができます。
■ 双方向通信を利用するには、本機を「電話回線」または「LAN」に接続し、設定することが必要です。

※電話回線接続には電話料金がかかります。
［例］クイズ番組に参加して、答えを送信するとき

おしらせ
・ ADSL専用の契約（IP電話回線網の使用に限定した契約）の場合、双方向サービスへの接続ができない場合があります。

接続の種類を選ぶ（優先利用回線設定）

■ 双方向通信を行うとき、電話回線、LANのどちらで通信するかの設定です。工場出荷時は「電話回線」に設定されています。
■ メニュー画面から「デジタル設定」－「通信設定」－「優先利用回線設定」を選んで設定します。

電話回線	電話回線設定（**76**ページ）とプロバイダ設定（右記）をしてください。
LAN回線	電話回線設定（**76**ページ）、プロバイダ設定（右記）、およびLAN設定（**185**ページ）をしてください。

双方向サービスの利用を制限する

・ 双方向サービスのデータ送受信には、電話回線の利用料金がかかります。使用を制限するために、電話回線やLANへの接続をするかしないかの設定ができます。設定には暗証番号の入力が必要です。
この設定をするためには、あらかじめ暗証番号の設定（**180**ページ）をしておくことが必要です。

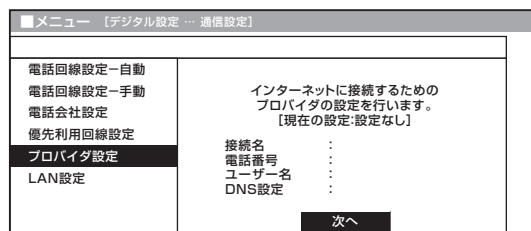
① メニュー画面から「デジタル設定」－「双方向サービス設定」を選ぶ

② 数字ボタンで暗証番号を入力し、以下の設定項目を選ぶ

電話回線を禁止する
電話回線とLAN接続を禁止する
禁止しない 禁止しない場合はデータ送信時に以下のアイコンを表示。 グレーのときは 回線コール中　ブルーのときは 回線使用中

プロバイダ設定

■ すでに契約しているプロバイダを使って、地上デジタル放送の双方向サービスで双方向通信を利用する場合に必要な設定です。
■ 文字や数字の入力欄で決定ボタンを押すと、ソフトウェアキーボードが表示されます。
（ソフトウェアキーボード→**186**ページ）

① メニュー画面から「デジタル設定」－「通信設定」－「プロバイダ設定」を選ぶ

② 「接続名」「電話番号」「ユーザー名」「パスワード」「パスワード確認」を入力したあと、「自動設定」で「する」を選ぶ
③ 「自動設定」で「しない」を選んだときは「プライマリ」「セカンダリ」を入力する

プロバイダ設定 **「接続名」** 通常は、契約しているプロバイダの業者名を入力します。 **「電話番号」** 契約しているプロバイダのアクセスポイントの電話番号を入力します。 **「ユーザー名」「パスワード」** プロバイダと契約した際に提供されたものを入力します。
IPアドレス設定 プロバイダと契約した際に提供されたものを入力します。 IPアドレスはデータのやりとりに使われる、3桁の数字4組で表された番号です。 **「自動設定」** IPアドレスを自動で取得するかどうかを設定します。 **「プライマリ」** 1番めのIPアドレスを入力します。 **「セカンダリ」** 2番めのIPアドレスを入力します。
詳細な設定 **「ヘッダ圧縮」「ソフトウェア圧縮」** 通信速度を向上させるか、させないかの設定です。契約しているプロバイダがこれに対応してない場合は、「しない」に設定してください。 **「無通信切断タイマー」** 回線を切断する時間の設定です。その時間に通信がなければ、回線を切断します。

双方向通信を快適に楽しむ（LAN接続）

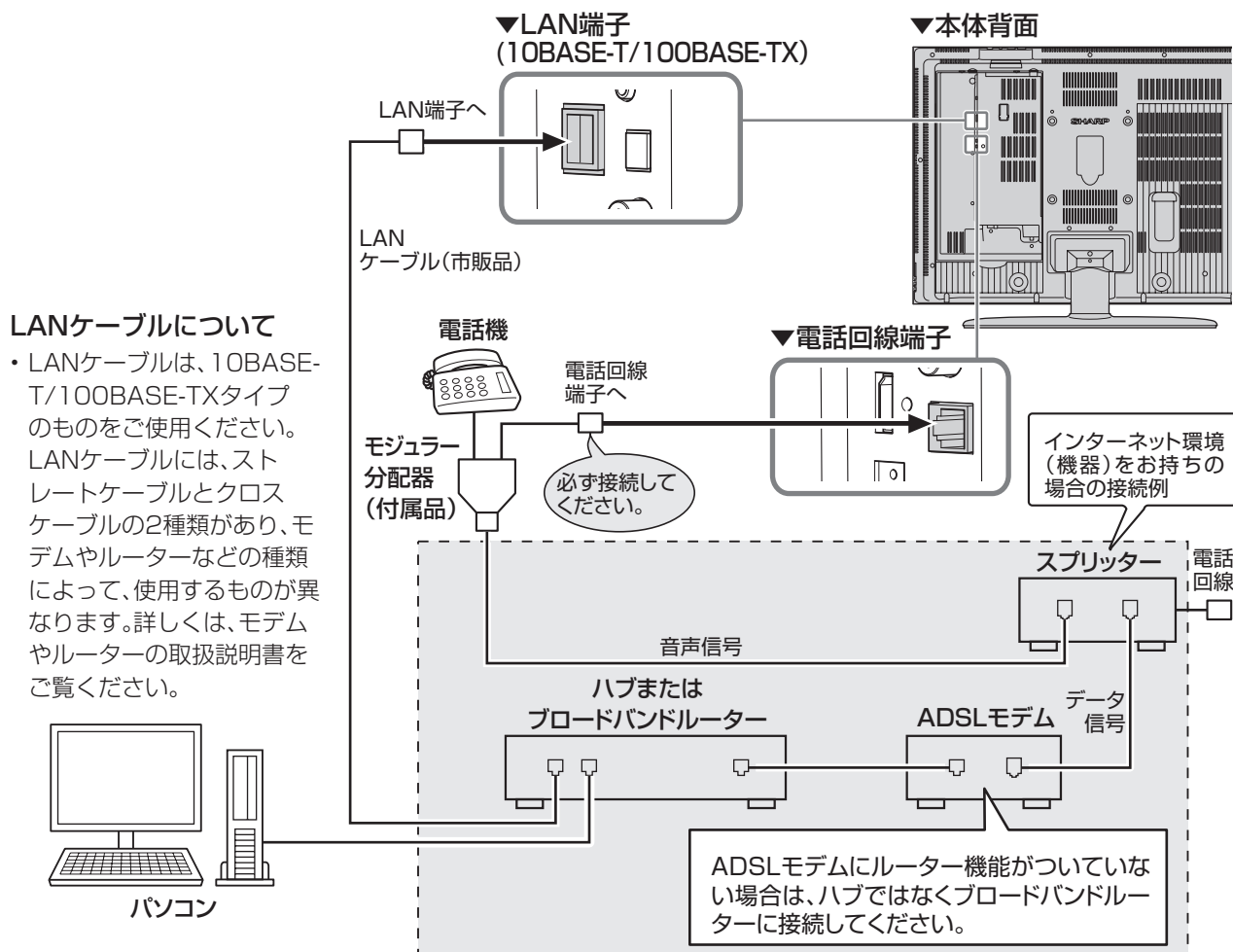
■ デジタル放送のデータ放送との双方向通信は、本機を電話回線につなぐとできますが、プロバイダを利用したLANを設定すれば、通信速度が向上し、データ放送をさらに快適に楽しむことができます。この場合、LAN接続と設定が必要となります。

■ パソコンなどのインターネット環境をお持ちでない場合は、つぎのような接続機器が必要になります。また、回線業者やプロバイダにより、必要な機器と接続方法が異なります。

（接続の一例です）

- ADSLの接続は、専門知識が必要なため、ADSL事業者にお問い合わせください。
- LAN接続した場合でも、電話回線のみで通信が行われることがありますので、必ず電話回線端子にも接続してください。

LANケーブルについて

- LANケーブルは、10BASE-T/100BASE-TXタイプのものをご使用ください。LANケーブルには、ストレートケーブルとクロスケーブルの2種類があり、モデムやルーターなどの種類によって、使用するものが異なります。詳しくは、モデムやルーターの取扱説明書をご覧ください。

接続後は、必ず、電話回線設定（76ページ）、プロバイダ設定（183ページ）、およびLAN設定（185ページ）を行ってください。

● ADSLモデム

本機やコンピュータなどをADSL回線に接続する際に必要となる、信号変換のための機器です。
公衆電話回線網を通じて送られてくるADSL信号をイーサーネットの信号に変換します。
ADSLの規格は事業者ごとに異なるため、キャリアを変更した場合や設置地点を変更した場合には、同じADSLモデムでは利用できないことがあります。

● ハブ

複数の機器をネットワークに接続するための集線機器です。

● ブロードバンドルーター

広帯域のデータ信号を他のインターネットに接続するための中継機器です。

● スプリッター

ADSLでは音声信号とデータが同じ回線の中を流れてくるため、これをそれぞれ電話機とADSLモデムとに分ける必要がありますので、スプリッターを接続し、そこから電話機とADSLモデムに信号を振り分けます。

インターネット環境をお持ちの場合は、LAN接続をすることにより、データ放送通信がより快適に利用できます。

LAN設定

■ LAN接続（**184**ページ）によってデータ放送との双方向通信を行う場合、プロバイダを利用したLANの設定が必要となります。

・LAN設定は専門知識が必要ですので、お買い上げの販売店やADSL事業者などにご相談ください。

■ メニュー画面から「デジタル設定」－「通信設定」－「LAN設定」を選び、設定します。

IPアドレスを設定する

・**IPアドレスの自動取得設定**
ブロードバンドルーターやルーター機能付きADSLモデムをお使いの場合は、通常DHCPでのIP自動取得が使えます。ご不明のときは、設置された方に確認するか、それぞれの機器の説明書をご覧ください。
「する」……IPアドレスを自動で取得します。（DHCPサーバーを利用します。）
「しない」…指定のIPアドレスを手動で入力します。
•「しない」を選んだときは、ブロードバンドルーターの仕様を確認し、IPアドレスを画面の指示にしたがって入力してください。

DNSのIPアドレスを設定する

「する」……DNSのIPアドレスを自動で取得します。（DHCPサーバーを利用します。）
「しない」…指定のIPアドレスを手動で入力します。
•「しない」を選んだときは、ブロードバンドルーターのIPアドレス（ブロードバンドルーターがDNSの機能を持つ場合）またはプロバイダから指示されたDNSのIPアドレスを入力してください。

プロキシサーバーの設定

• プロバイダからの指定があるときのみ、設定が必要です。
「する」……プロキシサーバーのアドレス、ポート番号を入力してください。
「しない」…プロキシサーバーを利用しません。

より詳細な設定

・LAN接続スピードの設定や、LANに接続するためのテストを行います。
通常は「しない」を選びます。

LAN接続スピードを設定する

• 通常は設定の必要はありません。通信がうまくいかないなどのときに、設定を変更して確認します。

LANに接続するためのテストを実行する

・テスト実行は、IPアドレスを自動で取得する設定のときのみです。IPアドレスを自動で取得しない場合は、「テスト実行」を選べません。

設定項目について

●DHCP：
IPネットワークにおいて、IPアドレスの割当てと各種の設定を自動で行うためのプロトコルです。

●IPアドレス：
TCP/IPネットワークに接続されたネットワーク機器に個別に割り振られた識別番号です。

●ネットマスク：
TCP/IPネットワークを複数の小さなネットワークに分割して識別管理する識別番号です。

●ゲートウェイ：
ネットワーク上で、異なる方式のデータを相互に変換して通信を可能にする機器の識別番号です。

LAN設定の内容を変更・消去する

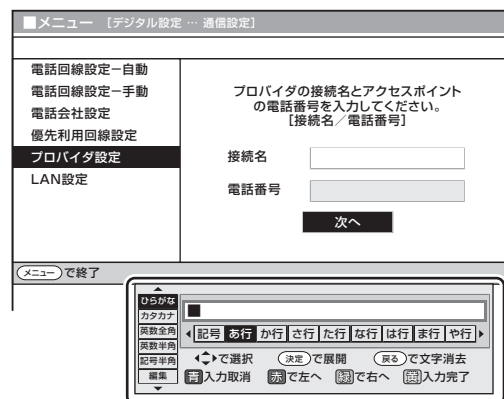
■ LAN設定を行ったあとで、メニュー画面から「デジタル設定」－「通信設定」－「LAN設定」を選び、設定の内容を変更・消去できます。

■ 変更するときは、「変更する」を選んだあと設定をやり直します。

■ 消去するときは、「初期化する」－「する」を選びます。

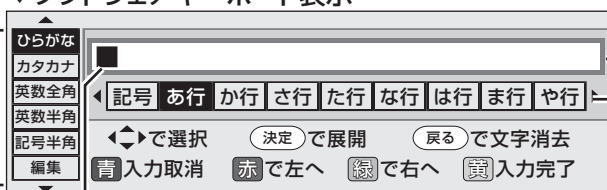
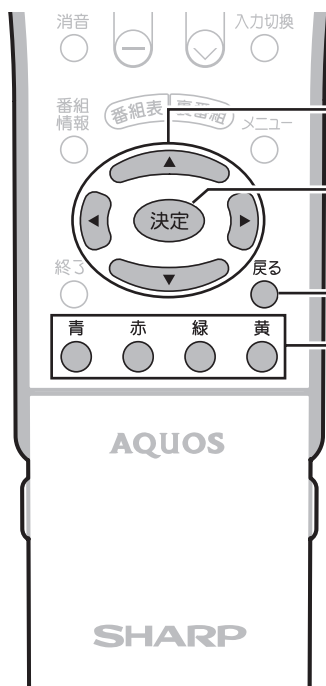
文字を入力する（ソフトウェアキーボード）

■ プロバイダ設定（**183**ページ）やLAN設定（**185**ページ）を行うときに文字入力の必要な欄で決定ボタンを押すと、画面にソフトウェアキーボード（文字入力画面）が表示されます。このソフトウェアキーボードを使って、各入力欄に必要な文字・数字・記号を入力します。

（画面例）

ソフトウェアキーボードは、入力表示を編集するとき（**135**ページ）にも使用します。

ソフトウェアキーボード（文字入力画面）の使いかた

■ ソフトウェアキーボードは、カーソルボタン、決定ボタン、戻るボタン、カラーボタン（青・赤・緑・黄）を使って操作します。

▼ソフトウェアキーボード表示

▼リモコン

ソフトウェアキーボード（文字入力画面）操作に使うリモコンボタン

カーソルボタン：入力文字（文字モード・文字グループ）の選択をします。

決定ボタン：選択した文字グループの展開、または選択した文字の入力を確定します。

戻るボタン：キーボード内入力欄の入力位置（カーソル）の文字を1文字消します。

カラーボタン青：入力を取り消します。現在の入力をすべて取り消し、キーボードが消えます。

カラーボタン赤：キーボード内入力欄のカーソルを左へ移動します。

カラーボタン緑：キーボード内入力欄のカーソルを右へ移動します。

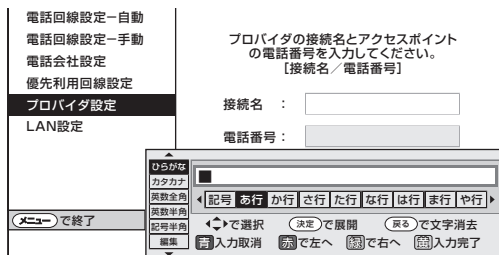
カラーボタン黄：キーボード内入力欄の入力を完了します。キーボードが消えます。

おしらせ

- 文字モードの「編集」内の各キーは、カラーボタン、戻るボタンの機能と同じです。

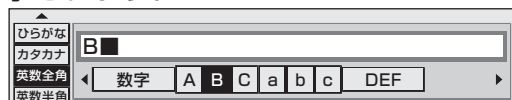
文字を入力する

［例］　プロバイダ設定画面で文字入力をする

1 **プロバイダ設定（183ページ）の入力欄で決定を押し、ソフトウェアキーボードを表示する**

2 ① **▲▼で、文字モードを選ぶ**
② **◀▶で文字グループを選び、決定を押す**

- 選んだ文字グループが展開されます。

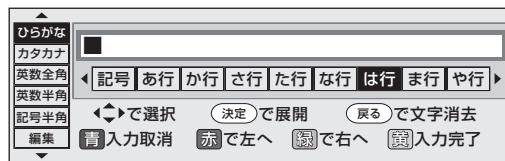
3 **◀▶で入力する文字を選び、決定を押す**

- キーボード内入力欄に決定した文字が表示されます。
- 続けて手順**2**〜**3**を行い、文字を入力します。

4 **黄を押し、入力を完了する**
- プロバイダ設定画面の入力欄に、完了した文字列が表示され、ソフトウェアキーボードが消えます。

- 入力中に文字を消去する場合は、カラーボタン赤（左へ）または緑（右へ）でカーソルを移動し、戻るボタンを押します。
- 入力をやめる場合は、カラーボタン青を押します。入力をすべて取り消し、ソフトウェアキーボードが消えます。

だく点「゛」や半だく点「゜」を付ける

［例］「び」を入力する

1 ① **▲▼で文字モード「ひらがな」を選ぶ**
② **◀▶で「は行」を選び、決定を押す**

2 **◀▶で「ひ」を選び、決定を押す**

3 **◀▶で「゛」を選び、決定を押す**

- 「゜」を選んで決定ボタンを押すと、「ぴ」になります。

スペースを入力する

1 **◀▶で文字グループから「空白」を選び、決定を押す**

- 文字モードにより、半角スペースと全角スペースがあります。

文字を入力する（ソフトウェアキーボード）（つづき）

入力文字の種類

入力文字一覧表

文字モード	文字グループ（展開表示）
ひらがな	記号 あ行 か行 さ行 た行 な行 は行 ま行 や行 ら行 わ行 空白

記号	ー、。・「」ー(全角ハイフン)	あ行	あいうえおぁぃぅぇぉ	か行	かきくけこ゛
さ行	さしすせそ゛	た行	たちつてとっ゛	な行	なにぬねの
は行	はひふへほ゛゜	ま行	まみむめも	や行	やゆよゃゅょ
ら行	らりるれろ	わ行	わをんゎ	空白	（全角スペース）

文字モード	文字グループ（展開表示）
カタカナ	記号 ア行 カ行 サ行 タ行 ナ行 ハ行 マ行 ヤ行 ラ行 ワ行 空白

記号	ー、。・「」ー(全角ハイフン)	ア行	アイウエオァィゥェォ	カ行	カキクケコ゛
サ行	サシスセソ゛	タ行	タチツテトッ゛	ナ行	ナニヌネノ
ハ行	ハヒフヘホ゛゜	マ行	マミムメモ	ヤ行	ヤユヨャュョ
ラ行	ラリルレロ	ワ行	ワヲンヮ	空白	（全角スペース）

文字モード	文字グループ（展開表示）
英数全角	数字 ABC DEF GHI JKL MNO PQRS TUV WXYZ 空白

数字	１２３４５６７８９０	ABC	ＡＢＣａｂｃ	DEF	ＤＥＦｄｅｆ
GHI	ＧＨＩｇｈｉ	JKL	ＪＫＬｊｋｌ	MNO	ＭＮＯｍｎｏ
PQRS	ＰＱＲＳｐｑｒｓ	TUV	ＴＵＶｔｕｖ	WXYZ	ＷＸＹＺｗｘｙｚ
空白	（全角スペース）				

文字モード	文字グループ（展開表示）
英数半角	数字 ABC DEF GHI JKL MNO PQRS TUV WXYZ 空白

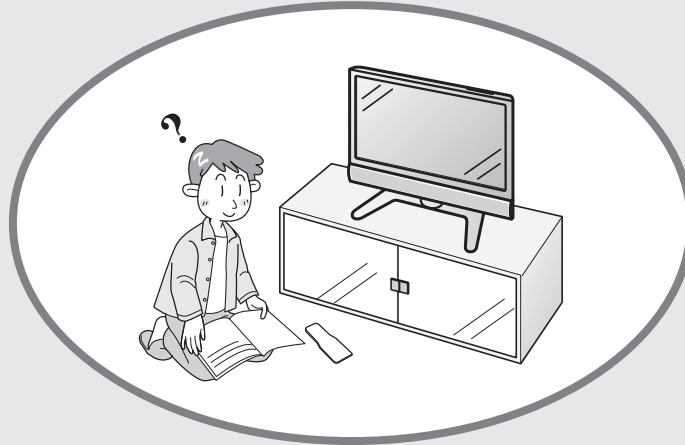
数字	1 2 3 4 5 6 7 8 9 0	ABC	A B C a b c	DEF	D E F d e f
GHI	G H I g h i	JKL	J K L j k l	MNO	M N O m n o
PQRS	P Q R S p q r s	TUV	T U V t u v	WXYZ	W X Y Z w x y z
空白	（半角スペース）				

<table>
<tr><th>文字モード</th><th>文字グループ（展開表示）</th></tr>
<tr><td>記号半角</td><td>@. , :　;_−¥　$%!?　&#+*　=/|‾　"'^`　( ) <>　[ ] { }　空白</td></tr>
</table>

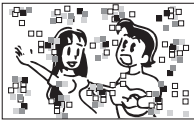
<table>
<tr><td>@ . , :</td><td>@ . , :</td><td>;_−¥</td><td>; _ − ¥</td><td>$%!?</td><td>$ % ! ?</td></tr>
<tr><td>&#+*</td><td>& # + *</td><td>=/|‾</td><td>= / | ‾</td><td>"'^`</td><td>" ' ^ `</td></tr>
<tr><td>( )<></td><td>( ) < ></td><td>[ ]{ }</td><td>[ ] { }</td><td>空白</td><td>（半角スペース）</td></tr>
</table>

文字モード	文字グループ（展開表示）
編集	入力取消 左へ 右へ 入力完了 文字消去

※入力文字ではありません。各キーを選び決定ボタンを押すと、カラーボタン、戻るボタンの操作と同じ働きをします。

情報ページ

ページ

故障かな？と思ったら 190
デジタル放送の注意文など 193
リセットボタンについて 195
　テレビリセットボタン 195
　デジタルリセットボタン 195
ダウンロードを行う 196
本機を譲渡・廃棄するときは 197
　個人情報の初期化について 197
メニュー項目一覧 198
保証とアフターサービス 201
お客様ご相談窓口のご案内 202
おもな仕様 203
寸法図 204
別売品について 205
用語の解説 206
索引 208

ページ

Part Names - Main Unit 210
Part Names - Remote Control Unit 212
　Basic operation for channel selection 213
　Inserting batteries in the remote control 214
Basic Operations 215
　Turning the power on 215
　Power on/off, channel selection, volume control 216
　On-screen displays, CATV, input selection, etc. 217
　Switching the Display Language to English 218
Enjoying Digital Broadcasts 219
　Selecting a digital program 219
　Factory preset digital channels 220
　Various services of digital broadcasting 221
本機で使用している特許など 222

故障かな？と思ったら

■ つぎのような場合は故障でないことがありますので、修理を依頼される前にもう一度お調べください。
なお、アフターサービスについては**201**ページをご覧ください。

	こんなときに	ここをお確かめください	ページ
全般	映像も音声も出ない	•電源プラグがコンセントから抜けていませんか。 •電源が「切」の状態になっていませんか。 •テレビ（地上アナログ放送、CATV）やデジタル放送を見たいのに、ビデオ入力などに切り換えられていませんか。	35 36 117
	リモコンが動作しない	•乾電池の極性（⊕、⊖）が逆になっていませんか。 •リモコンの乾電池が消耗していませんか。 •リモコンはリモコン受光部に向けてお使いください。	25
	映像は出るが音声が出ない	•音量調整が最小になっていませんか。 •「消音」状態になっていませんか。 •ヘッドホン端子にヘッドホンのプラグが差し込まれたままになっていませんか。 •入力4端子設定が「モニター出力（可変）」に設定されていませんか。「モニター出力（固定）」にしてください。 •D映像·S映像端子は映像用です。これらを使用するときは、音声端子も接続してください。	24 24 22 132 118
	音声は出るが映像が出ない	•映像オフが「する」になっていませんか。	168
	色がうすい 色あいが悪い	•色の濃さ、色あいは正しく調整されていますか。	167
	特定のチャンネルだけ映らない	•チャンネルの受信微調整がズレていませんか。	60·61
アンテナ	映像が出ず 雑音のみ出る	•アンテナ線が外れたり、ショートしたりしていませんか。 •アンテナ線は正しく接続されていますか。	32〜34
	画像にはん点が出る	•自動車、電車、ネオンなどからの雑音電波を受けていませんか。アンテナをできるだけ道路やネオンなどから離れた場所に立ててください。	–
	映像が二重になる （ゴースト）	•近くに山や大きな建物·樹木がある場合、それらの反射電波の影響も考えられます。 アンテナの向きや高さを変えてみてください。 •GR設定を行ってみてください。	– 84
	色じま模様が出る	•近所のテレビからの妨害電波を受けていませんか。アンテナの向きや高さを調整すれば、妨害をある程度少なくすることができます。	–
	雪が降っているような画面になる	•アンテナ線は正しく接続されていますか。 •屋外アンテナ線が切れたり、外れたりしていませんか。 •アンテナの向きが変わったり、アンテナがこわれたりしていませんか。	32〜34 – –

	こんなときに	ここをお確かめください	ページ
デジタル放送関係	映像も音声も出ない	・アンテナ電源が「切」になっていませんか。 ・映像、音声のない放送ではありませんか。 ・ビデオ入力などに切り換えられていませんか。 ・B-CASカードは正しく挿入されていますか。	72 － 117 64
	画面に四角のノイズ（モザイク）が出る	・アンテナの向きがズレていませんか。 ・アンテナレベル（信号強度）を確認してください。 ・アンテナの前方に障害物はありませんか。 ・アンテナおよびアンテナケーブルは専用のものを使用していますか。	－ 73 － 32〜34
	有料放送の視聴ができない	・B-CASカードは正しく挿入されていますか。 ・有料放送を視聴するための契約はしていますか。 ・電話回線の接続や設定は正しくされていますか。	64 41･43 74･76
	110度CSデジタル放送が受信できない	・アンテナおよびアンテナケーブルは専用のものを使用していますか。 ・ブースターや分配器等をご使用になっている場合は、110度CS帯域（2150MHz）まで対応した機器に交換する必要があります。	34
	地上デジタル放送が受信できない	・お住まいの地域で地上デジタル放送は開始されていますか。 ・地上デジタル放送の受信に必要なUHFアンテナが正しく設置されていますか。 ・アンテナ線は正しく接続されていますか。 ・お住まいの都道府県を地域選択で正しく設定していますか。 ・チャンネル設定は正しくされていますか。	－ 38 33 65 67
	画面にノイズが出る	・VHF/UHFのアンテナケーブルがBS･110度CSアンテナケーブルと接近していませんか。	－
	特定のチャンネルだけ映らない	・契約していない有料放送ではありませんか。 ・アンテナレベル（信号強度）を確認してください。	41･43 73
	電子番組表（EPG）が表示されない 電子番組表（EPG）に表示されない番組がある	・地上デジタル放送の場合、視聴していないチャンネルは、電子番組表に情報が表示されません。番組表取得設定を「する」に設定すると、リモコンで電源「切」（待機状態）にしたときに各放送チャンネルの番組表情報を取得します。 ・電源を「入」にした後、最初に番組表を表示するときは、番組表データの受信に時間がかかります。しばらくお待ちください。	94 －
	ビデオコントローラーでの録画予約ができない	・ビデオコントローラーは正しく接続されていますか。 ・ビデオ連動録画設定は正しく設定されていますか。	128 129
	番組の予約をしても受信できない	・契約していない有料放送、視聴年齢が制限されている番組などを予約していませんか。	－
その他	i.LINK接続されない	・接続先の機器の電源は入っていますか。 ・i.LINKケーブルが外れていませんか。 ・接続先はD-VHSビデオデッキ･AV-HDDレコーダー･Blu-ray Discレコーダー･HDV方式ハイビジョンビデオカメラですか。本機はD-VHSビデオデッキ･AV-HDDレコーダー･Blu-ray Discレコーダー･HDV方式ハイビジョンビデオカメラのみ接続が可能です。	－ 136 136

■ 停電時に設定保持している項目と設定解除される項目

・テレビにおける設定内容（メニュー内設定項目、音量など）は保持されます。
・番組予約（視聴予約／録画予約）が、予約動作開始時刻を経過しているときは消去されます。
・停電前が下記の状態のものは解除されます。
　･静止　･オフタイマー　･消音（消音ボタンによる）　･デジタル固定　･映像オフ　･2画面

次ページへつづく

温度上昇時のお知らせ表示について

表示内容：

・画面の右下に「モニター温度」の文字が点滅表示されます。さらに温度が上昇すると、自動的に電源待機状態になります。

処置のしかた：

・温度が上昇して電源待機状態になったときは、ふだんどおりリモコンなどで電源を入れなおすことができますが、温度が上昇した原因を取り除かないと、またすぐに電源待機状態になります。
・本機の設置状態や場所が、温度が上がりやすい状態にないかご確認ください。本機背面に空いている通風孔がふさがれていると、温度が上がりやすくなります。
・本機の内部や通風孔にホコリがたまっていると、内部の温度が上がりやすくなります。外部から取り除けるホコリはこまめに取り除いてください。内部のホコリの除去については、お買い上げの販売店にご相談ください。

正常に動作しないときは

本機はマイコンを使用した機器です。外部からの雑音や妨害ノイズにより正常に動作しないことがあります。こんなときは本体天面の電源（押・入-切）スイッチで電源を「切」にし、電源プラグをコンセントから抜いて1分間ほど放置した後、再度差し込み、動作を確認してください。

このようなときも故障ではありません

ときどき「ピシッ」と音がする

● 温度の変化により、キャビネットがわずかに伸縮する音です。
性能その他に影響はありません。

BS・110度CS共用アンテナへの積雪や豪雨などによる一時的な映像障害

● 衛星放送は雷雨や豪雨のような強い雨が降ったり、雪がアンテナに付着すると電波が弱くなり、一時的に画面や音声に雑音が出たり、ひどい場合にはまったく受信できなくなることがあります。これは気象条件によるもので、アンテナや本機の故障ではありません。
● 春分や秋分の前後20日程度は人工衛星が地球の陰（食）になるため、深夜一時的に電波が止まる場合があります。

デジタル放送の注意文など

■B-CASカードや放送の受信・視聴に関するエラーメッセージ

画面に表示されるエラーメッセージ例	エラーコード	対処のしかた	参照ページ
B-CASカードを正しく装着してください。		B-CASカードを正しく挿入してください。	64
このB-CASカードは使用できません。 ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください。	****	B-CASカードを抜き差ししてみてください。それでもエラーが表示される場合は、B-CASカスタマーセンターおよびご覧のチャンネルのカスタマーセンターまで連絡してください。	64
このカードは使用できません。 正しいB-CASカードを装着してください。	****	専用のB-CASカードを挿入してください。	64
このチャンネルは契約されていません。 ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください。	****	ご覧のチャンネルのカスタマーセンターまで連絡してください。	–
このB-CASカードには必要な情報が有りません。 ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください。	****	ご覧のチャンネルのカスタマーセンターまで連絡してください。	–
放送チャンネルではないため、視聴できません。	E200	このチャンネル(番組)は視聴できません。	–
天候の影響やアンテナの接続状況などにより、受信状態が悪くなっています。	E201	天気の回復をお待ちください。	–
アンテナ信号レベルが強すぎて、受信状態が悪くなっています。信号レベルを調整してください。	E201	アンテナ信号が強すぎるため、受信障害が発生しています。ブースターの調整や減衰器の挿入が必要です。販売店などにご相談ください。	–
アンテナ信号レベルが強すぎて放送が受信できません。信号レベルを調整してください。	E202	アンテナ信号が強すぎるため、受信障害が発生しています。ブースターの調整や減衰器の挿入が必要です。販売店などにご相談ください。	–
放送が受信できません。アンテナの接続状況や調整をご確認ください。	E202	アンテナ線を確認してください。 アンテナの設定が合っているか確かめてください。	32·34 72
現在放送されていません。番組表などで放送時間を確認してください。	E203	番組表などで放送時間を確かめてください。	–
○○○チャンネルが見つかりません。 番組表などでチャンネルを確認してください。	E204	番組表などでチャンネルを確かめてください。	–
アンテナ線がショートしているか、接続状況や設定に不具合があります。本体の電源を切ってから、アンテナとの接続を確認してください。	E209	本体の電源を切り、アンテナとの接続を確認してから電源を入れなおしてください。	32·34
○○○チャンネルのサービスは、この受信機では受信できません。	E210	選局されたチャンネルとは別のチャンネルを選局してください。	–
契約期限が切れています。ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください。	****	ご覧のチャンネルのカスタマーセンターまで連絡してください。	–
このチャンネルは視聴条件により、ご覧いただけません。ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください。	****	ご覧のチャンネルのカスタマーセンターまで連絡してください。	–
受け付け時間を過ぎていますので購入できません。	****	番組の冒頭の限られた時間しか購入できない番組もあります。	–
電話回線を接続の上、ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください。	****	電話回線の接続を確認のうえ、B-CASカードを抜き差ししてください。 ご覧のチャンネルのカスタマーセンターまで連絡してください。	64·74
データの通信に失敗しました。	E301	電話回線の接続を確認して、メニューの通信設定を正しく行ってください。	74·76
データが受信できません。	E400	現在ご覧のチャンネルとは別のチャンネルをいったん選局した後、エラーが起こったデータ放送チャンネルを再度選局してください。	–
対象地域外のため、データを表示できません。	E401	現在ご覧のデータ放送チャンネルを終了し、別のチャンネルを選局してください。	–
この受信機では、データを表示できません。	E401	現在ご覧のデータ放送チャンネルを終了し、別のチャンネルを選局してください。	–
データの表示に失敗しました。	E402	現在ご覧のチャンネルとは別のチャンネルをいったん選局した後、エラーが起こったデータ放送チャンネルを再度選局してください。	–

次ページへつづく

デジタル放送の注意文など（つづき）

■i.LINKに関する注意文

注意文	内容・対処のしかた
現在選択している機器では正常に録画／再生できない可能性があります。	本機が対応していない機器、あるいはDTLAのコピー・プロテクション技術を搭載していない機器を選択したときに表示されます。
i.LINK機器の接続が不正か、接続異常が発生しています。取扱説明書をお読みのうえ、接続しなおしてください。	i.LINKケーブルによる接続が異常なときに表示されます。**137**ページの「接続に関するご注意」をお読みのうえ、接続しなおしてください。
現在選択している機器は“録画／再生”できない状態です。他の機器から使用中でないか確認してください。	選択している機器が、すでに他の機器から使用されているときに表示されます。本機から使用するためには、他の機器を操作する必要があります。

■双方向通信に関するエラーメッセージ

画面に表示されるエラーメッセージ例	エラーコード	対処のしかた	参照ページ
番組で指定されたプロバイダへの接続に失敗しました。[C104]	C104	電話回線の接続を確認の上、「電話回線設定」の内容をご確認ください。	74･76
番組で指定されたプロバイダへの接続に失敗しました。[C105]	C105	電話回線の接続を確認の上、「電話回線設定」の内容をご確認ください。	74･76
番組で指定された情報センター※1への接続に失敗しました。[C006]	C006	電話回線の接続を確認の上、「電話回線設定」の内容をご確認ください。	74･76
アクセスできませんでした。[C204]	C204	ご覧のチャンネルのカスタマーセンターまで連絡してください。	–
サーバー証明書※2が不正のため、アクセスを中断します。[C208]	C208	ご覧のチャンネルのカスタマーセンターまで連絡してください。	–
サーバー証明書※2に問題があり、アクセスを中断します。[C209]	C209	ご覧のチャンネルのカスタマーセンターまで連絡してください。	–
双方向サービスを利用するには、双方向サービス設定で電話回線への接続を「禁止しない」を設定してください。	****	双方向サービス設定の電話回線への接続で「禁止しない」を選択してください。	183
登録してあるプロバイダへの接続に失敗しました。プロバイダ設定や電話回線設定を確認してください。	****	プロバイダ設定や電話回線設定を確認してください。	76・183
まだルート証明書※3を受信していません。セキュリティの保障ができないため、アクセスしないことをお勧めします。アクセスしますか？	****	アクセスしないことをお勧めします。	–
サーバー証明書※2の信頼性が確認できません。セキュリティの保障ができないため、アクセスしないことをお勧めします。アクセスしますか？	****	アクセスしないことをお勧めします。	–
まだ新しいルート証明書※3を受信していません。セキュリティの保障ができないため、アクセスしないことをお勧めします。アクセスしますか？	****	アクセスしないことをお勧めします。	–

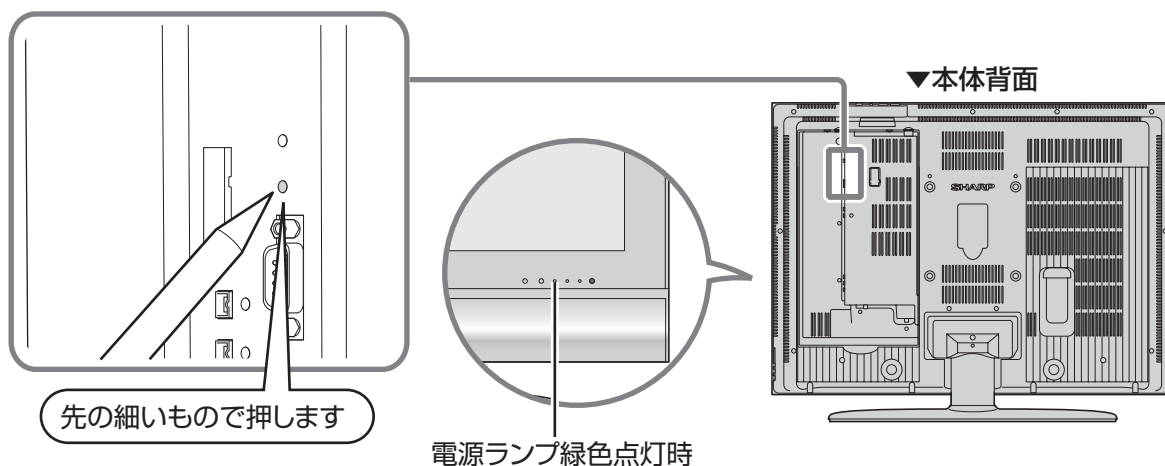
※1 情報センター…… 双方向通信において、お客さまからのデータを受けとるセンター。
※2 サーバー証明書… 暗号化通信に使われる暗号鍵。Webサーバーに保存される。有効期限が記述されており、この期間を過ぎると使用できない。
※3 ルート証明書…… 暗号化通信に使われる復号鍵。放送波で伝送され、受信機に保存される。有効期限が記述されており、この期間を過ぎると使用できない。

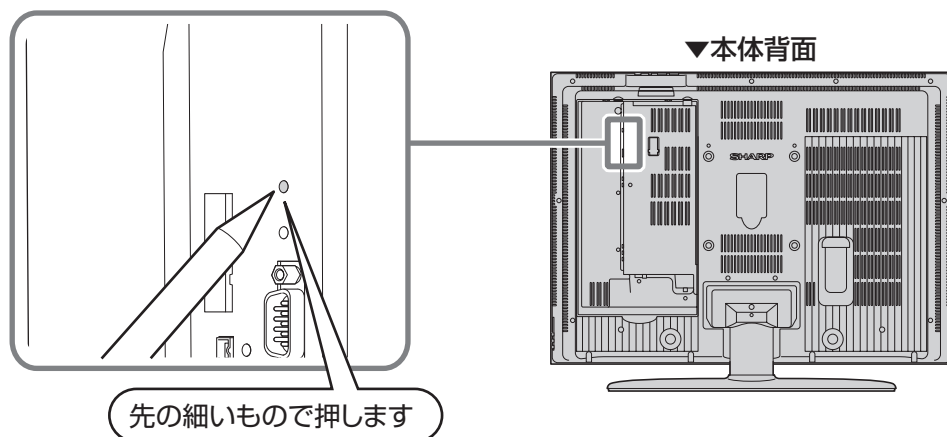
リセットボタンについて

テレビリセットボタン

■ 複雑な操作などをしてふだん使っている状態に戻せなくなったりした場合などには、チャンネル設定とメニューのデジタル関連の設定項目以外を、工場出荷時の状態に戻すことができます。
■ 本機が動作している状態のとき（電源ランプが緑色点灯中）に本体背面のテレビリセットボタンを1秒以上押しつづけてください。画面が数秒間消えた後、地上アナログ放送の1チャンネルになります。
※以下の項目を工場出荷状態に戻すことができます。

- ·静止画
- ·番組表／裏番組表
- ·位置調整（テレビモードのみ）
- ·音量（テレビモードのみ）
- ·音声選択
- ·映像反転
- ·映像オフ
- ·入力4端子設定
- ·画面サイズ（テレビモードのみ）
- ·デジタル固定

- AVポジションは「ダイナミック(固定)」になります。
- チャンネル設定の内容は変更されません。

デジタルリセットボタン

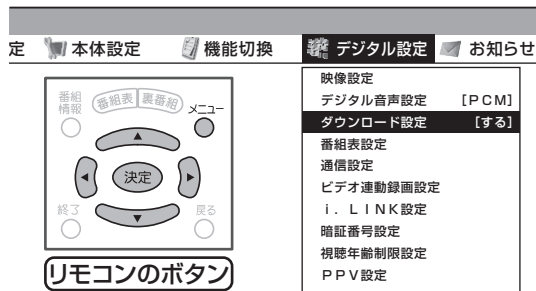
■ 本機を使用中に、強い外来ノイズ（過大な静電気、または落雷による電源電圧の異常など）を受けた場合や誤った操作をした場合など、操作を受けつけなくなるなどの異常が発生することがあります。このようなときは、本体背面のデジタルリセットボタンを押してから操作をやりなおしてください。

おしらせ
- リセット直後はデータ取込みのため、画面表示には多少時間がかかります。

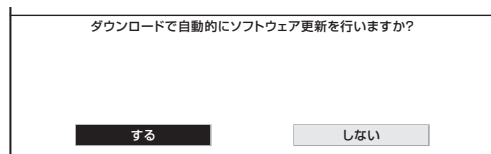
ダウンロードを行う

■ ダウンロード機能とは、本機内のソフトウェアを書き換えて、機能アップや機能改善等を行うためのもので、その方法には2種類あります。
1つは自動的にダウンロードを行う方法で、もう1つはお客様が必要に応じ、マニュアル選択によりダウンロードすることができる方法です。
なお、お買い上げ時は利便性を考えてダウンロードの選択は「自動」に設定されています。

ダウンロードの可能な環境について

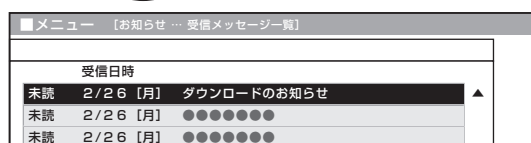
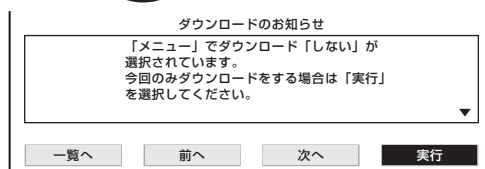
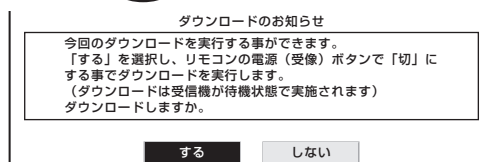
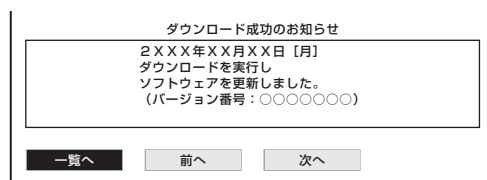
- ダウンロードはBSデジタル放送および地上デジタル放送で実施されます。デジタル放送を直接受信できない環境ではダウンロードできません。
  ケーブルテレビのセットトップボックスを利用してデジタル放送を受信している場合もダウンロードできません。

1 メニュー画面から「デジタル設定」ー「ダウンロード設定」を選び、決定を押す

2 ◀▶で「する」または「しない」を選び、決定を押す

「する」……自動ダウンロードでソフトウェアの更新を行います。（工場出荷時の設定）
「しない」…ソフトウェアの自動ダウンロードを行いません。

手動でダウンロードを行うとき

- 自動ダウンロードを「しない」に設定した場合、手動でダウンロードを行うことができます。

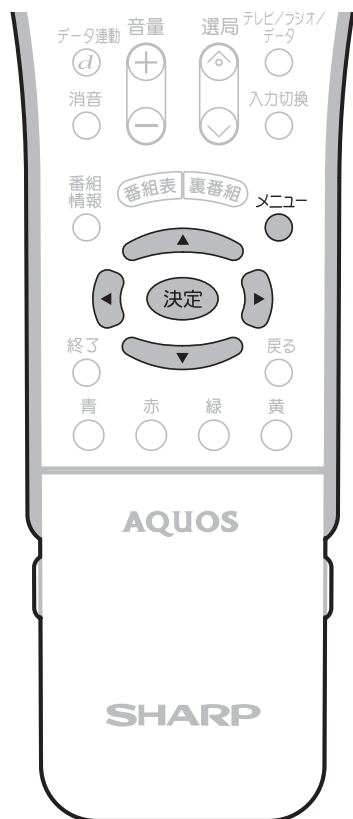
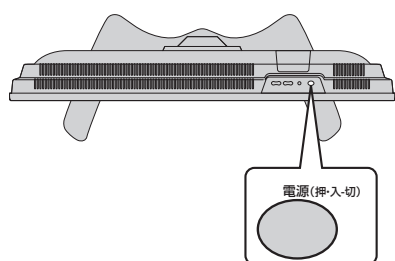
① メニュー画面から「お知らせ」ー「受信メッセージ一覧」を選び、決定を押す

② ▲▼で「ダウンロードのお知らせ」を選び、決定を押す

③ 画面の表示内容を確認してから、◀▶で「実行」を選び、決定を押す

④ 画面の表示内容を確認してから、◀▶で「する」を選び、決定を押す

- ダウンロードが成功すると、「お知らせ」の「受信メッセージ一覧」の中に、ダウンロードが成功した旨のメッセージが書き込まれます。
- お知らせを見る場合は、**182**ページ「お知らせを見る」の操作を行ってください。

- ソフトウェアの受信（ダウンロード）には、数分程度の時間がかかります。その間は、デジタルリセットボタンの操作、電源プラグの抜き差しを行わないでください。ダウンロードが失敗する場合があります。
- ダウンロードによって、設定内容が工場出荷時の状態に戻ることがあります。その場合は、設定しなおしてください。
- ダウンロードによって、予約の情報がなくなる場合があります。そのときは、再度、予約設定を行ってください。
- **ダウンロードは、本機の電源が待機状態（電源ランプが赤色点灯）のときに実行されます。リモコンの電源ボタン等で、電源待機状態にしてください。**

本機を譲渡・廃棄するときは

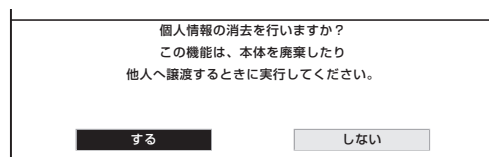
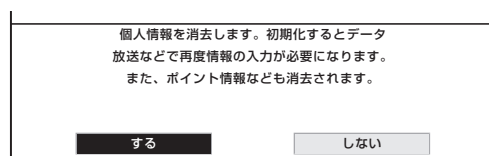
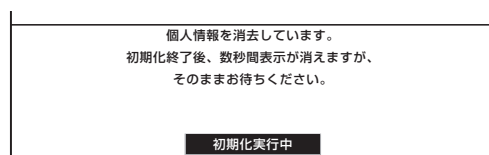
個人情報の初期化について

■本機には、放送局とデータの送受信を行うために入力した、お客さまの個人情報があります。
本機を他人に譲渡したり、廃棄したりする際には、個人情報の初期化を行い情報を消去してください。

● お客さまが設定した情報内容(暗証番号など)がすべて初期化されます。

▼本体天面

データ放送の双方向サービスなどで本機に記憶されたお客さまの登録情報やポイント情報などの一部、またはすべての情報が変化・消失した場合の損害や不利益について、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

- 液晶カラーテレビは、「家電リサイクル法(特定家庭用機器再商品化法)」の対象外商品です。(2006年3月現在)
  廃棄時の分別／収集方法については、お住まいの地方自治体にお問い合わせください。

1 メニュー画面から「本体設定」ー「個人情報初期化」を選び、決定を押す

2 ◀▶で「する」を選び、決定を押す

3 ◀▶で「する」を選び、決定を押す

- 表示が「初期化実行中」(点滅)に変わります。
  初期化には、しばらく時間がかかります。

- 初期化が終了すると、画面が数秒間消え、メニューが解除されます。

4 本体天面操作部の 電源(押・入-切) を押し、電源を切る

メニュー項目一覧

映像調整※1 ※2
明るさセンサー
切、入、入:表示あり
明るさ
−16〜標準〜+16
映像
0〜+40
黒レベル
−30〜0〜+30
色の濃さ
−30〜0〜+30
色あい ※3
−30〜0〜+30
画質
−10〜0〜+10
プロ設定
リセット
する、しない
カラーマネージメント―色相
カラーマネージメント―彩度
カラーマネージメント―明度
色温度
高、高−中、中、中−低、低
アンベールコントロール
0〜+15
アクティブコントラスト
する、しない
I／P設定
動画より、静止画より
フィルムモード※4
する、しない
3次元設定
標準、動画より、静止画より
モノクロ
する、しない
明るさセンサー設定
最大値設定:−16〜0〜+16、最小値設定:−16〜0〜+16
R
−30〜0〜+30
Y
−30〜0〜+30
G
−30〜0〜+30
C
−30〜0〜+30
B
−30〜0〜+30
M
−30〜0〜+30
リセット
音声調整※1
高音
−15〜0〜+15
低音
−15〜0〜+15
バランス
左30〜中央〜右30
サラウンド
切、入
リセット
する、しない
省エネ設定
無信号オフ
する、しない
無操作オフ
する、しない
本体設定
地域設定 ※5
チャンネル設定 ※5
アンテナ設定 ※5
入力スキップ設定
入力表示選択 ※6 ※7
位置調整
オートワイド※8
映像反転
クイック起動設定
Language（言語設定）
個人情報初期化
地域選択
地域／都道府県選択画面
郵便番号設定
郵便番号設定画面
地上アナログ
地上デジタル
BSデジタル
CSデジタル
自動
する、しない
追加
する、しない
地域番号
する、しない
個別
する、しない
自動
する、しない
追加
する、しない
個別
電源・受信強度表示
電源連動、入、切
周波数設定
周波数設定画面
信号テスト−地上D
地上デジタル信号テスト画面
信号テスト−BS
BS衛星信号テスト画面
信号テスト−CS
CS衛星信号テスト画面
入力5（HDMI）
する、しない
入力6（DVI）
する、しない
※7 入力1、入力2、入力3、入力4、ビデオ1、ビデオ2、ビデオ3、ビデオ4、
ビデオ、コンポーネント1、コンポーネント2、コンポーネント、D端子1、D端子2、D端子、CATV、CS、
DVD、ゲーム、ムービー、D-VHS、HDD、DVR、BD、ユーザー設定
水平位置
−10〜0〜+10
垂直位置
−20〜0〜+20
リセット
映像判別
する、しない
S2対応 ※9
する、しない
D端子識別 ※10
する、しない
しない、左右反転、上下反転、上下左右
しない、する（常に有効）、する（2時間のみ有効）
日本語、English
する、しない
機能切換
映像オフ
する、しない
3次元ノイズリダクション ※11
しない、強、弱
モスキートノイズリダクション ※11
しない、強、弱
入力選択 ※7
自動、D端子、S端子、ビデオ映像
入力4端子設定
録画出力、モニター出力（固定）、モニター出力（可変）、入力
QS駆動
する、しない
デジタル固定 ※5
する、しない
字幕表示設定 ※5
する、しない
番組名表示設定 ※5
する、しない

デジタル設定

- 映像設定 ※5
  - 画面サイズ設定：オート、フル固定
  - 録画画面サイズ設定：レターボックス、スクイーズ
  - モニター出力表示設定：する、しない
- デジタル音声設定 ※5：PCM、AAC
- ダウンロード設定 ※5：する、しない
- 番組表設定 ※5
  - 番組表取得設定：する、しない
  - 表示範囲設定：拡大、広角
  - ジャンルアイコン設定：標準、薄く、注目
- 通信設定 ※5
  - 電話回線設定ー自動
  - 電話回線設定ー手動
    - 電話回線種別：20pps、10pps、トーン
    - 外線発信番号：なし、あり
    - ダイヤルトーン検出：する、しない
  - 電話会社設定
    - 発信者番号通知：設定しない、186、184
    - 事業者番号
    - 解除番号設定：する、しない
  - 優先利用回線設定
    - 電話回線、LAN接続
  - プロバイダ設定
    - 接続名(ISP名)
    - 電話番号（アクセスポイント）
    - ユーザー名
    - パスワード
    - DNS(自動設定、プライマリ、セカンダリ)
    - ヘッダ圧縮、ソフトウェア圧縮
    - 無通信切断タイマー
  - LAN設定
    - IPアドレス設定
    - DNSアドレス設定
    - プロキシサーバー設定
    - 詳細設定
- ビデオ連動録画設定 ※5
  - ビデオ連動録画設定画面
- i.LINK設定
  - i.LINK自動切換：する、しない
  - 録画モード設定：する、しない
  - 電源待機設定：する、しない
- 暗証番号設定 ※5
  - 暗証番号設定画面
- 視聴年齢制限設定 ※5
  - 無制限、XX〜YY歳以下
- PPV設定 ※5
  - PPV 制限：する、しない
  - 購入金額制限：無制限、XX円以下
- 双方向サービス設定 ※5
  - 電話回線を禁止する、電話回線とLAN接続を禁止する、禁止しない
- システム動作テスト ※5
  - システム動作テスト画面

お知らせ

- 受信メッセージ一覧 → 受信メッセージ一覧画面
- ボード → ボード画面
- 受信機レポート → 受信機レポート画面
- B-CASカード番号表示 → B-CASカード番号表示画面
- PPV購入履歴 → PPV購入履歴表示画面

※1　AVポジションごとに設定できます。また、AVポジションごとに工場出荷時の設定が異なります。
※2　AVポジションが「ダイナミック（固定）」になっているときは設定できません。
※3　「プロ設定」の「モノクロ」が「する」に設定されているときは選択できません。
※4　PC入力時およびプログレッシブ信号入力時には選択できません。
※5　テレビ視聴時のみ表示されます。
※6　入力1〜6選択時のみ表示され、それぞれで設定できます。
※7　現在選択されている入力により、表示項目が異なります。
※8　デジタル放送視聴時には選択できません。
※9　入力3･4選択時のみ表示されます。
※10 入力1･2選択時のみ表示されます。
※11 各入力系統で設定できます。

- 条件によりメニュー項目に⃠マークがつき、灰色で表示される場合がありますが、その項目は選択することができません。

次ページへつづく

入力5または入力6選択時のメニュー項目一覧

映像調整※1 ※2

項目	設定
明るさセンサー	切、入、入:表示あり
明るさ	−16〜標準〜+16
映像	0〜+40
黒レベル	−30〜0〜+30
色の濃さ	−30〜0〜+30
色あい ※3	−30〜0〜+30
画質	−10〜0〜+10
プロ設定	→ 下表
リセット	する、しない

プロ設定

項目	設定
カラーマネージメント−色相	→ 下表
カラーマネージメント−彩度	→ 下表
カラーマネージメント−明度	→ 下表
色温度	高、高−中、中、中−低、低
アンベールコントロール	0〜+15
アクティブコントラスト	する、しない
I/P設定	動画より、静止画より
フィルムモード ※4	する、しない
モノクロ	する、しない
明るさセンサー設定	最大値設定:−16〜0〜+16、最小値設定:−16〜0〜+16

カラーマネージメント(色相/彩度/明度)

項目	設定
R	−30〜0〜+30
Y	−30〜0〜+30
G	−30〜0〜+30
C	−30〜0〜+30
B	−30〜0〜+30
M	−30〜0〜+30
リセット	

音声調整※1

項目	設定
高音	−15〜0〜+15
低音	−15〜0〜+15
バランス	左30〜中央〜右30
サラウンド	切、入
リセット	する、しない

省エネ設定

項目	設定
無信号オフ ※5	する、しない
パワーマネージメント ※6	しない、モード1、モード2
無操作オフ	する、しない

本体設定

項目	設定
入力スキップ設定	入力5(HDMI):する、しない 入力6(DVI):する、しない
入力解像度 ※6	※7 1024×768、1280×768、1360×768
自動同期調整 ※6	する、しない
入力表示選択	入力5、入力6、ビデオ5、ビデオ6、ビデオ、HDMI、DVI-I、DVD、DVR、HDD、BD、PC、ユーザー設定
位置調整 ※5	水平位置:−10〜0〜+10 垂直位置:−20〜0〜+20 リセット
画面調整 ※6	水平位置:0〜180 垂直位置:0〜100 クロック周波数 ※8:0〜180 クロック位相 ※8:0〜40 リセット
オートワイド ※5	映像判別:する、しない HDMI識別:する、しない
映像反転	しない、左右反転、上下反転、上下左右
クイック起動設定	しない、する(常に有効)、する(2時間のみ有効)
Language(言語設定)	日本語、English
個人情報初期化	する、しない

機能切換

項目	設定
映像オフ	する、しない
3次元ノイズリダクション	しない、強、弱
モスキートノイズリダクション	しない、強、弱
HDMI動作切換 ※5	信号種類:RGB、YCbCr 4:4:4、YCbCr 4:2:2
入力選択 ※6	自動、デジタル、アナログ
入力4端子設定	録画出力、モニター出力(固定)、モニター出力(可変)、入力
QS駆動	する、しない

デジタル設定

項目	設定
i.LINK設定	i.LINK自動切換:する、しない

お知らせ

項目	設定
受信メッセージ一覧	受信メッセージ一覧画面
ボード	ボード画面
受信機レポート	受信機レポート画面
B-CASカード番号表示	B-CASカード番号表示画面
PPV購入履歴	PPV購入履歴表示画面

※1 AVポジションごとに設定できます。また、AVポジションごとに工場出荷時の設定が異なります。
※2 AVポジションが「ダイナミック(固定)」になっているときは、選択できません。
※3 「プロ設定」の「モノクロ」が「する」に設定されているときは選択できません。
※4 PC入力時およびプログレッシブ信号入力時には選択できません。
※5 入力5選択時のみ表示されます。
※6 入力6選択時のみ表示されます。
※7 入力信号の種類により、表示項目が異なります。
※8 PCをアナログ接続しているときのみ表示されます。

- 条件によりメニュー項目に⃠マークがつき、灰色で表示される場合がありますが、その項目は選択することができません。

保証とアフターサービス よくお読みください

保証書(別添)

■ 保証書は、「お買いあげ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取ってください。
保証書は内容をよくお読みの後、大切に保存してください。

■ **保証期間**
お買いあげの日から1年間です。
保証期間中でも、有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。
※本機を分解すると、保証が無効になります。

ご不明な点や修理に関するご相談は

■ 修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買いあげの販売店、またはシャープお客様ご相談窓口にお問い合わせください。

補修用性能部品の保有期間

■ 当社は、液晶カラーテレビの補修用性能部品を、製品の製造打切後、8年保有しています。
■ 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるときは 出張修理

■「故障かな？と思ったら」(**190**ページ)を調べてください。それでも異常があるときは、使用をやめて、必ず電源プラグを抜いてから、お買いあげの販売店にご連絡ください。

ご連絡していただきたい内容

- 品　　名：液晶カラーテレビ
- 形　　名：LD-37SP1
- お買いあげ日(年月日)
- 故障の状況(できるだけくわしく)
- ご　住　所(付近の目印も合わせてお知らせください)
- お　名　前
- 電話番号
- ご訪問希望日

便利メモ

お客様へ…
お買いあげ日・販売店名を記入されると便利です。

お買いあげ日	販売店名
年　月　日	電話(　　)　　—

保証期間中

修理に際しましては保証書をご提示ください。保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

修理料金のしくみ

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。
出張料	製品のある場所へ技術者を派遣する場合の料金です。

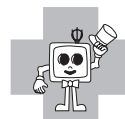
愛情点検

●長年ご使用のテレビの点検をぜひ！ (熱、湿気、ホコリなどの影響や、使用の度合により部品が劣化し、故障したり、時には安全性を損なって事故につながることもあります。)

このような症状はありませんか	●電源スイッチを入れても映像や音が出ない。 ●上下、または左右の映像が欠けて映る。 ●映像が時々、消えることがある。 ●変なにおいがしたり、煙が出たりする。 ●電源スイッチを切っても、映像や音が消えない。 ●内部に水や異物が入った。

▶

ご使用中止	故障や事故防止のため、スイッチを切りコンセントから電源プラグをはずして、必ず販売店にご相談ください。

ちょっとした心づかいでテレビの安全

お客様ご相談窓口のご案内

修理・お取扱い・お手入れについてのご相談ならびにご依頼は、お買いあげの販売店へご連絡ください。

転居や贈答品などで、保証書記載の販売店にご相談できない場合は、下記窓口にご相談ください。

● 製品の故障や部品のご購入に関するご相談は .... 修理相談窓口 へ

● 製品のお取扱い方法、その他ご不明な点は .... お客様サポートセンター へ

● 電話番号が変更になることがありますので、その節はご容赦願います。

修 理 相 談 窓 口

■受付時間　＊月曜～土曜：午前９時～午後８時　＊日曜・祝日：午前９時～午後６時　（年末年始を除く）

0570 - 01 - 4649 （ナビダイヤル）

当ダイヤルは、全国どこからでも一律料金でご利用いただけます。

（注）ナビダイヤルサービスをご利用いただけない場合、および FAX を送信される場合は、下記の番号をご利用ください。

	<東日本地区>	<西日本地区>
（ 一 般 電 話 ）	043 - 351 - 1831	06 - 6792 - 5613
（ F A X ）	043 - 299 - 3865	06 - 6792 - 3221

お 客 様 サ ポ ー ト セ ン タ ー

■受付時間　＊ 月曜～金曜：午前９時～午後９時　＊ 土曜・日曜・祝日：午前９時～午後６時
（年末年始は、受付時間が異なる場合があります）

0120 - 572 - 539 （フリーダイヤル）

＊このフリーダイヤルは携帯電話、PHS からもご利用いただけます。

■本機を PC-AX100M/PC-AX50M と接続してご使用になる場合のサポート内容の詳細については、PC-AX100M/PC-AX50M に付属の冊子「サポートのご案内」をご覧ください。

おもな仕様

品名		液晶カラーテレビ
形名		LD-37SP1
液晶パネル	画面サイズ	37V型 (横820mm×縦461mm／対角940mm)
	駆動方式	TFT(薄膜トランジスタ)アクティブマトリクス駆動方式
	画素数	1,366(水平)×768(垂直)画素
アンテナ入力		VHF/UHF 75Ω不平衡型、BS-IF 75Ω不平衡型、地上デジタル75Ω不平衡型
スピーカー		6.5cm 丸形 4個、2.5cm 丸形 2個
音声実用最大出力(JEITA)		総合20W (10W＋10W)
使用電源		AC100V･50/60Hz
消費電力		198W(待機時電力:0.08W、クイック起動「する」時電力:49W)
接続端子		ビデオ入力4系統4端子(入力4はモニター出力／録画出力兼用)、 S2映像入力2系統2端子、D4映像入力2系統2端子、HDMI端子、 モニター出力1系統1端子(入力4／録画出力兼用･S2映像付き)、DVI-I端子(音声入力端子付き)、 デジタル音声出力(光)1系統1端子、アンテナ(VHF･UHF)入力･出力端子、 ヘッドホン接続端子、AC入力端子、コントロール(RS-232C)端子 i.LINK(TS)2端子、録画出力1系統1端子(入力4／モニター出力兼用･S2映像付き)、 電話回線端子、LAN端子(10BASE-T/100BASE-TX)、ビデオコントロール端子、 アンテナ入力(BS･110度CS)端子、アンテナ入力(地上デジタル)端子
受信チャンネル		地上アナログVHF1～12ch･UHF13～62ch、CATV13～63ch、 BSデジタル000～999ch、110度CSデジタル000～999ch、 地上デジタル000～999ch (CATVパススルー対応)
BS･110度CS チャンネル受信仕様	変調	時分割多重mPSK
	トランスポート	MPEG2 システム
	映像	MPEG2 (MP@HL)
	音声	MPEG2 AAC
	限定受信システム	ARIB CASシステム
	受信周波数帯域	11.71GHz～12.75GHz
	IRD受信周波数帯域	1032MHz～2071MHz
地上デジタル チャンネル受信仕様	変調	直交周波数分割多重(OFDM)
	トランスポート	MPEG2 システム
	映像	MPEG2 (MP@HL)
	音声	MPEG2 AAC
	限定受信システム	ARIB CASシステム
	受信周波数帯域	93MHz～767MHz
	CATVパススルー対応	UHF帯、ミッドバンド(MID)帯、スーパーハイバンド(SHB)帯、VHF帯
キャビネット		プラスチック
外形寸法	ディスプレイ部のみ	幅932×奥行120×高さ656(mm)
	スタンド装着時	幅932×奥行306×高さ719(mm)
本体質量	ディスプレイ部のみ	約23.5kg
	スタンド装着時	約27.5kg
使用温度		0℃～40℃

■ 製品改良のため仕様の一部を予告なく変更することがあります。

■ 液晶パネルは非常に精密度の高い技術でつくられており、99.99%以上の有効画素があります。0.01%以下の画素欠けや常時点灯するものがありますが故障ではありません。

■ JIS C 61000-3-2適合品
JIS C 61000-3-2適合品とは、日本工業規格「電磁両立性-第3-2部:限度値－高調波電流発生限度値(1相当たりの入力電流が20A以下の機器)」に基づき、商用電力系統の高調波環境目標レベルに適合して設計･製造した部品です。

■ 電波障害に関するご注意

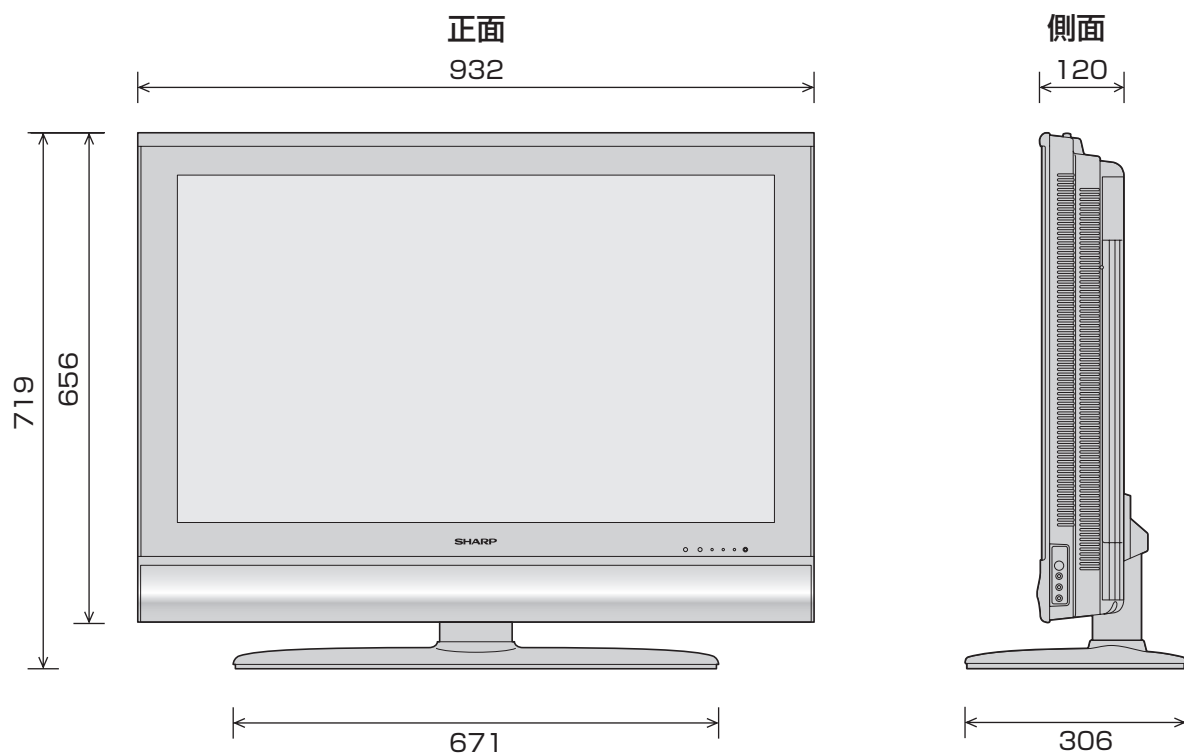
この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

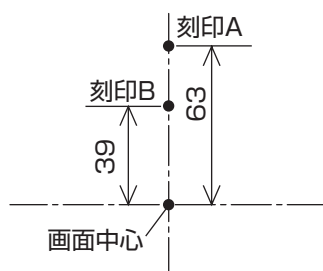
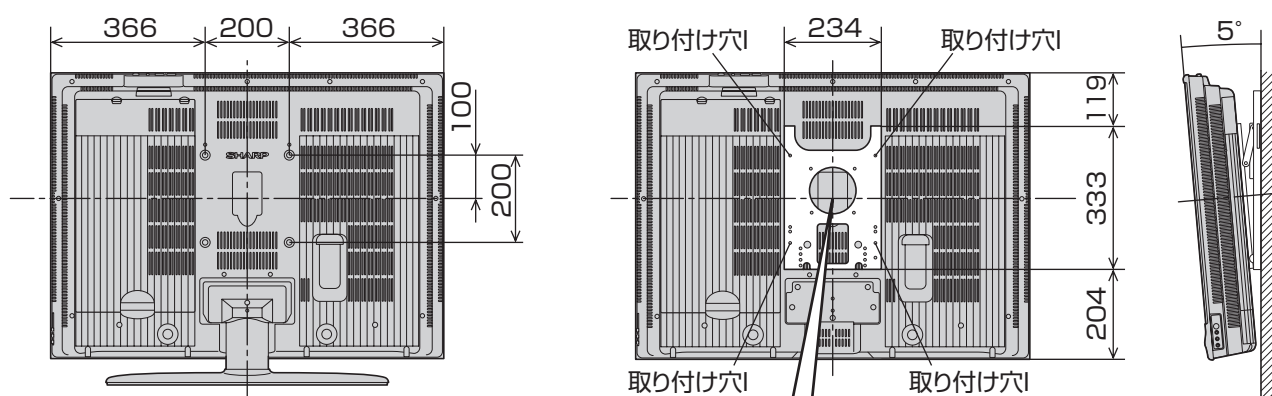
正しい取り扱いをしても、電波の状況によりラジオや他のテレビジョン受信機の受信に影響を及ぼすことがあります。そのようなときは、次の点にご注意ください。

- この製品をラジオ、テレビジョン受信機から十分に離してください。
- この製品とラジオ、テレビジョン受信機を別のコンセントに接続してください。

なお、詳しくは、お買いあげの販売店、またはお客様ご相談窓口にご相談ください。

寸法図

（単位：mm）

壁掛け金具取り付け時

（単位:mm）

・AN-37AG2壁掛け金具のディスプレイ画面中心位置を示す刻印と画面中心位置の関係は、刻印Aから63mm下、刻印Bから39mm下が画面中心です。

別売品について

■ 液晶カラーテレビ専用の別売品をとりそろえております。お近くの販売店でお買い求めください。

（2006年3月現在）

No.	品　名	機種名
1	壁掛け金具	AN-37AG2
2	アンテナ整合器	AN-300RF
3	アンテナ延長ケーブル	AN-C10RF
4	システムラック	AN-37SR5
5	フロアーラック	AN-45FR1

- 本機に適合する別売品が、新しく追加発売になることがありますので、ご購入の際には、最新のカタログで適合性や在庫の有無をご確認ください。
- 別売品についてのお問い合わせ先は、**202**ページのお客様ご相談窓口のご案内をご覧ください。

用語の解説（よく使われるテレビ用語です）

■ 110度CSデジタル放送
BSデジタル放送の放送衛星（BS）と同じ東経110度に打ち上げられた通信衛星（CS）を利用した新しいデジタル放送です。細かいジャンルに特化した多数の専門チャンネルの中から見たいチャンネルを購入して視聴する仕組みになっています。一部、無料放送もあります。

■ 16:9
デジタルハイビジョン放送の画面縦横比です。従来の4:3映像に比べ、視界の広い臨場感のある映像が楽しめます。

■ 525i
走査線525本、インターレース方式。地上アナログ放送（VHF/UHF）やBSアナログ放送と同等の画質です。

■ 525p
走査線525本、プログレッシブ方式。デジタルハイビジョンに近い画質です。

■ 750p
走査線750本、プログレッシブ方式。デジタルハイビジョンの高画質です。

■ 1125i
走査線1125本、インターレース方式。デジタルハイビジョンの高画質です。

■ AAC（Advanced Audio Coding）
デジタル放送の信号は大容量のため、圧縮技術が必要ですが、AACは、デジタル音声圧縮方式の1つです。少し未来のデータを予測し圧縮効率を上げる技術を採用しており、高音質であるのにかかわらず、高圧縮、マルチチャンネル化が可能です。

■ B-CASカード（ビーキャスカード）
各ユーザー独自の番号などが記載されている、BS／110度CS／地上デジタル放送視聴用ICカードのことです。ユーザー登録し、B-CASカードを受信機に挿入すると、双方向サービスの利用が可能となり、放送局からのメッセージを受信できるようになります。また、有料放送の視聴を希望される場合やNHKとの受信確認、そして、今後予定されている各種双方向サービスを希望される場合などにも登録済みカードが必要になります。（B-CASカードを挿入しないと、すべてのデジタル放送が映りません。）

■ BSデジタル放送
2000年12月から本格サービスが開始された新しい衛星放送で、従来のBS（アナログ）放送に比べ、より高画質で多チャンネルの放送を楽しむことができます。さらに、BSデジタル放送では、高品位のデジタル音声放送（BSラジオ）、ニュース・スポーツ・番組案内などの情報提供、オンラインショッピングやクイズ番組への参加が可能なデータ放送など、多彩なサービスを行います。

■ CATV（ケーブルテレビ）
ケーブル（有線）テレビ放送のことです。放送サービスが実施されている地域で、ケーブルテレビ局と契約することによって、放送を受信できます。それぞれの地域に密着した情報を発信しているのが特徴です。最近では多数のチャンネルや自主放送を行う都市型のケーブルテレビ局も増えています。

■ D端子
高画質映像信号用コネクタの通称です。従来、輝度信号（Y）と色差信号（C_B/P_B、C_R/P_R）を3本のケーブルで接続（コンポーネント接続）していたのを1本のケーブルで接続できるようにしたのがD端子ケーブルです。輝度・色差信号のほかにも、映像フォーマットを識別する制御信号を送ることができます。走査線数と走査方式によってD1～D5の規格があり（本機はD4に対応）、数字が大きいほど、より高画質な映像に対応できます。

■ EPG（Electronic Program Guide）
デジタル放送で送られてくる番組情報のデータを使って画面で見られるようにした電子番組表のことです。

■ HDMI（High Definition Multimedia Interface）
ハイビジョン映像信号、マルチチャンネルオーディオ信号、双方向伝送対応のコントロール信号を1本のケーブルで接続できるAVインターフェースです。

■ i.LINK（アイリンク）
i.LINK端子を持つ機器間でデジタル映像やデジタル音声などマルチメディア系のデータの双方向通信を行ったり、接続した機器を操作したりできるシリアル転送方式のインターフェースです。接続はi.LINKケーブル1本で行うことができます。i.LINKはIEEE1394の呼称で、IEEE（米国電子電気技術者協会）によって標準化された国際規格です。現在、100Mbps、200Mbps、400Mbpsの転送速度があり、それぞれS100、S200、S400と表示されます。

■ MPEG(Moving Picture Experts Group)
デジタル放送の信号は大容量のため、圧縮技術が必要ですが、MPEGは、デジタル動画圧縮技術の符号化方式の1つです。一般に「エムペグ」と読みます。MPEG2は、「動き補償」「予測符号化」などの技術を使って画像データを圧縮するもので、圧縮レートは画像の内容により可変ですが、だいたい40分の1に圧縮することができます。

■ NTSC(National Television System Committee)
日本でも採用している現行のカラーテレビ放送方式の標準規格のことです。現在、日本、アメリカのほか、韓国、カナダ、メキシコなどで採用しています。この規格は、毎秒30フレーム(フィールド周波数60Hz)、走査線数525本のインターレース方式です。

■ PCM(Pulse Code Modulation)
アナログの音声信号をデジタル信号に変換する方式の1つ。音楽CDは、この方式を利用しています。

■ PPV(Pay Per View)
「ペイパービュー」と読みます。番組単位で購入契約が必要な有料番組のことです。

■ S1/S2映像
セパレート(S)映像信号に、画面比率4:3で上下に黒帯のあるワイド映像(レターボックス)や、もと16:9の映像を横方向に圧縮して4:3にした映像(スクイーズ)を自動判別する信号を加えた映像信号のことです。映画サイズの番組やビデオソフトを見るときは、自動的にレターボックスは「シネマ」に、スクイーズは「フル」になります。

■ インターレース(飛び越し走査)
NTSC方式のテレビやビデオの画像表示では、525本の走査線のうち、まず奇数番めの走査線(262.5本)を1/60秒で描きます(この1画面を1フィールドといいます)。つぎに偶数番めの走査線(262.5本)を1/60秒で描きます。これで、合わせて走査線525本の1枚の完全な画像(フレーム)をつくっていく方式です。「525i」「1125i」の「i」はインターレース(interlaced)を表します。

■ 液晶パネル
液晶を封入したパネルの電極間に電気を流すと、映像として見えるように開発された表示素子です。環境に配慮した低消費電力で動作する利点があります。

■ お知らせ
BS／110度CS／地上デジタル放送局から視聴者へメッセージを送るサービスです。

■ コンポーネント接続
映像信号を輝度信号(Y)と色差信号(C_B/P_B、C_R/P_R)の3つのコンポーネント(構成部分)に分離して伝送する接続方法です。コンポーネント映像端子は3つの端子に分かれているので、接続には3つのプラグに分かれた専用コード(コンポーネントケーブル)を用います。通常の映像端子による接続に比べ、色のキレが良く、チラツキのない画質が得られます。

■ コンポジット接続
通常の映像端子(ビデオ端子)を使って映像信号を伝送する接続方法です。映像端子は1つのみで、ふつう黄色で表示されており、形状は音声端子と同じです。コンポジット接続による映像･音声端子の接続では、黄･白･赤の3色に分かれたAVケーブルを使うのが一般的です。

■ 地上デジタル放送
2003年12月から東京･大阪･名古屋の3大都市圏の一部地域で開始され、その他の地域では2006年末までに開始が予定されている新しい放送です。ゴーストのない高品質映像、デジタルハイビジョン放送、データ放送や双方向サービス、多チャンネルといった、これまでの地上アナログ放送にはなかった特長をもっています。

■ ハイビジョン放送
デジタルハイビジョンの高画質放送のことです。従来の地上アナログテレビ放送が525本の走査線で表示しているのに対し、デジタルハイビジョン放送は750本や1125本の走査線を使用しているため、より緻密で高画質な映像を楽しめます。BSデジタル放送では、番組によって「デジタルハイビジョン映像」と「デジタル標準映像」という異なる画質で放送されています。

■ プログレッシブ(順次走査)
飛び越し走査(「インターレース」の項を参照)をしないで、すべての走査線を順番どおりに描く方法です。525pの場合、525本の走査線を順番どおりに描きます。インターレース方式に比べ、チラツキのないことが特徴で、文字や静止画を表示するときなどに適しています。「525p」「750p」の「p」はプログレッシブ(progressive)を表します。

■ プロバイダ
一般にはインターネットサービスプロバイダ(ISP)のことをいいます。インターネットのBMLコンテンツ(デジタル放送で使用されるデータ放送言語)を使った双方向サービスが楽しめます。

索引

●英数字・記号

110度CSデジタル放送.............. 42・43
110度CSデジタル放送の視聴手続き 43
110度CSデジタル放送の登録チャンネル一覧.. 87
3桁入力ボタン 83
3次元設定................................... 167
3次元ノイズリダクション......... 168
AAC ....148・149・206
AV-HDDレコーダー .... 136・144〜147
AVポジション 165
AVポジションボタン 165
AVメモリー................................ 165
B-CASカード........21・63・64・206
B-CASカード番号表示 182
Blu-ray Discレコーダー .... 136・144〜147
BSデジタル放送..........40・41・206
BSデジタル放送のチャンネル番号表 41
BSデジタル放送の登録チャンネル一覧 87
BSボタン..................................... 82
CATV(ケーブルテレビ) ....61・83・206
CATV(ケーブルテレビ)放送について .. 61
CATVボタン 83
CSボタン..................................... 82
Dot by Dot 152
DVD再生 119
DVDプレーヤーなどの接続 118
D-VHSビデオデッキ.........136・141
DVI対応機器......................122・123
D-コンポーネント変換ケーブル. 163
D端子 ....115・134・206
D端子ケーブル........................... 163
D端子識別..........................162・163
EPG(電子番組表) .... 92〜98
GR(ゴーストリダクション).......... 84
GR設定 84
GRボタン 84
HDMI ....115・120
HDMIケーブル..................115・120
HDMI識別 ....162・163
HDMI端子 ....115・120
i.LINK(TS)端子 ....115・136
i.LINK(アイリンク) .. 136〜140・206
i.LINKケーブル 136
i.LINK自動切換 137
i.LINK接続................................. 136
i.LINK設定........................138・139
i.LINK操作パネル....................... 140
i.LINKボタン ....138〜140
i.LINK予約.............100・106・107
I／P設定.................................... 167
Language(言語設定)............. 48・218
LAN設定.................................... 185
LAN端子 .... 23・184
On-screen display language... 48・218
PCM.......................148・149・207
PPV購入履歴............................. 182
PPV制限.................................... 180
PPV設定.................................... 180
PPV番組の購入 108
QS駆動(クイックシュート)....... 168
S2映像....................................... 163
S2映像出力端子 .....124・126・128
S2映像入力端子 ....116・124
S2対応...............................162・163
S端子ケーブル .. 116・124・126・128
WOWOWデジタルプラス ..... 42・43

●あ行

アイコン一覧................................ 93
青ボタン........................90・92・186
赤ボタン........................90・92・186
明るさ... 166
明るさセンサー 166
明るさセンサー受光部................ 166
明るさセンサー設定 166
明るさセンサーランプ................ 166
アクティブコントラスト............ 167
アップロード.............................. 182
アナログ(入力信号) ....122・150
アナログ放送からデジタル放送への移行について ... 39
暗証番号設定.............................. 180
暗証番号を忘れたときは............ 181
アンダースキャン 160
アンテナ設定(BS・110度CSデジタル) ... 72
アンテナの接続 .... 32〜34
アンベールコントロール............ 167
一時停止ボタン(i.LINK操作パネル) 140
位置調整..................................... 164
色あい... 167
色温度... 167
色の濃さ..................................... 167
裏番組ボタン................................ 98
映画 165
映像 ....89・105・167
映像オフ..................................... 168
映像・音声ケーブル .... 116・124・126・128
映像・音声出力端子 .... 124・126・128
映像切換(🎥)ボタン..................... 89
映像設定..................................... 178
映像調整............................166・167
映像反転..................................... 164
映像判別............................162・163
枝番 ....67・70・83
オート... 178
オートワイド.............................. 162
お好み選局........................... 83・175
お好み選局／登録ボタン .... 83・174
お好み登録.................................. 174
お知らせ..................................... 182
お手入れのしかた 19
オフタイマー.............................. 176
オフタイマーボタン 176
音声 ....89・105・169
音声切換((◯))ボタン .... 89・170
音声ケーブル..........118・122・149
音声調整..................................... 169
音量(＋／－)ボタン 24

●か行

カーソルボタン .... 44・186
回線使用時の画面表示アイコンについて ... 183
画質 167
壁掛け金具(別売品) 29
壁掛け設置.................................... 29
画面サイズ............ 152・160〜163
画面サイズ切換メニュー...152・161
画面サイズ設定 178
画面サイズボタン ....152・161
画面調整..................................... 154
画面表示....................................... 39
画面表示の言語 .... 48・218
画面表示ボタン 39
カラーボタン(青・赤・緑・黄).........90・92・186
カラーマネージメント(色相・彩度・明度) ... 167
乾電池の入れかた 25
機器選択..................................... 139
黄ボタン........................90・93・186
クイック起動.............................. 175
クイックシュート(QS) 168
クロック位相.............................. 154
クロック周波数 154
黒レベル..................................... 167
蛍光管... 21
ケーブルテレビ(CATV) ....61・83・206
ゲーム... 165
決定ボタン.......................... 44・186
ご案内チャンネル(110度CSデジタル放送)..... 42
降雨対応放送................................ 40
高音 169
購入金額制限.............................. 180
ゴースト....................................... 84
ゴーストリダクション(GR)......... 84
ゴーストを軽減する(GR機能)...... 84
個人情報初期化 197

●さ行

再生ボタン(i.LINK操作パネル).. 140
サラウンド.................................. 169
システム動作テスト 79
視聴年齢制限設定 180
視聴予約............................102・103
自動(入力選択) 134
自動同期調整.............................. 153
シネマ................................152・160
字幕表示設定.............................. 179
字幕(💬)ボタン.......................... 179
ジャンルアイコン設定.................. 94
ジャンル検索................................ 97
終了ボタン.................................... 44
主音声... 170
受信機レポート 182
受信チャンネル 60
受信微調整.................................... 60
受信メッセージ一覧 182
主／副... 170
仕様 203
省エネ設定........................155・176
消音 24
使用温度............................. 20・203
消音ボタン.................................... 24
垂直位置............................154・164
水平位置............................154・164
数字ボタン.................................... 82
スカパー！110.................... 42・43
スクイーズ.........................162・178

スタンド....29
ステレオ....170
スマートズーム....160
寸法図....204
静止画....173
静止ボタン....173
設定の確認....105・107
選局....82
選局（∧順／∨逆）ボタン....82
双方向サービス....38
双方向サービス設定....183
ソフトウェアキーボード....186

●た行
ダイナミック....165
ダイナミック（固定）....165
ダウンロード設定....196
端子カバーの外しかた....28
地域設定....65
地域番号一覧表....56
地域番号早見表....54
地上Aボタン....52・82
地上Dボタン....68・82
地上アナログ....51
地上アナログー個別....51・60
地上アナログ放送のチャンネル設定....51
地上デジタル放送....38・39・207
地上デジタル放送のチャンネル設定....67
地上デジタル放送の登録チャンネル一覧....87
チャンネルサイン....39
チャンネルスキップ....60・70・80
チャンネル設定....51・67
チャンネル表示....60
チャンネルボタン....52・82・83
追加購入グループ....107
通信設定....76・78・183・185
低音....169
停止ボタン(i.LINK操作パネル)....140
データ放送....38・40
データ連動(d)ボタン....90
デジタル（入力信号）....122・150
デジタル音声ケーブル....148
デジタル音声出力（光）端子....148
デジタル音声設定....149
デジタル固定....133
デジタル登録ボタン....86・88
デジタルリセットボタン....195
テレビ放送....40
テレビ／ラジオ／データボタン....82
テレビリセットボタン....195
電源（押・入-切）スイッチ....36
電源コードの接続....35
電源待機設定....138
電源の入／切....36
電源ボタン....36
電源ランプ....36
電子番組表（EPG）....92～98
転倒防止用部品....30
電話会社設定....78
電話回線....74・183
電話回線設定....76
電話回線端子....74・184
電話回線の接続....74

●な行
二重音声....105・170
二重音声番組....89
二重音声放送....170
日時検索....96
入力....132
入力4....124・126・128
入力4端子設定....132
入力5....120
入力6....122・150
入力切換ボタン....117・135
入力切換メニュー....117
入力選択....134
入力表示選択....135
入力文字の種類....188
ネットワーク（放送）....82
ノーマル....152・160

●は行
ハイビジョンビデオカメラ....142
ハイビジョン放送....38・207
バックライトの蛍光管....21
早送りボタン(i.LINK操作パネル)....140
バランス....169
パワーマネージメント....155
番組情報ボタン....90
番組情報を見る....90
番組表取得設定....94
番組表ボタン....82・92
番組名表示設定....179
「ピシッ」と音がする....192
ビデオ映像....134
ビデオ機器の接続....116
ビデオコントローラー....128
ビデオコントロール端子....128
ビデオ再生....117
ビデオ連動予約....100・104
ビデオ連動録画....128
ビデオ連動録画設定....129
表示範囲設定....94
標準....165
フィルムモード....167
副映像....105
副音声....170
付属品....12
ブックマーク....42
プラットフォーム（運営会社）....43
フル....152・160
フル1・フル2....160
フル固定....178
プロ設定....167
プロバイダ設定....183
別売品....205
ヘッドホン端子....22
放送切換ボタン....82
ボード....42・182
保証とアフターサービス....201
本機の特長....26

●ま行
巻戻しボタン(i.LINK操作パネル)....140
マルチ音声番組....89
マルチビュー....105
マルチビューサービス....40
緑ボタン....90・92・186
無信号オフ....176
無操作オフ....176
メディア（テレビ／ラジオ／データ）....82
メニュー項目一覧....46・47・198～200
メニューについて....44～48
モード1....155
モード2....155
文字入力のしかた....186
モジュラー分配器....74・184
モスキートノイズリダクション....168
戻るボタン....44・186
「モニター温度」の点滅表示....192
モニター出力....112・124
モニター出力（可変）....132
モニター出力（固定）....132
モニター出力表示設定....178
モノクロ....167
モノラル....170

●や行
優先利用回線設定....183
有料放送（BSデジタル放送）の視聴手続き....41
予約ランプ....103
予約リスト....110

●ら行
ラジオ放送....40
リモコン....24・25
臨時編成サービス....40
レターボックス....178
連動データ放送....90
録画画面サイズ設定....178
録画出力....132
録画操作ボタン(i.LINK操作パネル)....140
録画停止ボタン(i.LINK操作パネル)....144
録画開始ボタン(i.LINK操作パネル)....140
録画モード設定....138
録画予約....104～107
録画リスト(i.LINK操作パネル)....140
録画リストボタン(i.LINK操作パネル)....140
録画連動機器の変更....107

●わ行
ワイド....160・161

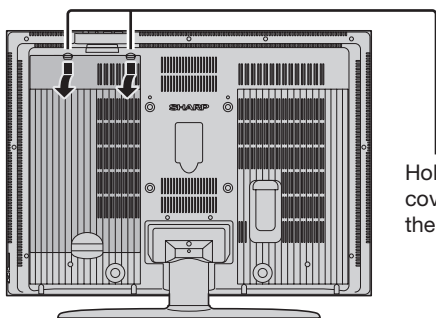
Part Names – Main Unit

■ The number shown in each [page tab] is the page number where the part's function and/or use are explained either in English or Japanese.

Front view

Top view

Rear view

Digital module reset button 195
TV module reset button 195
RS-232C terminal 156
VCR controller connector 128
Digital audio output jack (optical) 148
AV in 6 (audio) 122・150
Telephone line jack 74
Power cable connector (AC 100V) 35
Terminal cover for Factory Adjustment
i.LINK (TS) jacks 136
LAN jack 184
AV in 5（HDMI）120
AV in 6（DVI-I）122・150
AV in 1・2 114
Digital out / Monitor out / AV in 4 132
Inside the terminal covers
AV in 3 116・124
Terrestrial digital antenna input terminal 33
VHF/UHF antenna input terminal 33
VHF/UHF antenna output terminal 33
BS/CS 110 antenna input terminal 34
Opening the terminal covers
Holding the lock at the top of the cover downward, pull the cover off the back of the main unit.

Part Names — Remote Control Unit

Cover closed

Cover open

Digital channel register ······ 86
Press to display or turn off the channel register/registered channel table screen.

Freeze ······ 173
Press to freeze the picture.

Screen mode ······ 152·161
Press to select the desired screen mode.

Picture select ······ 221·89
Press to select the desired picture when watching a digital multi-picture program.

Split screen ······ 172
Press to switch between the split screen mode and the normal screen mode.

GR ······ 84
Press to activate or deactivate the GR (ghost reduction) function.

AV mode select ······ 165
Press to select the picture/sound setting (dynamic [locked], dynamic, standard, cinema, game, or AV memory) that best matches the current program.

Caption ······ 221·179
Press to display, select, or turn off captions when watching a digital program with captions.

Audio select ······ 221·89·170
Press to select the desired audio (e.g. Japanese or English in bilingual broadcast, the main sound or a sub sound in digital multi-sound broadcast, etc.).

Operable screen ······ 173
Press to switch the operable screen (screen with the ♪mark) when the TV set is in the split screen mode.

To open the cover
Hold the cover by the projections on both sides and lift upwards.

Basic operation for channel selection

Favorite channel select/register button

Channel select buttons 1 – 12

Network select buttons (terrestrial analog, terrestrial digital, BS, CS)

Selecting terrestrial analog (VHF/UHF) channels

① Press 地上A to select terrestrial analog broadcast.
② Press 1 - 12 to select the desired channel.

Selecting digital channels

① Press 地上D, BS or CS to select the desired digital broadcast network.
② Press 1 - 12 to select the desired channel.

Types of broadcast
- 地上A Terrestrial analog: Conventional VHF/UHF broadcast
- 地上D Terrestrial digital: Terrestrial digital broadcast
- BS BS: BS digital broadcast
- CS CS: CS 110 digital broadcast

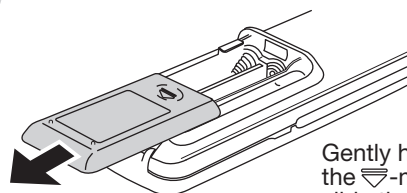
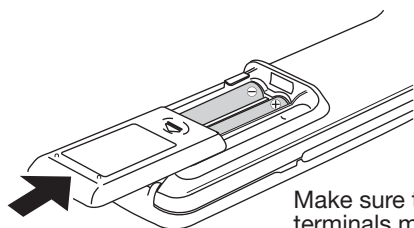
■For details about channel selection, see pages **216** and **219**.

Selecting favorite channels

① Press お好み選局/登録 to display the registered channel screen.
② Press 1 - 12 to select the desired channel.

Part Names — Remote Control Unit

Inserting batteries in the remote control

1 Open the battery cover.

2 Insert the supplied two AAA batteries, and close the cover.

CAUTION

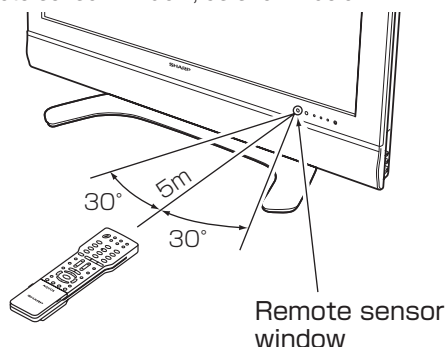
Cautions regarding batteries

Improper use of batteries can result in chemical leakage or explosion. Be sure to follow the instructions below.

- Do not mix batteries of different types.
- Do not mix old and new batteries.
- Do not try to charge or disassemble batteries.
- Place the batteries with their terminals corresponding to the ⊕ and ⊖ indications.
- Do not short-circuit batteries.

- The supplied batteries may have a shorter life expectancy due to storage conditions. Replace them with new ones before they are depleted.
- Remove the batteries from the remote control, if you will not use it for a long time.
- If, after replacing batteries, the remote control does not work, make sure the new batteries are placed in the right direction.

Remote control operating range

When operating the remote control, direct its head toward the remote sensor window located at the bottom right corner of the main unit, as shown below. The maximum operating range is approximately 5 meters in distance, and 30 degrees in angle against the straight line normal to the remote sensor window, as shown below.

Note:

- The remote control may not work when there is an obstacle between the remote control and the main unit's remote sensor window.
- As the batteries are depleted, the operating distance will become shorter. Replace them with new ones.
- The remote control may not work properly when there is a fluorescent light near the main unit's remote sensor window.

Cautions regarding the remote control

- Do not expose the remote control to shock, water, or high humidity.
- The remote sensor window on the main unit may not properly receive remote control signals when it is under direct sunlight or strong lighting. In such a case, change the angle of the lighting or the main unit.

Quick Start Guide

Basic Operations

Shown on this and the next three pages are the basic operations for enjoying TV and video programs.

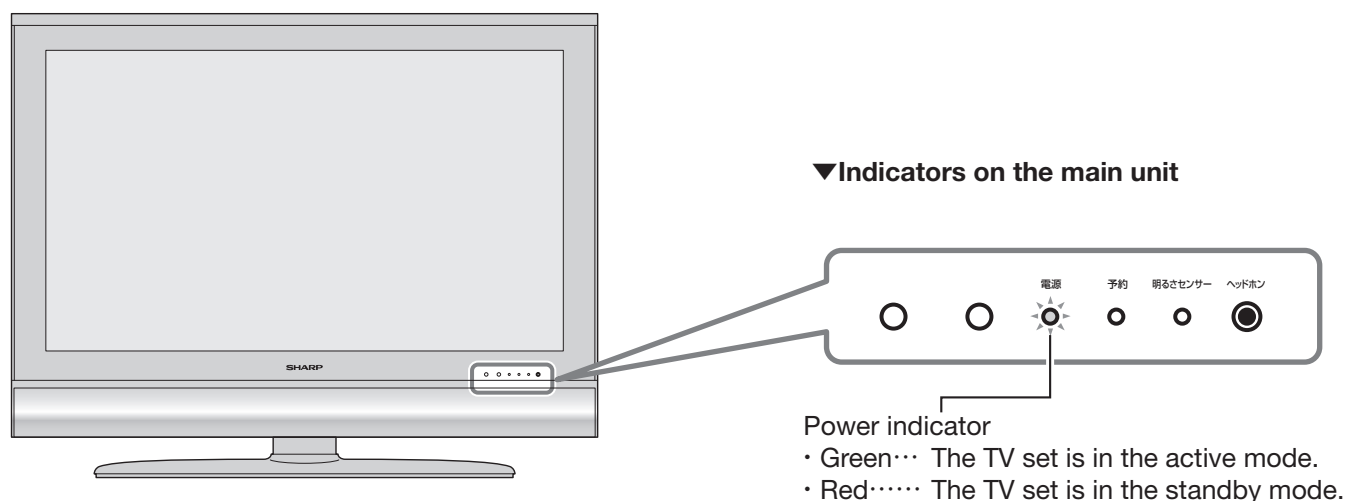
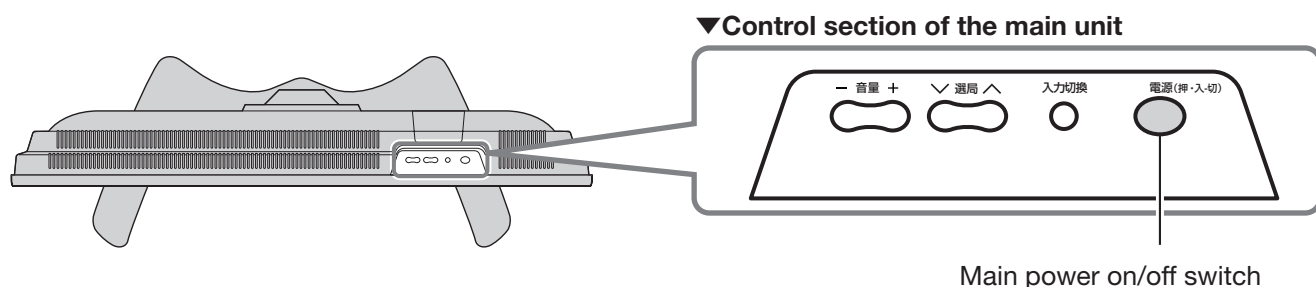
Turning the power on

❶ Press the main power on/off (電源(押・入-切)) switch in the control section of the main unit to turn the main power on.

・The power indicator lights up in green indicating the TV set is now in the active mode.

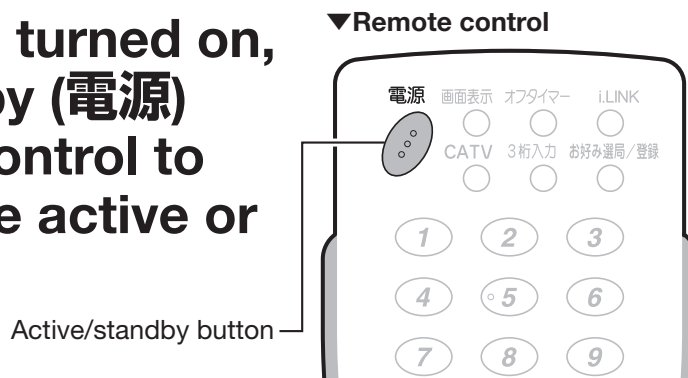
▼Control section of the main unit

▼Indicators on the main unit

Power indicator
・Green… The TV set is in the active mode.
・Red…… The TV set is in the standby mode.

❷ After the main power is turned on, press the active/standby (電源) button on the remote control to engage the TV set in the active or standby mode.

・The power indicator is lit red when the TV set is in the standby mode.

▼Remote control

Active/standby button

● This TV set communicates with digital TV stations even when it is in the standby mode (with the power indicator lit red).
● When you press the active/standby (電源) button on the remote control to turn off the TV, it may take a while before the power is actually turned off. (During this time, the system is storing the internal data to its memory.)

Basic Operations

Power on/off, channel selection, volume control

1 Turn on the TV.

Power on ············ The power indicator lights green.
(Active mode)

2 Select the desired network.

Network select buttons

- Press to select the desired network (terrestrial analog [地上A], terrestrial digital [地上D], BS, CS).
  (* The 地上D [terrestrial digital select] button works only after terrestrial digital broadcasting services are started in your area and the TV set is tuned to receive terrestrial digital broadcasts.)

3 Select the desired channel.

Channel select buttons

- Press to select a channel after selecting the desired network (terrestrial analog [地上A], terrestrial digital [地上D], BS, CS) and media (TV, radio, or data).

Channel up (∧)/down (∨) buttons

- Press to select channels in the network and media of last selected channel.

See pages 219 through 221, 82 through 112 for digital broadcast-related operations.

4 Adjust the volume.

The volume indicator will appear on the TV screen showing the current volume level with numerals and a bar.

30

- You can adjust the volume for each input independently.

5 Turn off the TV.

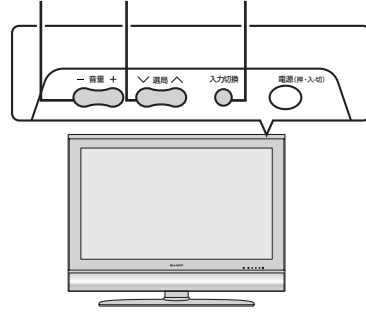
Power off ············ The power indicator lights red.
(Standby mode)

Remote control

電源 画面表示 オフタイマー i.LINK
CATV 3桁入力 お好み選局／登録
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10/0 11 12
放送切換 地上A 地上D BS CS
データ連動 音量 選局 テレビ/ラジオ/データ
消音 入力切換
番組情報 番組表 裏番組 メニュー
決定
終了 戻る
青 赤 緑 黄
AQUOS
SHARP

Select the desired favorite channel.

Favorite channel select /register

- Press to select the user-registered channel.
  (Press the favorite channel select/register (お好み選局／登録) button, then press the channel select button.)

Press to temporarily turn off the sound.

- Press this button again or press the volume up/down buttons to return the sound volume to the previous level.

The main unit's control section is available for performing basic operations.

step 4 step 3 Input select

− 音量 + ∨ 選局 ∧ 入力切換 電源(押・入・切)

Power cable connection

- This TV communicates with digital TV stations even when it is in the standby mode.
- Do not disconnect the power cable from the wall outlet immediately after it has been plugged in. In rare instances, the main unit's built-in memory will be initialized causing timer programs, the PPV program purchase history (unrecoverable), etc. to be erased. If this happens, perform all necessary settings again.
- Do not unplug the power cable or interrupt the power supply when the TV set is in use. This may damage the data stored in the built-in memory.

Preset channels

- This TV set is factory preset to receive VHF channels 1 to 12 and BS/CS 110 channels. See pages **51** through **61** if you wish to receive terrestrial analog UHF broadcasts or change the channel settings.

On-screen displays, CATV, input selection, etc.

Press to display or turn off the channel sign.

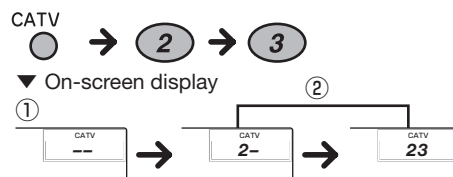
- Press to display the current channel sign.
  Press again to turn it off.

Channel sign examples

Terrestrial analog TV
BS digital broadcast
CS 110 digital broadcast
Terrestrial digital broadcast
CATV broadcast
AV input
PC input

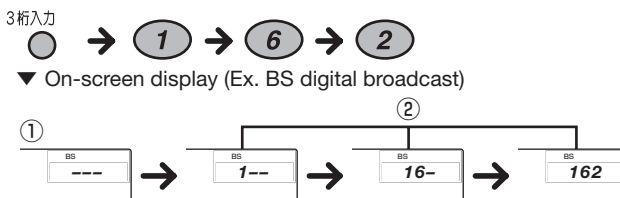
Use to select a CATV channel by entering the 2-digit channel number.

<Ex.> Selecting channel C23

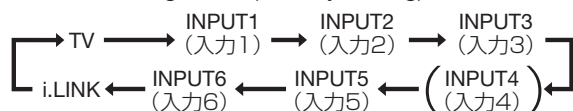
① Press the CATV button.
② Enter the channel number with the number (channel select) buttons (1-10/0).

Use to select a digital channel by entering the 3-digit channel number.

<Ex.> Selecting BS digital channel 162

① Press the BS select button, then the digital channel number input button.
② Enter the 3-digit channel number with the number (channel select) buttons (1-10/0).

▼ On-screen display (Ex. BS digital broadcast)

Note You can also use the following steps.
① Press the 3桁入力 (digital channel number input) button.
② Press the 地上D (terrestrial digital), BS, or CS button to select the desired network.
③ Input the desired channel number using the 1-10/0 number buttons.

Press to select the desired input.

- Each time you press the button, the screen changes in the following order. (Factory setting)

- Press any channel select button to return to the TV screen.

AV in 1-6 indications

- The AV in 1-6 indications can be changed to match the connected equipment. See “外部機器のなまえを表示させる” on page **135** for details.

Ex. AV in 1

INPUT1	VCR1	VCR	COMPONENT1
COMPONENT	D-VIDEO1	D-VIDEO	CATV
CS	DVD	GAME	CAMERA
D-VHS	HDD	DVR	BD
		User Setting:	

Press to display the electronic program guide (EPG) when receiving a digital broadcast.

- Press again to turn off the EPG display.

User Setting

- As for the input selections to be displayed, you can create a new name in addition to the present ones such as INPUT1, CS, HDD, etc. with the USER SETTING function. (See page **135**.)

Press to end operation.

- Use to end the picture freeze mode, turn off the EPG display, or finish menu operation, etc.

Tip on use This button can be conveniently used when you are at a loss during menu or EPG operation, etc.

When broadcasting service for the selected channel is over for the day

- If the no-signal-off function is activated, approximately 15 minutes after the end of service day, the power automatically turns off, and the TV set enters the standby mode with the power indicator lit red. (See page **176**.)
- The no-signal-off function may not work properly if the TV set receives a weak signal from any other channel or some other wave.
- The no-signal-off function works in the same way when the TV set is in the AV input mode.

CATV channel reception

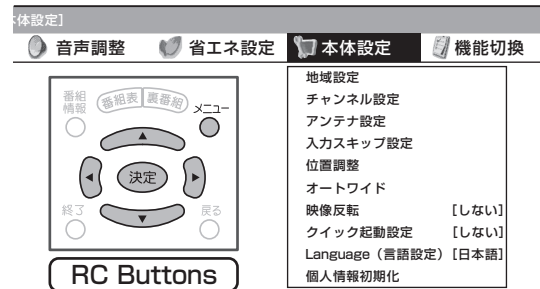
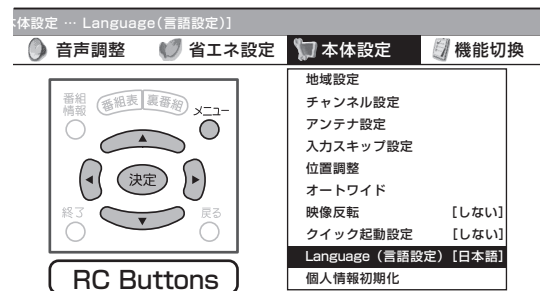
- CATV channels can be received only in areas where CATV broadcast services are available.
- To receive CATV channels, you need to sign up with your local CATV broadcasting company for subscription. To watch (and record) charged, scrambled broadcasts, you need to connect a home terminal adapter to the TV set. For further details, consult with your local CATV service provider.
- The channel up/down buttons can be used for CATV channel selection only after you perform individual channel registration. (See pages **60** and **61**.)
- The selectable CATV channels are C13 through C63.

Basic Operations

Switching the Display Language to English

■ Using the menu screen, you can switch the on-screen display language to English.

1 ① Press メニュー (menu) to display the menu screen.

② Press ◀ or ▶ to select "本体設定"(Setup).

2 Press ▲ or ▼ to select "Language (言語設定)", then press 決定 (enter).

3 Press ◀ or ▶ to select "English", then press 決定 (enter).

• The menu screen is now displayed in English.

4 Press メニュー (menu) or 終了 (finish) to return to normal screen.

Enjoying Digital Broadcasts

Selecting a digital program

Select the desired digital broadcast network

The TV set incorporates a digital tuner that allows you to receive three digital broadcast networks— terrestrial digital, BS, CS. What you do first is to select the network of your choice.

Press 地上D (terrestrial digital) , BS or CS to select the desired network.

2 Select the type of broadcast (Not necessary when selecting a channel by entering the channel number.)

Digital broadcasts offer not only TV programs but also radio and data programs. After you have selected the network of your choice in step 1 above, what you do next is to select the type of broadcast—TV, radio, or data, by pressing テレビ/ラジオ/データ (media select).

Press テレビ/ラジオ/データ (media select) to select the desired media (TV, radio, or data).

- Each time you press the button, the media changes as shown below.

Operating a data program screen

Data programs usually display control button and item graphics on the screen. Use   cursor buttons and (enter/confirm) as well as color buttons (青 Blue 赤 Red 緑 Green 黄 Yellow) to select an item, confirm your choice, or switch screens back and forth, etc.

3 Select the desired channel

① **Using the channel select buttons**

The channel select buttons are factory preset to receive the channels listed in the tables shown on page **220**.

After you have received the desired type of broadcast in step 2 above, all you do now is to press one of the channel select buttons 1 - 12 to directly select the channel of your choice.

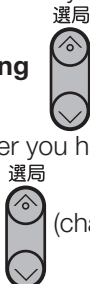
② **Selecting a channel by entering the 3-digit channel number** (Ex. Selecting a BS channel)

Press 3桁入力 (digital channel number input). "BS---" is displayed in the top right corner of the screen. Enter the 3-digit channel number using the channel select buttons (1-10/0).

Ex. Press 1 → 4 → 1 to select BS Nippon.

As you press the third button, 1, a BS Nippon program will be displayed on the screen.

③ **Using 選局 (channel up/down)**

After you have received the desired type of broadcast in step 2 above, press the ∧ or ∨ side of 選局 (channel up/down) to select the next higher or lower channel.

Enjoying Digital Broadcasts

Factory preset digital channels

Terrestrial digital channels*

Channel select button	Channel name	Channel number	Channel select button	Channel name	Channel number
1	NHK General (Tokyo)	011	7	TV Tokyo	071
2	NHK Education (Tokyo)	021	8	Fuji Television	081
3	–	–	9	Tokyo MX TV	091
4	Nippon TV	041	10/0	–	–
5	TV Asahi	051	11	–	–
6	TBS	061	12	University of the Air	121

* This table shows the terrestrial digital broadcast channel plan for Tokyo area.

BS (BS digital) channels

Channel select button	TV		Radio		Data	
	Channel name	Channel number	Channel name	Channel number	Channel name	Channel number
1	NHK BS1	101	–	–	–	–
2	NHK BS2	102	–	–	Weathernews	910
3	NHK Hi-Vision	103	–	–	Digicas 933	933
4	BS Nippon	141	WINJ	333	–	–
5	BS Asahi	151	–	–	–	–
6	BS-i	161	–	–	–	–
7	BS Japan	171	–	–	ch999	999
8	BS Fuji	181	–	–	–	–
9	WOWOW	191	–	–	–	–
10/0	Star Channel	200	–	–	–	–
11	–	–	–	–	–	–
12	–	–	–	–	–	–

CS (CS 110 digital) channels

Channel select button	TV	Radio	Data	Channel select button	TV	Radio	Data
	Channel number	Channel number	Channel number		Channel number	Channel number	Channel number
1	100	–	–	7	–	–	–
2	001	–	–	8	–	–	–
3	–	–	–	9	–	–	–
4	–	–	–	10/0	–	–	–
5	–	–	–	11	–	–	–
6	–	–	–	12	–	–	–

- The channel plans listed above are those known as of December 2005, and subject to change in the future.

Various services of digital broadcasting

Digital broadcasting stations offer various services which take advantage of digital technologies that allow far more data volume to be transmitted within a single channel than the traditional terrestrial or satellite analog TV. These services include programs with multiple pictures and sounds, program-linked data broadcast in which program-related or independent information is provided with still images and texts, and provision of program information using which your TV shows an on-screen electronic program guide (EPG) when desired.

●Multiple pictures

Press 映像切換 (picture select) under the cover until the desired picture is selected. (This feature is only available when the current program has multiple pictures.)

●Multiple sounds

Press 音声切換 (audio select) under the cover until the desired sound is selected. (This feature is only available when the current program has multiple sounds.)

●Captions

Press 字幕 (caption) under the cover to display or turn off captions, or press the button until the desired caption is selected when the current program offers multiple captions. (This feature is only available when the current program has one or more captions.)

●Program-linked data broadcast

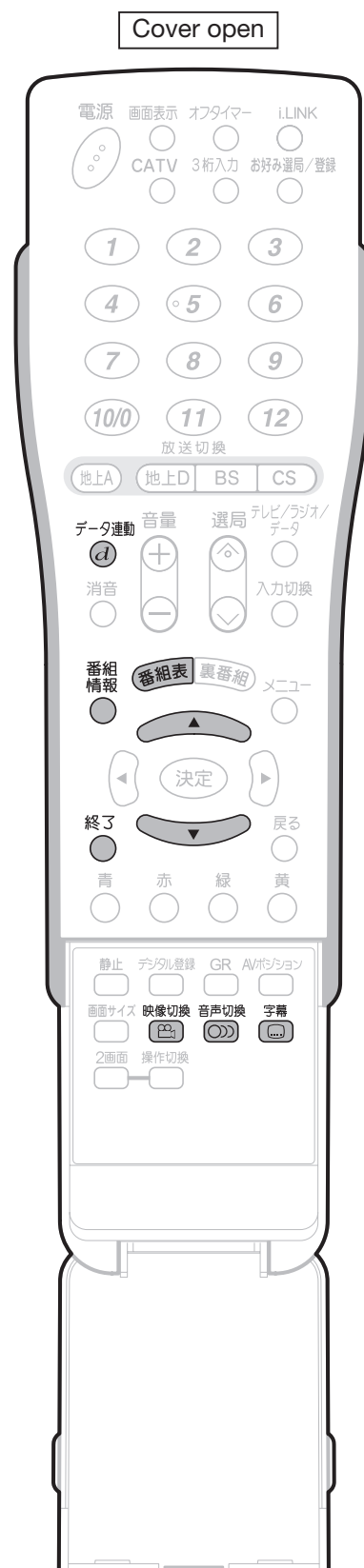
Press データ連動 (linked data) to display the linked data screen. A program-linked data screen usually has an inset screen that shows the program which has been being viewed. To return to the normal screen, press データ連動 again. (This feature is only available when the current program has a linked data broadcast.)

●Program information

Press 番組情報 (program info) to display detailed information (title, genre icon, on-air time, cast, writer, etc.) on the current program. When the information window has multiple pages, press the down cursor button to see the next page. Press the up cursor button to return to the previous page. To turn off the information window, press 番組情報 again.

●Electronic program guide (EPG)

Press 番組表 (EPG) to display an on-screen program guide, a schedule of programs currently on air and ones to be broadcast in the future (as far as a week ahead not including today), with which you can select a program you wish to see. The EPG also allows you to timer-record programs. (You need to connect the TV to a VCR, D-VHS VCR, AV-HDD recorder, or Blu-ray Disc recorder with a timer programming function.) To turn off the EPG, press 番組表 again or press 終了.

Cover open

本機で使用している特許など

本機は、MPEG2 AACに関する下記番号の特許を使用しています。

特許番号

5,848,391	5,291,557	5,451,954	5,400,433	5,222,189
5,357,594	5,752,225	5,394,473	5,583,962	5,274,740
5,633,981	5,297,236	4,914,701	5,235,671	07/640,550
5,579,430	08/678,666	98/03037	97/02875	97/02874
98/03036	5,227,788	5,285,498	5,481,614	5,592,584
5,781,888	08/039,478	08/211,547	5,703,999	08/557,046
08/894,844	5,299,238	5,299,239	5,299,240	5,197,087
5,490,170	5,264,846	5,268,685	5,375,189	5,581,654
5,548,574	5,717,821			

This software is based in part on the work of the Independent JPEG Group.
本機搭載のソフトウェアは、Independent JPEG Groupのソフトウェアを一部利用しております。

この製品は、著作権保護技術を採用しており、米国と日本の特許技術と知的財産権によって保護されています。この著作権保護技術の使用には、マクロヴィジョン社の許可が必要です。また、その使用は、マクロヴィジョン社の特別な許可がない限り、家庭での使用とその他一部のペイパービューでの使用に制限されています。この製品を分解したり、改造することは禁じられています。

エコロジークラスでいきましょう。シャープ。

液晶カラーテレビ LD-37SP1

この製品は、こんなところがエコロジークラス。

省エネ 「明るさセンサー」を活用

周囲の明るさに応じて液晶画面の明るさを自動的に調整する「明るさセンサー」機能がついています。この機能を「入」にすると周囲が暗いときには、自動的に画面を暗くするので、省エネになります。

上手に使って、もっともっとエコロジークラス。

◎外出やおやすみのときは主電源を切って

リモコンで液晶テレビの電源を切っても、少量の電力を消費しています。こまめに本体の主電源を切ることにより、更に効果的な省エネになります。

※ただし、録画予約、衛星ダウンロードを行う場合は、リモコンで電源を切って下さい。

● 製品についてのお問合せ、修理のご相談は…

202ページ記載の『お客様ご相談窓口のご案内』をご参照ください。

● シャープホームページ **http://www.sharp.co.jp/**

シャープ株式会社

本　　　社　〒545-8522　大阪市阿倍野区長池町22番22号
情報通信事業本部　〒639-1186　奈良県大和郡山市美濃庄町492番地

★この印刷物は環境に配慮した植物性大豆油インキを使用しています。
★この取扱説明書は再生紙を使用しています。（古紙配合率 100%）